OTAKU AMIGOS

オタクアミーゴス！

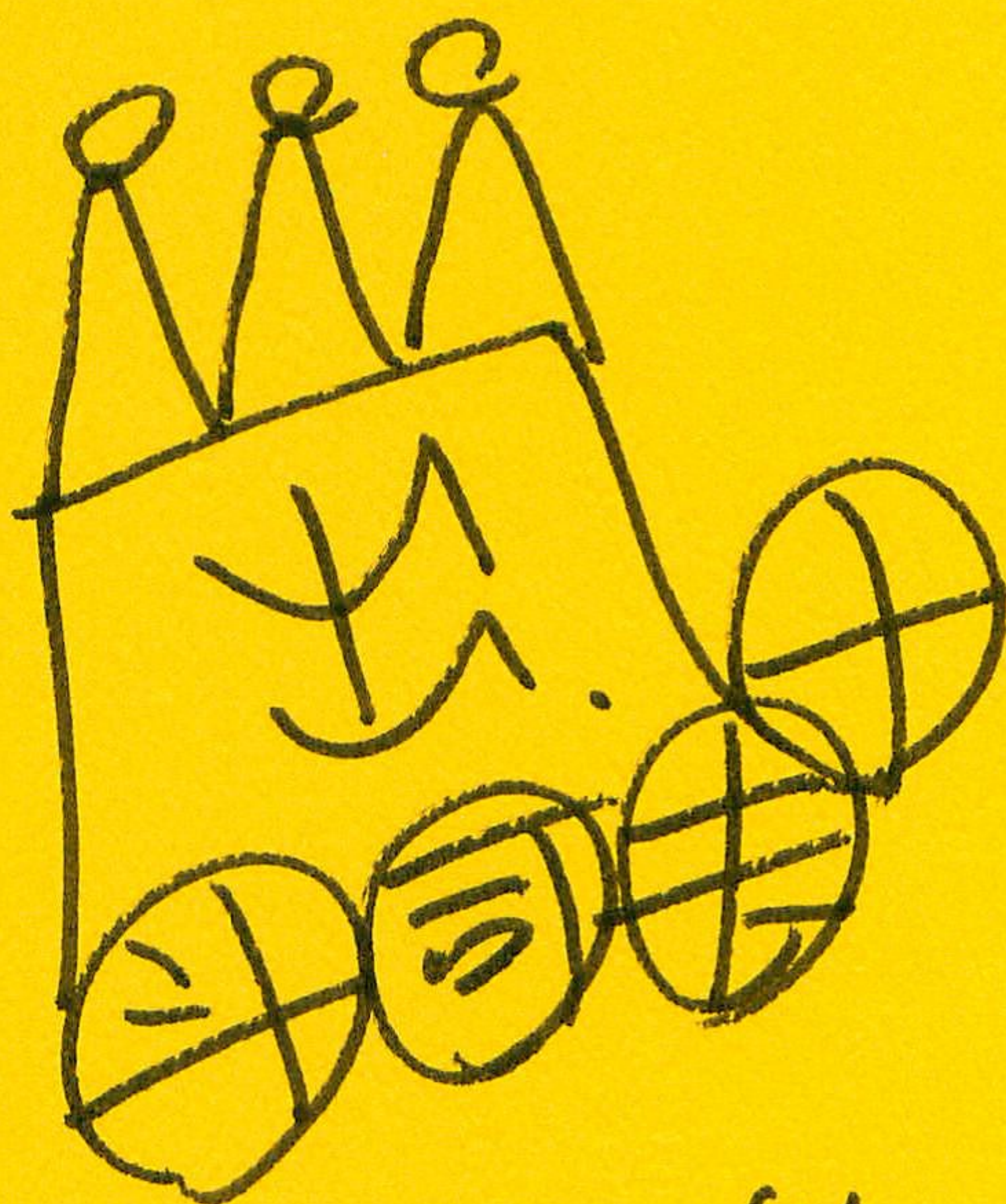
岡田斗司夫・唐沢俊一・眠田直 共著

OTAKING

SOFT BANK

OTAKU
AMIGOS

OTAKUはもはや
SUSHIにも勝る
世界共通語。

人類は既に個々人が
OTAKUになるべく
方向づけられている。
OTAKUとは何か?
それは、既存のパラダイムに
縛られることなく、
生まれたままの心で、
世界と人生を謳歌できる
者のことであろう。

97/10/04

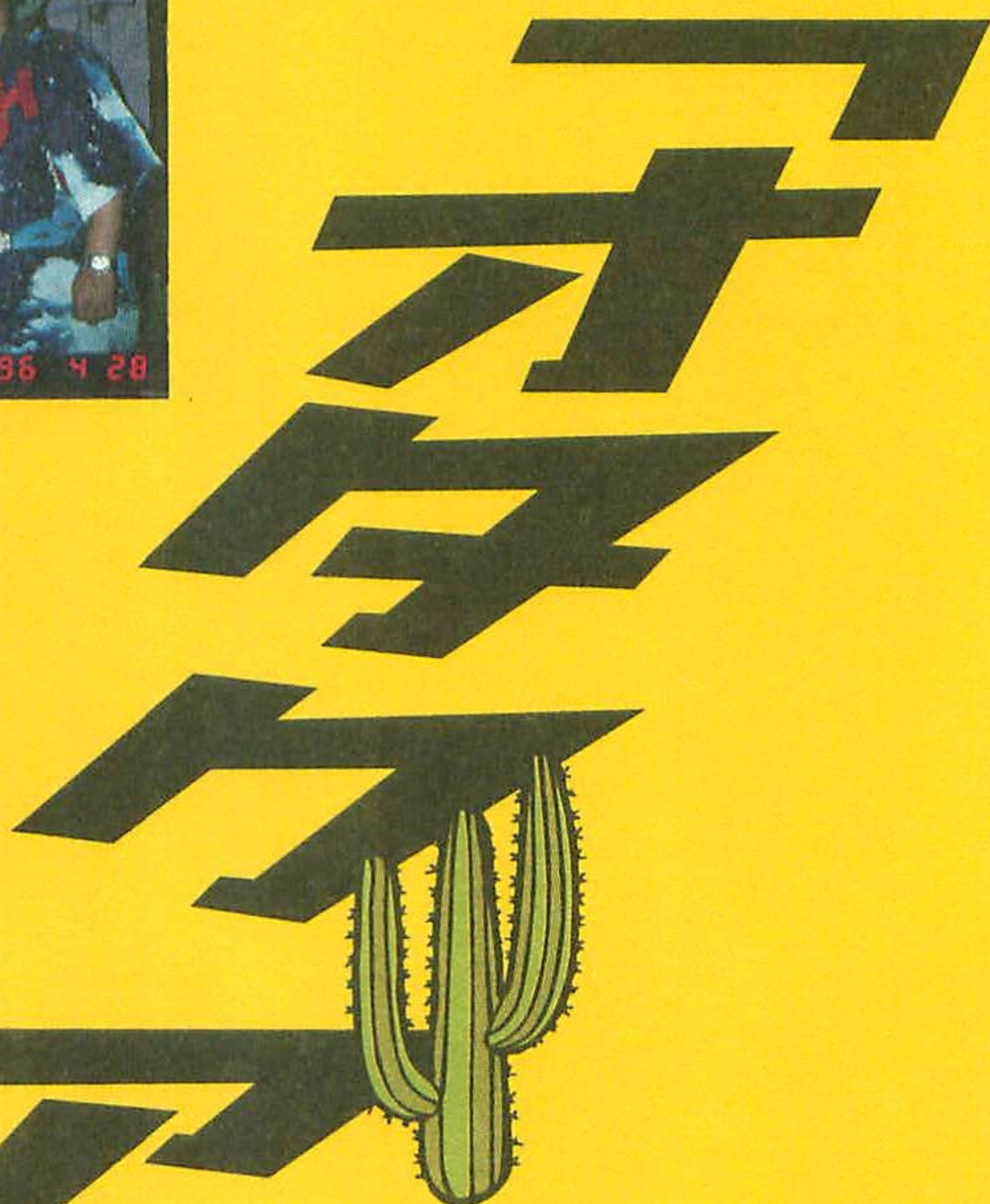
眠田直

オタクアミーゴス！

岡田斗司夫・唐沢俊一・眠田直 共著

OTAKU AMIGOS

OTAKING

まえがきに代えて

オタクアミーゴスとは？

岡田斗司夫・唐沢俊一・眠田直の三人が集まり、95年9月に結成された「オタク芸人」のグループ。持ちネタは、「怪しいビデオの上映」や「プロジェクターを使った秘蔵文献の紹介」といったハイテク（死語）を駆使した新しいタイプの「お笑い」と、ギリギリまで詰め込まれた、三者三様の超オタク知識をベースとした「濃いトーク」が売り。

新宿のトークライブハウス「ロフトプラスワン」で華々しくデビュー。第1回公演から場内は満員御礼の大盛況。その後も回を追うごとに観客数は増大の一途をたどり、翌96年からは、福島・大阪・札幌での地方公演も開始。いずれの場所でも観客の大爆笑を巻き起こし、成功をおさめる。
また、パソコン通信やインターネットといった電子メディア上でも活躍し、かつてない新しいジャンル芸の確立を目指している。

OTAKU AMIGOS

CONTENTS

GUEST PAGES

ガイナックス時代

1．1986年、「王立宇宙軍」制作。
宣伝担当の東宝東和と大喧嘩。放火未遂事件。
「40分間カットしろ」という命令に逆らい
「フィルムを切るんだったら俺の腕を切れ」
と訴え、119分58秒の尺で公開（契約では
120分未満）。そのうち、この一件はどこか
で書くので興行関係者は首を洗って待つこと。

2．1987年、理解者がいないまま、たった一人で「トップをねらえ！」企画開始。設定、シナリオが上がって、やっと庵野秀明に監督を受けてもらう。

3．1988年、ＮＨＫ総合の「ふしぎの海のナディア」制作。
東宝で昔、宮崎駿が書いた「80日間海底一周」の企画書を見せられ、「ヒロインの不思議な宝石」「宝石を追いかける三人組」等の設定を強要される。
この企画は****（自主規制）****とシンクロしていたので最初から参加できなかった。****（自主規制）****後、監督交代。ガイナックスはこれ以後、****（自主規制）****。

4．1988年、社内の猛反対を押し切り、電脳学園を初めとしてゲーム業界に参入。
（どれぐらい反対されたかというと、武田康広がスキー骨折で入院している隙にこっそり制作した、というぐらいだ）
「哭きの竜」「サイレントメビウス」「プリンセスメーカー」「SUPERバトルスキンパニック」「おたくのビデオ」等、制作。凄く儲かったが、儲かれば人の心は変わるものである。

その後、****（自主規制）****、1992年にガイナックスを退社。

現在

東京大学教養学部「おたく文化論ゼミ」講師

モノカキとしての岡田斗司夫

「ぼくたちの洗脳社会」（1995・朝日新聞社）
「オタク学入門」（1996・太田出版）
「天使の横顔」（1997夏ごろ・講談社）
連載中：連載雑誌：毎日新聞、ＴＶブロス、美術手帖・ＢＴ、週刊読売、

ネット芸人としての岡田斗司夫

コメディフォーラム（ＦＣＯＭＥＤＹ）、オタクアミーゴス会議室に常駐。

インターネット上の岡田斗司夫

岡田斗司夫のページ：http://www.NetCity.OR.JP/OTAKU/okada/
おたく大学：http://www.NetCity.OR.JP/OTAKU/univ/index.html

☆岡田プロフィール
生年月日：1958年7月1日
出身地：大阪府
E-mail：GFG04070@niftyserve.or.jp

okada Toshio

岡田斗司夫

オタキング

『岡田斗司夫・濃ゆ〜〜い戦いの記録（抄）』

アマチュア時代

1．1979年「第四回日本ＳＦショー」を実行。本来ＳＦ大会をするはずだったのに、「業界の慣例」という奴に握りつぶされＳＦショーにさせられる。これより東京のＳＦファンダムに敵意を燃やす。

2．1981年「第20回日本ＳＦ大会DAICON 3」を企画・実行。伝説のDAICON3オープニングアニメを制作。組織票を駆使して星雲賞を取り、古参ＳＦファンに対して溜飲を下げる。

3．1982年、大阪にＳＦ専門店「ゼネラル・プロダクツ」設立。「怪傑のーてんき」、「愛国戦隊大日本」制作。しかしソ連ＳＦを信奉する年寄りＳＦファン団体「イスカーチェリ」より「右翼！！」と喧嘩をふっかけられる。ＳＦイズム誌上で論破・粉砕してやった。

4．1983年「帰ってきたウルトラマン」制作。DAICON FILMの黄金期。同年、「第22回日本ＳＦ大会DAICON 4」を企画・実行。ＳＦファンの頂点に立つ（反論がある人はどうぞ）。DAICON4 オープニングアニメーション完成。しかし16mmで10分のフィルムという企画は涙を飲んで８mmで５分になる。10分版のプロットは、そのまま「王立宇宙軍」の基本プロットとなった。

ゼネプロ時代

1．1982年、「アメリカではガレージキットが大流行」という宇宙船・聖咲奇のアジ文章に騙され、知らず知らずのうちに世界初の商業ガレージキットを制作。おまけにワンダーフェスティバル（ワンフェス）を一瞬で思いつき、実行。後に飽きたので海洋堂に引き取ってもらう。ジェットビートル等のキット解説はパクられまくって、後に「ウルトラマン研究序説」を生むことになる。

2．1983年、総パーツ数1500を越える「メーザー殺獣光線車」ペーパーキット発売。買い求めた板野一郎が途中で「こんなもの！！」と叫びガソリンぶっかけて燃やした話は有名。日本では６人が完成させたことが確認済み。

3．1982年、アニメック誌上で「ためになるゼネプロ講座」連載開始。とにかく文章を書くのがあんなに苦しいとは知らなかった。

4．1985年、ＧＡＩＮＡＸ設立

MESSAGE FROM AMIGOS

僕の信仰告白

（岡田）

「で、岡田さんは何のオタクなんですか?」と聞かれることがよくある。大体、僕が「いやオタクという種族の習性はコレコレで」なんて一席ぶって気持ちよくなっているときに、そういう質問が降りかかってくるのだ。

正直言って、そういう質問には出来るだけ答えたくない。それまで他人様のことをさんざんとやかく言ってきたくせに、「オレの事はほっといてくれよぅ!」と叫びたくなる。でまぁ「いや僕はオタクの人達と付き合ったりするのが好きなだけで。まぁインディアンと暮らすエコロジストみたいな偽善者なんですよ」とか、ワケのわからん事を口走って相手を煙にまくのだ。

もちろんこの「過剰なまでの自己言及性」と「自分が他人にカテゴライズされることを極端に嫌う」というのは、オタクの第1特徴なので、僕がオタクである、というのは逃げも隠れもしない事実である。よろしいね?

ではここまでの記述を皆さんとの前提とした上で、僕のオタク分野に関して語ってみよう。（どうだ、オタクという人種は「ご趣味は何ですか?」と聞かれただけで17文字×25行のイイワケを前フリにしないと話し出せないんだゾ!）

僕はＳＦと模型のオタクである。

ＳＦとは空想科学小説のことだ。今は流行らない言葉になってしまったが、70年代に日本の出版界は、このジャンルに喰わせてもらった過去がある。君たちがいま読んでも面白くもなんともない筒井康隆という作家が、断筆して大騒ぎになったのも、その古き良き時代の余波なのだ。

僕は1958年生まれで、小学校6年生の時に大阪万国博を身近に経験した。少年誌のグラビアは毎週、「君の未来はこうなる!」という予想に溢れていた。もちろん大バカ少年だった僕は、こういう記事を頭から信じていたわけだ。

そんな僕の読むモノと言えば、ＳＦしかないに決まっている。だって真剣に人類の未来や、科学の行く末や、社会の仕組みを考えていたのはＳＦ作家しかいなかったんだから。

英米ＳＦ界の頂点に立つA・アシモフ、A・C・クラーク、R・A・ハインラインは、そんな僕にとっての三大ヒーローだった。「単なる観賞用ＳＦ」に堕したニューウェーブ以降のＳＦなんぞに興味はない。そんなのはオンナコドモの読むＳＦなのだ。

もう一つ、僕が好きだったのがプラモデルだ。科学の先端を感じさせるプ

OTAKU AMIGOS

ラスティックの質感と、縮小されたマシーンというコンセプトが僕を虜にした。戦車、飛行機、自動車、船舶。市販されているプラモや博物館に陳列してあった完成品を見て、いつまでも飽きることがなかった。近所のオモチャ屋でも、「何時間でもプラモの中身を見ているヘンな子供」として有名になった。なんせ当時の僕のバカさ加減とったら、組立説明書を店頭で見て、家へ帰ってチラシの裏に同じモノを書いていたぐらいクルっていたんだから。

夜、フトンに入っても「あの部分はこう改造しよう」「φ2㎜の真鍮線と同内径のアルミパイプを組み合わせてアクチュエーターは再現できるけど、関節部分はどうする?」などと夜明けまで妄想にふけっていた。

だから当然「SF模型オタク」なわけだな、最終的には。いや別にガンダムのプラモとかそういうんではない。やっぱね、SF者にとっては「ロボットアニメ」なんて本流にはなり得ないわけよ。

宇宙船!

モノレール!

未来ビル!

こういうヤツでしょ、燃えるのは。そんなわけでSF映画の撮影用に使われるミニチュアが、この世界での最高最大の美である、と信じきっとったワケであります。

え?なんで過去形かって?

え~まぁ、そりゃ僕にもトラウマというもんがあって、「さよならジュピター」という映画見せられたら、そりゃ誰だってSF映画ミニチュアを心底信じられなくなっちゃったんだよな。

というわけで僕の信仰告白はおしまい。岡田斗司夫はSF映画ミニチュアオタク、ということで、ご静聴ありがとうございました。

大学へ入って上京、海外アニメ研究の会『アニドウ』に所属、とたんに日本のアニメを徹底してコキおろす超イヤミな論客となる。当時雑誌『ぴあ』の投書欄で『機動戦士ガンダム』をクソミソにけなした発言がきっかけで、半年におよぶ大論争に発展し、とうとう最後には富野喜幸氏がひっぱり出されて

「こういう発言を僕は歓迎します」

というメッセージまでする騒ぎとなった。このとき、関係もないのに口をはさんできて

「ひとが苦労して作ったアニメにファンが口を出す権利などない」

と言い切った手塚治虫氏の発言に感動し、その後の心の師とする（笑）。

それからウヨ曲折を経てモノカキになり、著書多数。96年には12冊も著書を出したのになぜか貧乏。

Shuniti Karasawa

☆唐沢プロフィール

生年月日：1958年5月22日
出身地：北海道
URL：開設準備中
E-mail：CXP02120@niftyserve.or.jp

唐沢俊一

タブーのエンターティナー

札幌のまん真ん中、道庁赤レンガ庁舎の前で生まれ、幼少のころの遊び相手は近くの北大植物園に飼われていた南極犬の生き残り、ジロだった。後年映画『南極物語』を見たときの感想は、元特攻隊員が、映画で戦友の役をキムタクが演じているのを見た感じに近い。

中学時代にＳＦにハマり、図書委員の権限を悪用して学校図書館にＳＦを大量購入させて顰蹙をかった。

オタクの道を意識して志したのは高校時代。こづかいの全額を古本に費やし、高校１年のときにマンガだけで蔵書が二千冊あったというキ×ガイぶりで親を嘆かせる。そのころ、『宇宙戦艦ヤマト』に出会い、最初期のファンクラブを結成。再放送嘆願、地元ラジオ番組へ『真っ赤なスカーフ』リクエストの葉書攻勢などをかけ、レコード会社や出版社がその活動に注目、しまいには西崎プロデューサーまで飛んできた。そのときのY.NISHIZAKIのサインは青春のあやまちの記念（笑）として大切に保管してある。

OTAKU AMIGOS

MESSAGE FROM AMIGOS

オタアミファンへのお願い（唐沢）

僕は、古本オタクです。古本業界はオタクの中では老舗で、もう、本当にすさまじいのが存在します。オタキングの岡田斗司夫でさえ、96年の夏コミはハナヂを出して参加できずに帰りましたが、古書のコミケと言うべき神田古書展には、ハナヂどころか、病院から、点滴しながら駆けつけるヤツがいます。親の葬式を欠席して行ったヤツもいます。文字通りの書痴野郎ばかりなのです。

神田古書展はだいたい、毎週金曜朝10時から開かれますが、朝10時の開場を待って飛び込むヤツは、こういう濃い連中ばかりです。10時から11時くらいまでが活動時間なのでテン・イレブン族と呼ばれるこいつらは、己れの欲望を自己制御できなくなった一種の廃人たちの集団で、もう、それはすさまじい熱気に包まれています。あの熱気を用いてエネルギー事業が起こせるのではないか、と思えるくらいです。

その中には、日本の最高知性の持主と言われている人も大勢います。ニューアカブームのときにベストセラーを出した某先生は、若い学生などがいい本を手に取っているのを見つけると、脇からその学生の（まだ手に持っている）本をグイと横取りするので有名です。お目当ての本を女子学生に取られて、

「貴様にその本は二十年はやぁい！」

と怒鳴った先生もいます。もう七十をこえていると思われる上品な紳士同士が殴り合いをして一冊の本を奪いあっている光景も、こういった会場の名物として、みなほほえましく観戦しています。

目玉商品は前もって抽選されますが、

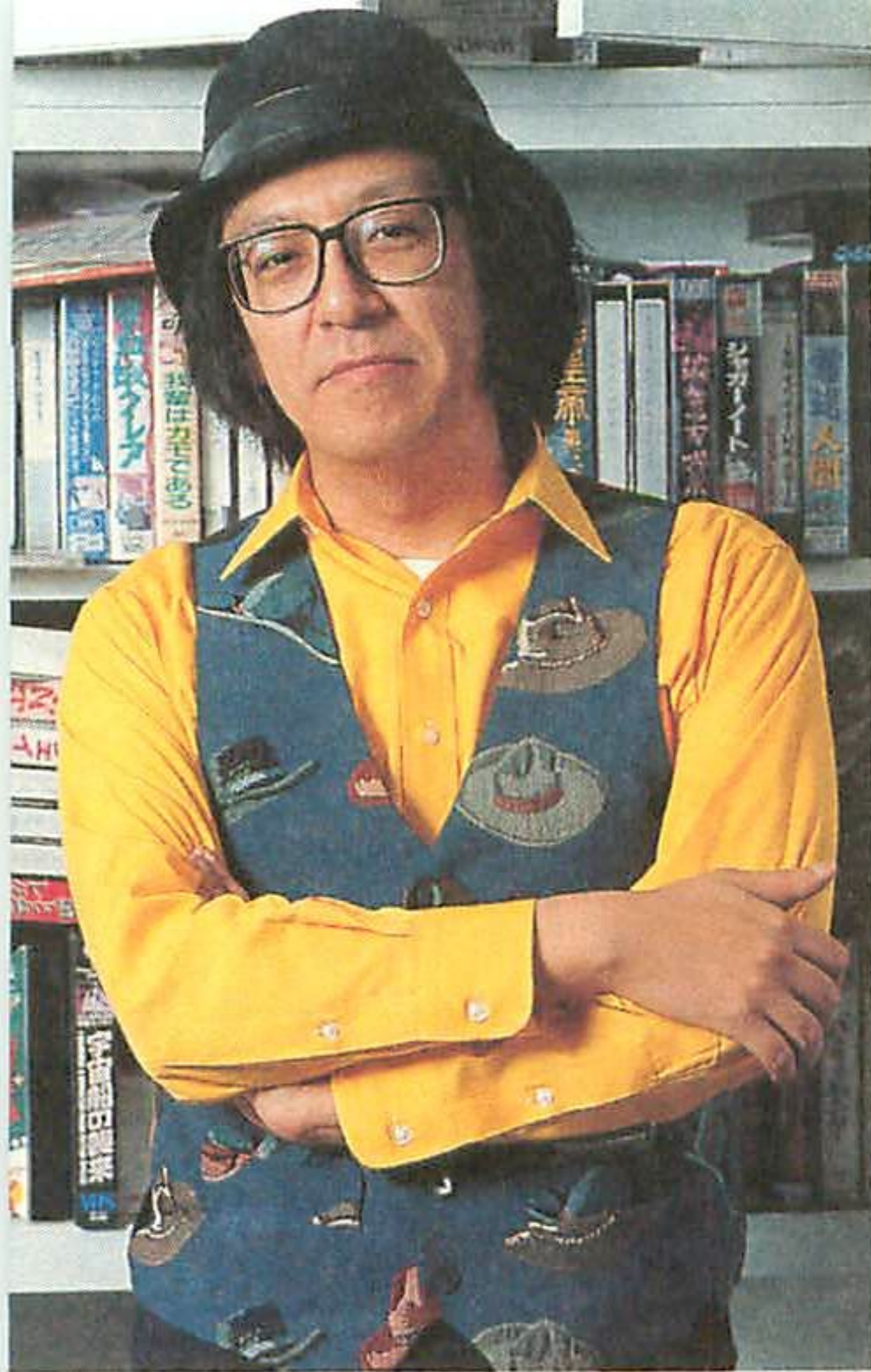
「なんでアレ、アタシに当たらないのよッ！」

と、本性のオカマ言葉で係を怒鳴りつける某古書評論家の姿も毎回おなじみの心がなごむ光景です。また、

「○○さんが来ると、必ず何かモノがなくなる」

と言われている、著名な洋モノ映画関係のコレクター氏の姿もあります。なんで彼がこの業界を追い出されないのか、七不思議のひとつと言われています。

古書店回りの旅に出て、行方不明になった学校の先生もいます。このときは全国の古書店に捜索願いが出されました。古書の山に囲まれて餓死した人もいます。田舎から送ってくるヨウカンだけで命をつないでいた人もいます。

もちろん、僕などもこういった連中の一人です。ただ、根がナマケモノな

ので、とてもここまで凄まじい生き方ができないだけです。それでも、世間一般の常識から見れば、立派なキ×ガイです。
ただ、僕がそういう人たちとはどこか違っているとするならば、それは、そのように集めた知識、集めた本の面白さを、どうにかして他人に教えてあげたい、という欲望があることでしょう。せっかくこんな苦労して集めた本です。それを独り占めしていてはあまりにモッタイないじゃありませんか。
そう思って『脳天気教養図鑑』という本の中で古本のことを書いたら、いつの間にか古本評論家みたいな肩書がついてしまいました。僕は評論ができるほど古書に詳しいわけではありません。
ただ、入れた知識は出さねばならない、オタクの窓は常に開いていなくてはならない、と思っていたのです。手に入れた本を誰にも見せずさわらせず、自分の書庫の奥にずっと沈めておく、そういう閉じたマニアたちの行き方に不満を持っていたのです。
実は僕は、岡田斗司夫、眠田直のお二人と出会うまで、アニメや特撮オタクという人々は、こういう閉じたオタクばっかりだ、と思っていました。外に向かって、自分の知識を放出するような、そんな気前のいいオタクが存在するとは思ってもいなかったのです。
ところが、このお二人は違いました。惜しげもなく、その濃ゆいだけ濃いウンチクをブチまけ、みんなを笑わして、実に満足げな表情をしているんですね。
「これは、自分と同じ人種だ」
と直感しましたね。むこうもたぶん、同じことを思ったんでしょう。ある日、
「どうです、ひとつ、こういうの、一緒にやってみませんか?」
と声がかかり、たまたま、僕がロフトプラスワンというライブハウスで企画を頼まれていたので、では、三人でオタクトークライブというのをやらかそう、と案を立て……あとは一瀉千里でした。いつの間にか、オタクアミーゴスは北は札幌、南は九州のSF大会でまで（このときは参加者が僕ひとりだったので、他の二人は女房に描かせたカンバンで代用しましたが）大人気を博し、とうとうこんな本が出るまでに成長しました。
オタクアミーゴスを結成したとき、岡田斗司夫が言いました。
「いつかこのトリオで金を儲けて、その金が元でケンカ別れとかしてみたいなあ」
みなさん、一日も早く、われわれにケンカ別れをさせてください。それが結成以来の、われわれの目標なんですから。
で、その儲けた金をどうするかって?
もちろん、古書展に注ぎ込むのです。決まってるじゃありませんか。

この時、ムービックの担当編集者だった現在の嫁さんと知り合い、結婚。
埼玉県所沢市に引っ越す。

90年代に入ってからは、当時GAINAXにいた岡田斗司夫に誘われ、パソコンゲーム「バトルスキンパニック」「エイプハンターJ」の脚本・監督をこなす。また芦田豊雄プロデュースによる、スタジオライブのビデオアニメ「新・超幕末少年世紀タカマル」のシリーズ構成・脚本を担当し、念願だったアニメ制作の仕事に携わる。同時に豊島ゆーさくと組んで「キャプテンハーレイ」を、こいでたくとは「勇者くん」(いずれもアスキー)と、漫画原作の仕事も手掛け、徐々に絵描き以外の分野に活動範囲を広げる。

92年秋、「と学会」に入会。山本弘、唐沢俊一らと出会う。またここで、GAINAXを退社した岡田斗司夫に再会。

94年春、さらに自分の本当にやりたい作品を手がけるため、事務所として有限会社ウォーマシンを設立し、パソコンゲーム「鉄甲旗艦アトラゴン」を制作。また、スタジオライブと共同でメディアミックス企画「スターピンキーQ」の展開を開始。現在、漫画版及びCDドラマ版が発売中。

なお、この時からペンネームの表記を“みんだ☆なお”から“眠田直”に変更。

☆眠田プロフィール
生年月日：1963年11月13日
出身地：東京都
URL：http:/www.sainet.or.jp/˜mindy/
E-mail：PEE02712@niftyserve.or.jp

Nao Minda

酔狂の鉄人

眠田 直

東京生まれの大阪育ち。両親から江戸っ子の「粋」を学び、友人たちからは浪速っ子の「お笑い感覚」を伝授され、非常にバランスのとれた人格が形成された。(つもり)

79年、いしいひさいちの「がんばれ!!タブチくん!!」「バイトくん」を読んで衝撃を受け、4コマ漫画家を志す。また「宇宙戦艦ヤマト」で始まったアニメブームにも巻き込まれ、中学校時代から同人誌活動を始める。その両方の趣味から、必然的にアニパロ4コマ漫画をいろいろな同人誌に描きまくり、コミケでは有名人となる。

それを読んだ芦田豊雄に才能を認められ、各アニメ雑誌に紹介してもらった事がキッカケとなり、83年末「まんがアニメック」において、漫画家として商業誌デビュー。その後、89年頃まで、主に「アニメージュ」「月刊ＯＵＴ」といったアニメ雑誌を中心に「アニパロ漫画家」として活躍。「ＭＩＮＤＹ ＬＡＮＤ」(ムービック)、「ＭＩＮＤＹマガジン」(ふゅーじょんぷろだくと) など、数冊の単行本を出す。

MESSAGE FROM AMIGOS

オタクアミーゴス誕生秘話（眠田）

「オタクアミーゴス」の起源は、94年3月の「ガイナ祭」にまで遡る事ができる。いや、より正確に言うなら、「と学会」の例会にまで遡るべきか。

「トンデモ本の世界」がベストセラーになったおかげで、一躍有名となった「と学会」だが、どうも世間的には「UFOや超常現象を否定する科学的団体」と思われているフシがある。

我々は単に、世の中に溢れる様々な「ヘンなモノ」を見せあっては楽しんでいるだけの、酔狂な趣味人の集まりなのだ。それは実際に「と学会」の例会に来てもらえればよくわかる。

（残念ながら、現在は新規会員募集をしていないが）

「トンデモ本の世界」では主に「本」だけを扱っているが、例会には変なオモチャや宗教団体のビデオ、怪文書ビラからフリーメイソンのバッジ（笑）に至るまで、ありとあらゆる「トンデモ物件」が持ち込まれているのだ。

こういう面白いモノを「と学会」内だけで楽しんでいるのはもったいないなぁ、とかねてから思っていた私は、GAINAXの主催する、アニメ・ゲームファンがみんなで温泉に一泊して、夜中楽しもうというイベント「ガイナ祭」から出演依頼を受けた時、「みんだ☆なおの怪しい部屋」という、と学会例会の出張版的な企画をやらせてもらう事にした。

（この時のゲストは作家の笹本祐一氏と漫画家のきむらひでふみ氏）

ネタは山本会長から借りた、「ユナリアス」という有名なアメリカのトンデモUFO団体のビデオや、日本の新興宗教団体の作ったSFアニメ「ミラクルサイキッカー・セイザン」などなど。

真夜中という事もあり、少々酒も入ってハイになった観客に、これらのネタはウケにウケた。「ヘンなモノをみんなで楽しんじゃおう」という我々のコンセプトは、間違っていなかったのだ。

コレに味をしめた私は、翌95年7月の第2回ガイナ祭でも、「眠田直のもっと怪しい部屋」という、更にパワーアップした企画を敢行した。この時、ゲストで出てもらったのがかの唐沢俊一。この本の中でも紹介している「ヨンガリ」「国防挺身隊」「ファイティングマン」といった爆笑ネタの連発に、観客は大ウケ。

（ちなみに「幽遊白書ファンの出ているAV」というのは、この時に漫画家の青木光恵嬢から教えてもらった。今

OTAKU AMIGOS

思うに、収穫の多いイベントだったなぁ…）

これは新しい「芸」として、もっと発展させられるのではないだろうか？

そう考えた私と唐沢は、新たなメンバーとしてオタキング・岡田斗司夫を加え、95年9月、世界初のオタク芸人グループ、「オタクアミーゴス」が誕生した。

なお「オタクアミーゴス」の名前は、ジョン・ランディスの大バカ映画（誉め言葉）「サボテンブラザース」に登場する「スリー・アミーゴス」から採られた。「オタク」というネガティブなイメージのある言葉を、「アミーゴ」という陽気なメキシカン言葉で中和しよう（笑）というのが狙いである。

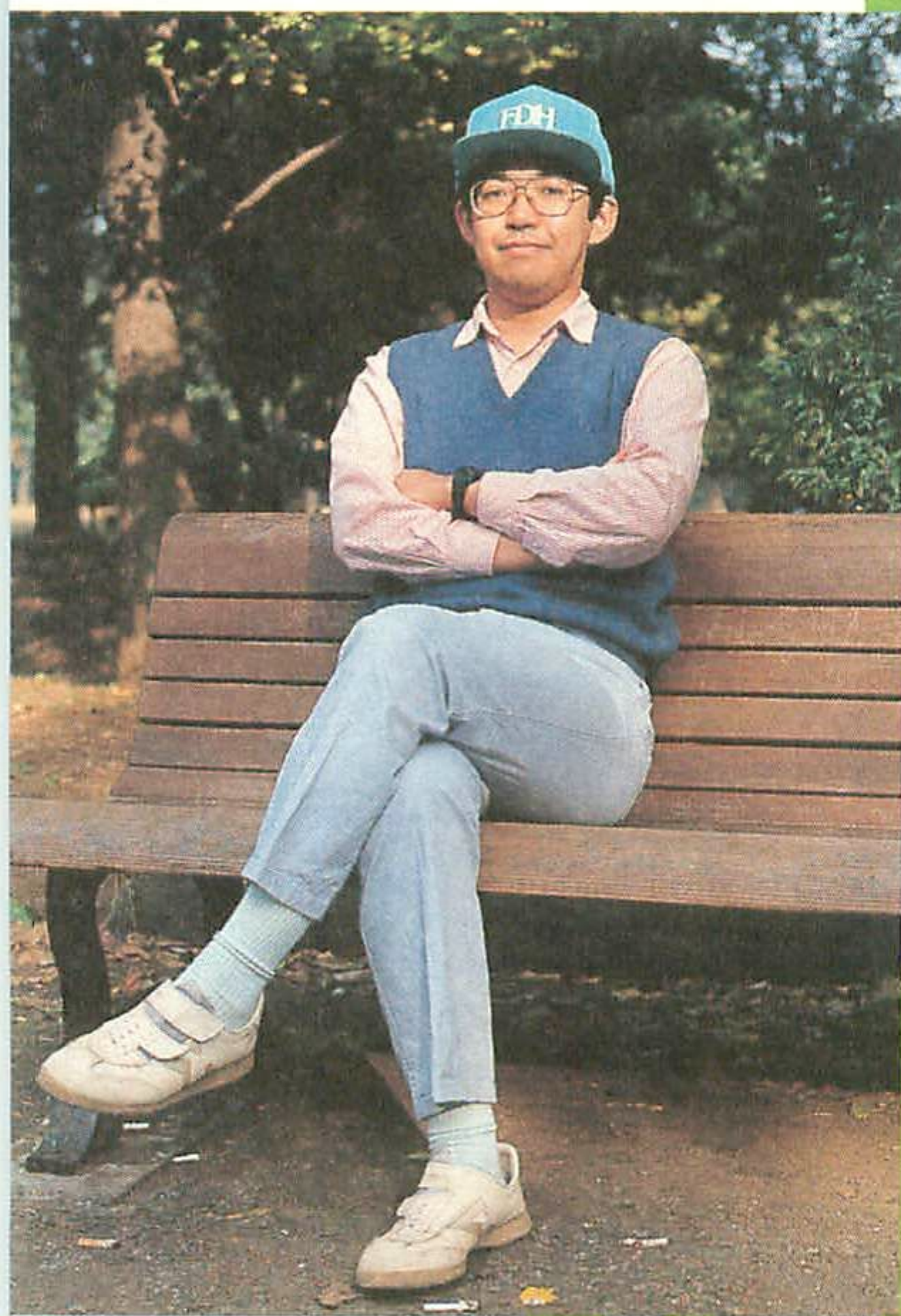
ここで「オタクアミーゴス」がやっている事の起源を更に遡るなら、それは全国各地の高校や大学、漫研やアニメ研やSF研の「オタ話」にあると思う。

こういった場所でオタク達は、普段は「ヤマト」や「ガンダム」といったマトモな作品の話題に花を咲かせているものだが、話がノッてくると「ところで、お前、ダイアポロンって知ってるか？」とか言い出す奴（それって、昔のオレだぁ）が必ず出てきて、話は自然とディープな方向へ進んでいくのである。

そこで「おい後輩、こんなの観た事無いだろ？」とビデオデッキを回し始めるともう歯止めが効かない。「クリスタル・トライアングル」や「オフィスレディ明菜ちゃん」といったカルトなビデオアニメ。「国防挺身隊」といった自主制作8ミリ映画。海外版のゴジラやヤマト。こういうレアなオタク物件というのは、ビデオの発達と共に、各地の大学やサークルを通じてジワジワと知られていったのだ。

この本は、今まで闇に隠されていたこうしたオタク達の「仲間内でヘンなモノを見て笑っちゃおう」という「秘密の楽しみ」と「思想」を、世に広く知らしめようという崇高な目的を持って制作されたのである。

いや、別に知らしめたからってどうなるってモンでもないけどね（笑）。

だから、「こうした埋もれた作品を再評価しましょう」なんてぇ堅い事は申しません。気軽に笑って楽しんでいただければ幸いです。

巻頭特集

インターネットOTAKUサイト集

世界各国の面白サイトを厳選してみました。
どんどんアクセスしてみよう!!

アダプト度
トンデモ度
50 40 30 20 10

岡：これはフランスのサイトなんですけども、フランス人も誇りが無いなあということで。もろにOTAKUって書いてますからね（笑）。これはまだ古いバージョンの方で、新しい方はちゃんとカタカナで「オタク」になってます。

唐：この書体がいいよね。

岡：これは「バンブー」っていうフォントですね。海外へ行くと、よく「SENSEI'S KARATE DOJO（先生空手道場の意味）」（笑）なんて書いてあるんですが、そういう所でよく使われてる字体です。やっぱりこう、東洋のオリエンタルなイメージっていうのが、どうしてもまだ抜けきらないんですよ。その辺をわかっているところは、だんだんゴシック体みたいな、普通のフォントに徐々に変えてますけどね。

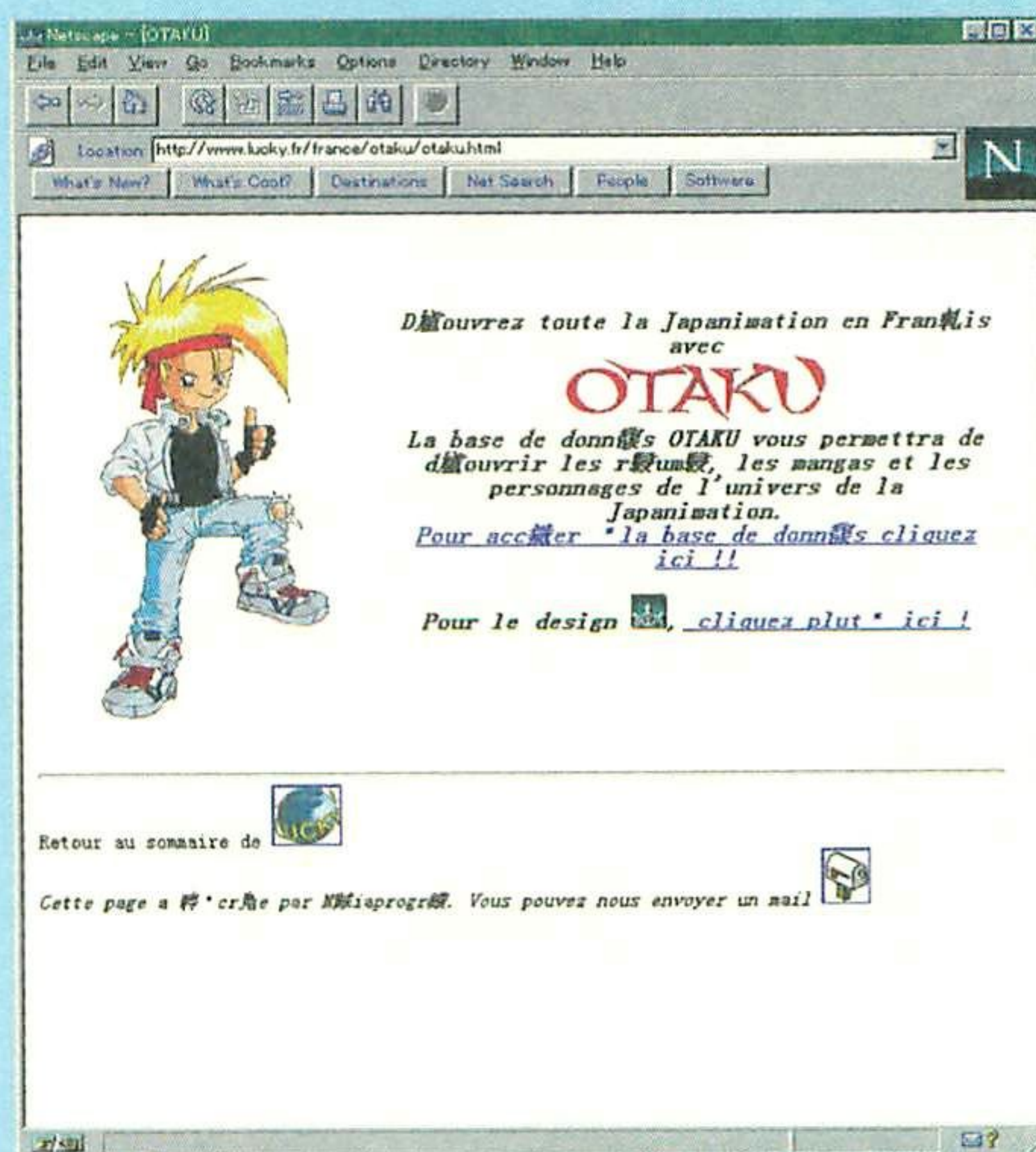
唐：なるほど。50年代ハリウッドなんだなあ、未だ向こうでの日本のイメージのモトは。

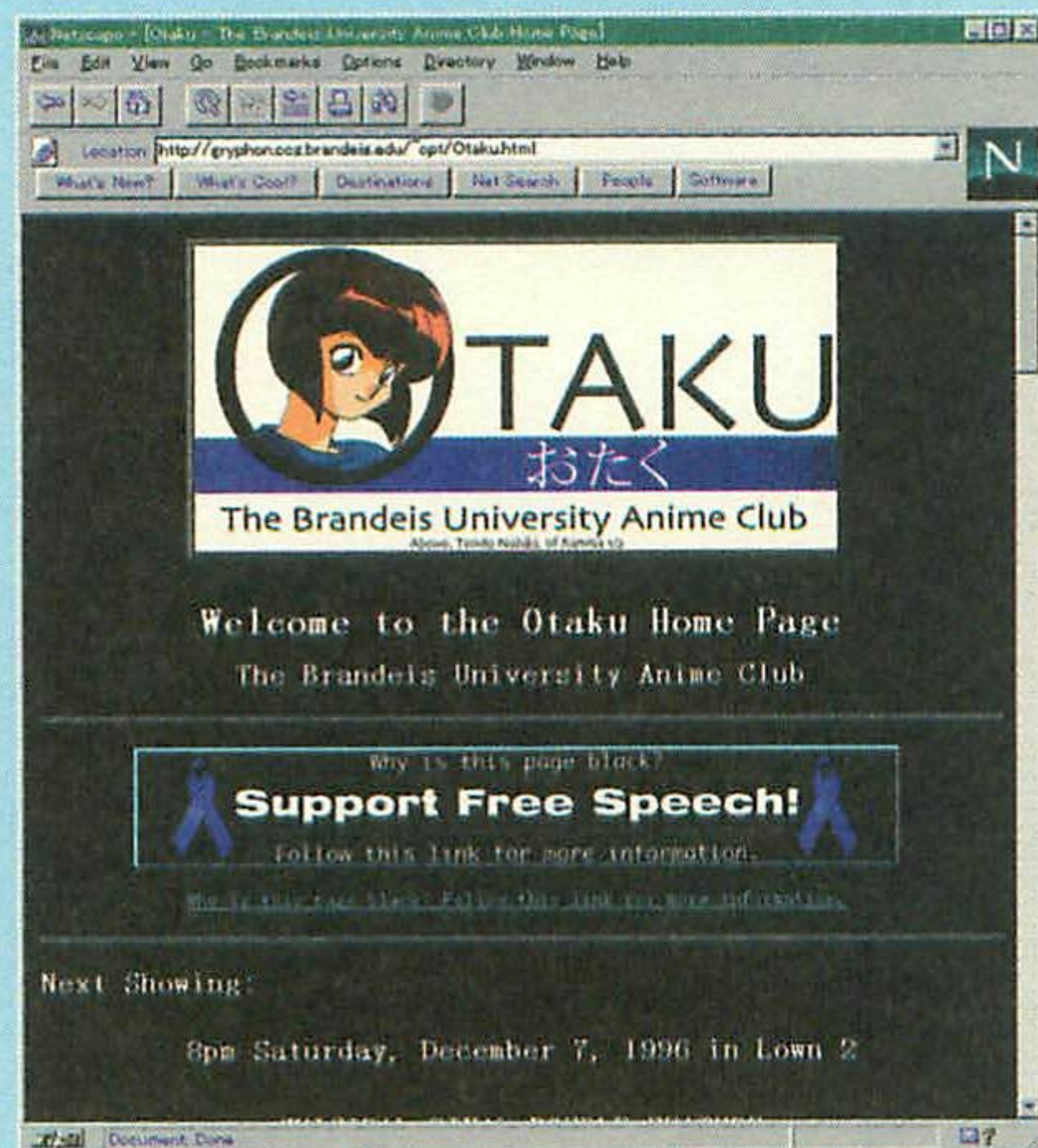
Netscape - [OTAKU]
Location: http://www.lucky.fr/france/otaku/otaku.html

OTAKU

Retour au sommaire de

1 http://www.lucky.fr/france/otaku/otaku.html

巻頭特集
インターネットOTAKUサイト集

岡：これはドイツです。いきなり「銃夢」ですね。「銃夢」みたいに、美少女で筋肉があって、アクションやバイオレンスが多い作品っていうのは、フェイバリットですよねぇ。
唐：僕がドイツに行った時に、ベルリンの漫画書店に行ったら、日本の本のコーナーができてて、コレがまたスゴい。ドイツ人が描いたやたらオタクな時代劇とかあって…。
岡：ああっ、それ見たい！
唐：だからドイツは、今後オタク分野が発展する国じゃないかなと思いますね。

2 http://osf1.gmu.edu/~jweston/otaku/otaku.html

唐：これはちゃんと平仮名で「おたく」って入ってますね。
岡：ええ。ブランディーズ大学のアニメクラブです。とにかくよく整理されてるページなんですよ。だからココは、面白いというより「ブックマークに入れておいて損は無い！」というサイト。
眠：ブランディーズ大学って、アメリカですか？
岡：そうそう。オレ、こういうの覗いてて、アメリカの無名の小さな大学の名前、ずいぶん覚えましたよ（笑）。

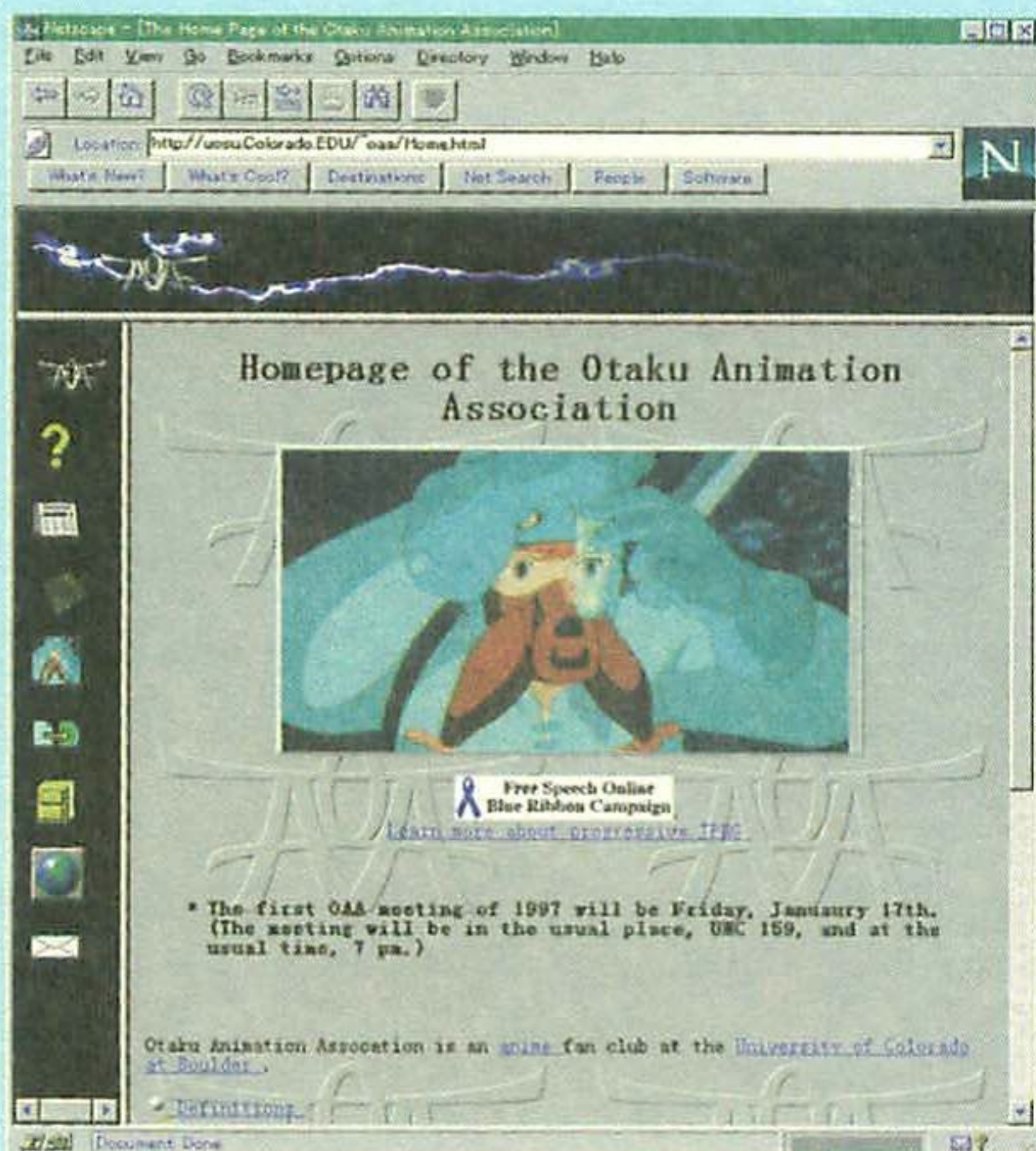
3 http://gryphon.ccs.brandeis.edu/~cpt/Otaku.html

岡：この大学もオタク度高いです。コロラド大学の、オタクアニメーションアソシエーションのページ。これは「風の谷のナウシカ」ですね。

唐：だいぶ日本とタイムラグありますね（笑）。

岡：いや、向こうの人達って、一度ある作品を好きになると、なかなかその嗜好が変わらないんですよ。

唐：ああ、だから「スタートレック」なんかも延々続いてるのね。

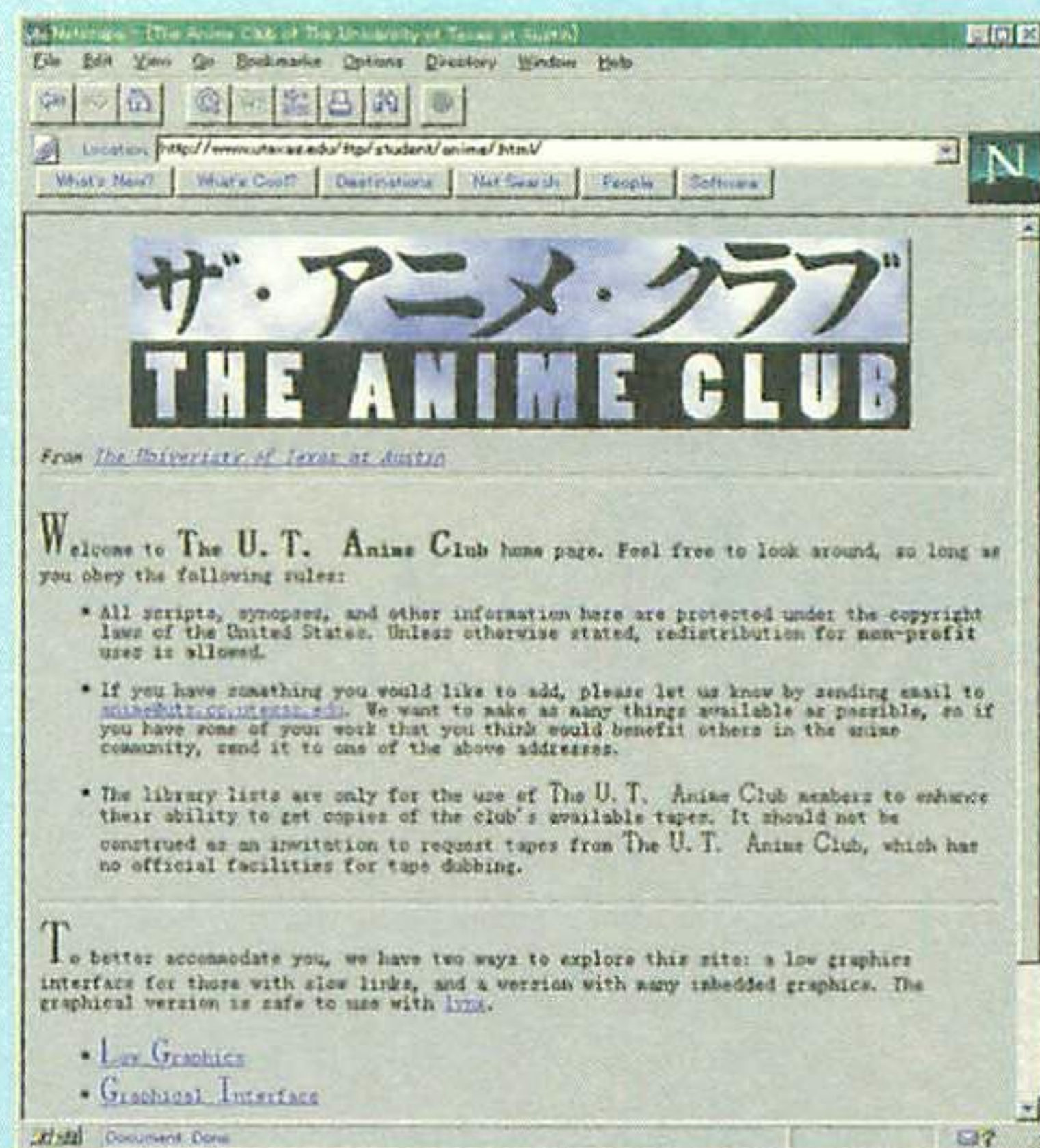
4 http://ucsu.Colorado.EDU/~oaa/Home.html

岡：「ザ・アニメ・クラブ」です。これ、本当は「ザ」でなくて「ジ」ですよね（笑）。どう考えても。

唐：ああ、なるほどなるほど。これは我々日本人の方が、よく間違えて訂正されるところなんだけど。

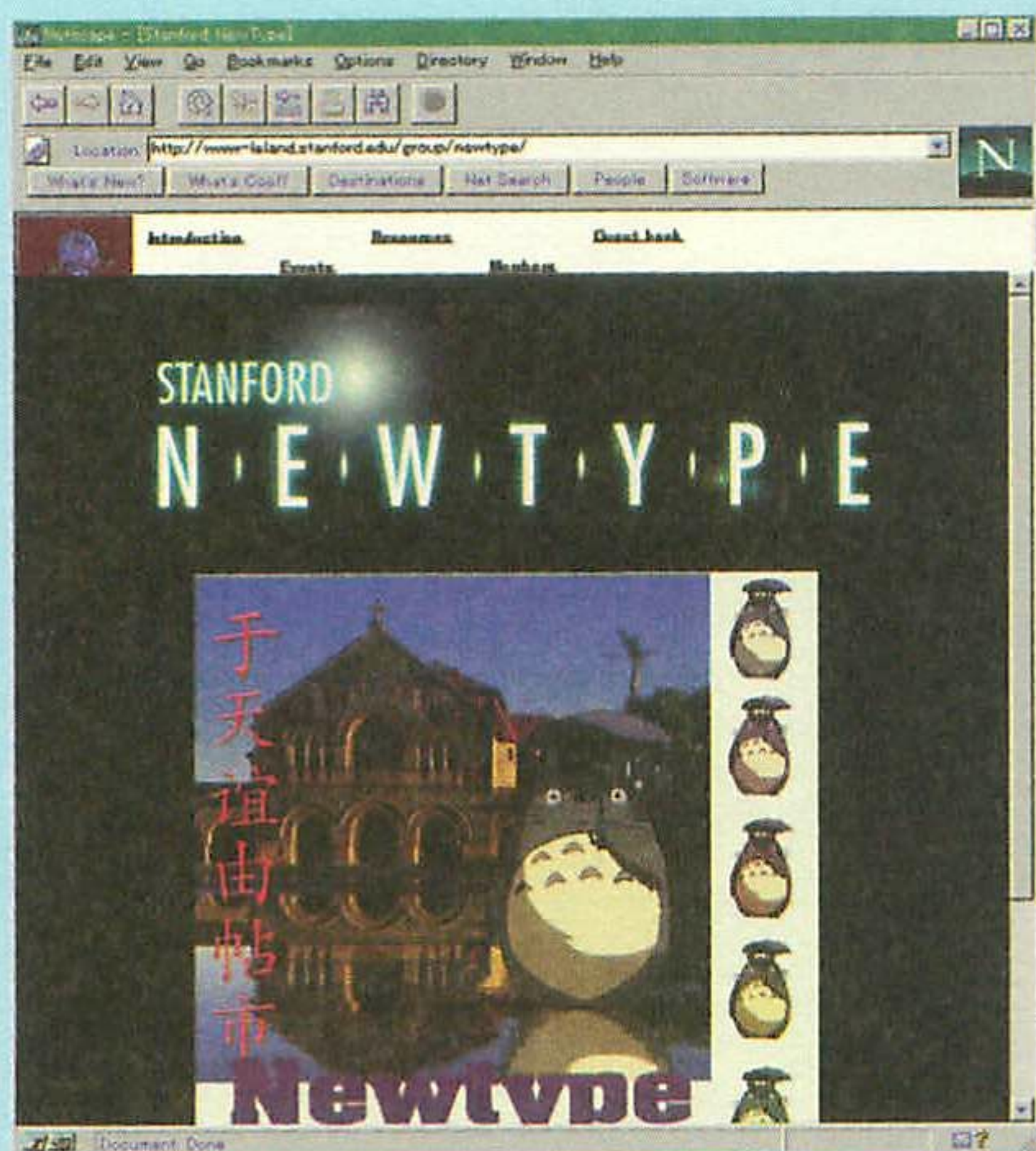
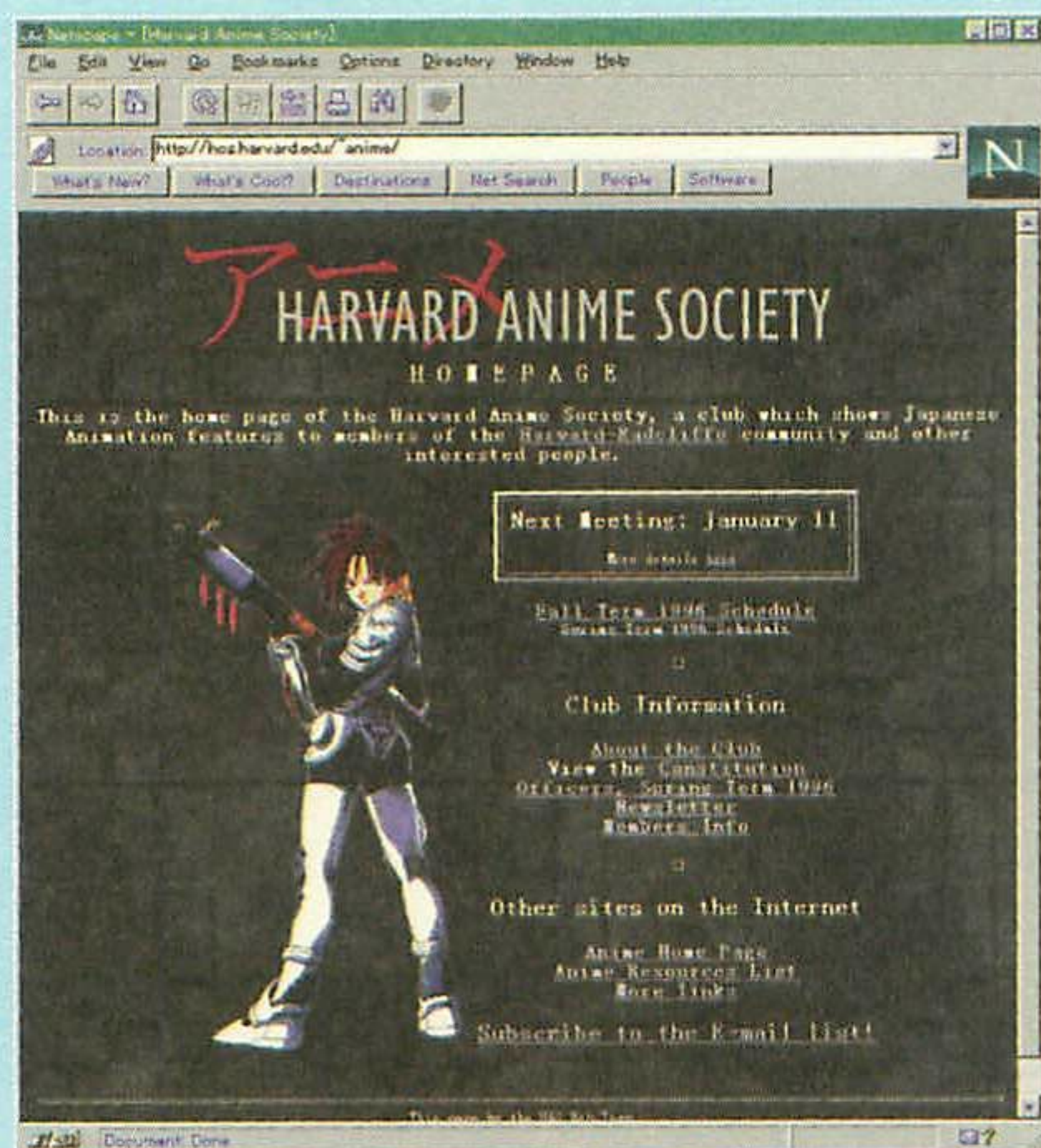
眠：だからジャパニーズ英語風に、わざとやってるんじゃない？

岡：うーん、その可能性もあるけど。でも、前に「アニメ・アメリカ」っていう雑誌があったんだけど、その時も「ザ・アニメ・アメリカ」だったんだよね（笑）。で、二カ月後に「ジ・アニメ・アメリカ」に訂正されてたっていう恥ずかしい話があって。

眠：でもなんでアメリカ人が「ＴＨＥ」の読み方を間違えるんだろう？ ↗

5 http://www.utexas.edu/ftp/student/anime/html/

↘ **唐**：だから、「ＴＨＥ」は日本語で「ザ」と読むんだっていう風に覚えちゃってるんじゃない？

6 http://www-leland.stanford.edu/group/newtype/

7 http://hos.harvard.edu/~anime/

岡：これはスタンフォード大学の、「ニュータイプ」という名前のアニメクラブのホームページです。自分とこの大学の、格調ある建物にトトロを合成してます。

眠：スタンフォードっていったら名門ですよねぇ。

岡：もう、名門中の名門ですよ。こっちなんかハーバード大学のです。

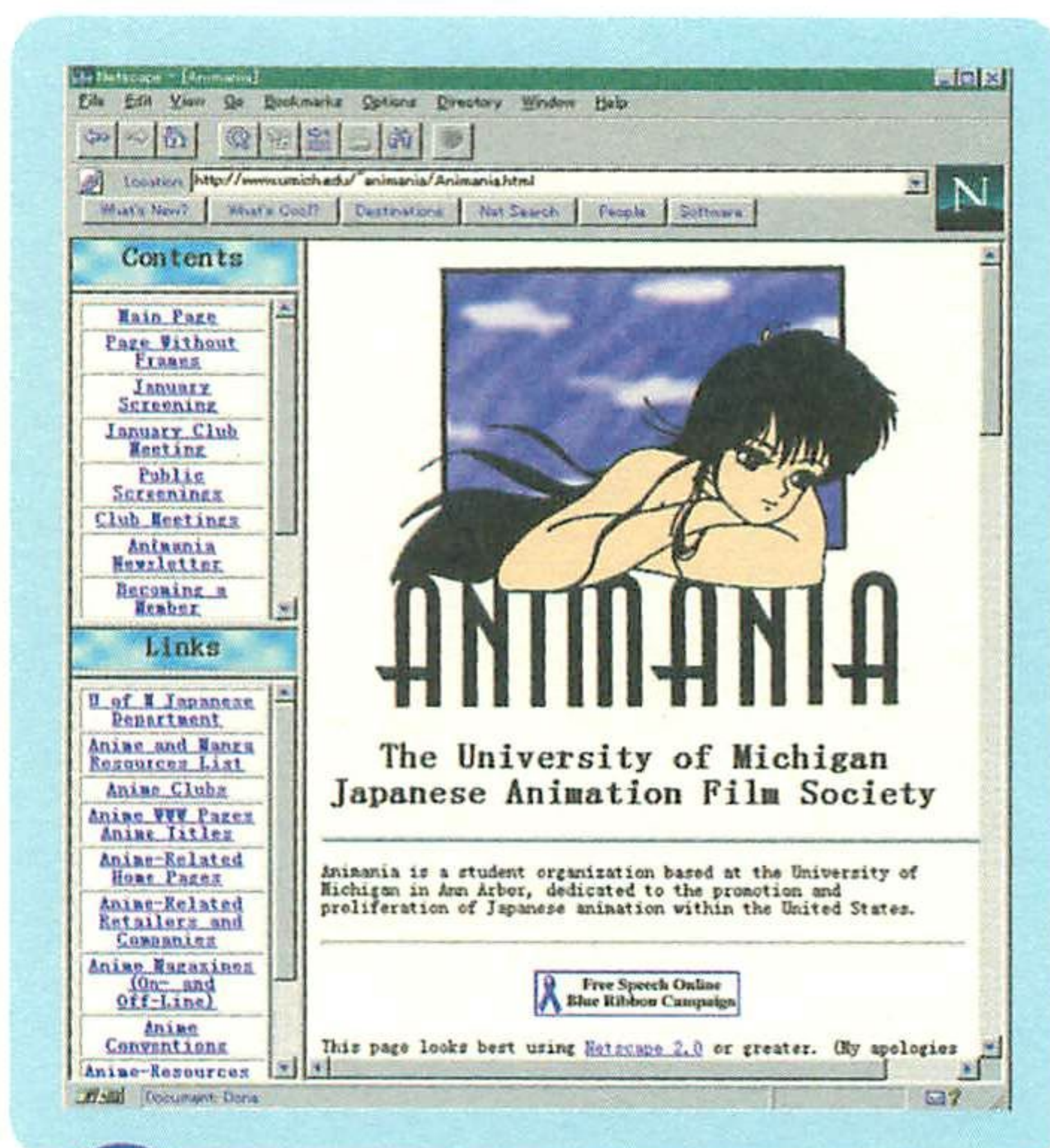
眠：くー、ハーバード！

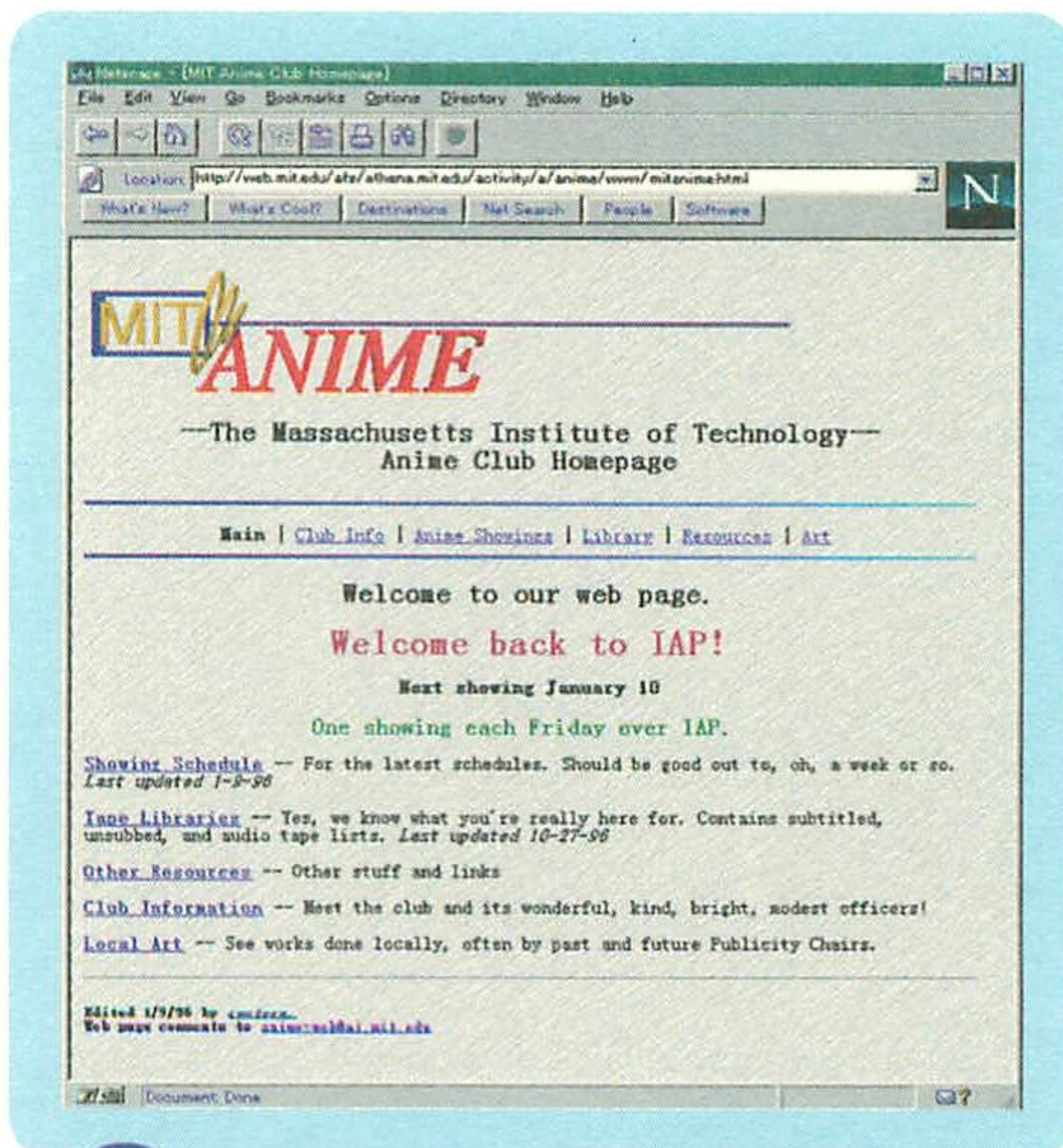
唐：将来、こういうクラブに入ってる奴の中から、大統領が出るかもしれないワケですね（笑）。

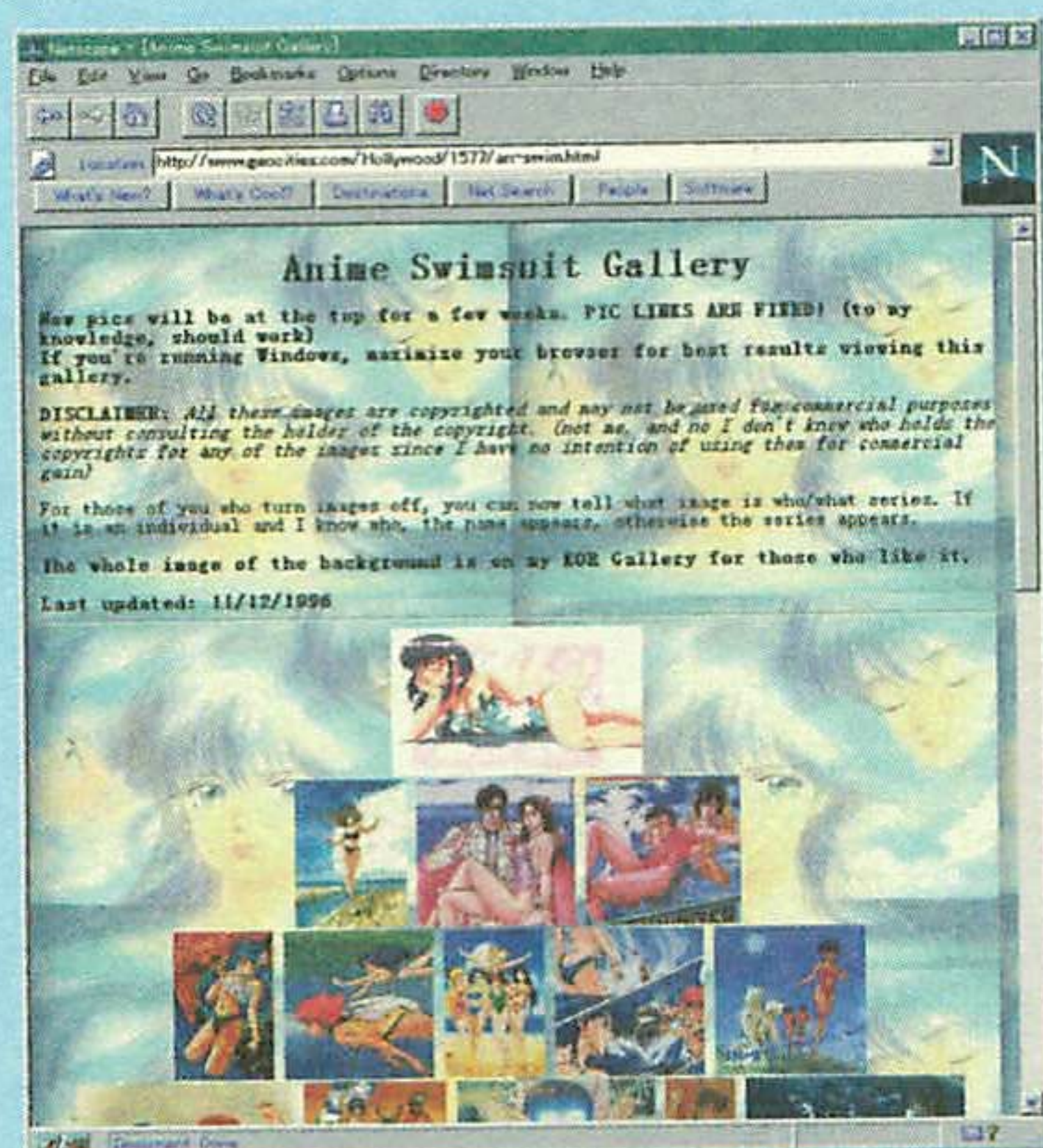
岡：でもね、中身を覗くと、絵が下手なんですよ。偏差値高い大学はたいがい絵が下手でね、逆にカリフォルニアの名も無い駅前大学みたいな所の方が絵は上手い。

唐：ああ、東大の野球部が弱いようなもんですね（笑）。

唐：この絵はいったい何ですか？
岡：これはたぶん、まつもと泉の…。
唐：ああ、「きまぐれオレンジ★ロード」を模写しようとして失敗したんですね（笑）！
岡：これは「アニマニア」っていう、アメリカのアニメサークルらしいんですけど、所属はよくわかんないです。

8 http://www.umich.edu/~animania/Animania.html

岡：「ミット・アニメ」、かのマサチューセッツ工科大学ですね。
唐：さすがにこの、絵が無いところがいかにもマサチューセッツ工科大ですね。
岡：いや、これはトップページだから絵が無いんで、中に入るといろんな画像が入ってるんですよ。
唐：ああ、そうなのか。てっきり「アニメにおけるメカの考証」とか、難しい話ばかりのページなのかと思った。
岡：理系の大学の上手いところは、最初のページは文字だけで軽くして、第二階層から絵をバーッと入れるんですよ。

9 http://web.mit.edu/afs/athena.mit.edu/activity/a/anime/www/mitanime.html

岡：「スターブレイザー」のホームページ。海外版の「宇宙戦艦ヤマト」ですね。
眠：これは外国人の作ったページですか？
岡：ええ、アメリカのですね。でもちゃんと「ＹＡＭＡＴＯ」って最初に書いてある。偉い！ここは「アメリカ版ではストーリーが変更されちゃったけど、オリジナルの日本版ではこんな話だったんだよ」とか、アメリカのヤマトファンにとっては貴重なマニアック情報が満載されてます。あとは「ヤマト」のキャラクターを使ったオリジナルの短編小説とかが載ってますね。
唐：それはいわゆる「やおい」小説（笑）？
岡：いや、アメリカにも「やおい」はありますけどねぇ、「やおい」は「やおい」専門のグループに入っちゃってて、それはココとは別なんです（笑）。

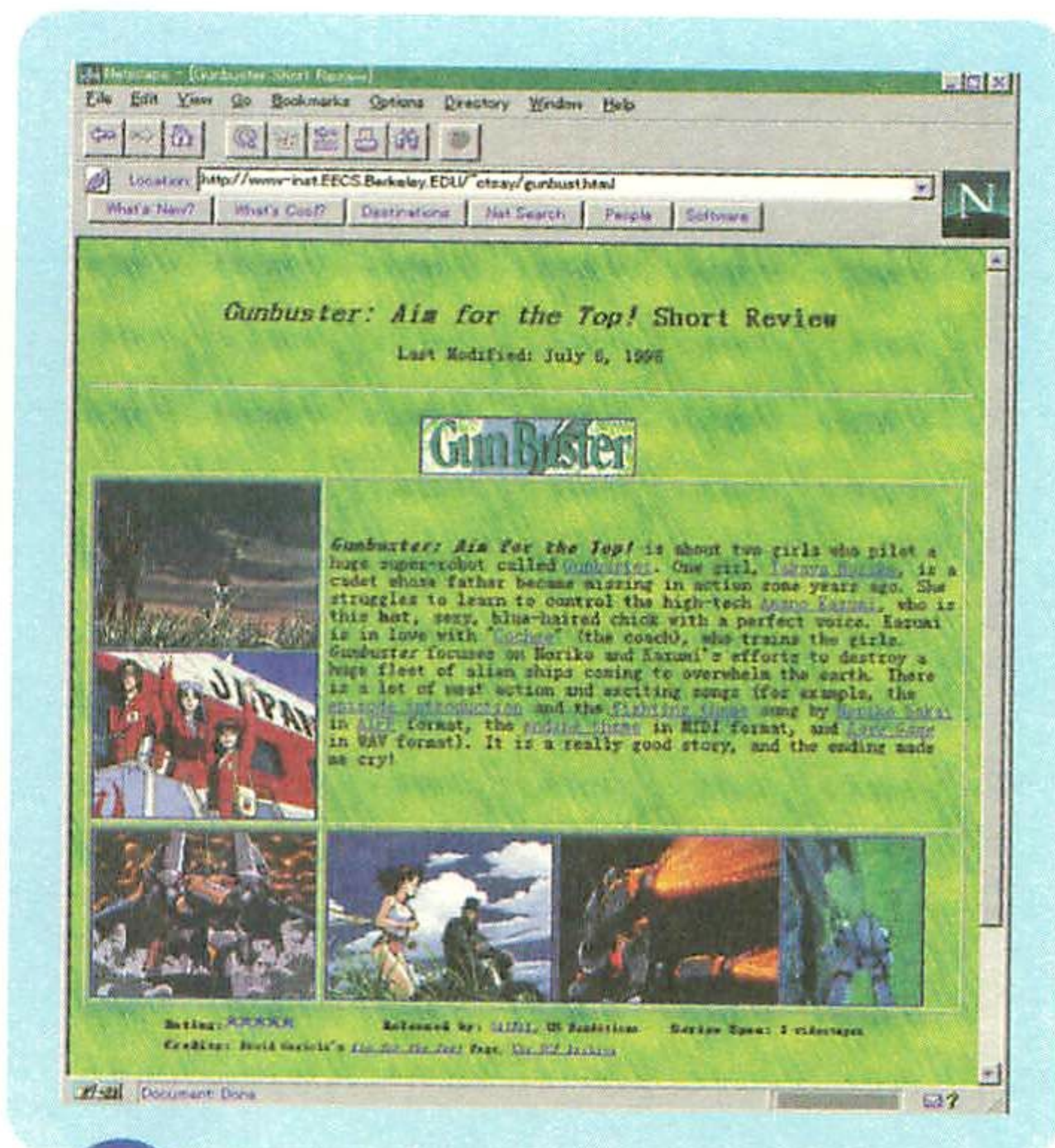
10 http://www.rose-hulman.edu/~scroggkw/Yamato/yamato.html

岡：これはアメリカのマニアックなお兄さんが作った、「アニメ・スイムスーツ・ギャラリー」という、水着の女の子のスキャナー取り込み画像ばっかり載せてるページです。まぁこういうのが、ホームページの本来あるべき姿ですよね（笑）。
唐：そうですね。覗いて楽しいというやつだな（笑）。
岡：ただねぇ、このページ、絵が多いからとにかく重い！　全部表示されるまでに、お湯沸かしてゆっくりと紅茶が一杯飲める（笑）。

11 http://www.geocities.com/Hollywood/1577/an-swim.html

岡：これは「トップをねらえ」のファンのホームページ。日本では著作権の絡みでこういうページが作れないんだよ。こんなに写真を載せられないから。すごく綺麗なページでしょう。まるで絵本みたい。

眠：この画像は、何から取ったんでしょうね？

岡：これは「トップ」のフィルムブックから。

12 http://www-inst.EECS.Berkeley.EDU/~ctsay/gunbust.html

岡：これはコロンビア大学の少女漫画のホームページですね。

眠：すごいですねー！　少女漫画って、あまり英訳されてないでしょう？

岡：この人は自分で英訳してるの。

唐：コレは日本から漫画本を輸入してるわけですか？

岡：いや、そうじゃなくて研究目的。自分の修士論文書くための。

唐：ああ、大学の研究費使ってやってやがるワケだ。

岡：そうそう。それもねえ、聞いた事も無いような少女漫画まで載ってるんですよ。かなりマイナー系の作品まで押さえてる。

13 http://www.columbia.edu/~mt52/home.html

14 http://soyokaze.biosci.ohio-state.edu/%7Ejei/anipike/cons.html

Netscape - [Anime Web Turnpike: Anime Conventions]
File Edit View Go Bookmarks Options Directory Window Help
Location: http://soyokaze.biosci.ohio-state.edu/%7Ejei/anipike/cons.html
What's New? What's Cool? Destinations Net Search People Software

AniPike
Add A Link? Go!
Anime Conventions

Anime Conventions

- Anime America '97 (San Jose, California) [7/31/97-8/3/97]
- Anime Central '98 (Chicago, Illinois) [4/3/98-4/5/98]
- Anime Expo '97 (Los Angeles, California) [7/4/97-7/6/97]
- Anime Express (Daytona Beach, Florida) [4/25/97-4/27/97]
- AnimeFEST! 98 (Dallas, Texas) [11/4/98-11/7/98]
- Anime North (Toronto, Ontario) [8/9/97]
- Anime Weekend Atlanta (College Park, Georgia) [11/1/96-11/3/96]
- Convention Anime! (Ottawa, Canada) [March 97]
- Facts V (Belgium) [10/6/96]
- Fanime Con '97 (San Jose, California) [3/8/97]
- Far East Expo (Unofficial Homepage) (New Jersey) [1997]
- Kame Hame Con (Las Vegas, Nevada) [Fall 97/Spring 98]
- KatsuCon 3 (Virginia Beach, Virginia) [3/7/97-3/9/97]
- Otakon '97 (Baltimore, Maryland) [8/8/97-8/10/97]
- Otakon Doom
- Project A-Kon 8 (Dallas, Texas) [5/30/97-6/1/97]
- Project A-Kon Bulletin Board
- Robocon 10
- Shinnenkai '97 (Heathrow, England) [1/3/97-1/5/97]

Conventions with Anime Rooms/Programming

- ArlingCon '96 (Arlington, Texas)
- ChibiCon Returns (Stony Brook, New York) [4/4/97-4/6/97]
- Cubicon '96 (Dearborn, Michigan)

Document: Done

岡：これはオハイオ州立大学のアニメページですが、ここのリストが便利なんですよ。世界中のアニメコンベンションの情報が載ってる。で、このアニメコンベンションの一覧表をクリックすると、ちゃんとそこのホームページへ飛ぶようになってる。

唐：じゃあ岡田さんはそれを見て、「俺をゲストで呼べ」とかメールするワケですね。

岡：そうそう（笑）。

眠：アニメコンベンションというのを一応説明しときますと、ホテルやコンベンションセンターを借り切って、上映会↗

↘やったり、声優さんをゲストに呼んだり、セルの塗り方教室なんかもあるイベントなワケです。でもそれが全米や世界各地で、こんなに開かれてるとはちょっと驚きです。

岡：なおかつここに載ってるのは、大規模なコンベンションだけです。この下にまた小さなイベントがたくさんあります。例えば、映像系のコンベンションの中で、アニメーションの日がある物を含めたリストもこの下についてて、更にその下には、ＳＦ大会の中で「アニメの部屋」というのがあるようなのまで網羅してる。だからそんなのまで全部合わせると、ほとんど毎日どこかでアニメイベントが開催されてるワケですね。

眠：あっ！　よく見ると「クロアチア・アニメコンベンション」なんてのがある。クロアチアって今､アニメのイベントが開けるくらい平和になったんでしょうか？

岡：いやいや。戦火をくぐって…。

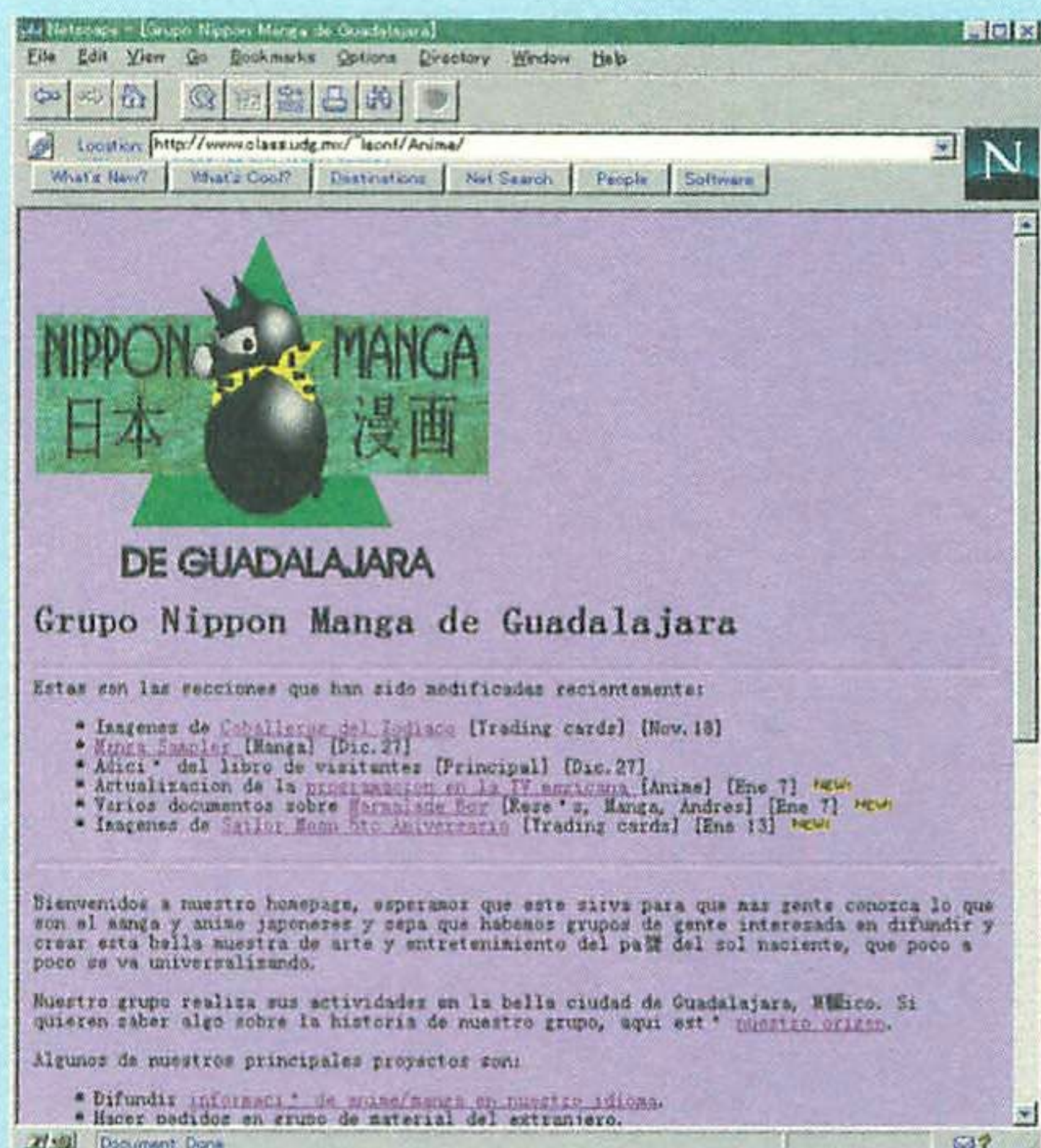
眠：みんなで「装甲騎兵ボトムズ」とか観る。

唐：シャレにならんぞ（笑）。

岡：これはメキシコの「日本漫画」のホームページですね。

眠：この「DE　GUADALAJALA」のレタリングが、なかなかメキシコしてますね。

唐：オレは逆に今、メキシコの漫画を集めてるんだけどね。特にメキシコのエロ漫画っていうのが脳天気度高くて面白いんですよ。いずれオレがホームページでメキシコエロ漫画紹介やって、ここととリンクすればいい文化交流になるね（笑）。

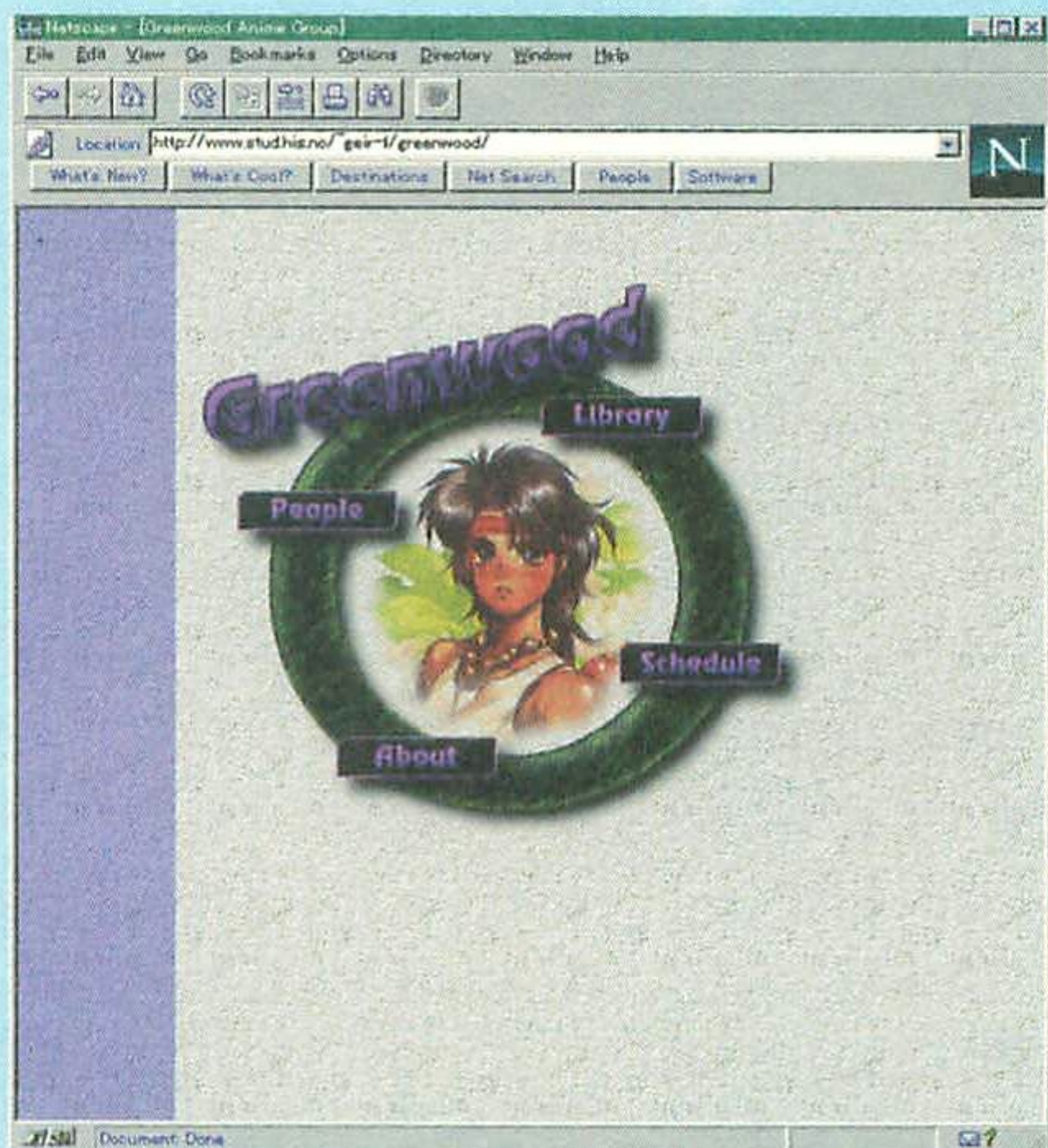
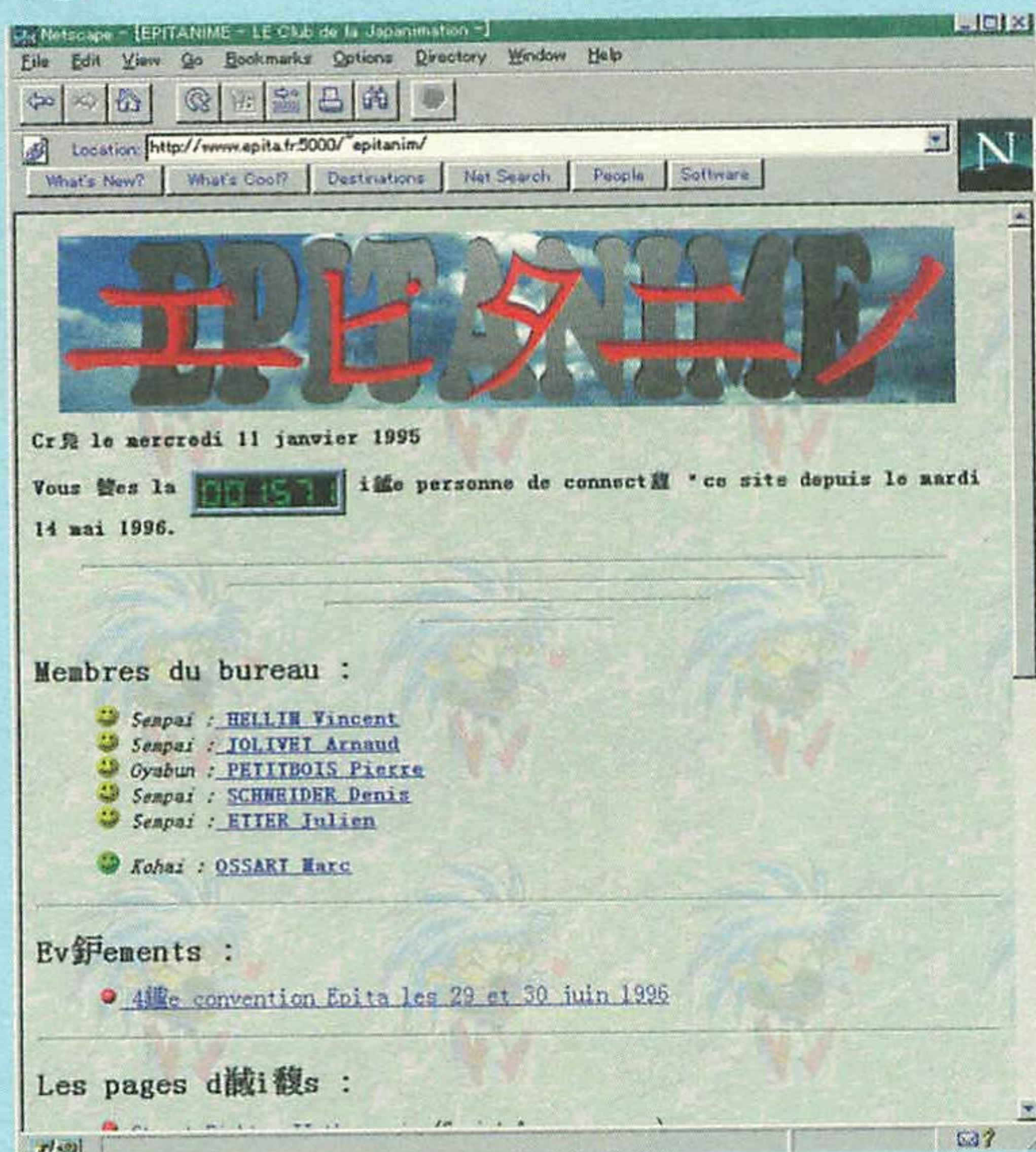
15 http://www.class.udg.mx/~leonf/Anime/

岡：これはノルウェーのページ、「グリーンウッド」。

唐：白夜の国の長い夜、退屈まぎれに日本のアニメを観たりしてるワケですな。

岡：そうそう。このスタッフってトコをクリックすると、メンバー全員の写真が出てくるんだけど、もうみんな北欧系の線の細い、来月にも風邪ひいて死んじゃいそうな感じの奴ばっかりで。

唐：ああ、太陽の光をあんまり浴びずに育った感じね。

16 http://www.studhis.no/~geir-f/greenwood/

17 http://www.epita.fr.5000/~epitanim/

↘訳版なんて、もっとヒドいのかもね。
唐：そうそう。昔のアニメの中に出てきた英語って、必ず間違ってた。「ルパン三世」の中で、レストランを「ＲＥＳＵＴＯＲＡＮ」ってローマ字で書いてたし、「銀河鉄道９９９」では、ステーションを「ＳＴＡＳＹＯＮ」とかって書いてたもの（笑）。
眠：「銀河漂流バイファム」ではウェルカムの綴りが間違ってたし…。

岡：これはフランスのホームページですけど、無理してカタカナ書いてる。「エピタニメ」というのは、エピ・アニメの事なんですけども、無理矢理一語にしちゃったから、奇妙な日本語になっちゃった（笑）。
眠：こういう「外人の勘違い」的味わいが、最近はどんどんインターネットの世界から無くなってきちゃってるから、こういうのはこのまま残しておいて欲しいですね。
岡：うん、「芸」としてね。
眠：でもオレたち、こういうの見て笑ってるけど、日本のホームページの英↗
あと、アメリカ人によく言われるのは「緊急警報」のシーンでよく使われる、アラート「ＡＬＥＲＴ」の綴りが間違ってて、「ＡＲＥＲＴ」になってるのが多いらしい。
岡：知人の記者が「ダーティペア」っていうタイトル聞くと笑うんだよね。なぜかと言うと、向こうでは「ペア」には、オッパイの意味があるんだって。だから「汚いオッパイ」っていう題で、可愛い女の子２人がポーズ取ってるもんだから、「いったいどんなアニメだ？」っていう事になっちゃうワケ。
唐：そりゃ、笑うわなあ（笑）。

18 http://www.primenet.com/~gridman/toku.htm

岡：「アニメ」「オタク」に続き、「トクサツ」も今や世界に通用する日本語になりつつあります。その証拠みたいなページですね。で、基本的には「パワーレンジャー」とかの戦隊モノが好きなのかなあと思って覗いてみたんですけど、ちゃんと「仮面ライダー」あたりからフォローしてますね。やっぱり、アメリカでも「濃い」マニアから見ると、「パワーレンジャー」みたいなのは邪道らしいです。「仮面ライダーＢＬＡＣＫ」とか「ＲＸ」が本道。

眠：「仮面ライダーＢＬＡＣＫ」も、アメリカで放映されてるんですよね。

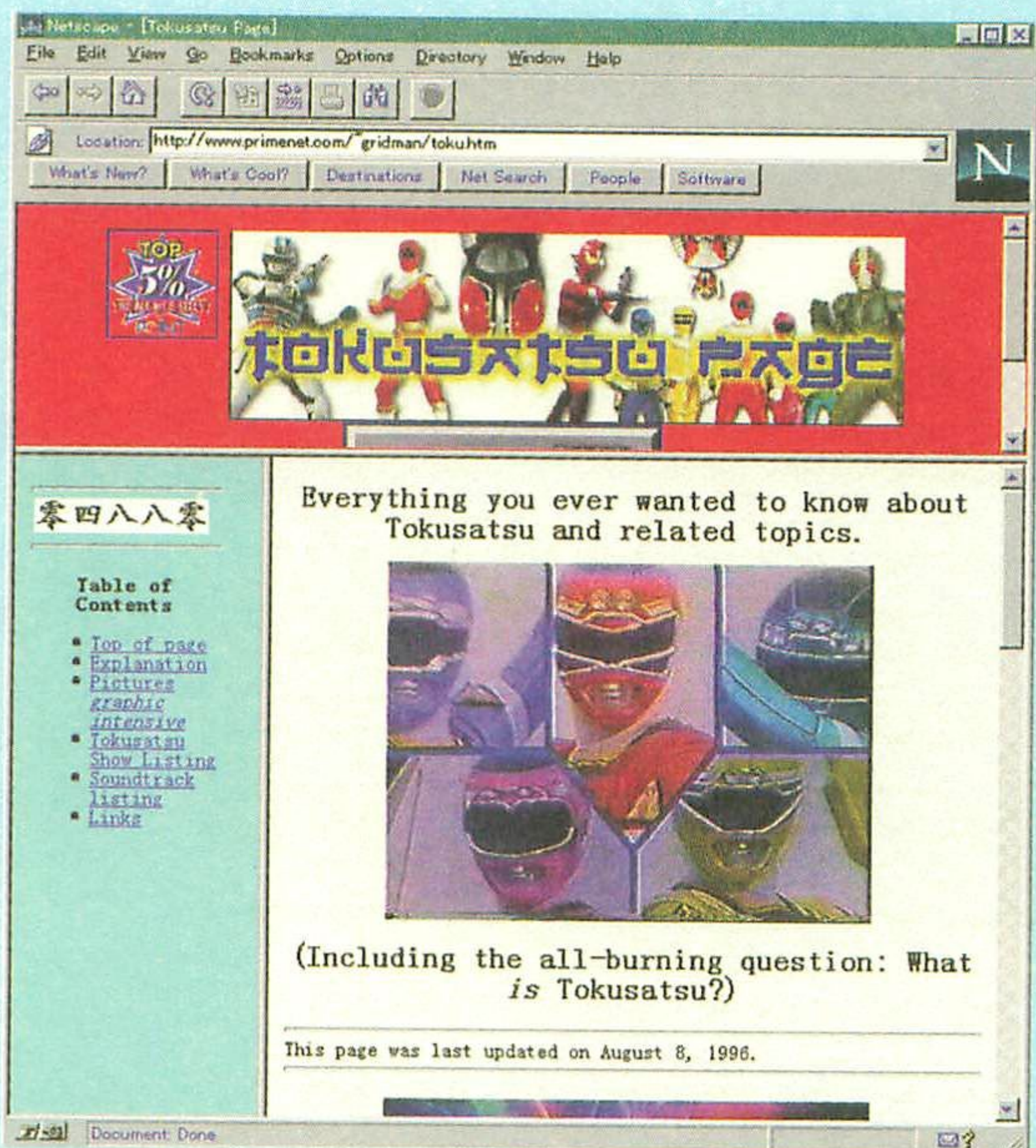
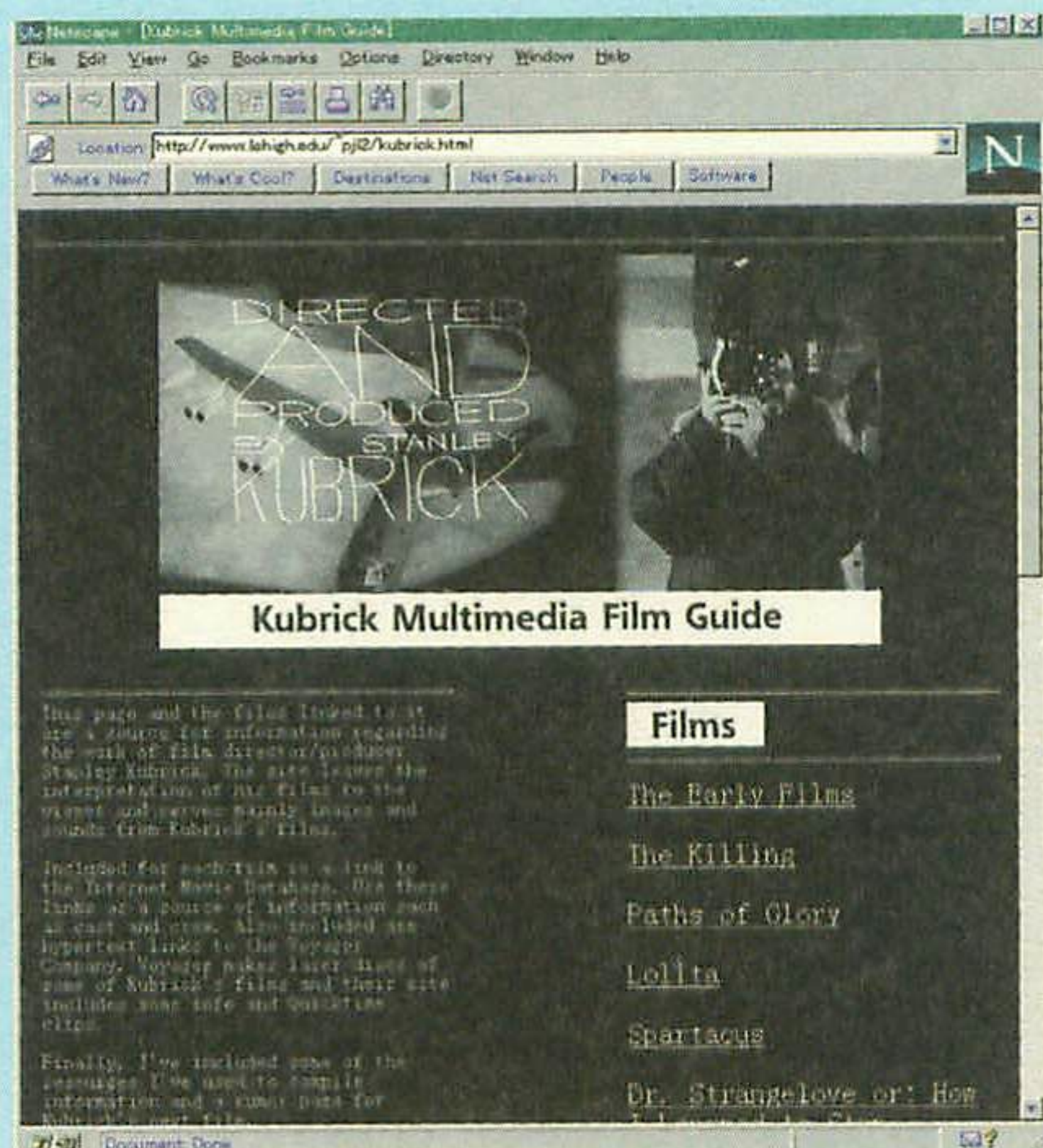
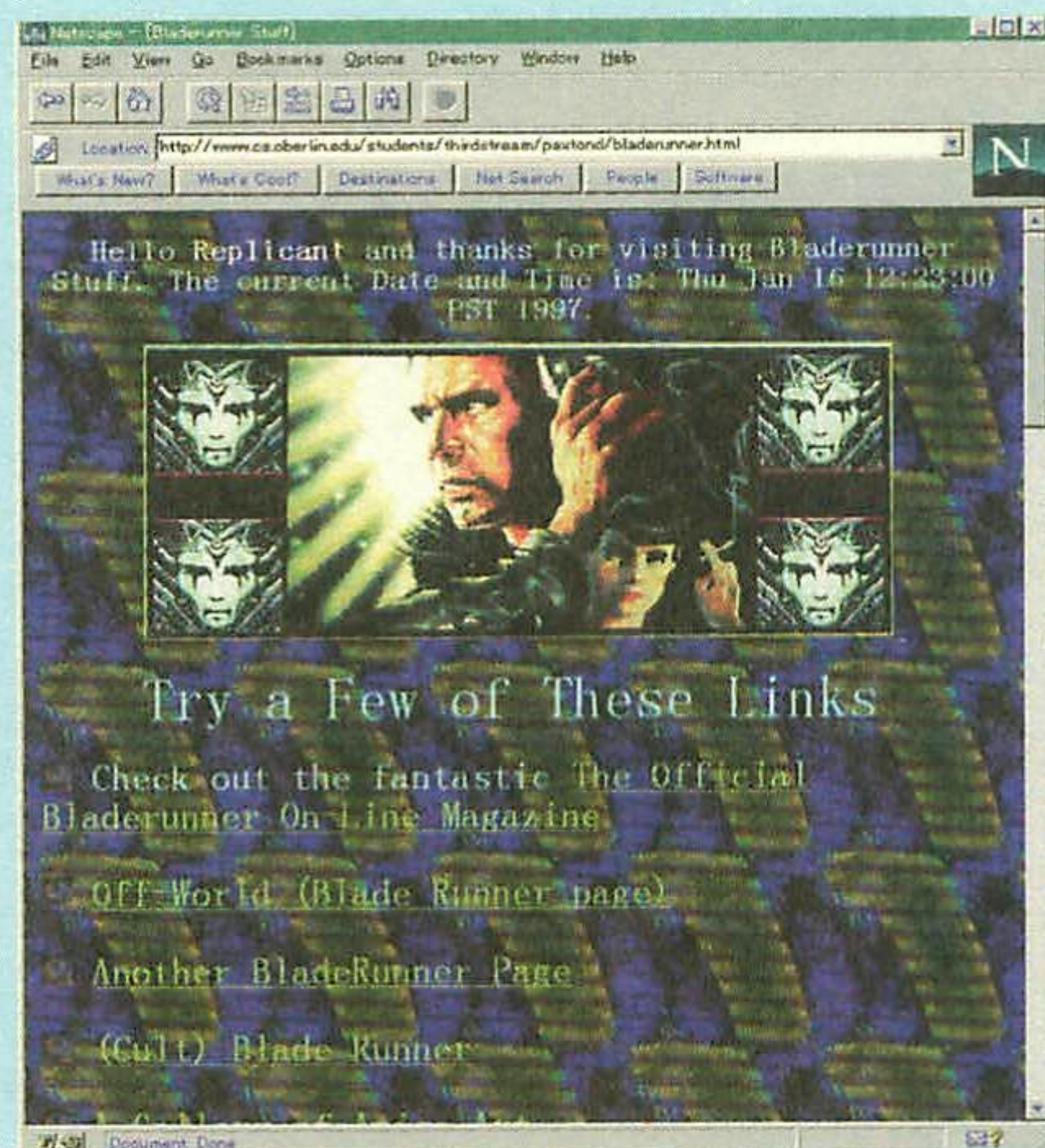
岡：ただアメリカ全土で見ると、放映してる州としてない州があるから。あと、最近ケーブルＴＶでの視聴者が多いし、「見てる人」と「見てない人」が、かなり分かれちゃってるんですよね。だからインターネット上で「見た見た！」って人が集まるようになってるんですよ。

唐：昔は「アメリカで大人気！」とか言っても、せいぜいハワイにいる日本人向けに放映されてただけだったのにね。

岡：「宇宙戦艦ヤマト」も、放映はハワイとカリフォルニアだけだったそうだし。

眠：ただ、アメリカの友人に送ってもらったテレビ番組のビデオを見たら放映してない地域でも、仮面ライダーのオモチャのコマーシャルは流れてたりするみたい。だから、番組自体は観れなくても、キャラクターだけは結構普及してたりするようですね。

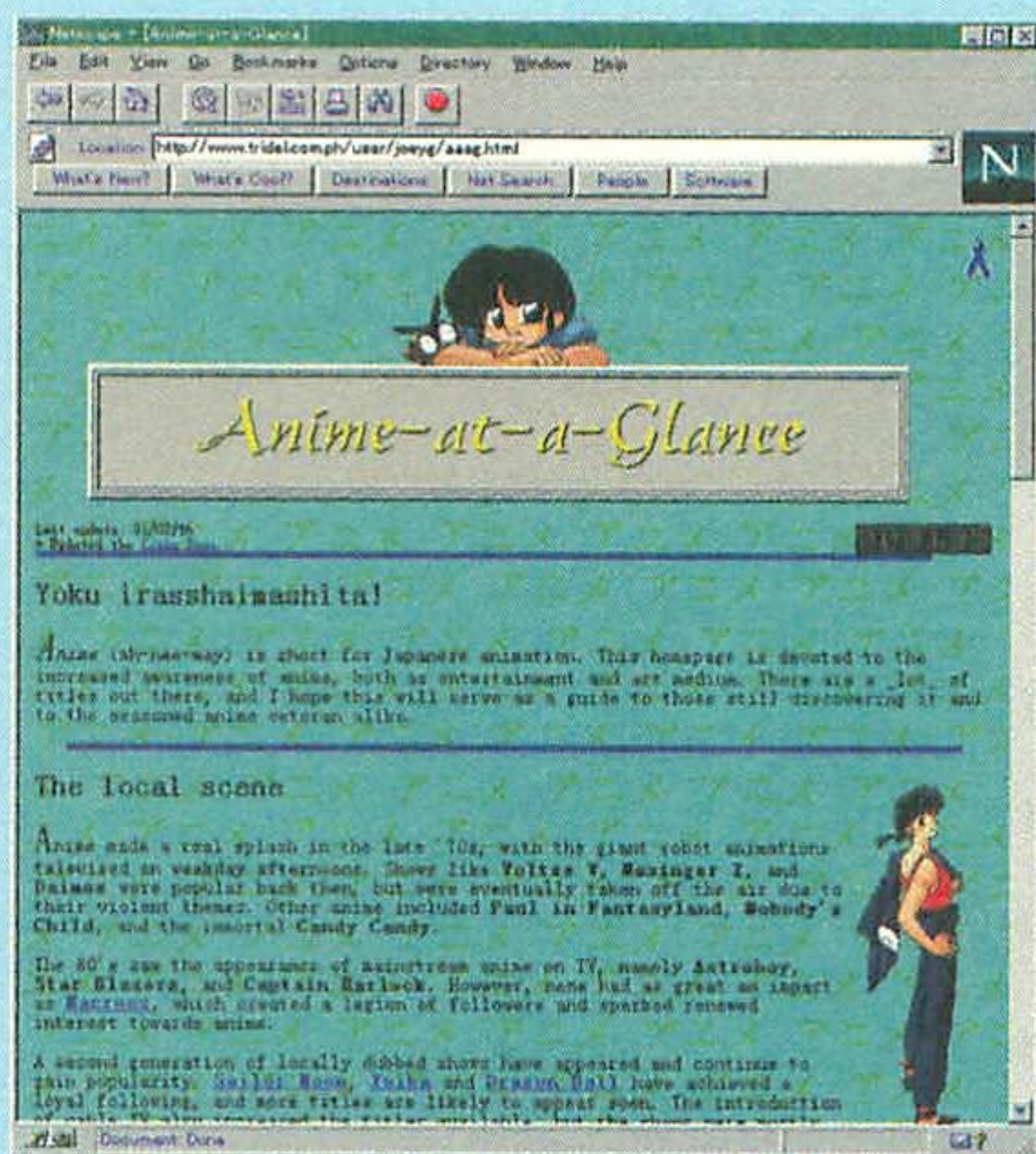
19 http://www.lehigh.edu/~pjl2/kubrick.html

20 http://www.cs.oberlin.edu/students/thirdstream/paxtond/bladerunner.html

岡：スタンリー・キューブリックのフィルムガイドです。
唐：これは「博士の異常な愛情」のタイトルの字体でデザインされてるね。
眠：センスいいなぁ。
岡：ここは便利な所で、キューブリックの新作の情報とかも出てるんです。現在、新作２本が準備中で、一本はサスペンス系のロマンス。もう一本が「ＡＩ」っていう、地球の温暖化で氷冠が融けてしまって、大半の都市が水没してしまった状況で、人工知能がどうのこうのという話で、もう十年も前から準備してるんですよ。それに関して、「やっぱりアレは中止になった」とか、そういうインタビューも載ってたり。
唐：やっぱりキューブリックの「宇宙戦争」が見たかったな。「ＩＤ４」みたいなパクリじゃなくて。
眠：これはファンが運営してるんですか？
岡：ええ、公認ファンクラブのページですね。だから、いろんな未公開情報があるんですよ。「２００１年宇宙の旅」の未公開写真なんか、ココでしか見れない。同じようなタイプのサイトでは、「ブレードランナー」の未公開情報ばっかり集めたページもあって、こういうのは貴重です。

岡：フィリピンの「アニメ・アト・ア・グランス」。

眠：フィリピンって、割と日本のアニメが放映されてる国ですよね。

岡：ここはアニメの上映会の情報ばっかりでね。その辺からもお国柄がわかると思うんだけど、アメリカなんかはファンの交流が激しくて、コンベンションなんかもいっぱいあるし、日本とそんなにオタク状況的には変わらないなっていう感じなんだけど、フィリピンとかノルウェーとかドイツなんかは、まだ上映会をやってる段階なんですよ。５年から10年くらい遅れてる。今から10年くらい前に、アメリカのＳＦ大会に行ったんだけど、その頃はまだみんな、日本アニメは観るだけで精一杯だったんだ。それが10年たってようやく↗

21 http://www.tridel.com.ph/user/jceyg/aaag.html

↘今みたいにアニメコンとか開けるようになったワケだから、フィリピンなんかもあと10年くらいすると面白くなると思うよ。

22 http://www.mandarake.co.jp

岡：漫画専門古書店「まんだらけ」のホームページ。でもねぇ「手塚治虫の命日を国民の祭日に」ってキャッチフレーズは大きなお世話だよなぁ（笑）。

唐：ここには「オ○ムの本が買えます」とかいう宣伝は無いのか？

岡：きっとそういうのは、お得意様だけにメールで送ってるんだよ（笑）。

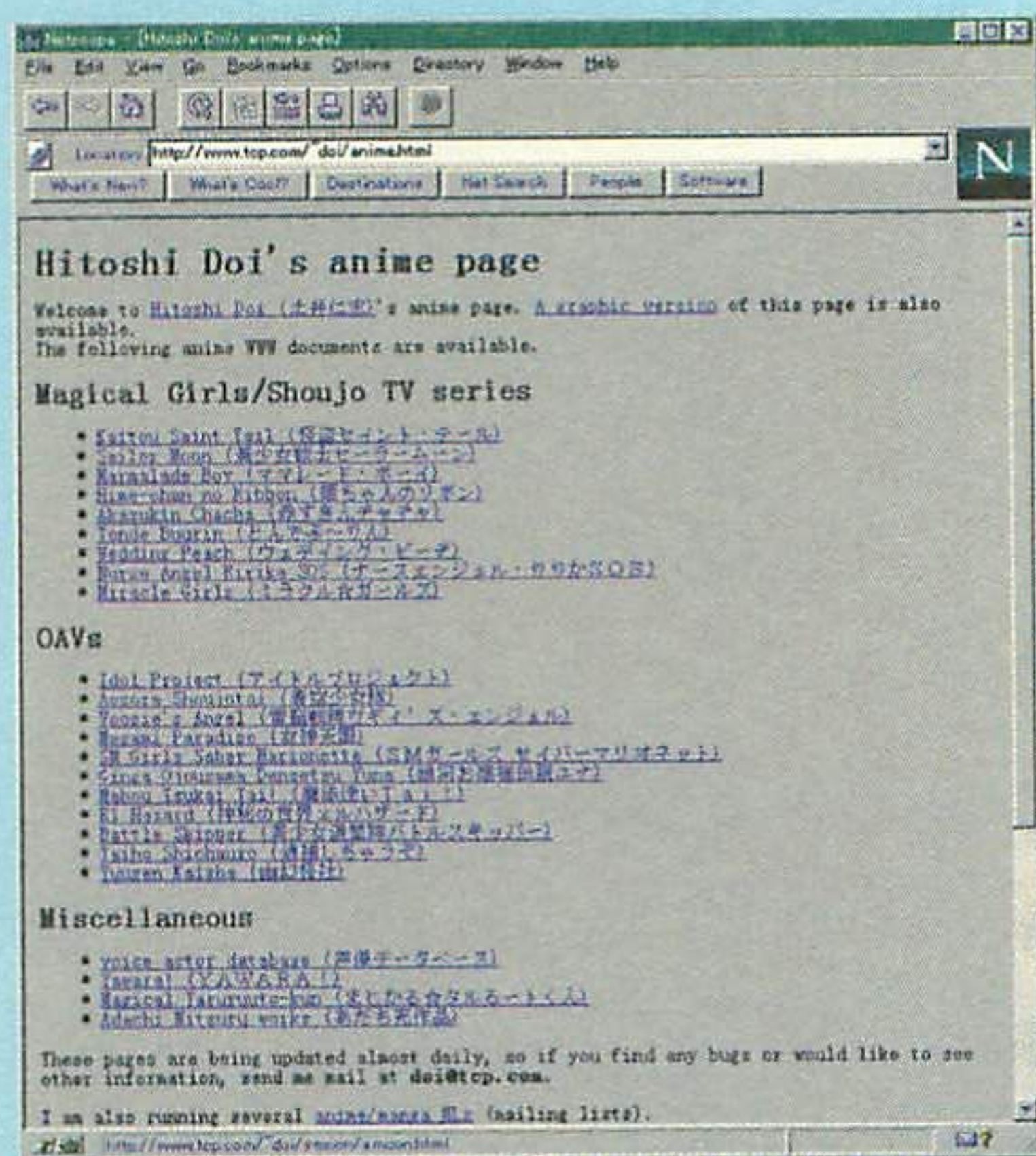
岡：これは世界で一番有名な日本人と言われている「ヒトシ・ドイ」さんのホームページですね。彼はね、日本のアニメとか漫画のリソースやデータベースを、全部英語で作ってるんです。それをアメリカで公開してる。

眠：この人の声優データベースを見た事あるんですけど、すごく情報がきめ細かいんですよね。

唐：何者なの？　学生？

眠：それが、何者だかよくわからないんですよ。

岡：だから、インターネットの世界では一番有名人なんだけど、どんな人かよくわからない…（笑）。一度、何かの雑誌のインタビューに出てたけど、割と普通の「とっちゃん坊や」みたいな感じの人だった。↗

23 http://www.tcp.com/~doi/anime.html

↘**眠**：とにかくどこのアニメページから入っても、最終的にはここにリンクしちゃう（笑）。

唐：そうそうそう。すごいねえ。

24 http://NetCity.OR.JP/Nakamats/index.html

岡：ドクター中松のホームページ。これイイっすよ。この人、一度東大で創造学の講演っていうのをやったんですよ。で、中のページにその時の話が、たっぷり書いてあってね。これだけ見てると、ドクター中松さんって、なんて偉大な人なんだろうと思っちゃいます。あと、本人のページ以外に、ドクター中松のファンが開いてるホームページもあります。それから、ドクター中松研究家の人のページもあって…。

唐：うん、彼のインチキを暴こうっていうページですね。

岡：両方を見比べてみると面白いですよ。

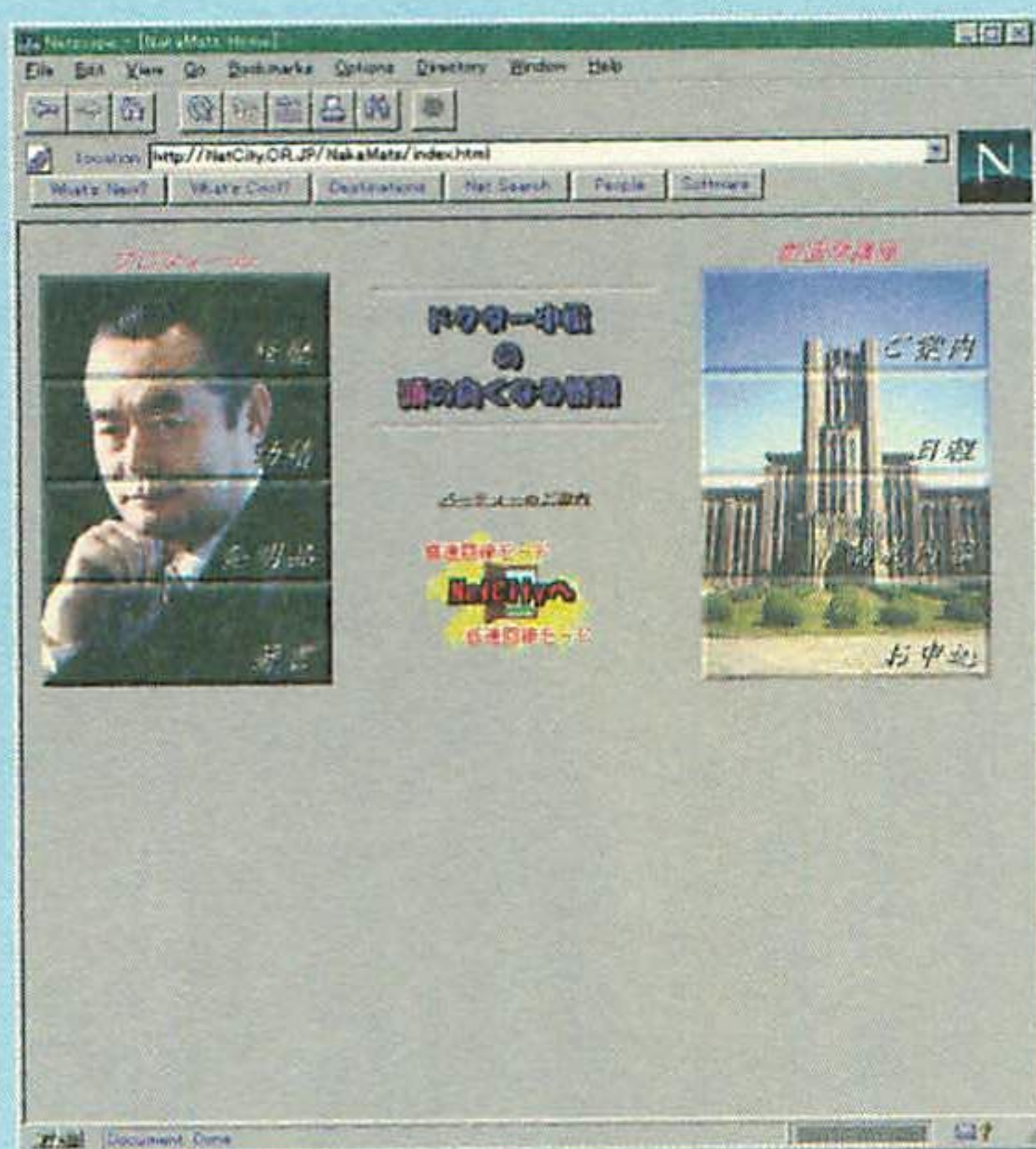
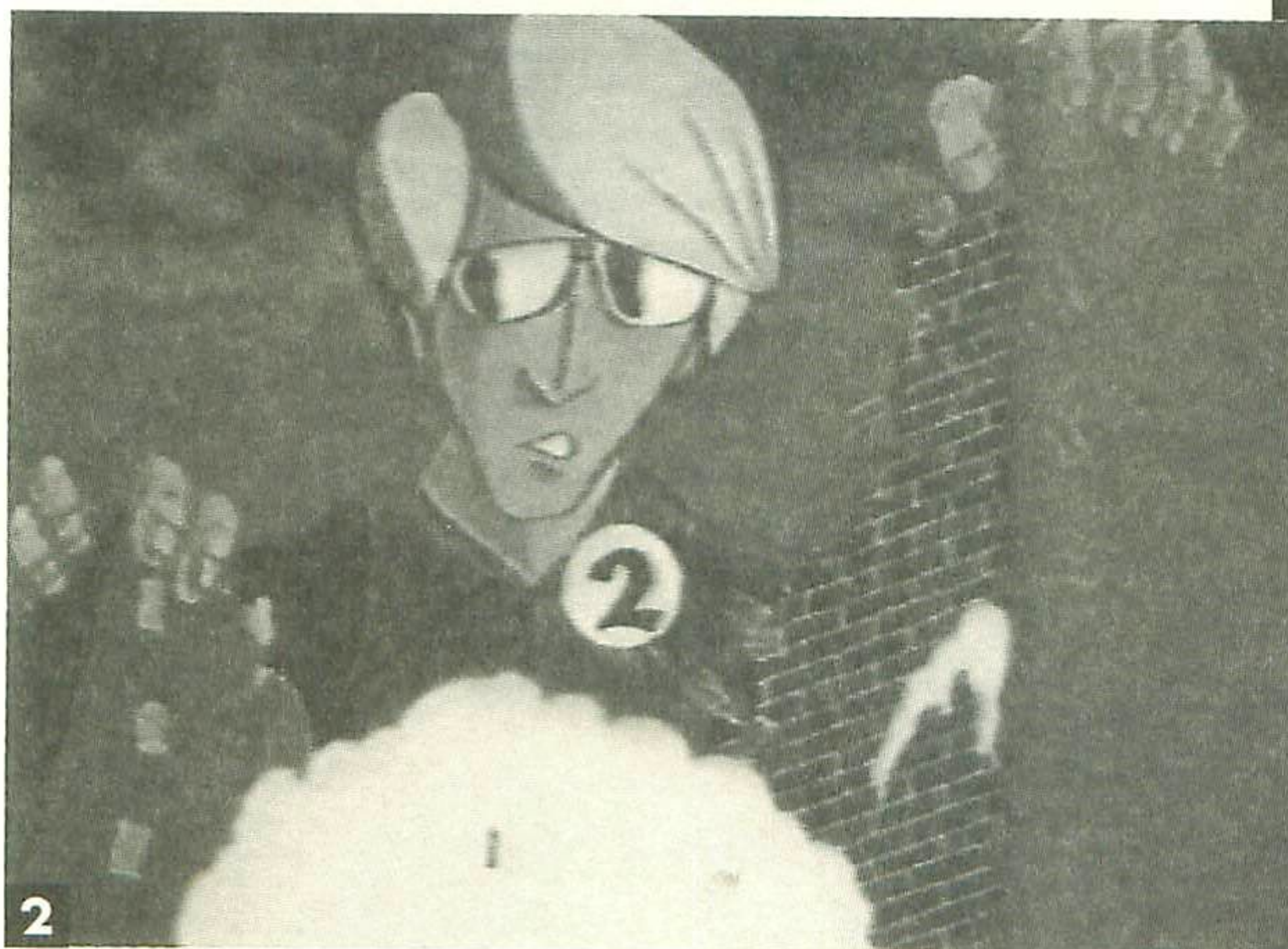
AMIGOS ARCHIVES 01

アメリカの自主制作アニメ

1

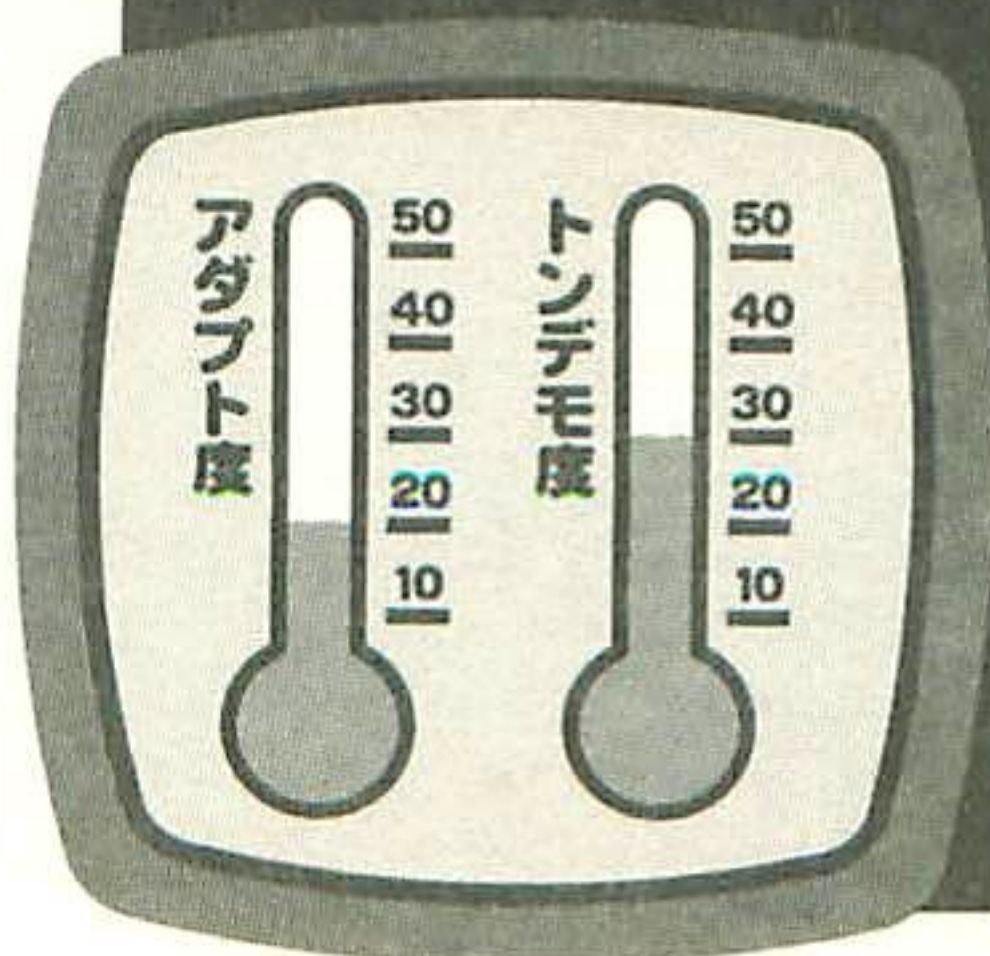
2

トンデモ度 50 40 30 20 10

アダプト度 50 40 30 20 10

眠：このコーナーではアメリカのオタク達が作った、自主制作アニメをいくつか見てみましょう。まず、これは「カイジュープロダクション」というアマチュアフィルムメーカーが作った、自分達の団体のオープニングアニメです(1)(2)。

唐：コレは自画像なんですかねぇ。やっぱり向こうでも、オタクの顔っていうのはこういうメガネかけた理系っぽいイメージなんですか？

岡：鼻がデカい（笑）。

眠：内容は、巨大化したオタクが目から怪光線出して、街やら戦闘機（なんとヤマトのコスモタイガー！）やらをガンガン破壊しまくって、最後には地球よりもでっかくなるんですよ。さら

に宇宙へ出て、惑星や銀河系までを破壊しちゃう(3)〜(7)。

岡：オタクの心理的願望というのが、うまく出てる小品ですね（笑）。

唐：それも破壊願望が（笑）。アニメというよりは怪獣モノですよね、このノリは。

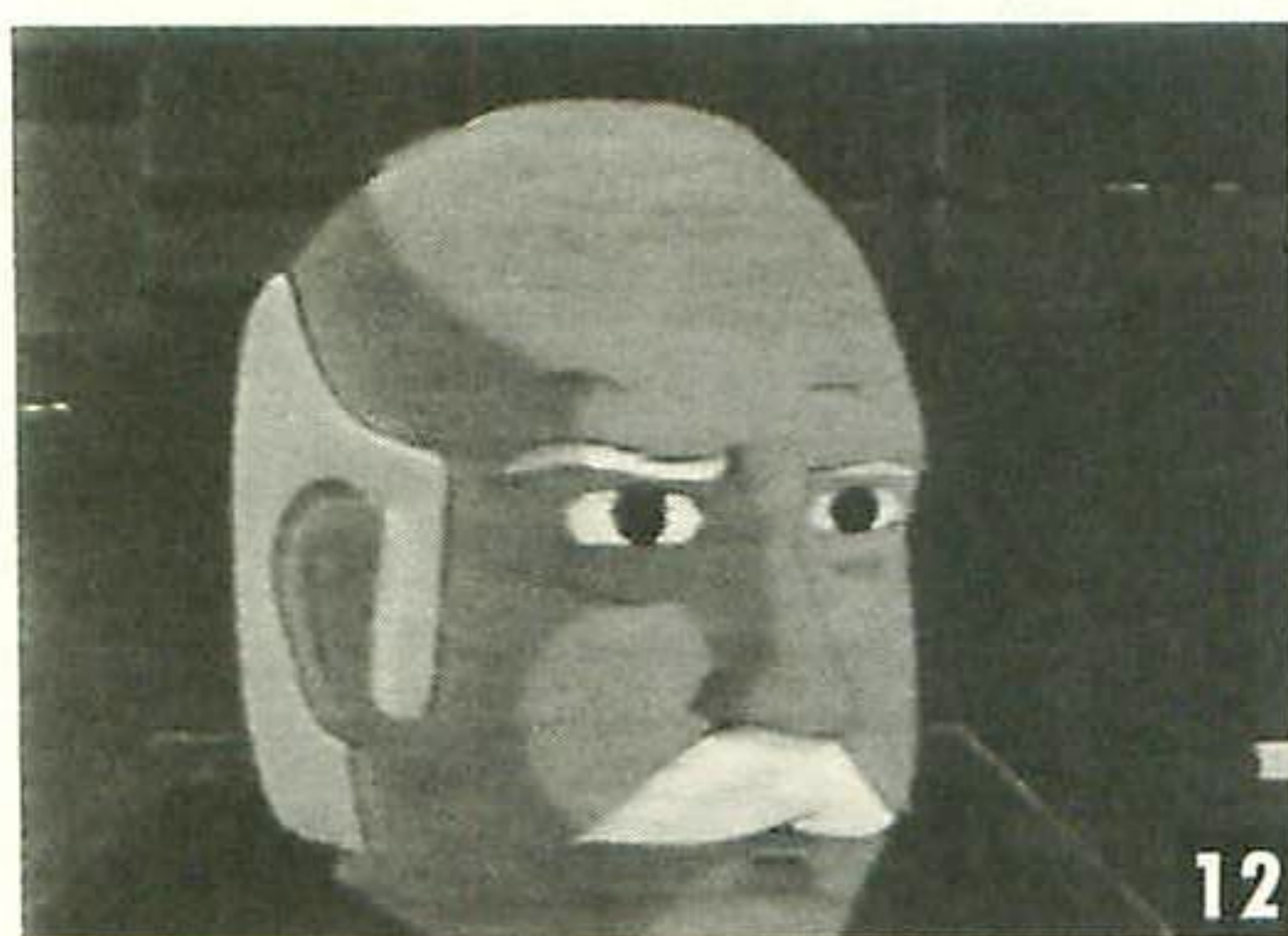
眠：本来は自主制作の特撮映画を作ってる団体らしいです。

岡：でもこの爆発とか、煙の出方とか、エフェクトの入り方が、かなり「ヤマト」の影響を受けてますね。

眠：いつ頃作られたフィルムか、正確な年代はわからないんですけど、多分「ヤマト」が向こうで放映されて話題になった頃の作品だと思います。

岡：「ヤマト」の影響というのは大きいんですよ。こちらは「デスロックス・リベンジ」という作品。つまり「デスラーの逆襲」というワケです(8)。

眠：でも「デスラーの逆襲」というワリには、あんましデスラー活躍しないですよ、コレ（笑）。

岡：このフィルム作った団体の主催者

が、このデスラーの声をやってるんですけど、そいつってアニメコンとかのイベントで、いつもデスラーのコスプレしてる有名な奴。だから無理矢理デスラーを主役にしたみたい（笑）。
唐：なるほど。
岡：「タラン将軍」なんていう、マイナーなキャラクターを出してるのもイイね(9)。
眠：このキャラクターが微妙に崩れてるあたりが、アマチュアらしい「味」ですね(10)(11)。
岡：これ、なるべく綺麗なカットばっかりセレクトしてるよね。この古代君なんかあまり崩れてないし。
眠：「止め絵」の時は、割と見れるんですけど、動かすとアマチュアの悲しさで、途端に技術の未熟さが露呈しちゃいます。これは毛利長官の「回りこみ」のシーンなんですが…。
岡：わはは、崩れてる崩れてる(12)。
眠：…で、お話はスターシャから「銀河のココんとこで事件が起こってます」という映像メッセージが入って、

アメリカの自主制作アニメ

13

King Thorin

14

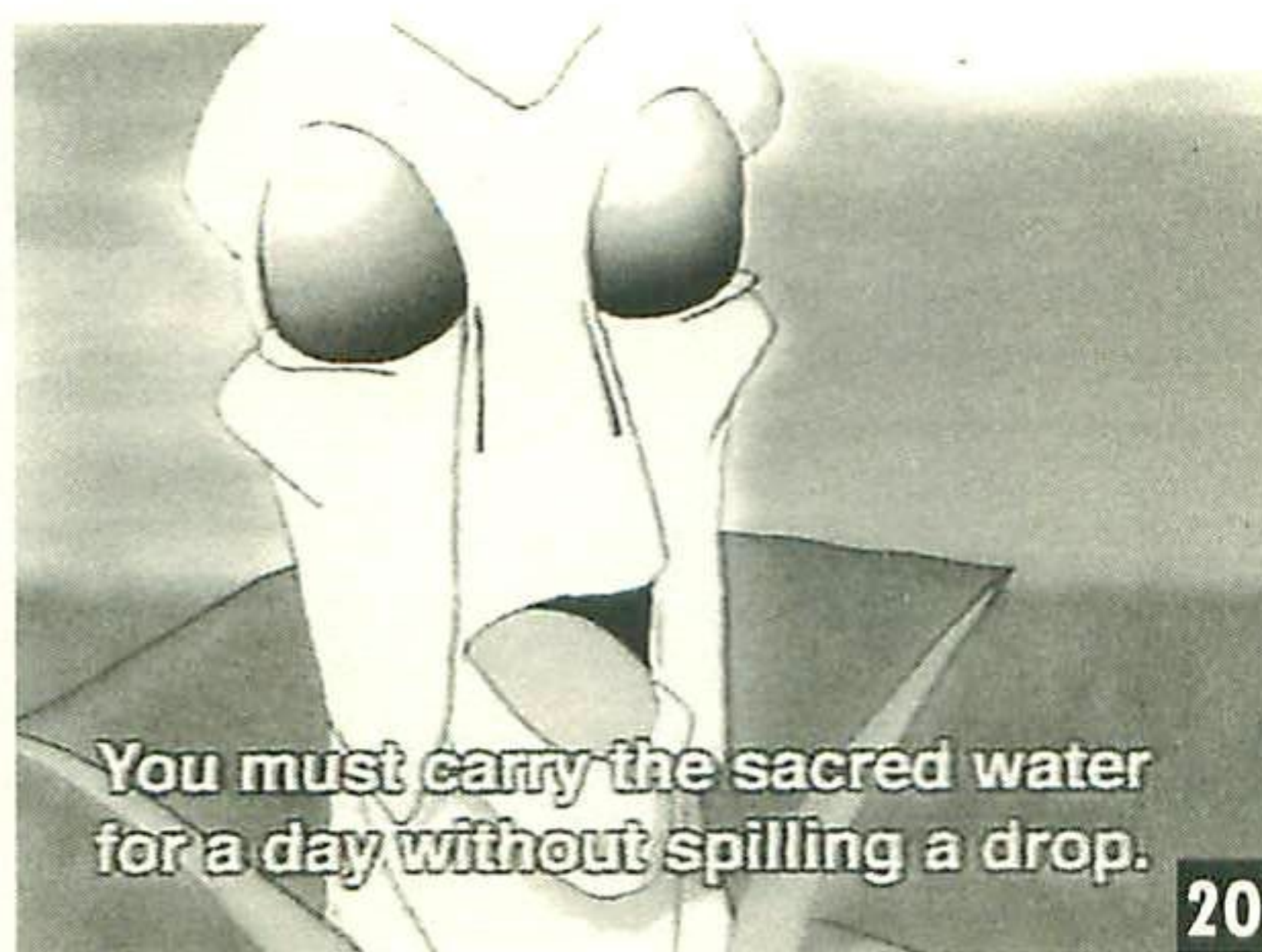
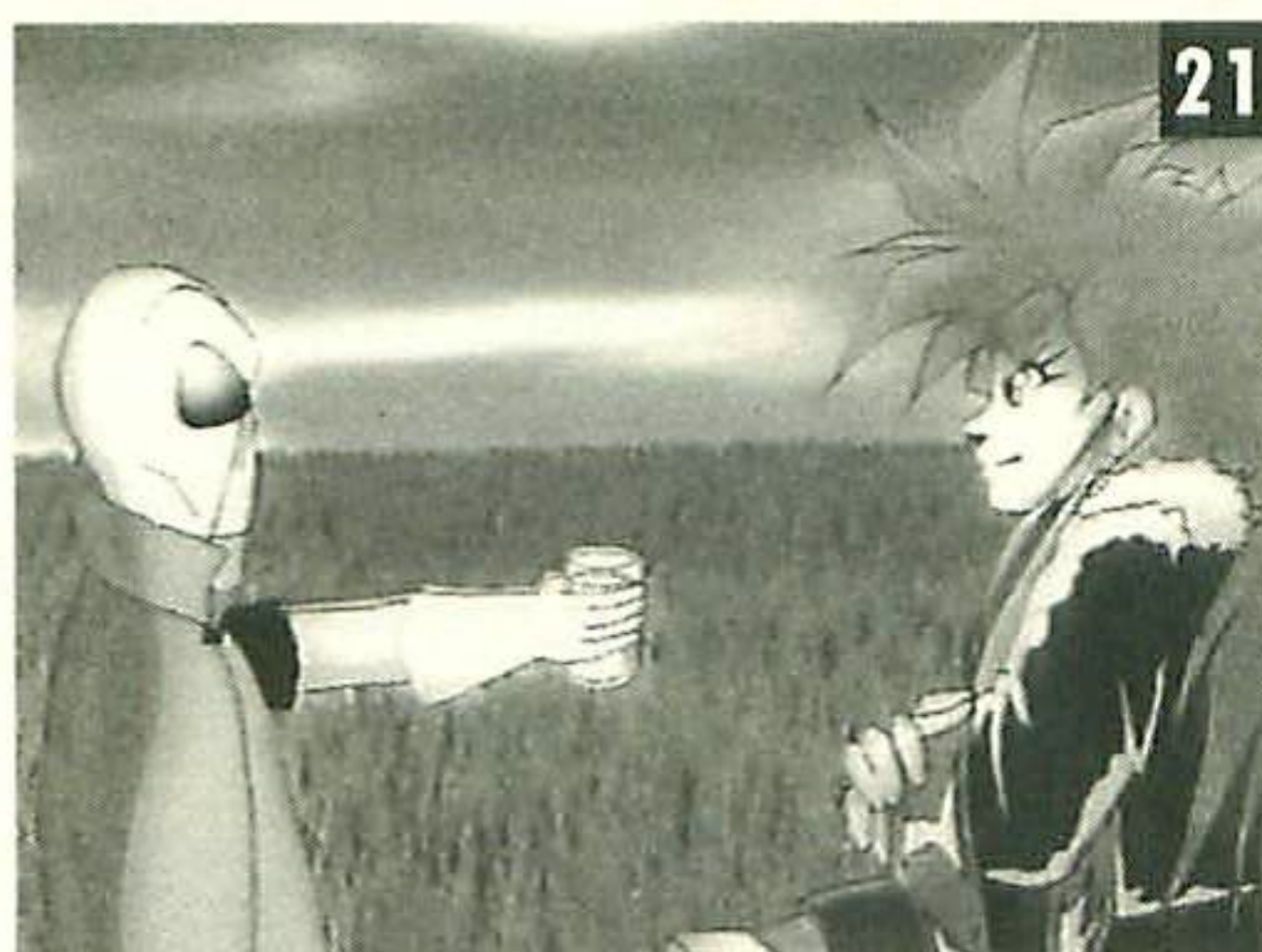
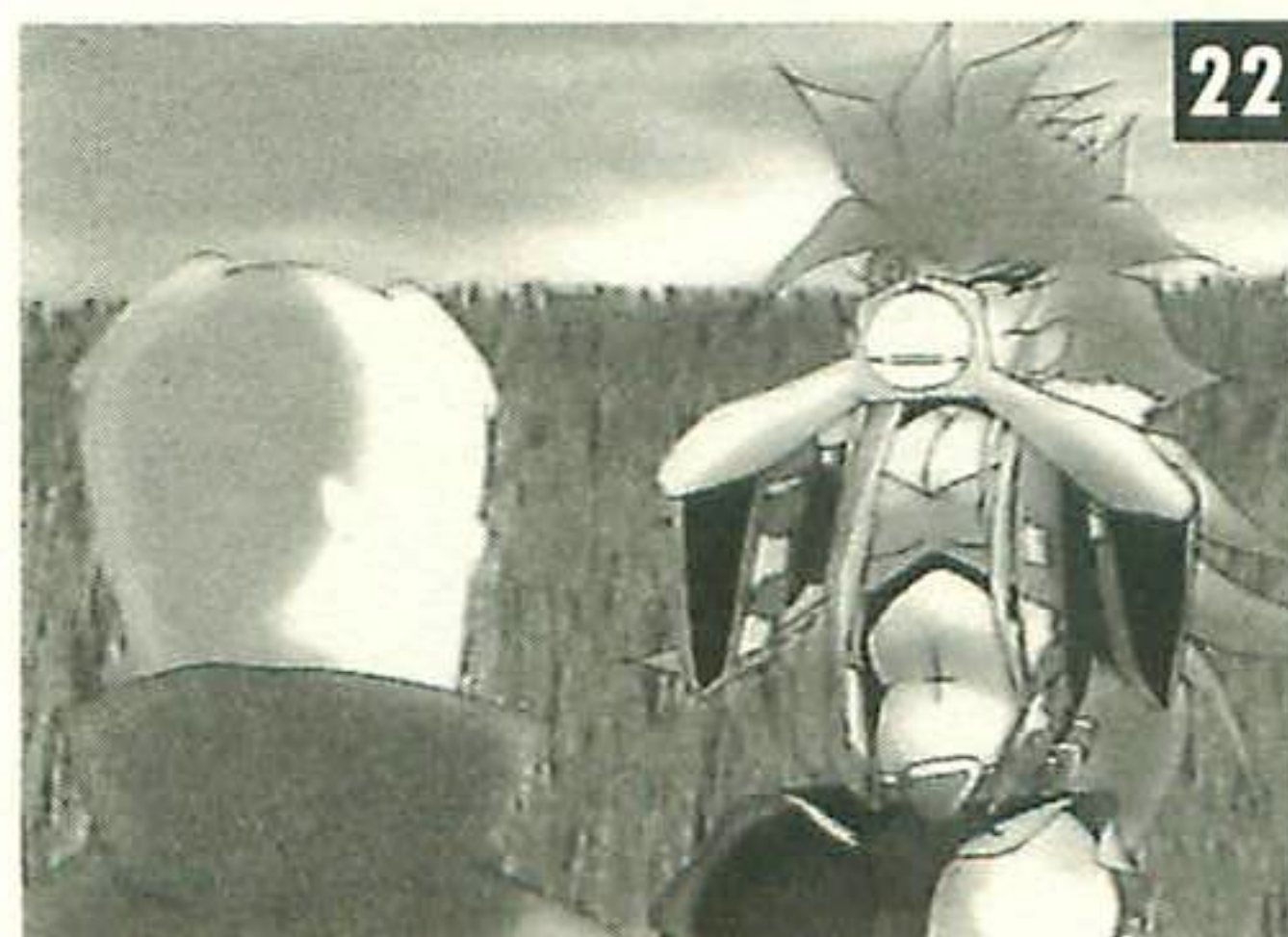
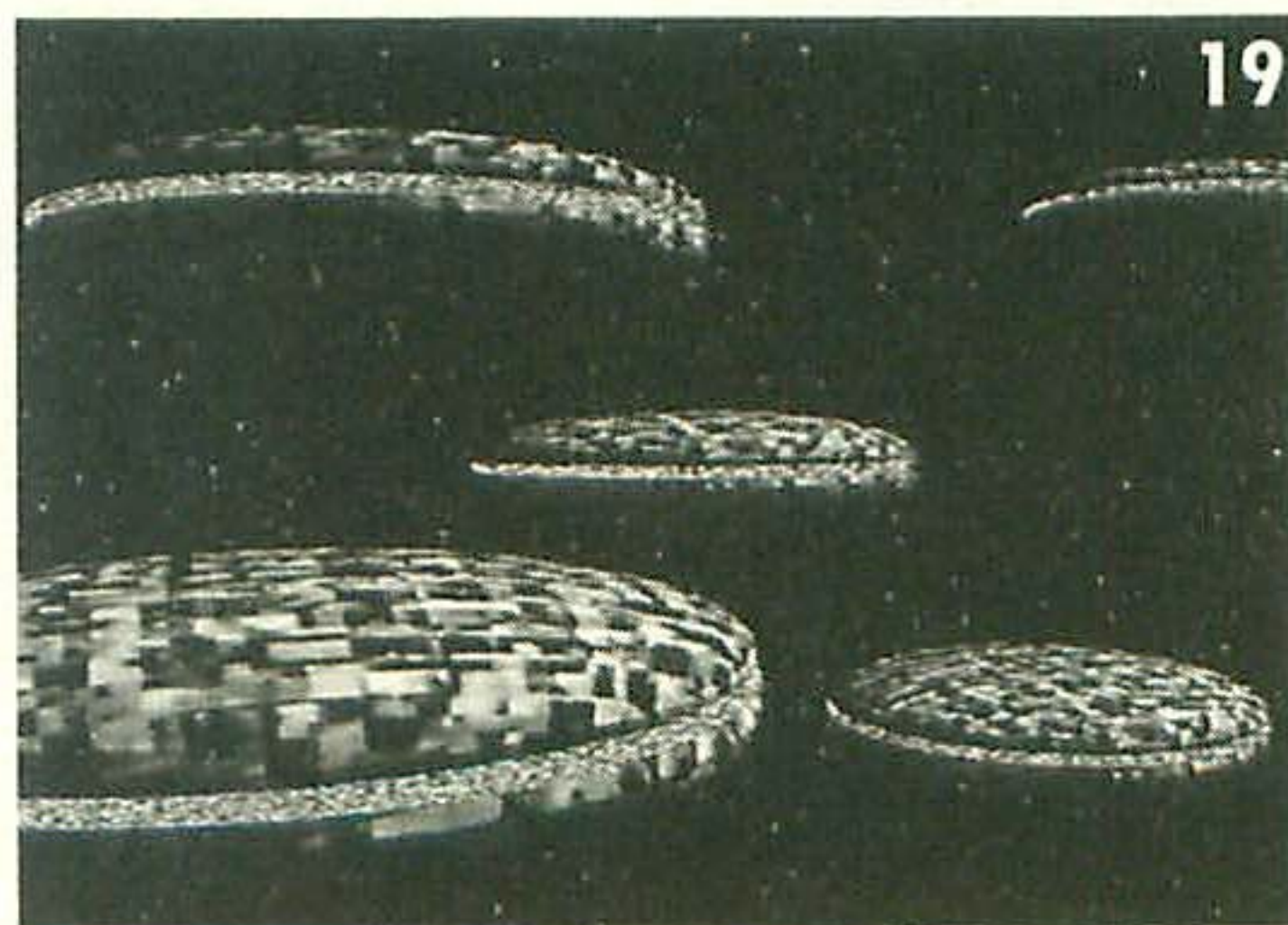
15

17

16

「ヤマト出撃！」となるワケですね。
唐：えっ！　コレ銀河系だったの(13)？
眠：なんかワタアメみたいですけど、実は銀河系です（笑）。
岡：何がムチャかって「銀河のこの辺です」って示されても、銀河系って直径十万光年もあるんだぞ。その中で一光年近い範囲を探しに行けって言うのか、このバカ女は。
眠：これがオリジナルの悪役ですね(14)。
唐：キング・トーリン？
眠：顔色が紫だとか、眉毛が繋がっているあたりは、ちゃんと「ヤマトの悪役」してますね。
岡：多分、ズォーダーのイメージなんでしょう。
唐：そうかなぁ？（笑）
眠：(15)これがトーリンを迎え討つ地球艦隊なんですけど、後に「スタートレック」のエンタープライズ号がいますね。こういうのって、いかにもオタクがやる「お遊び」ですね。
唐：お約束お約束（笑）。
眠：コレもお遊び。この艦橋にいる連

アメリカの自主制作アニメ

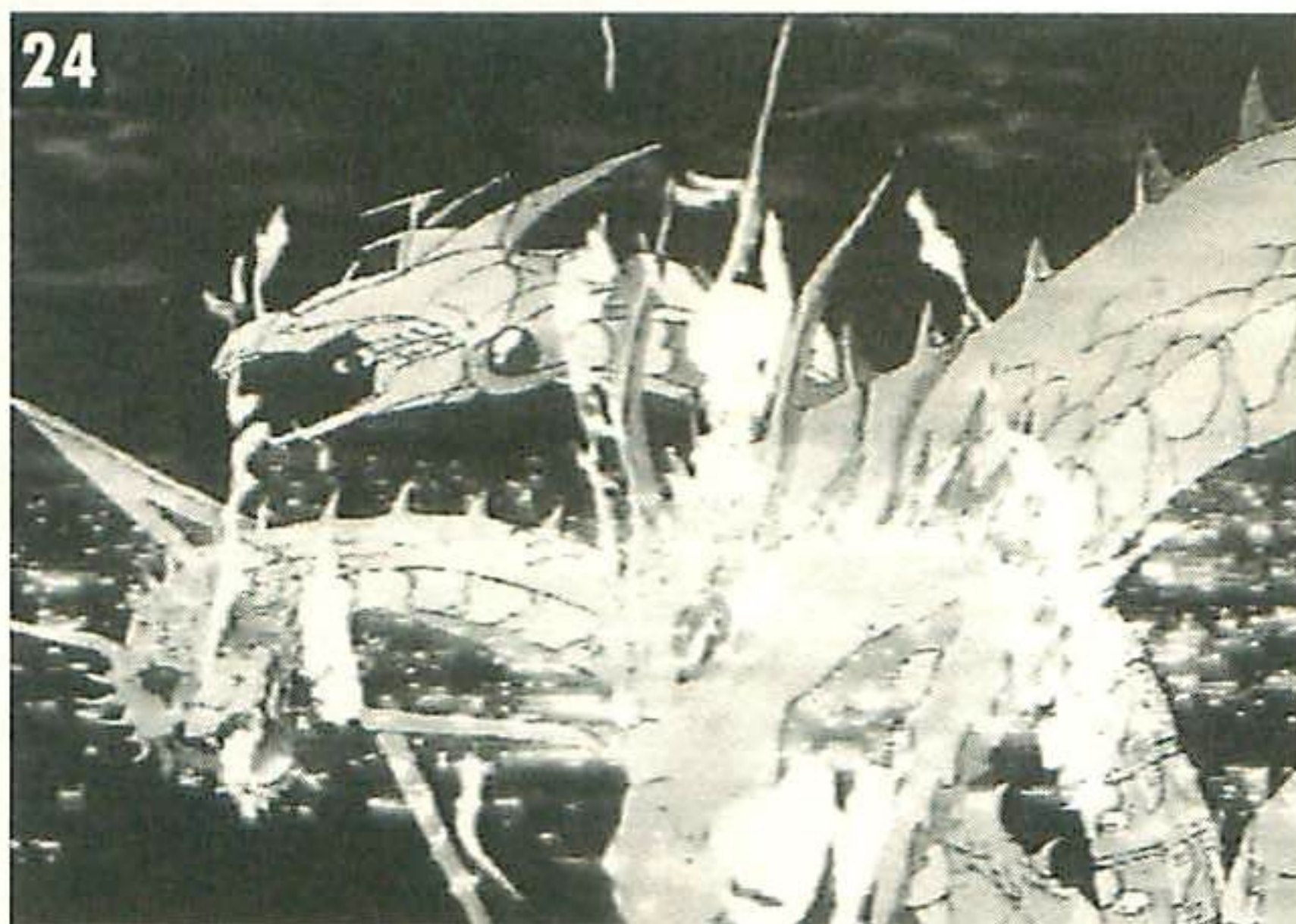
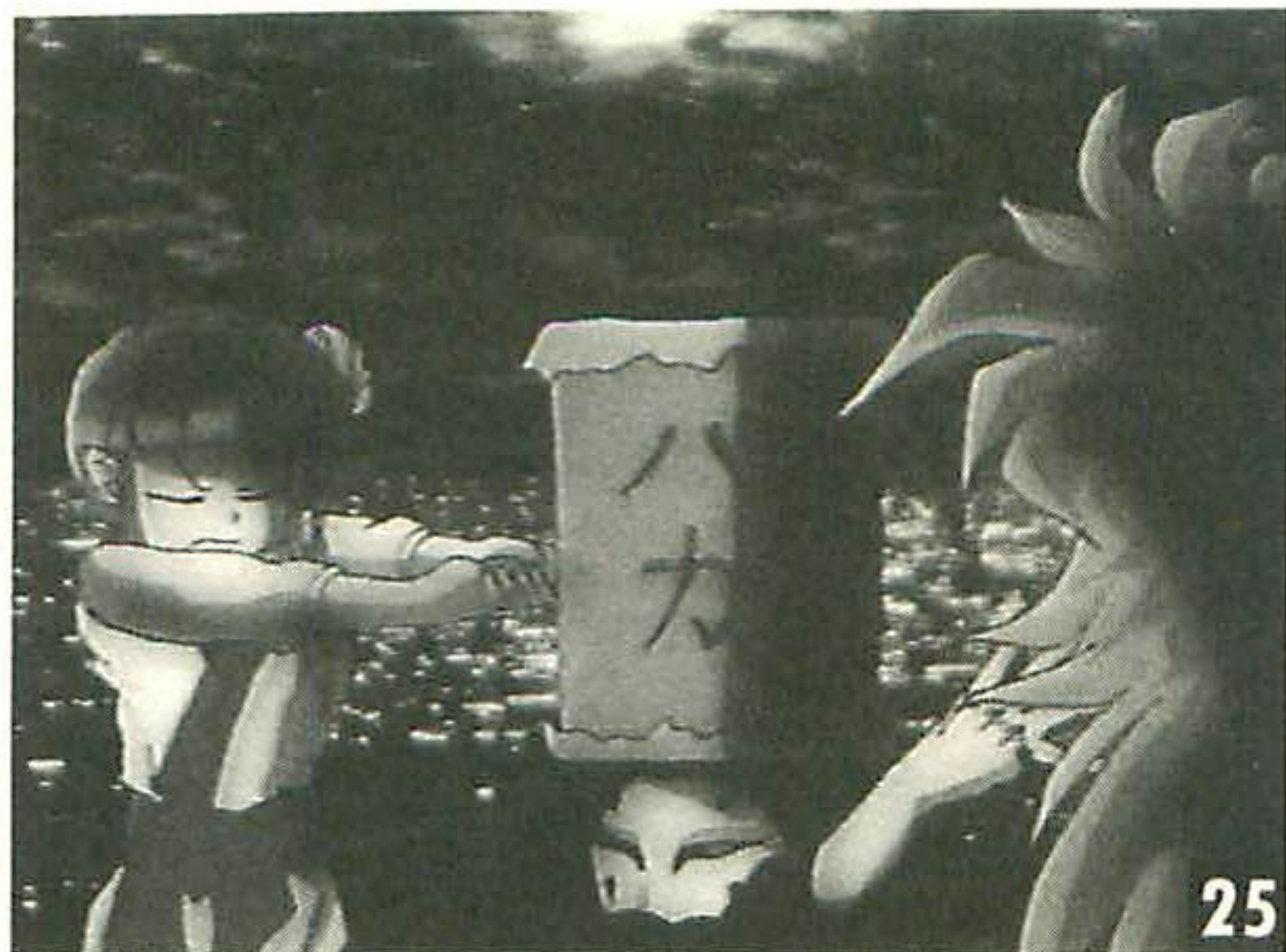
You must carry the sacred water for a day without spilling a drop.

中、おそらくスタッフの自画像じゃないかなぁ。おまけにラムちゃんみたいなキャラもいるし(16)。

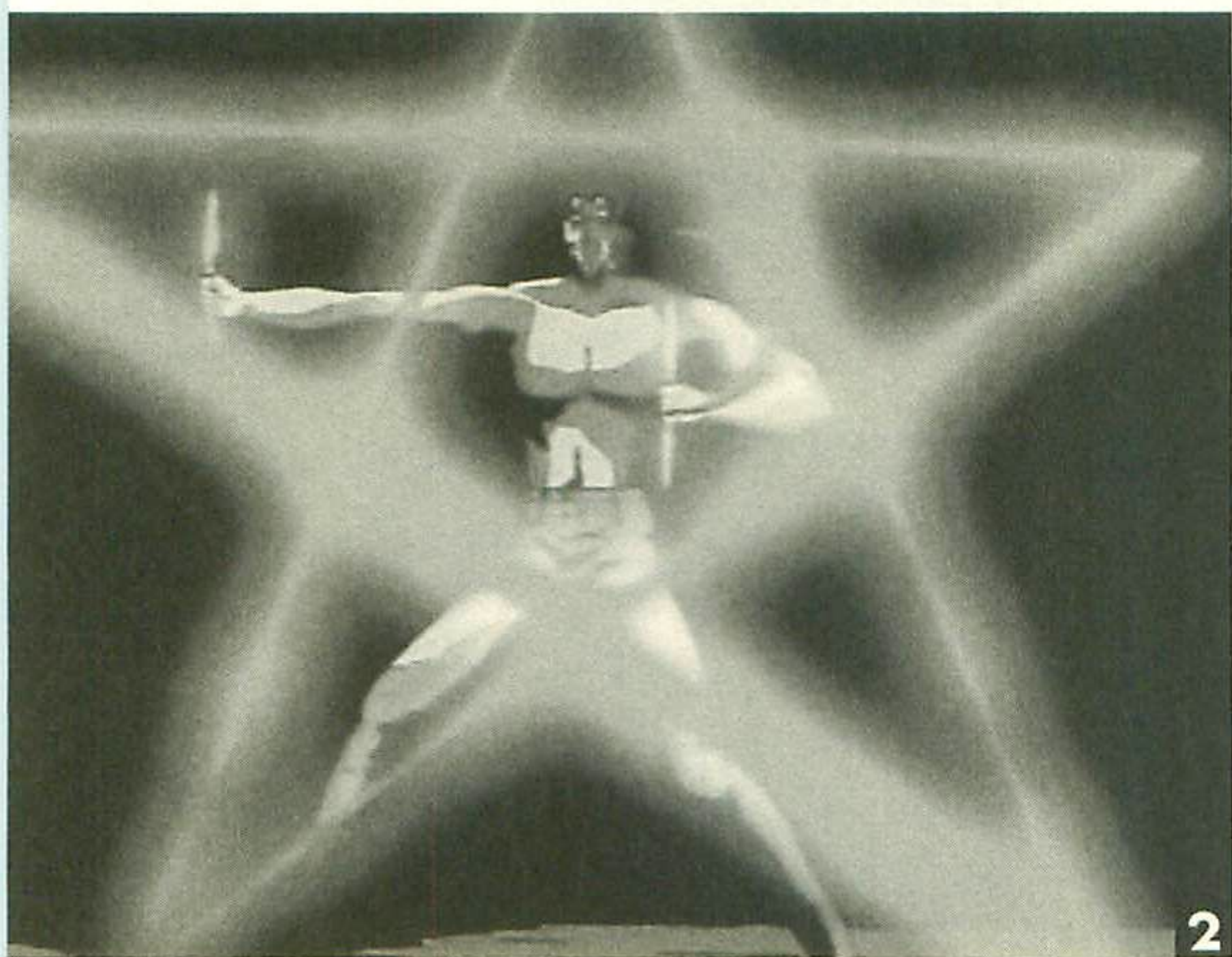
唐：こういうのは、日本の自主アニメ作ってる連中と変わらないですね。

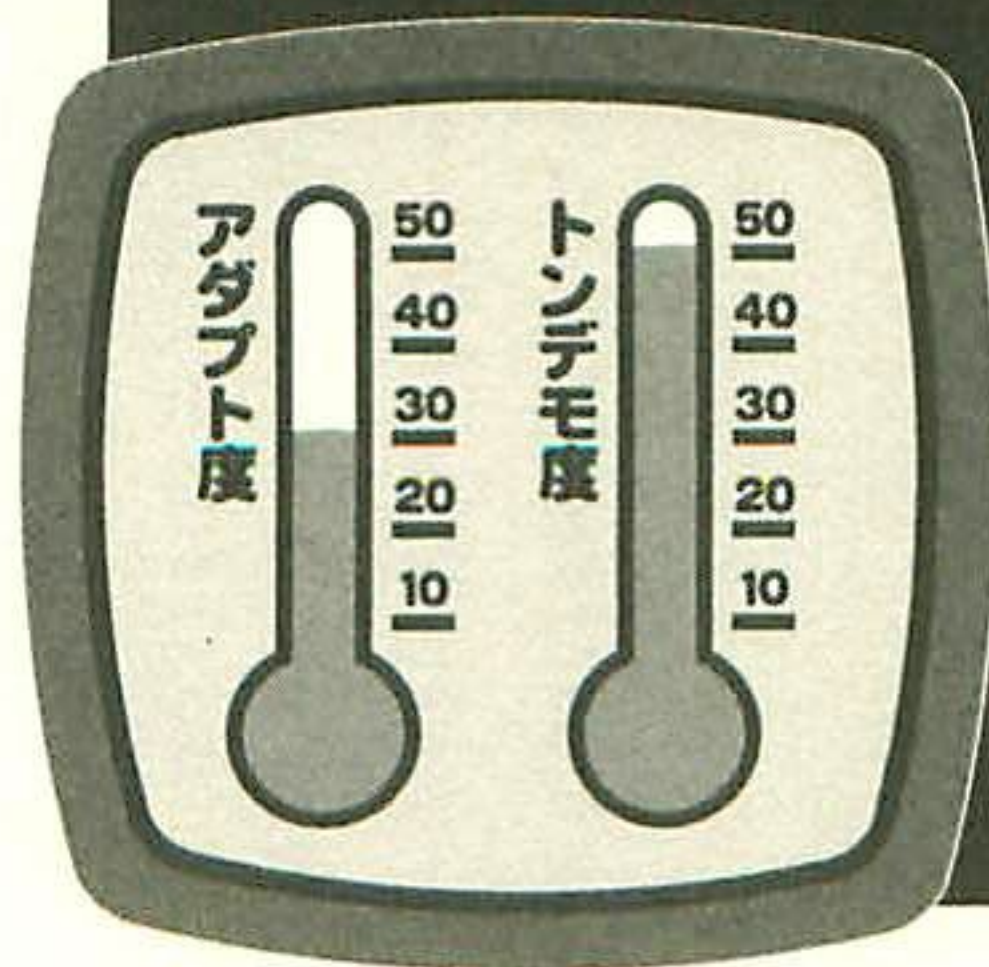
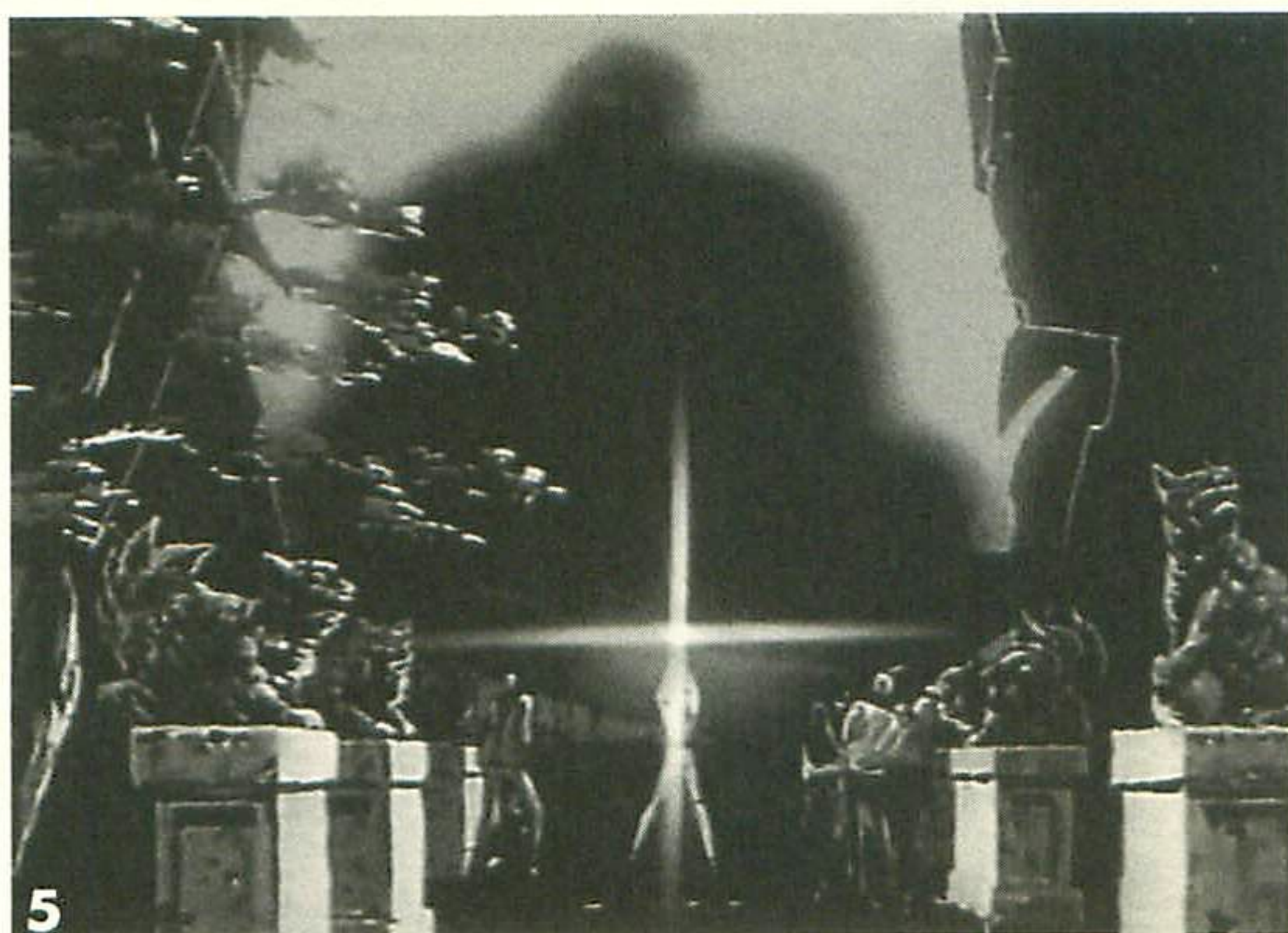
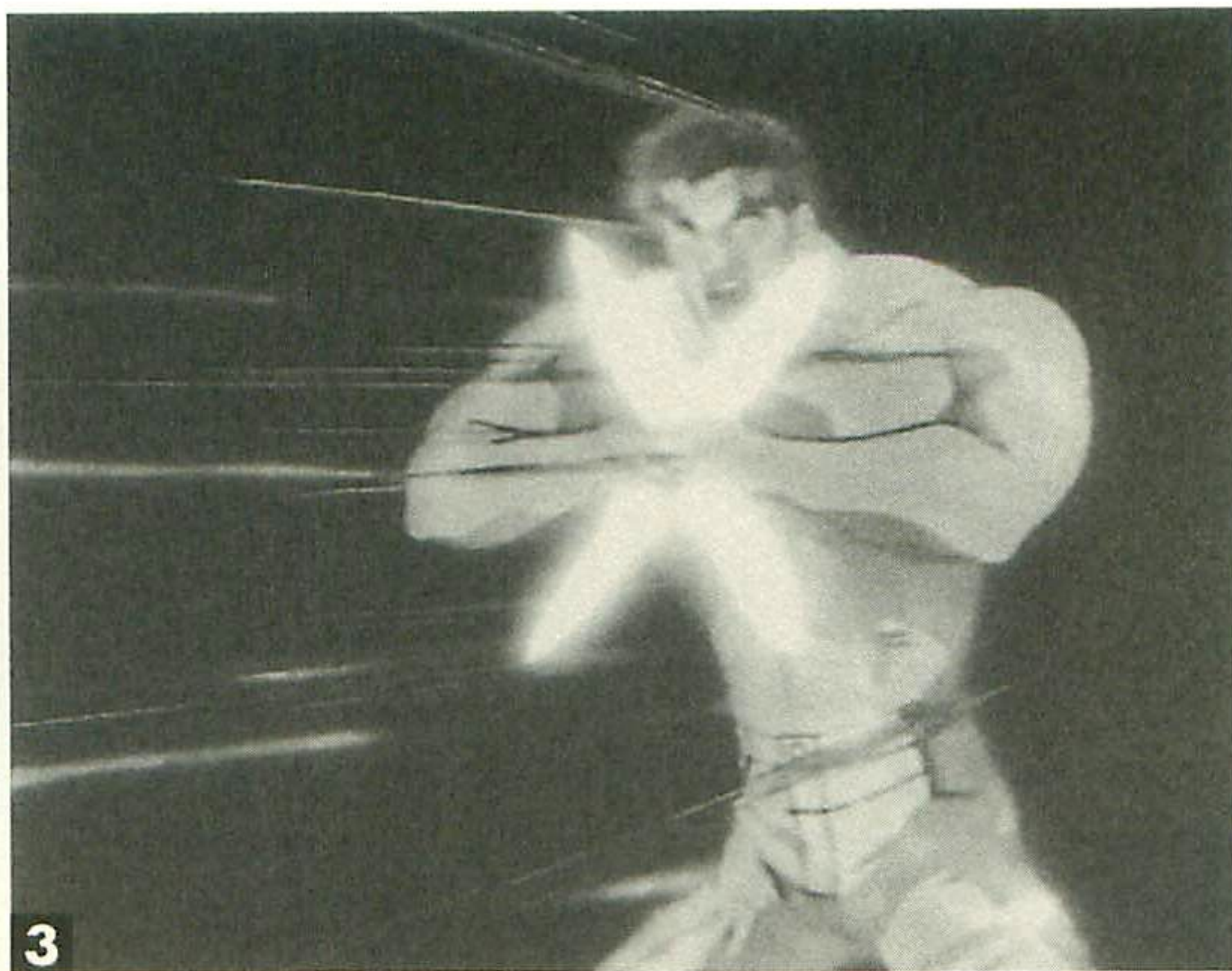
眠：(17)これもオリジナルキャラの女の子。まぁ最後は結局、この娘が特攻して、キング・トーリンは倒されるワケです。ラストまでちゃんと「ヤマト」してますね（笑）。

岡：(18)(19)これは最近の作品。「アニメエキスポ95」というイベントの、オープニングアニメとして作られた「ホワイトラディッシュ」です。

眠：(20)〜(22)これ、日本のSF大会「DAI-CONⅢ」のオープニングアニメへのオマージュになってるんですよね。もうその辺からして濃い（笑）！この「水を届けてください」ってシーン、オリジナル版にもあるんだけど、こっちは女の子が水を届けずに飲んじゃうんですよ。

岡：「ホワイトラディッシュ」というのも、「ダイコン」の意味なんだろう

なぁ。
眠：(23)〜(26)その後、オープニングアニメのお約束で、いろんなキャラクターがやたら出てきます。この辺のノリも「DAICON」とおんなじ。
岡：宇宙刑事をちゃんと出してるのがエラい。
唐：メカギドラも入ってるな。
岡：コレ、実は全部CGアニメで、それをネットワーク上でやってるんですよ。アメリカ中のいろんな絵を描く奴が、インターネットでデータのやりとりして、本部のマシンで最終的にアニメーションにまとめてるんです。
眠：おお、なかなかカッコイイ作り方ですね。で、最後はCG風キャラクターの宇宙戦になるんですけど、ここらへんはもうプロレベルですね。
岡：うん、結構出来がいい(27)(28)。特にXウィングファイターとか、スターデストロイヤーとか、スターウォーズ系のメカのディテールはなかなか良かった。

クリスタル・トライアングル

AMIGOS ARCHIVES 02

眠：(1)これは87年にリリースされたOVAなんですけど、数あるビデオアニメの中でも、その内容の「トンデモ度」の高さからいって、特に別格扱いにしたいと思います（笑）。内容は「日本版レイダース」で、「封印された神のメッセージを探し出す」っていうお話なんですけど、やたらに「神代文字」とか「ヒヒイロカネ」だとか、「古代日本に超文明があった」っていう説に出てくる、まぁ「ムー」の読者が喜びそうなキーワードやアイテム続出。で、主人公は考古学者なんですが、チベットでウパニシャドの秘技を授けられたという設定で（笑）、いろんな必殺技を持ってるんです。

岡：(2)(3)わはは、こりゃキツいわ(笑)。
眠：ちゃんとこの時にですね、「♪ウパニ～～シャ～ド～」っていうバックコーラスが入ります。
岡：スゴい！　ウパニシャドにはテーマソングがあったのか！
唐：「ウパニシャド」なんて、東大の印哲（インド哲学科）にでも行かなきゃ出てこない言葉なのになぁ（笑）。
岡：マルクスにもテーマ曲は無いですもんねぇ。
眠：で、このウパニシャドの秘技で戦う相手が、なんと「空海」なんですよ。
唐：(4)空海が悪者！　仏教関係からとかクレーム来なかったたか？
眠：とにかくこの作品世界の中では、空海が「ヒー族」っていう邪教集団を操る悪の大ボス。
唐：「ヒー族」って、半村良の小説に出てくるやつ？
眠：その辺が元ネタでしょうね。
岡：これ、時代設定は現代でしょ。空海、生きてるんですか？
眠：(5)だから、こういう霊体のような

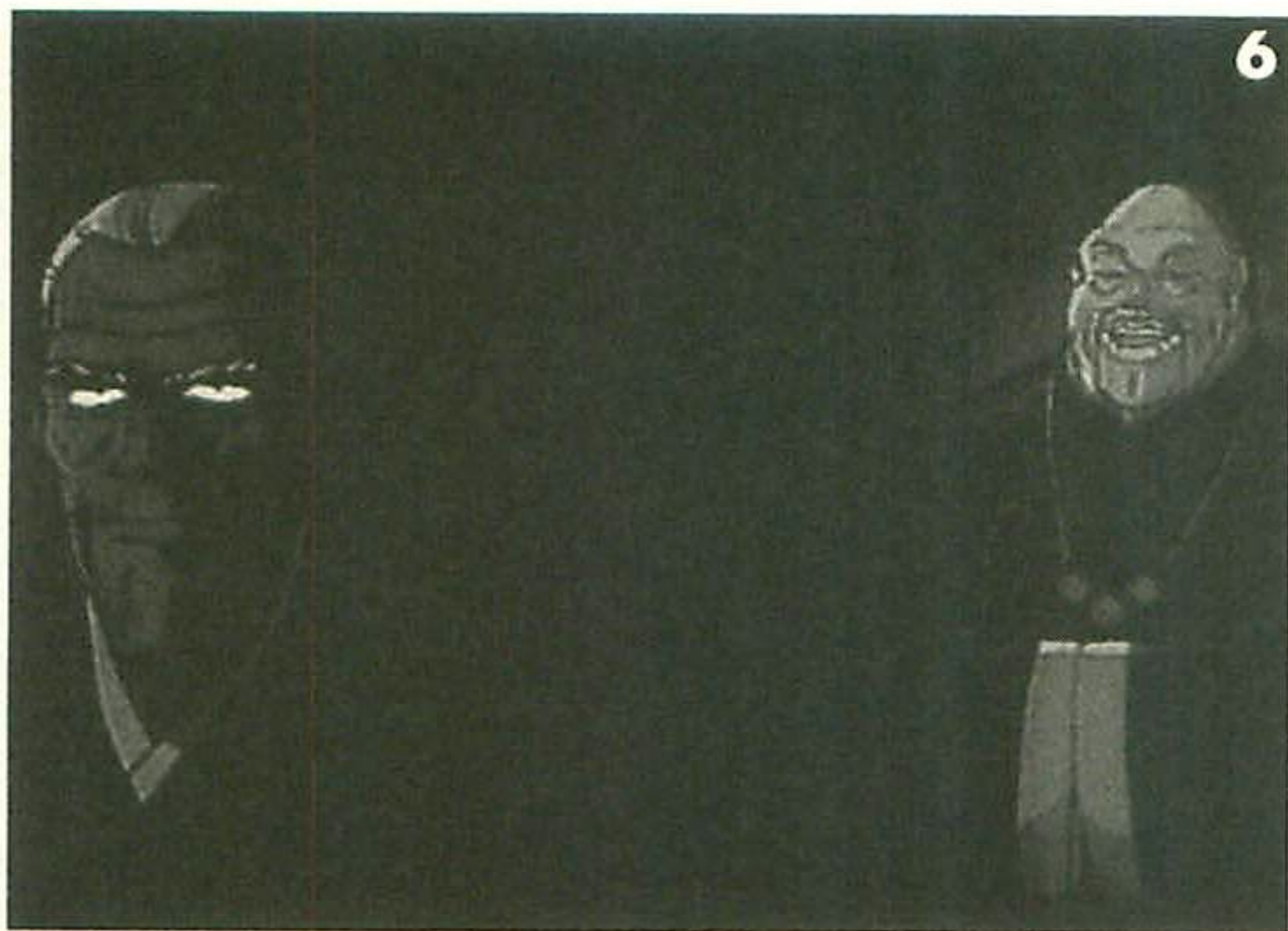
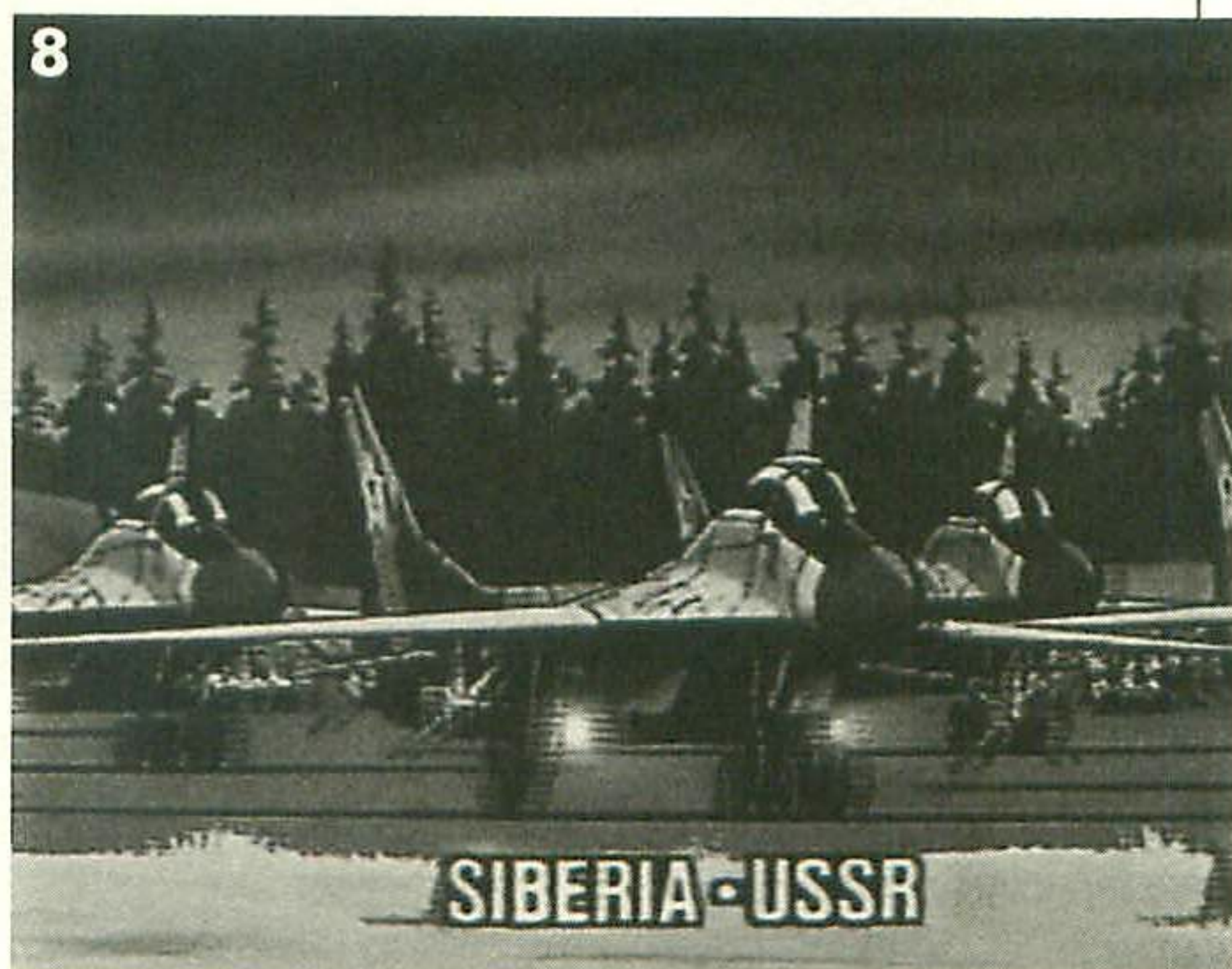
クリスタル・トライアングル

6

7

モーゼプランに太平洋艦隊を
出撃させることを許可する

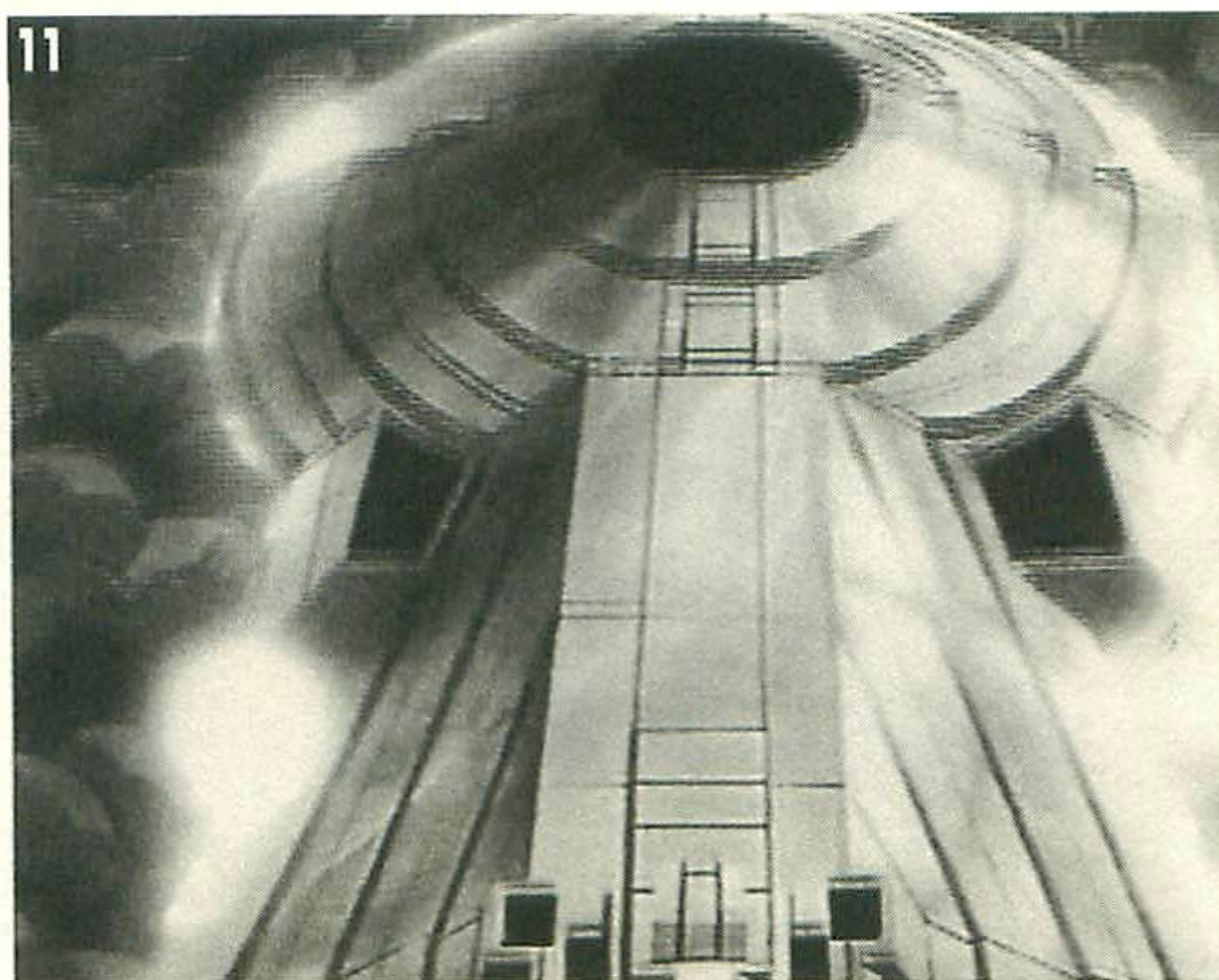
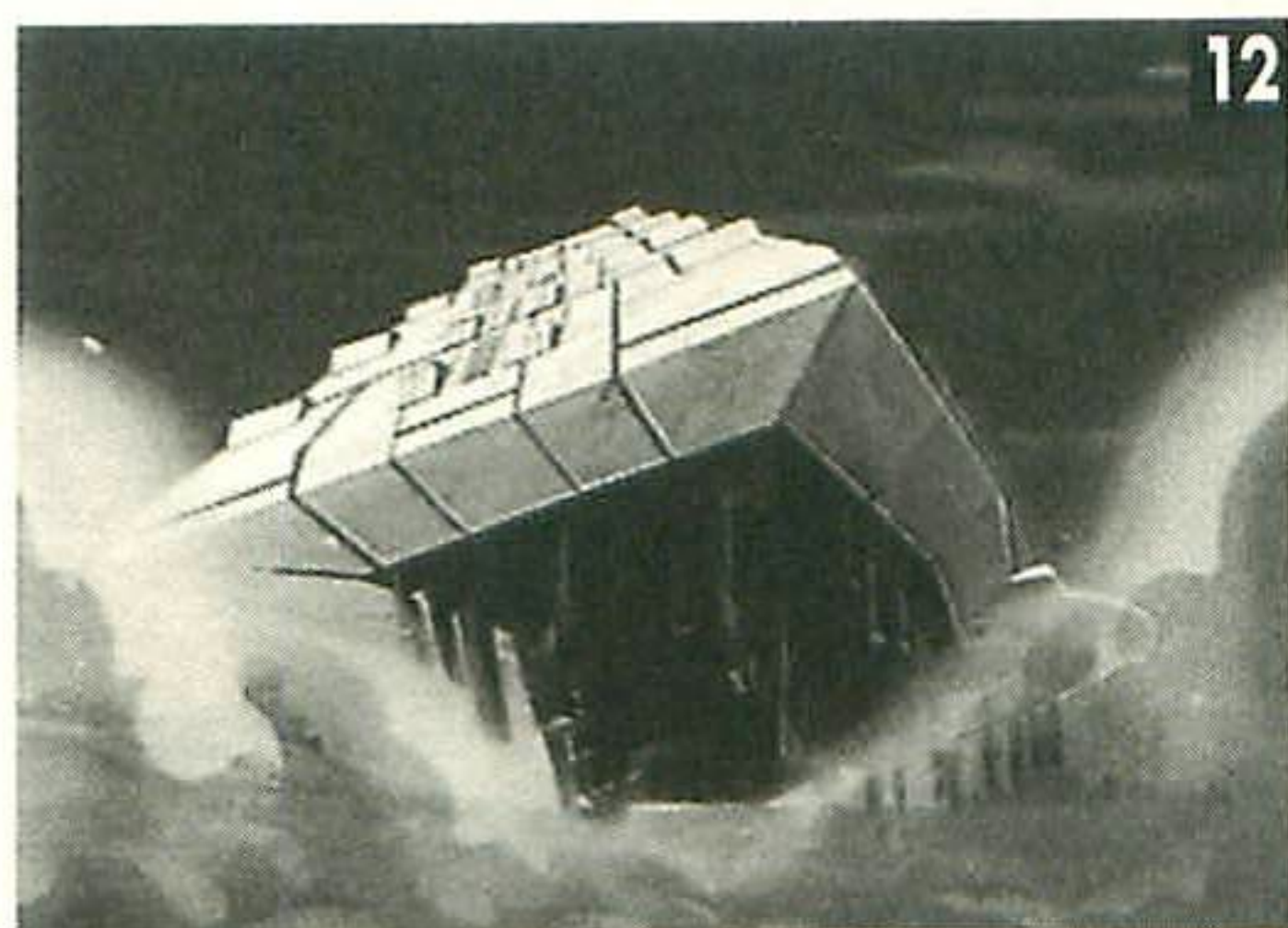
8

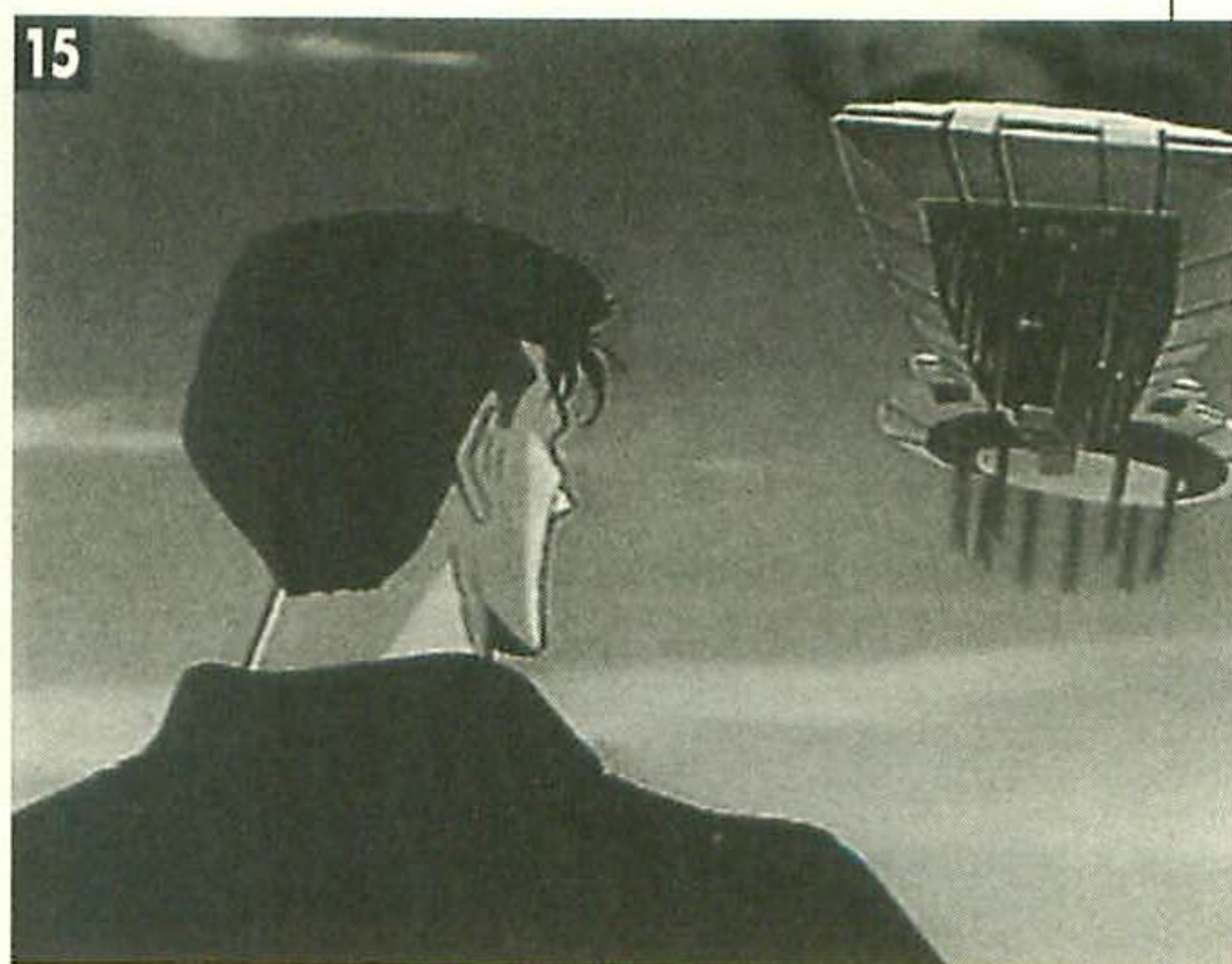
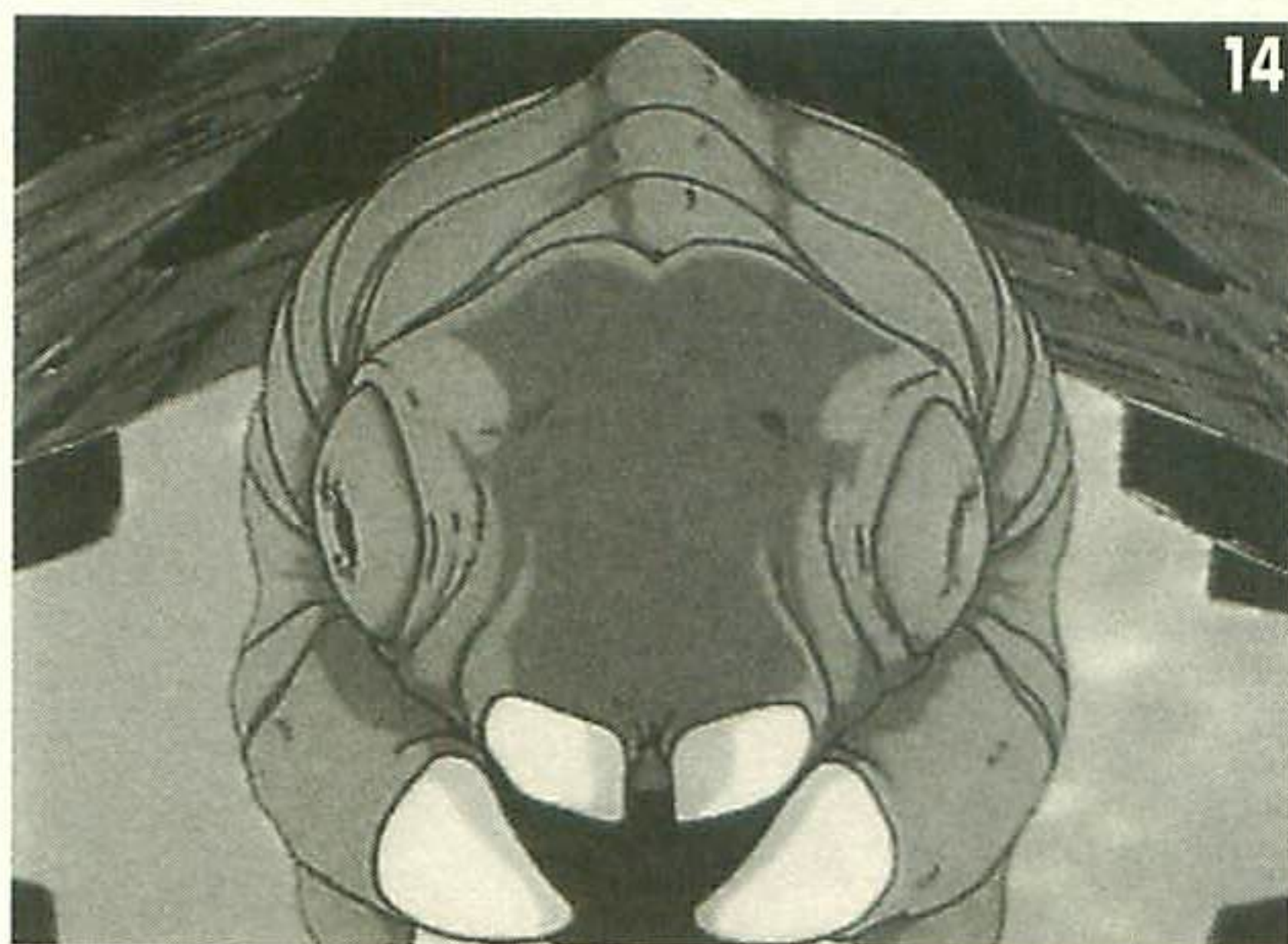
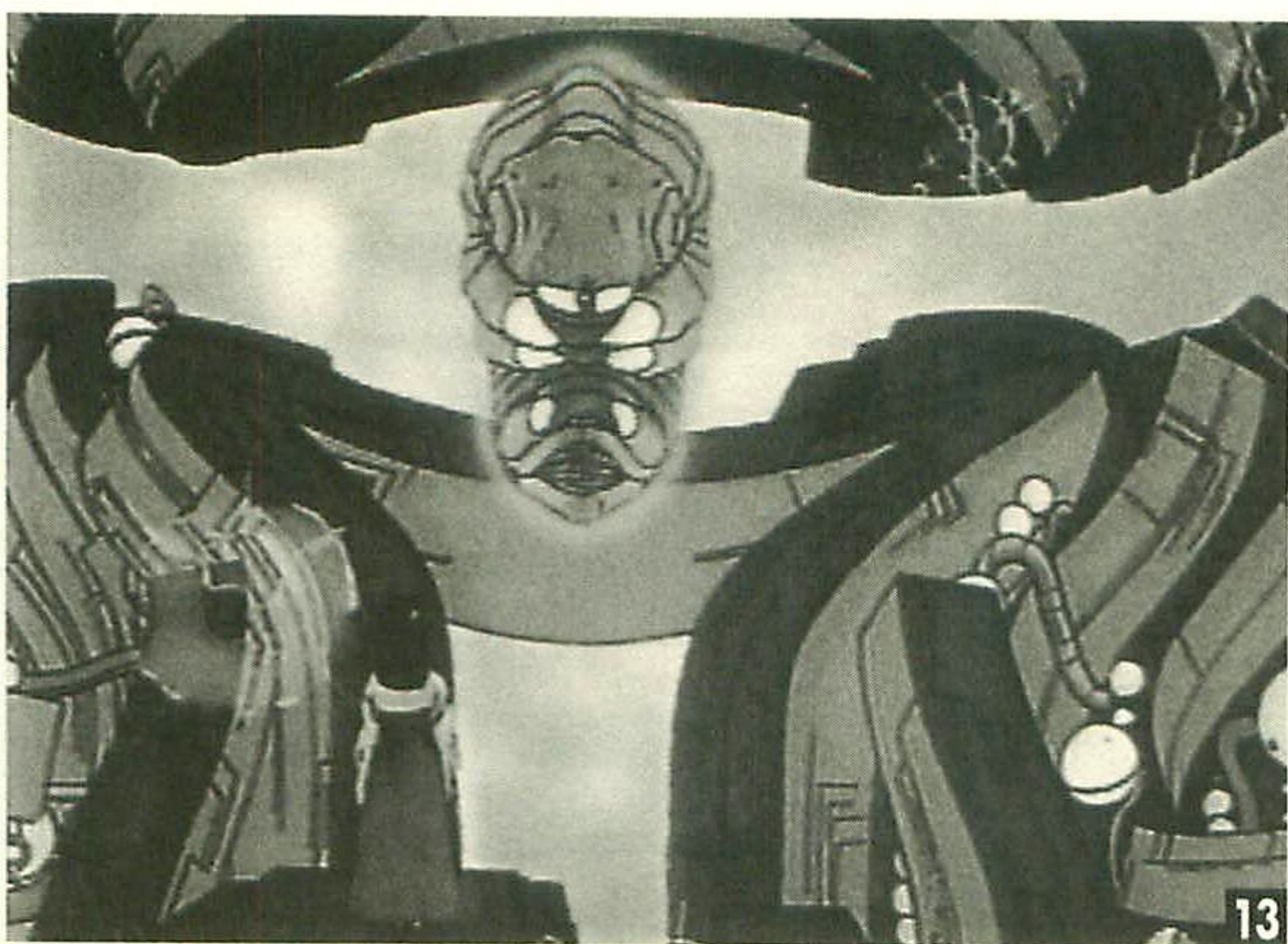
SIBERIA・USSR

形になって…。
岡：ああ、「帝都物語」の平将門みたいなもんですね。
眠：悪のエネルギーとして、まだ生きながらえてるわけです。
岡：弘法大師が祟りをなすワケだ（笑）。
眠：(6)このアニメのスゴいところは、前半は「レイダース」調の遺跡冒険物なんですが、後半、物語がやたらと壮大になっていくんですよ。コレが日本の政界を陰で操る「箱根の老人」と、そのパートナーの「謎の中国人」！（笑）
唐：こんなドジョウ髭生やした中国人なんて、今どきいないぞー（笑）。
眠：この中国人が「アメリカは結局、裏でユダヤに操られているのだ」とかトンデモな事を言い出すワケです。(7)はい、コレがそのユダヤに操られているアメリカの大統領。(8)それに対抗するシベリアのソ連軍。この両大国が「神のメッセージ」の秘密をめぐって争うワケですね。まだこの頃は、ソ連に力があった頃ですから。で、KGBからは「怪僧ラスプーチンの孫」とい

神秘主義が合理主義をうち負かした
この瞬間を!!
10

9
わが先祖ラスプーチンよ!!

11

12

う奴が派遣されてきます(9)。
唐：(10)ラスプーチンの孫（笑）！…まぁ孫はどうだか知らないけど、旧ロマノフ系の人物の子孫を、KGBが雇うかなあ。
岡：でもこれ、こうやって並べてみるとイイなぁ。
眠：最終的には北海道に「神の言葉を封印した遺跡」というのがある事がわかって、主人公たちはそこへ向かうんです。コレがその遺跡。
唐：(11)前方後円墳！　こんなの北海道には無いぞー。
眠：(12)これが実は「天之浮船」でして、なんと空飛ぶんですよー！（笑）
岡：イイ！　イイよコレ。なんでヒットしなかったの？
眠：あまりにもスゴすぎて、誰もついて行けなかったんじゃないかと…。
唐：一つの作品の中にいろいろ詰め込みすぎたんでしょう。
岡：そりゃそうだよな（笑）。全26話じゃないんだもんなぁ。
眠：…で、ここまで描くアニメってあ

クリスタル・トライアングル

んまし無いと思うんですけど、巫女のおねーちゃんがこの前方後円墳の中に入って、なんと「神様」に会っちゃうんですよ！

唐：ほぉ、神様まで出てくる！

眠：コレがその「神様」(13)（笑）。

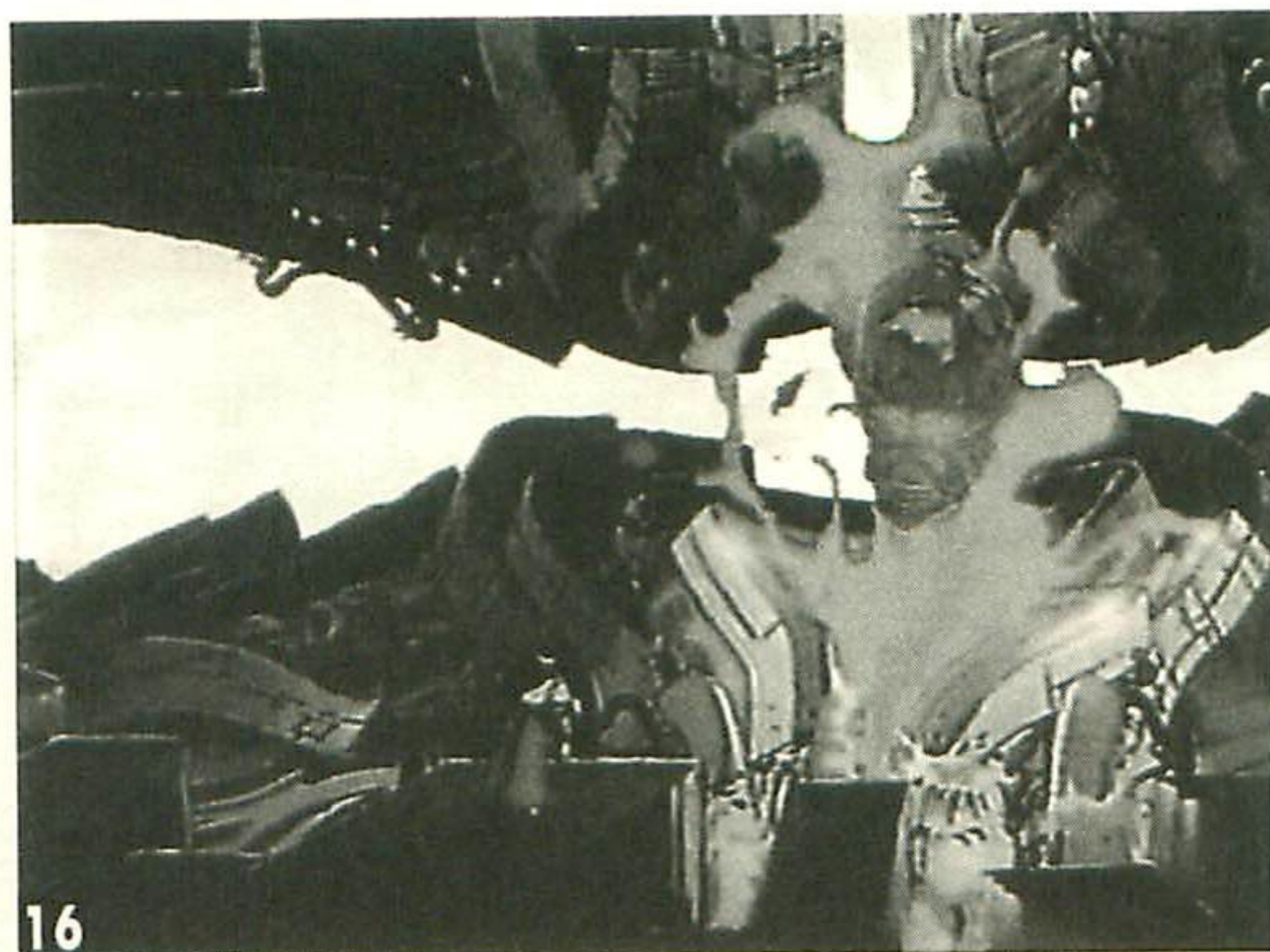
岡：(14)イモムシ（笑）！

唐：一応、「常世の神」っていう虫の神様が、古事記か日本書紀に出てきますけどね。

眠：多分、その辺からネタ拾ってるんだろうけど、実際「絵」で見るとインパクトありすぎ。

岡：ここまで、「どうなるんだどうなるんだ」って観客を引っ張っといて、やっとクライマックスで「神様登場！」となったら、コイツが浮いてんのか。

眠：おまけに「ウルトラセブン」の宇宙人調で、「ワタシガカミサマダ」とかカタカナ喋りすんの(笑)。

ラスト。ソ連もアメリカも、双方とも相手側に「神のメッセージ」を渡したくないもんだから、天之浮船にガンガ

ンミサイル攻撃かけちゃうんですよ。で、墜落しちゃう。弱い！(15)

唐：神の船なのに？

岡：ただデカいだけなの？

眠：(16)(17)はい、ドッカーーン！　神様死んじゃいます。ちゃんと「神は死んだ」っていうセリフも入ります。

岡：これはちょっと思いつかんわ。

唐：この時には、空海はどうなってるんですか？

眠：あ、すんません。言い忘れてましたが、この前のシーンで主人公がウパニシャド使って空海倒しちゃいます。

唐：えっ、空海も倒されちゃうの？　神様をずいぶん安直に使う作品ですね（笑）。この頃はまだ「トンデモ」という概念が無かったから仕方無いけど、今だったらもっと話題になったかもしれないね。「トンデモアニメ」として。

眠：だからこそ、今こそ皆さんにぜひ観てほしいアニメなんです。

岡：でも、作った人は大マジなんでしょ？

眠：だから最初は「日本版レイダース」を目指してたんですね。それで「竹内文書」とかの日本の「超古代史」からネタを拾ってくる内にどんどんヘンになっていったみたい（笑）。スタッフはやたら豪華なんですよ。脚本は「ガリバーボーイ」の武上純希。キャラデザは「ワタル」の芦田豊雄で、作画監督は「セーラームーン」の只野和子。原画も「エヴァ」の庵野秀明とか、そうそうたるメンバーが入ってます。おまけに撮影監督は「こどものおもちゃ」の大地丙太郎！

岡：肝心の監督は？

眠：「超獣機神ダンクーガ」の奥田誠治。そういえばアレにもちょっとトンデモな思想が入ってましたね。「ダンクーガ」って実は「断空我」って書くって知ってました？　「我を断って、空の境地に達すれば、神となる！」っていう。

唐：ほほう（笑）。

立川談之助

私はオタクが嫌いだ!

世間は私のことを「オタク落語家」などと呼ぶがとんでもない。はっきり言うが、私は決してオタクではない！

私はただ、セーラームーン模様の着物を着て高座に上ったり、ＳＦ大会でカルト寄席をやったり、某出版社のパソコンゲーム誌「ポプコム」でアダルトゲーム評をやったり、白夜書房の幻のロリコン誌「ヘイ・バディ」を創刊号から全冊揃えていたり（残念ながら結婚するとき全部捨ててしまった。逃げた女房より百倍も惜しい！）、平田実音（舞ちゃん）主演のＮＨＫ「ひとりでできるもん！」のビデオをほとんど持っていたり、中国へ行って戦車に乗ったり、ＲＰＧ―７をブッ放したりするのが好きなだけで、コミケで同人誌を売ったり、タキシード仮面のコスプレで夜の街を駆け回ったり、美少女を切り刻んで喰ったりするオタクとは違うのである。

私はオタクではないどころか、オタクが大っ嫌いなのだ。

だいいちオタクは美しくない。肉体的にも精神的にも醜悪で、薄気味悪い生物である。オタクの女など、とてもじゃないがセックスの対象とはならない。無論、男もである！　その、オタクが何万人も集まるコミケなど、まさにこの世の地獄図だ。もし私がオウムだったら、地下鉄よりコミケ会場にサリンを撒くだろう。

次にオタクはケチである。

普通、落語の会に来る客というものは、自分でチケットを買って、楽屋に御祝儀を届け、打ち上げの勘定を芸人に払わせないものである。ところが、私と快楽亭ブラックなる変態の落語家とでやっている「トンデモ落語会」というカルトな会に来るオタクの連中ときたら、怪しげなビデオやときメモグッズにはいくらでも金を使うくせに、無料券で入場して打ち上げで喰って、会費を払わず帰る奴らばかりである。

立川談之助プロフィール
本名　角田　博（つのだひろし）
昭和28年6月22日生まれ　蟹座　ＡＢ型
群馬県前橋市出身
師匠、談志譲りの古典落語のほか、自作のニューウェーブ落語、世相を鋭く風刺する時事漫談を得意とする。落語のほか、司会、レポーター、パフォーマンス、講演、話し方教室講師、落語家ロックバンドのリーダーとしてライブハウスにも出演中。エッセイ、ショートショートなどライターとしても活躍、とくにパソコンゲームのライターとして、業界で注目を集めている。「面白いことなら何でもやる男」だそう。

最後に、オタクは何らお国のお役に立たない。「シムシティ」が得意でも市長にはなれないし、「大戦略」がうまくても防衛庁長官にはなれないし、「シムアース」の名人が国連総長になったという話は聞かない。

軍事オタクや兵器マニアだって、撃つのは好きだが撃たれるのは嫌いな奴らばかりなので、一朝有事の時には真っ先に逃げ出すであろう。

もう一度、声を大にして言う。私はオタクが大嫌いだあ！

ところがである。年々歳々、私が付き合う人間はオタクばかりになっていく。

「またいい死体のビデオが手に入りましたぜ」などという電話を夜な夜な掛けてくる唐沢某氏、「シンプソンズ日本定着推進委員会」などと称し、電力会社に喧嘩を売ろうとしている眠田某氏（MXテレビ様、「シンプソンズ」をまた毎月放映して下さい！）、「オタクの国からオタクを広めに来た」ような（これがわかる人は落語オタク）岡田某氏などなど。

この者たちと付き合うようになってから、来る仕事といえば、コスプレパーティーの司会とか、アダルトゲームの解説とか、ロリコン事件のコメントなどというオタク系の仕事ばかりである。

私だって本当は、桂文楽（もちろん先代の）の「明烏」や桂三木助（お父さんの方の）の「芝浜」に憧れて落語家になったのである。何が悲しくて、SF大会のオタクの前でカルト落語をせにゃならんのだ。責任者を出せ！

それもこれも全て唐沢・眠田・岡田の三大オタクのおかげである。純真な落語家をオタクの世界に引きずり込んだ悪魔なのである。少しでもこの世界に足を踏み入れた者は、魂を抜かれて、身も心もオタク化し、二度とまともな人間の世界に戻れなくなってしまうのである。

今この本を読もうとしているあなた、これ以上ページをめくってはいけない！　これ以上読むと深い濃いオタクの世界に引きずり込まれて、二度と帰れなくなるぞ。人間やめますか、それともオタクやめますか⁉　それでも読むというならもう何も言わん。

しかし、最後にもう一度言う。「私はオタクが大っ嫌いだあ！！」

恐竜家族

AMIGOS ARCHIVES 03

眠：NHK教育で土曜夕方に放映されてた、ジム・ヘンソンプロ制作の特撮ホームドラマ。一部でカルトな人気がありました。

岡：これ、パッと見にはすごくほのぼのしてるでしょ。まあ「原始家族」とか、ああいうアメリカのホームコメディみたいな感じで。ただ使ってる恐竜の着ぐるみが「ダーククリスタル」系のすっごいハードな着ぐるみなんですよね。

眠：単なるホームドラマに、ああいう高度な技術を惜しげも無く投入してるのがスゴい。

唐：映画の「フリントストーン」みたいな感じなのかな？

岡：まぁそうですよ。ただ、視点がすごくシニカルで面白いですね。撮ってる奴等がね、かなり自覚的に、自分達の作ってるモノをからかってますよ。ドラマ自体は普通なんですけど、細かいギャグとか設定とかでね。「フリントストーン」と違うのは、家族の中でいがみあいが多いところ。たとえば、えーと、あの恐竜一家のお父さん（アール）って婿養子なの？

眠：いえ、婿養子じゃないですけど、嫁さん（フラン）のお母さん（エセル）と旦那が仲がすごく悪いっていう設定なんですよ。日本だと「嫁姑の争い」なんだけど、アメリカでは「義母と夫の不仲」っていうパターンが多いですね。「奥様は魔女」とかもそうだったし。

唐：「トゥモローシリーズ」っていうアニメーションでも、「未来の家はこうなる」って話で、外へ出る時、家族みんながそれぞれの専用の車に乗ってるんだけど、最後に義理のお母さんの車だけ「棺桶」でガッタンガッタン揺られてたりとかね。

トンデモ度 50 40 30 20 10
アダプト度 50 40 30 20 10

眠：「恐竜家族」にも、まったくその通りのヒドい話があって、高齢のエセルが心臓発作起こして倒れた時に、アールがすぐ裏庭に穴掘って埋めちゃうんですよ（笑）。

岡：そうそう、あの旦那は土木会社に勤めてるっていう設定だから、パワーショベルとか持ち出して、ガーーッと埋めちゃうの。で、エセルおばあちゃんも恐竜だから丈夫で、すぐ生き返って穴から這い出してきて「私は天国を見たー」とか言って臨死体験をテレビで語っちゃうんですよ（笑）。

眠：アールの勤めてる会社（ウイセイソー社）って、熱帯雨林の森林伐採が仕事なんですよね。

唐：アメリカの人気アニメ「ザ・シンプソンズ」の父親は原発職員だし、どうしてそういう一家を主人公にしたがるんだろう？

岡：違う違う。「恐竜家族」の世界では「砂漠化」ならぬ「熱帯雨林化」が進行中で、どんどん木を伐採しないと、酸素が増えすぎて恐竜たちが滅びるって設定になってるんだよ。

唐：なんだ、そりゃあ。そういう世界観なわけ？

眠：だからねえ、もう傑作エピソードは山ほどあるんですよ。たとえばアールの一家はメガロサウルスで、肉食恐竜だから「菜食主義」っていうのは異端になるわけですよ。これは多分ドラッグ問題のパロディだと思うんだけど、ブロッコリーかなんかを反抗期の息子（ロビー）が食べちゃう話があって、アールが「キャベツだったら許せるが、ブロッコリーだけは許せない！」とか激怒しちゃうの。

岡：ブロッコリーがヘロインにあたるわけね。あと、ロビーが新しいガールフレンドと知り合って、相手の家のパーティーに行ったら、向こうは全部草食恐竜で、「肉食は俺だけかー」って困る話もあった（笑）。

唐：草食恐竜を食べたりしちゃうの？

眠：いや、アール達の主食は哺乳類です。

岡：そうそう、パパがママにロマンティックな感じで「お誕生日おめでとう」ってプレゼントをあげるんだけど、箱

1994年、ブエナ・ビスタ・ジャパンより発売。「セサミストリート」のジム・ヘンソンが、『6000万年前に生きていた恐竜の家族が、現在のわたしたちのような暮らしをしていたら？』というアイデアを思いつき、息子がその遺志を継いで製作。

をあけると「食べないでー!」ってエサの哺乳類が叫ぶの。

眠：そういう細かいところにすごく凝ってて、例えばカレンダーが逆になってるんだよね、紀元前の世界だから。

岡：そう、31日から始まってんの。「ところでなんで俺たちのカレンダー、逆さまなんだ?」「さあー?」って(笑)。それから、あの世界では、人間界でいう「胸が大きい」っていうのが「シッポが長い」ってことになってるんですよ。

眠：「太くて長い」のが、グラマーないいシッポ。

岡：それで、娘(シャーリーン)が太くて長いシッポに憧れて、底上げブラならぬ「付けシッポ」を注文しちゃうんですよ。お母さんに「またこんなもの注文して!」って怒られるんだけど(笑)。でも娘は「だって、私、シッポが小さくてモテないんだもの」って泣いてるの。「こんな貧弱なシッポじゃ、誰も高校の卒業パーティーに誘ってくれないわ!」って。こんなドラマ、オレどういう顔して見ればいいんだか(笑)。

眠：テレビ番組なんかもCNNならぬDNNが放映されてて、天気予報の画面もちゃんとパンゲア大陸になってるの。おまけにアナウンサーが「今日は地殻変動が起こって大陸が移動するでしょう。大陸北東のお友達にはさよならを言って下さい」とかヒドい予報出すし。

唐：でも、最終回では全滅しちゃうんでしょ?

眠：うん、ウイセイソー社が乱開発をしすぎたせいで、環境破壊から地球の寒冷化が始まり、氷河期に入っちゃうっていうヒドいオチなんです。最後、アールが息子たちに「おまえたちにもう未来はないんだよ」って言ってきかせる…。「恐竜の滅亡」という歴史的事実と最終回がちゃんとリンクしてるの。あれにはびっくりしたね。

岡：オレ、見てないんだ、あの最終回。

唐：普通、人気のあるものなら、なんとか続けて次のシリーズにつなげようとするじゃない?

岡：だからいずれ氷が溶けてまた…(笑)。

眠：天気予報でも「これから数年間は雪が降り続くでしょう」って冷たく言い放つの。それがラストカット。まあ、基本的に「ザ・シンプソンズ」の影響っていうのがかなりあると思うんですけどね。あのシナリオのブラックさ加減は。

唐：あるある。どうして日本じゃそういうブラックな物、出来ないんだろうね?

岡：まずね、むこうでは製作会社とテレビ局の契約が13話とか26話じゃないんですよね。デメリットとしてはすぐに放映が中止になる。へたすると4回とか6回で打ち切り。逆にメリットは何かっていうと、4話ごとの契約だからシナリオライターも4話ごとに入れ替えが出来るんですね。「ザ・シンプソンズ」とかを見てると、シナリオにどんどんいい人材が入ってくるんですよ。つまり、番組の人気が上がってく

恐竜家族

るると、シナリオライターの方から自ら売り込みを始めるわけですね。「これをシンプソンズで使って下さい」って言って。本来は映画のシナリオやってる超一流の人も売り込んで来る。そうすると、そこから制作側は自由に選べるんですよ。契約更新の時に、面白くない奴はどんどん首切っちゃえるし。だから向こうのテレビ番組は、人気が出ると本当にシナリオが良くなるんですよ。

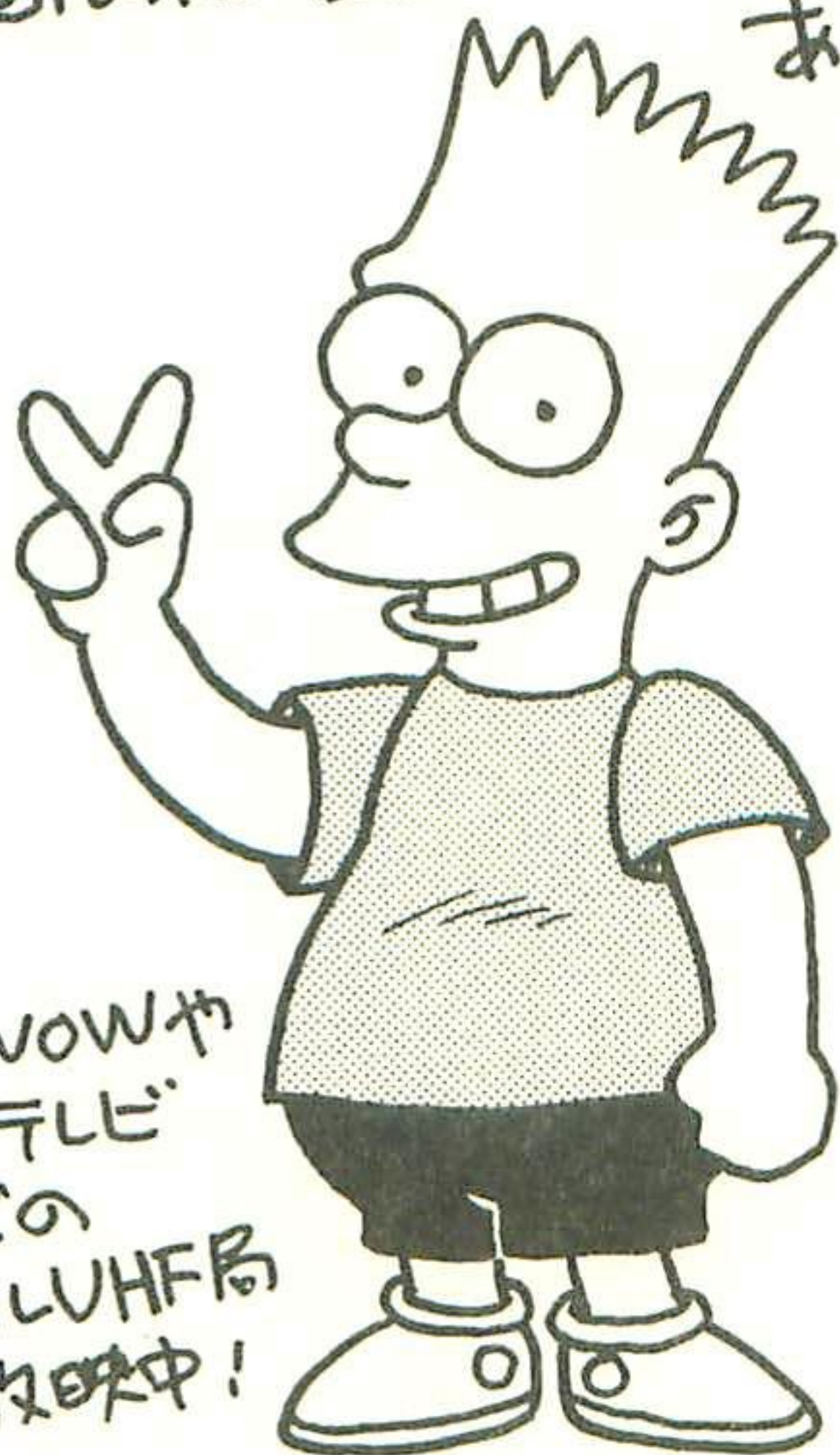
眠：「恐竜家族」も後半どんどんヒートアップしましたからね。

岡：「ザ・シンプソンズ」も最初の13話はつまらなくって、26話まででちょっと面白くなって、39話あたりからぐーっと面白くなってくるんですよ。日本は基本的にスタッフ固定しちゃいますからね。

唐：そうそう。

岡：だから、ああいう風に途中から面白さが伸びていくモノってあんまり無いですよね。

眠：だから、外国モノを日本に持ってくる時に難しいのは、最初の1クールがつまらないんで、視聴率が取れなくてそのまま放映中止になっちゃう…みたいなパターンが多い事ですよね。「新スタートレック」もシリーズ中盤以降の方が面白いし。あ、「恐竜家族」はブエナビスタジャパンからビデオがリリースされてるんで、これを読んで興味を持った方はぜひ観て下さい。さっきの「おばあちゃんを生き埋めにしちゃう」ヒドい（笑）エピソードはビデオの第4巻に収録されてます。

「ザ・シンプソンズ」については
ぜひこの本で紹介したかったんだけど
今回は版権のカンケイとか いろいろ
あって実現
できなかった

いずれ
機会が
あったら
大々的に
特集
したい
アニメ

WOWOWや
MXテレビ
などの
ローカルUHF局
で放映中！

面白いから見よーね。

＊好美のぼる 妖怪シリーズ

妖怪屋敷

1●妖怪屋敷

唐沢コレクション 漫画秘宝館

AMIGOS ARCHIVES 04

1●妖怪屋敷

唐：主人公が家庭教師として大きなお屋敷に呼ばれるんだけど、そこはなぜか不思議な妖怪屋敷になってて、勇気を出して屋敷の中を探険していくという話。最初の部屋に入ると、いきなり鬼が出てきて「食ってやるー、ちょうど夜食前だー」とか言って襲ってくるんで、あわてて逃げ出して次の部屋へ行くと、今度は水虎という妖怪がいる。「うわーっ」と叫んで次の部屋へ行くとムジナが出てくる。で、次の部屋へ行くとまた妖怪がいる。こんな感じで、延々と四十匹以上出てくるんですよ（笑）。

眠：漫画というより妖怪図鑑ですね。

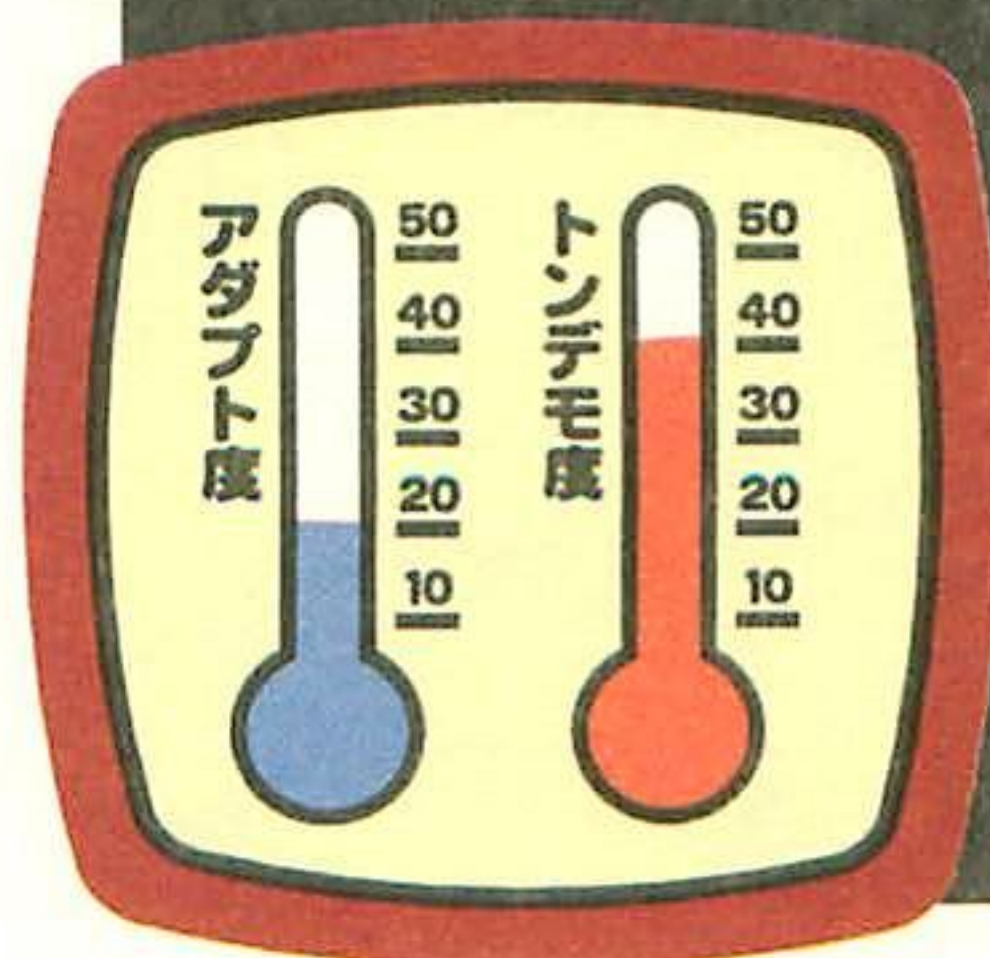
岡：ここなんか、パッとドアを開けたら、部屋の中に井戸が掘ってあるじゃないですか！ 中が墓場になってる部屋までありますねぇ（笑）。

眠：なんだか、CD-ROMブック向きの漫画ですね。

唐：そうそう、ダンジョン探険ゲームみたいなんですよ。多少バリエーションをつけたりしてるんだけど、四十数匹みんな同じパターン。最後に「先生、見たわね」とか言われるんだけど、この廊下の両脇には四十以上も部屋があるのか（笑）！

眠：多分、何も考えずに描き飛ばしたんでしょうね。

唐：作者の好美のぼる先生は売れっ子で、ひと月にB6版の単行本を一冊、A5版の貸本単行本を二冊、それに雑

トンデモ度
アダプト度
50 40 30 20 10

2●血まみれカラスの呪い

3●妖女の奏でる夜想曲

誌の連載と読み切り、あと妖怪図鑑のイラストまでやっていたんで、とてもとても一冊づつ丁寧に描くとか、きちんと構成を考えて描くなんて事は出来なかったんですね。とにかく下書きもせずにドンドン描いていって、残りページがそろそろ無くなってきたなぁって思ったところで、いきなりオチをつけて終わらせちゃう。そういう描き方なんですね。

岡：男らしいなぁ（笑）。

2●血まみれカラスの呪い

唐：貸本怪奇漫画の女王、さがみゆき先生の作品です。

眠：表紙からしていきなり変ですね。体が途中から骨になってる。

唐：一応、主人公の女の子の母親が妖怪らしいんですよ。美しいお母さまなんだけど、「チャポーン」って入れ歯が取れたり、「ズボーン」って頭が取れたり…。

眠：それはなんか違う種類の怖さだよなぁ（笑）。

岡：怖いって言うより、変なんだよ（笑）。

唐：次に手が取れて、足が取れて、おいおいどこまで行くんだって感じ（笑）。

岡：それで外に出たら蛇が襲ってくる。変な漫画ですね。

唐：最初の貸本漫画版ではこうじゃなかったんです。ところが単行本にする時に、貸本漫画ってのは百五十頁位しかないから、三十頁程描き足さなきゃならない。それで変になっちゃったみたいですね。

3●妖女の奏でる夜想曲

唐：作者は三田京子という、貸本漫画界随一の詩人。でね、最初のページで漫画の登場人物達が自己紹介してます。

岡：「夢香」とか「鋭一」とかいう召使い達ですね。

唐：ヒロインの百合子お嬢様に仕える召使い達です。実はこのお嬢様のお父さまというのは、昔、悪人に騙されて殺されちゃったんですが、その殺した犯人がこのお屋敷に引っ越してくるワケです。で、お嬢様はこの召使い達を連れて、犯人のオヤジに復讐するとい

4●母さん・お化けを生まないで

う話です。
岡：でもこのお嬢様の顔、悪人ヅラですよ（笑）。
唐：そうそう、もう悪者の顔になっちゃってますね。で、実はコレ、実験的な漫画でして「静物を擬人化して描き、静物の眼から見た人間界の美しさ醜さというものを追求してみました」というのがテーマなんだそうです。つまり、さっきの召使い達の正体は、お嬢様の愛用していたナイフ、ハープ、コート、ロウソク立てだったという、シュールなオチになってます。
岡：あー、最後のページに説教が書いてありますね。「現在の人間界というものは、とかく正義が醜く歪められ、不正な事が正当化される傾向にあるようです。そこで私はこの作品の中で、不正なことを徹底的に追求し、懲らしめてみました」。
唐：この後がいい（笑）。「静物は私達人間をいつも冷静な眼で見つめているのです。だから私達人間は、常に正しい生き方をしなければなりません。でないとやがて人間は、静物に支配される時が来るかもしれませんよ」。
眠：来ねーよー！（笑）
唐：この三田京子先生は他にも、農民の娘が突然天の啓示を受け、革命を起こしてしまう話とか、あと、どうも美少年が好きらしくて「美少年狂い」とか、わけのわかんないタイトルの漫画も描いてます。おそらく「美少年」って言葉を、日本の漫画で初めて使った人じゃないかな。

4●母さん・お化けを生まないで

唐：これは割と最近の作品です。
岡：イヤなタイトルだなぁ。
唐：これは、あの「件（くだん）」の話ですね。
眠：「件」って何ですか？
唐：牛の頭をして、体が人間という妖怪です。国家の危機とかが近づくと、この妖怪が生まれて、不気味な予言をして死ぬ。

唐沢コレクション

漫画秘宝館

5●怪獣決戦・神の使者

眠：怖いんですか、それ。

唐：小松左京の小説に「くだんの母」というとっても怖い話がありますね。

岡：ほうほう。コレ、なんか怨念のこもった話で怖そうだなぁ。

唐：この白川まりなって作家さんは、曙出版で「異様の女流作家デビュー！」とか言われてデビューした人なんだけど、実は男性だったんだよね（笑）。なかなか絵がグロテスクな感じでイイんですよ。

眠：これって、いつ頃の漫画ですか？

唐：昭和43年。

眠：唐沢さんの言う「最近」ってのは、昭和40年代だからなぁ（笑）。

5●怪獣決戦・神の使者

唐：これは絵物語なんですが、怪獣ファンにはオススメですね。

岡：ファントムは出てくるし、怪獣は街で暴れてるし。「怪獣の歩幅は30メートルもある。あれよあれよという間に天城の山脈も超え…」、文章もいいなぁ。「人口約三万の西伊豆第一の松崎町は、あっという間に踏みつぶされてしまった」（笑）。

唐：この作者は画力があるからねぇ。今はSM雑誌の方で描いたりしてますけど。

岡：これ、変ですねえ。ここまでずっと怪獣を「ゴスラ」って呼んでたのに、突然「西伊豆に上陸したゴラスは…」だって（笑）。

唐：それは単なる誤植でしょう。しかしこのヒーロー、「快傑ライオン丸」にソックリですね。剣まで持ってますし。

眠：これ、舞台は熱海なんですね。なんかやたらとムキになって熱海だけを怪獣から守ってるなぁ。他の町はどーでもいいのか（笑）。

唐：こういう怪獣モノの貸本は、昭和44年の怪獣ブームの頃にいっぱい出たんですよね。最初の「ウルトラマン」とか「ウルトラQ」の時ですね。

岡：その手のモノって、今、古書店じゃ結構いい値段が付いてるでしょ？

唐：ええ、もう。安いうちに買っといて本当に良かった（笑）。

偽 ストリートファイターII

眠：「ストリートファイターII」っていう、世界中で流行った格闘ゲームがあるんですけど、これが実写映画化されたんですよ。

唐：ああ、ジャン・クロード・ヴァンダムが主演の…。

眠：いえ、ココではそのハリウッド版ではなくて、韓国で「勝手に作った」実写版の方を紹介したいと思います。

これはもう内容をどうこう言ってもしょうがないような作品ですので、とにかくキャスティングを見て笑っていただきましょう。

唐：どれが誰だかわかんないぞ、コレ（笑）。

眠：まず、このガキがリュウです(1)。

唐：なんか、そこらにいるタダの兄ちゃんですね。

眠：これがリュウのライバルのケン(2)。

1 リュウ

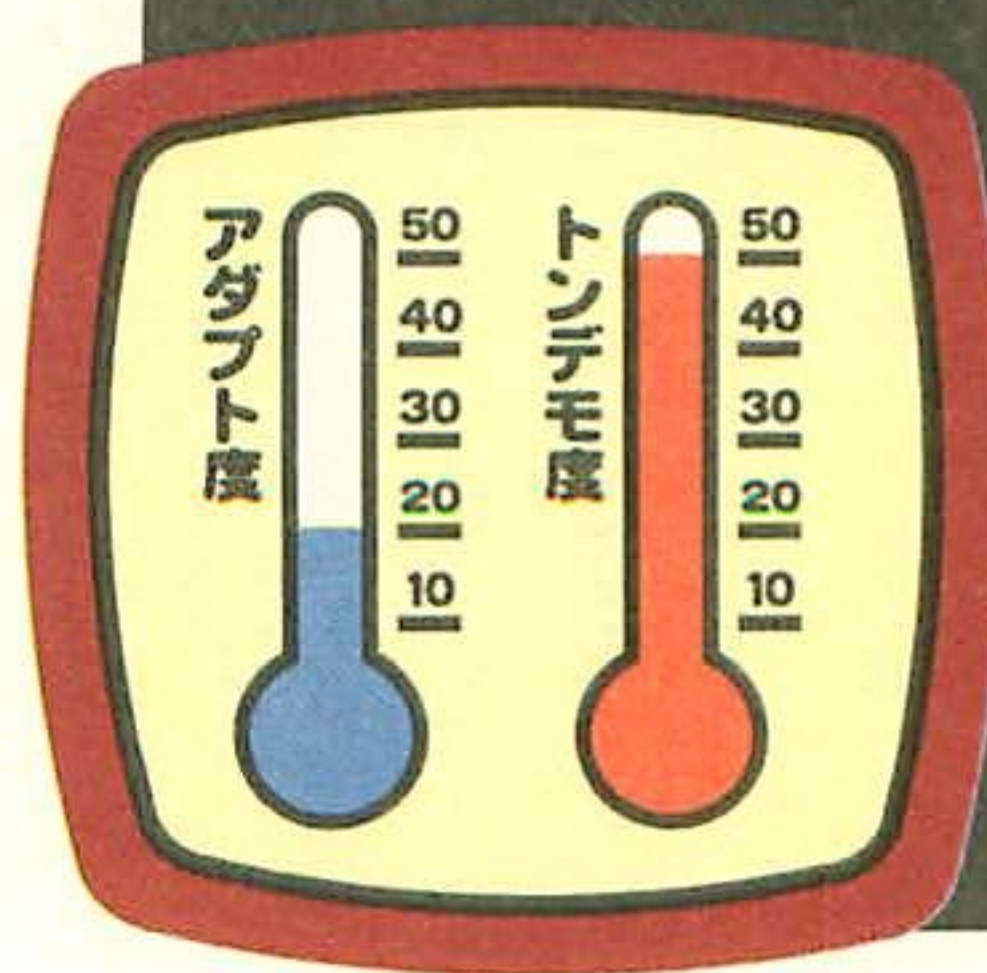
2 ケン

トンデモ度 50 40 30 20 10

アダプト度 50 40 30 20 10

バイソン

ガイル

3

4

5

ザンギエフ

唐：この金髪はなんだかなぁ（笑）。
眠：絶対にカツラかぶってますよね。
岡：頭、持ち上がってるものね。
眠：この辺はまだマシなんです。まだ一応「ヒーロー顔」してる。後はどんどんヒドくなる。なんと！　このクソガキがガイル(3)。
唐：どこが？（笑）
岡：ガイルって、もっと体格のいいアメリカの軍人じゃなかったっけ？
唐：ただ韓国の子供向け映画って、必ず一人はガキを出すんだよね。昔のアニメ版「サイボーグ009」で007だけ子供になっちゃったみたいな感じで。
眠：いや、一人どころじゃないんですよ。これがバイソンなんです(4)。情けない。
唐：どうしようもないな、コレは。髪の毛も一応それ風にカットしてあるけど。ああっ、剃り込みまで入れてる！
眠：これがザンギエフ(5)。
岡：ロシア人には見えないぞ。
唐：髪形だけはそっくりにしてあるんですね。
眠：これが一番ヒドいですね。ブランカ(6)。
唐：ただの怪物！（笑）
岡：ほとんど「宇宙船」の表4に広告

ブランカ

6

出している、小川ゴムのラバーマスクの世界だね。

眠：これがバルログ(7)。

岡：ははは。なんかもうどうでもよくなってきたな。

眠：ただの痩せこけたオヤジのようですが、サガットです(8)。

唐：なんかタモリに似ている（笑）。

岡：「大鉄人17」の匂いがするな。この辺を見ていると。

唐：いやいや、「電人ザボーガー」かもしれない。

岡：そうか、ピープロの匂いだ！　韓国って国をあげてピープロなんじゃないか（笑）。

唐：これは何(9)？

眠：悪のボスのベガです。

岡：やっぱり、ピープロのセンスだよコレ（笑）。

眠：韓国製のせいか、日本人の扱いもなかなかヒドくて、この大爆発の中から飛んできたデブ。これがエドモンド本田です(10)。

㊝ストリートファイターII

12
春麗

ダルシム
13

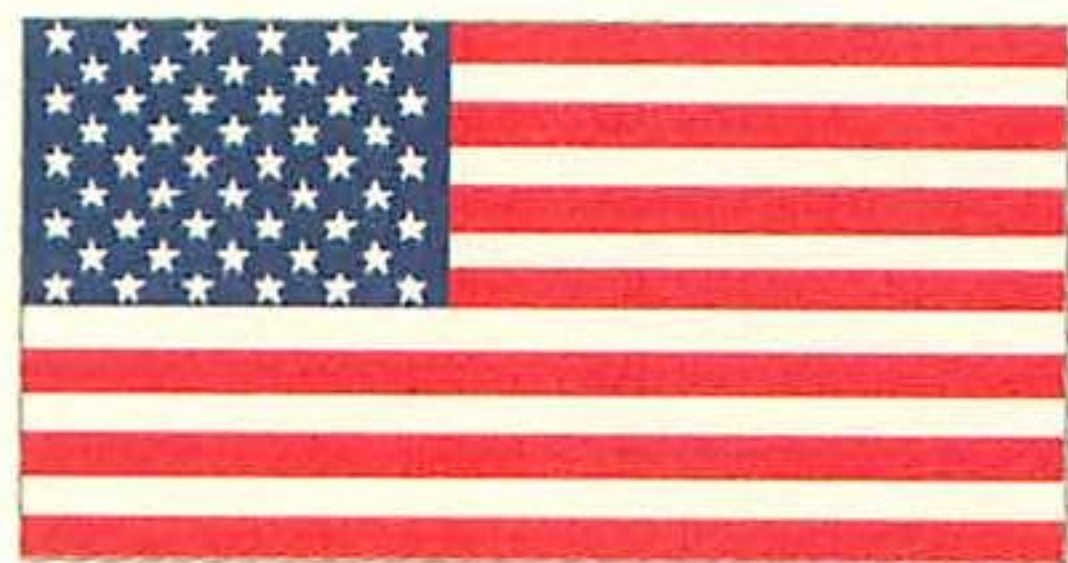
14
ダルシム

岡：俺の弟みたいだね（笑）（11）。
眠：春麗です（12）。で、この映画、アクションシーンはなかなか凝ってまして…。こいつがダルシムなんですが（13）、飛び上がって腕が伸びるところとか、全部ワイヤーワークでやってる（14）。それと春麗の「スピニングバードキック」のシーン。これも役者をワイヤーで逆さに吊ってグルグル回してる（15）。なんというか、「力技」で無理矢理ゲームを再現してますね。
唐：頭に血が昇るぞ（笑）。

15
春麗

眠：この辺の役者の扱いのヒドさって、香港とか韓国映画の特徴ですね。
唐：だって、スターでも平気でそのままアクションさせますからね。スタント無しで。
眠：そんなワケで、情けないコスプレと、ハイレベルのアクションシーンのギャップがスゴいっす。

AMIGOS ARCHIVES 06

変なアメコミ

1~4●カラテガール

唐：まずは「カラテガール」から行きましょうか。

眠：コレはどういう作品なんですか?

唐：えー、向こうのポルノコミックなんですが、日本の「禅」を学んだおねーちゃんがですね、「カラテガール」に変身して悪と戦うというお話。復讐のために相手を切り刻んじゃったんで、悪人達からは追われるし、警察からも追われるっていう、バットマンのような孤独なヒーローという設定ですね。もっとも、それは初期だけで、すぐお間抜けなだけの話になってますが。

岡：この悪の首領の「テングマスター」とかを見た時には驚いたなぁ（笑）。「小判」とかのアイテムもキッチリ描かれてるし。その辺はちゃんと日本の物を調べて描いてるんですね。

唐：いや、コレ、実は日本人の作家が描いてるんですよ。

岡：をを、オレの心に絶えて久しい「国辱」という言葉が（笑）。

眠：しかし、ミもフタも無い絵ですね。

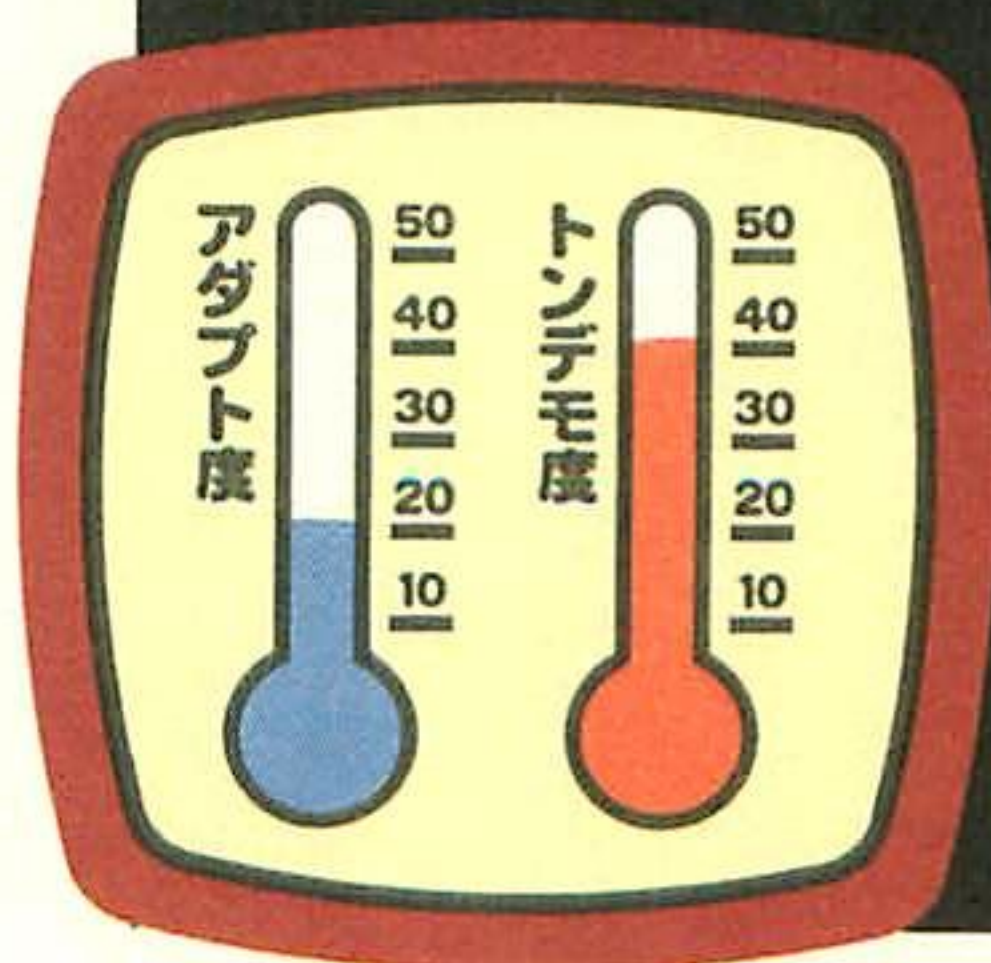
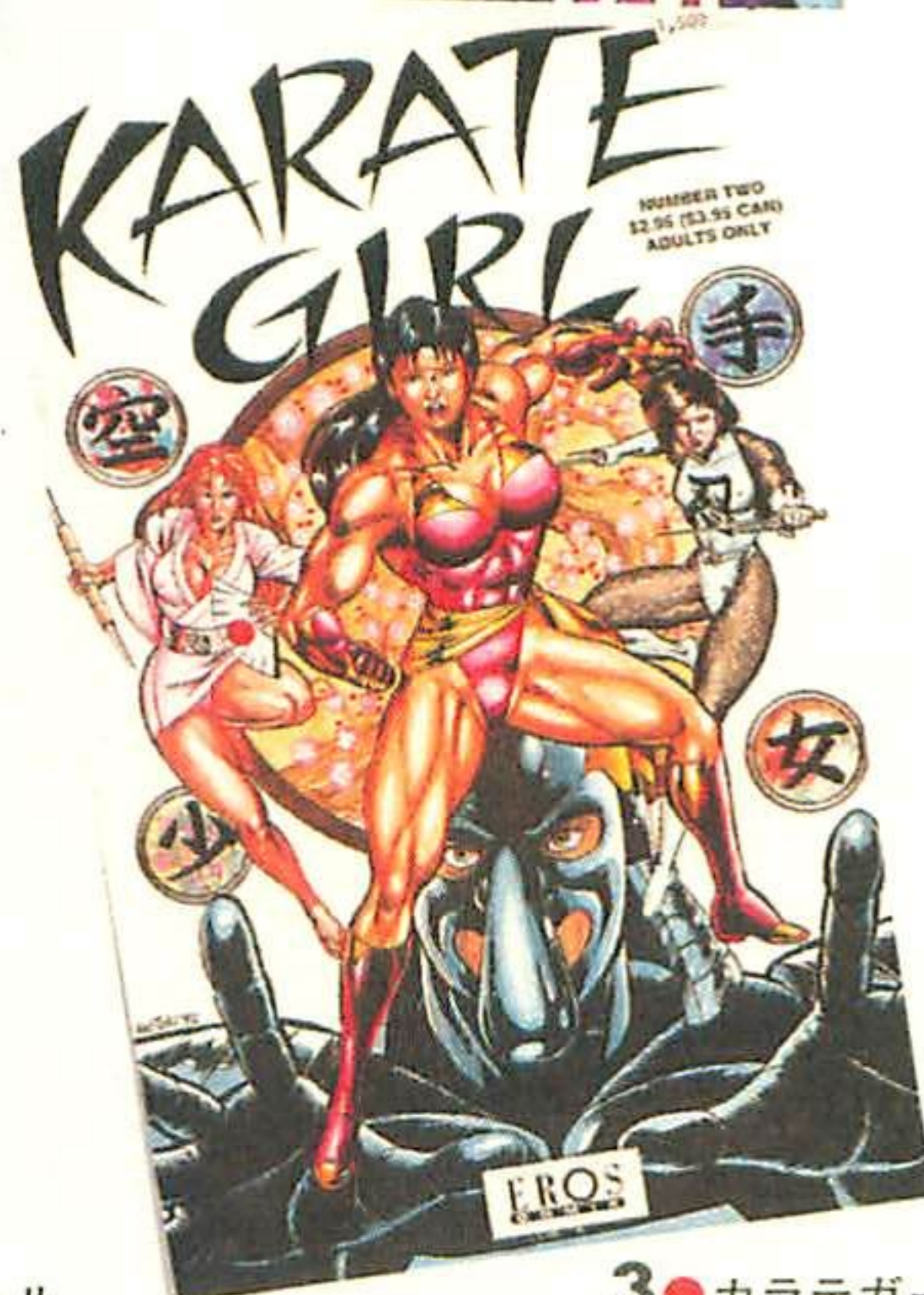
岡：女性キャラなんか「カラテ地獄変」みたいだし（笑）。

眠：こんな絵でアメリカ人は欲情するんですか?

唐：いやぁ、結構喜んでるみたいですね。版元の「エロスコミック」っていう会社はマイナーなトコなんだけど、この路線でかなり人気出ちゃって、大手のマーベルとかDCにとっても、無視できない位の勢力に育っちゃったんですよ。出版点数がとにかく多い。

岡：あっちの人はこういう女の子、好きだからね。肩幅があって筋肉が発達してるっていう…。

唐：そう、日本の漫画みたいに「たおやかな少女が、実は空手とか合気道の達人」っていうんじゃなくて、「強い!」という

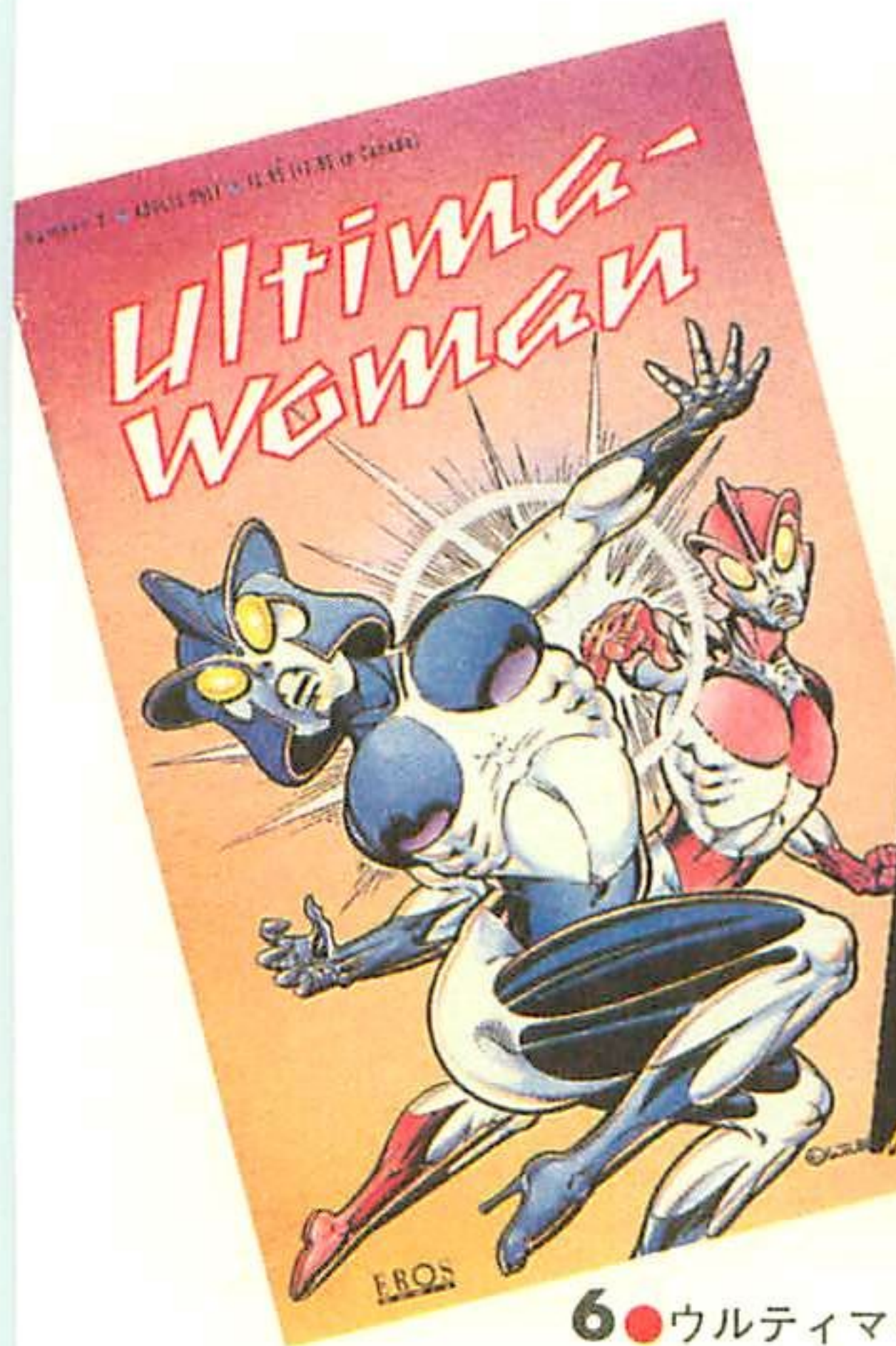
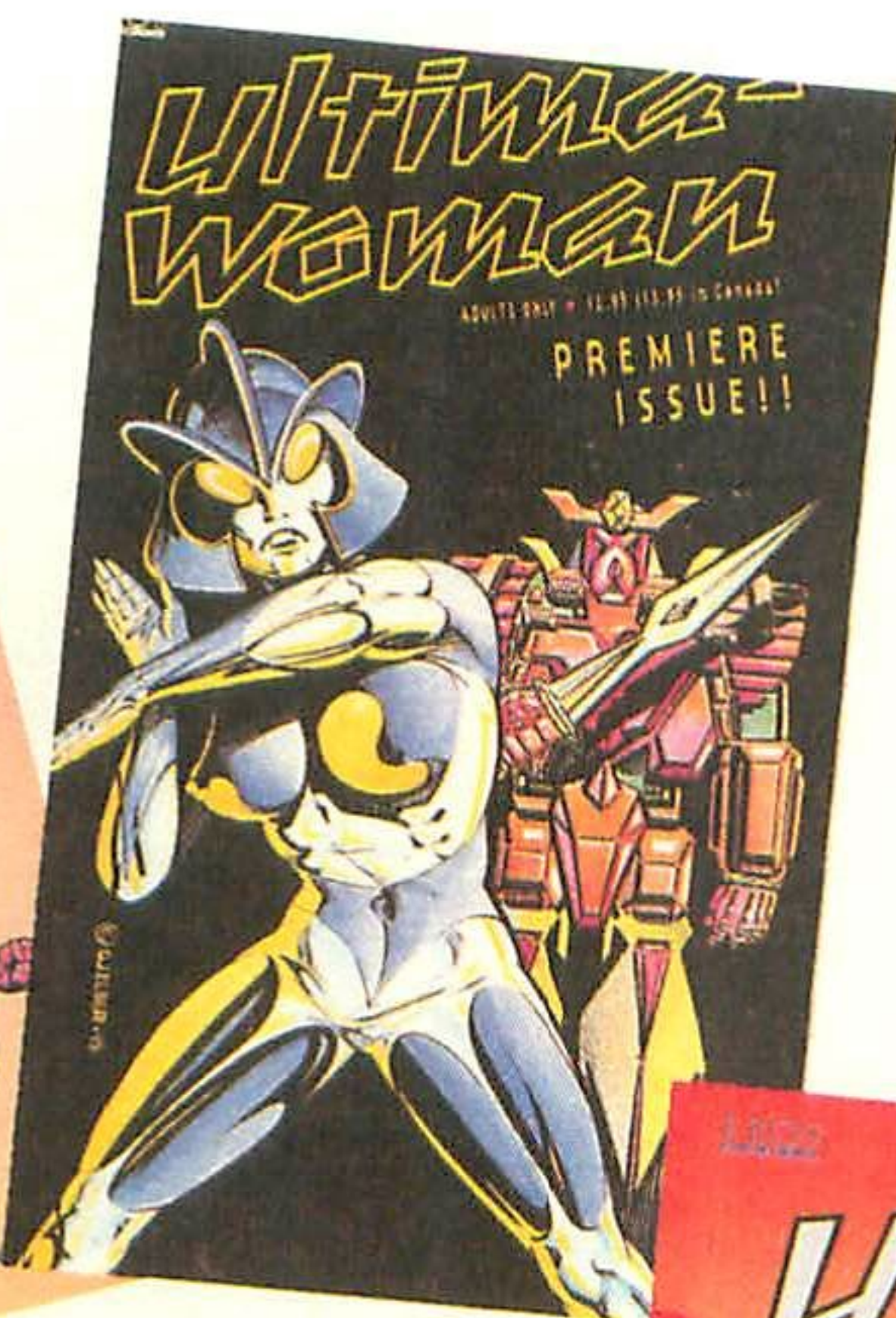
トンデモ度 50 40 30 20 10
アダプト度 50 40 30 20 10

1●カラテガール

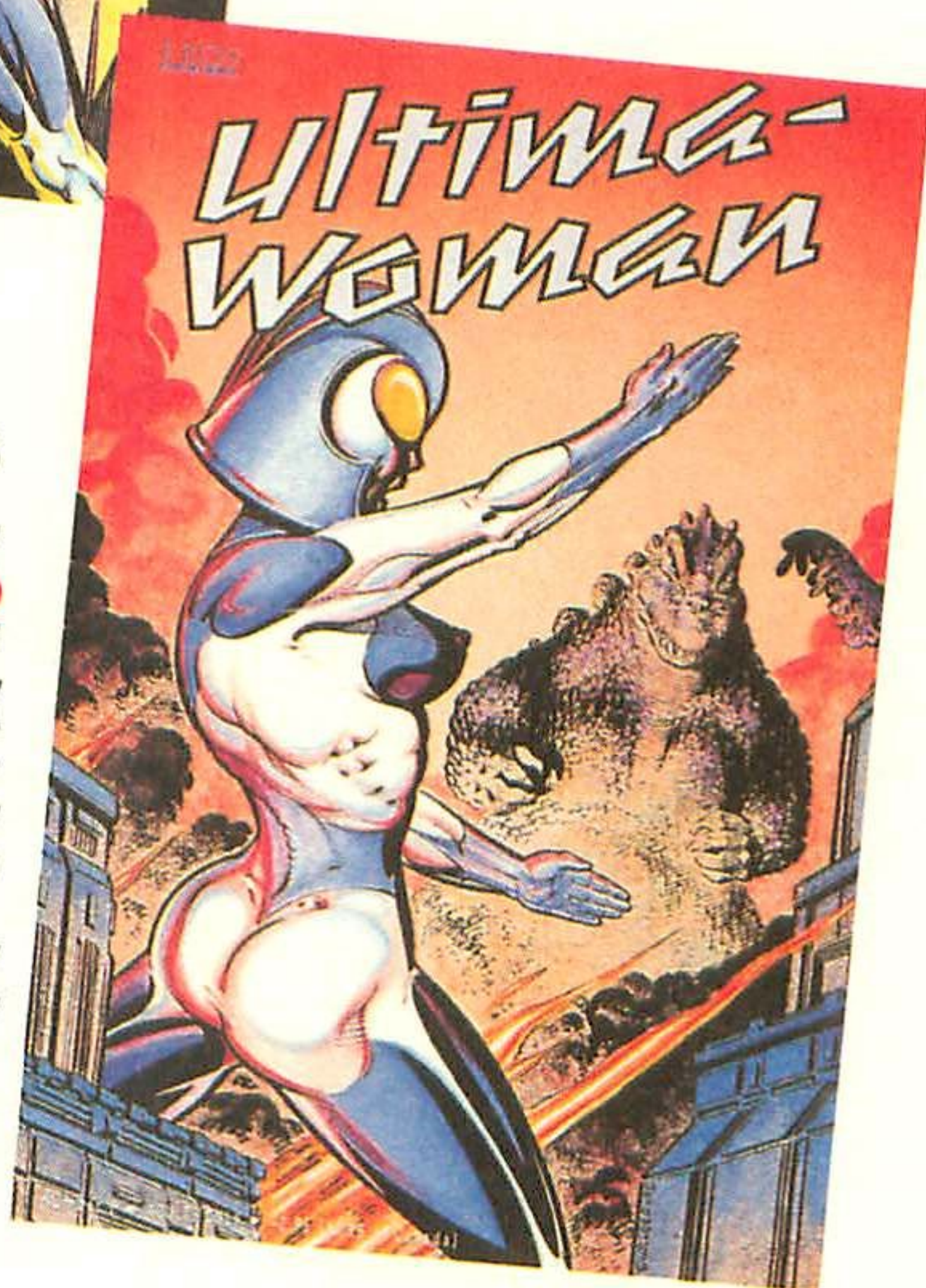
と、どうしても筋肉モリモリのおねーちゃんになっちゃう。
岡：そうそう、あの「ターミネーター」のヒロイン、サラ・コナーも、「2」では精神病院の中で懸垂とかしてて、いきなり筋肉女になってるんだもん。
唐：で、この「カラテガール」が、世界平和会議の開催を妨害しようとする「テングマスター」や「ピーピングマン」と戦うワケですね。

2●カラテガール

4●カラテガール

3●カラテガール

岡：…と、解説する程のストーリーなんか無いぞ！　ほとんどのページがHシーンばっかしじゃないですか（笑）。
唐：それはカラテガールがレズで、しかも「オナニー大好き少女」という設定だからです。趣味はコケシのコレクション（笑）。
眠：いやぁ、頭のネジを二、三本はずしてからでないと読めない漫画ですね。
唐：セリフも「ユア・ペニス・イズ・ベビーサイズ」とか、日本人が書いた英語だからわかりやすくてイイです。もってまわった言い回しなんか全然無い。
岡：しかしなんで、この主人公の女の子はやたらと小便ばかりしてるんだ？パンツ下ろして便座にしゃがみ込むだけで4コマも使ってるぞ。
唐：作者が放尿シーン好きなんでしょう（笑）。
眠：しかし大バカですね。これ、どっか物好きな出版社が翻訳して、日本でも出してくれないかな？　我々だけで楽しんでるのはもったいない。

5●ウルティマウーマン

7●ウルティマウーマン

6●ウルティマウーマン

5〜7●ウルティマウーマン

唐：これは「ウルティマウーマン」というコミック。よく円谷プロが黙ってるよなぁと思うんだけど。内容は「ウルトラマンA」のポルノ版。主人公の二人の男女がセックスすると、超人・ウルティマウーマンに変身する（笑）。

岡：第一話、ウルティマウーマン誕生の回ですけど、「身も心も合体した時に…」とか言ってますね。

眠：まさしく合体（笑）。

唐：絶頂に達したときに「ウルティマ!!」って叫ぶと、変身できるんです。

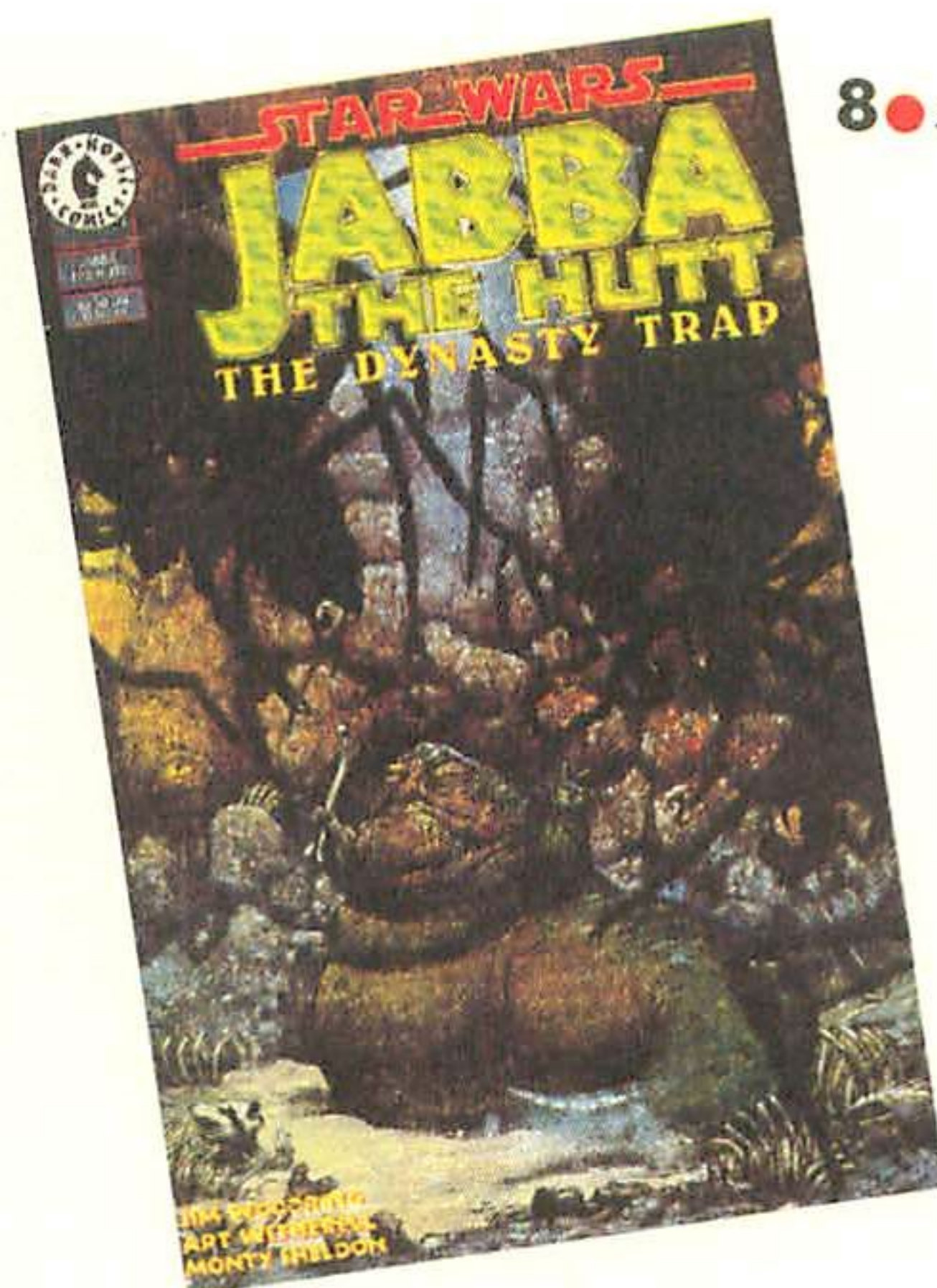
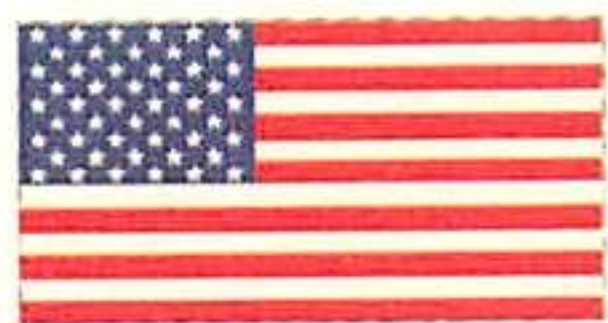
岡：「怪獣出現！　大変だ、もう我々はヤるしかない！」って、ヒドいセリフだなぁ（笑）。

唐：ここで、「サイコー！」とか言うんですよ（笑）。

岡：コイツら、怪獣が暴れてる横でエッチしてて、気が散らないのか？　あーあ、「ウィ・ウィル・ホールド・エニー・ポジション」とか言ってる。「どんな任務にでもつきますよ」じゃなくて「どんな体位でもこなしますよ」なんていう、下品なアメリカンジョーク飛ばしてるし。

唐：最後にジョークで終わるというのは、向こうのコミックの定番ですからね。でも「エロスコミック」で、なんとか読んでられるのが、このウルティマウーマンとカラテガールの二つだけなんですよ。あとはみんな絵がヘタクソでね。他に「Xメン」のパロディで「セックスメン」なんてのもあるんですけど。

眠：それって、世界中で同じ事思い

変なアメコミ

8●スターウォーズ外伝

ついた奴が百万人はいると思う（笑）。

8●スターウォーズ外伝

唐：これはアメコミ版の「スターウォーズ外伝」なんですけど、なんと悪玉の「ジャバ・ザ・ハット」が主人公のシリーズなんですよ。

岡：ええっ、ジャバが!? 改心したんですか？

唐：いや、悪者のままなんだけどね。ジャバよりもっと悪い奴をやっつけるという設定（笑）。

岡：ムチャクチャだなぁ。

唐：でも、映画のスターウォーズに出てくるキャラクターと、そうでないキャラの落差が激しすぎる。

眠：モロに絵柄が違ってるぞ。

岡：あたり前ですけど、ジャバはアクションしませんね。

唐：移動式の台の上に乗っかってるだけですね。

眠：描く方としては辛いキャラクターですねぇ（笑）。

唐：そうそう、こんな主人公って今まで見た事無い。

眠：スターウォーズだったらなんでもいいのか？

岡：ここまで来るとシュールなギャグ漫画ですね。

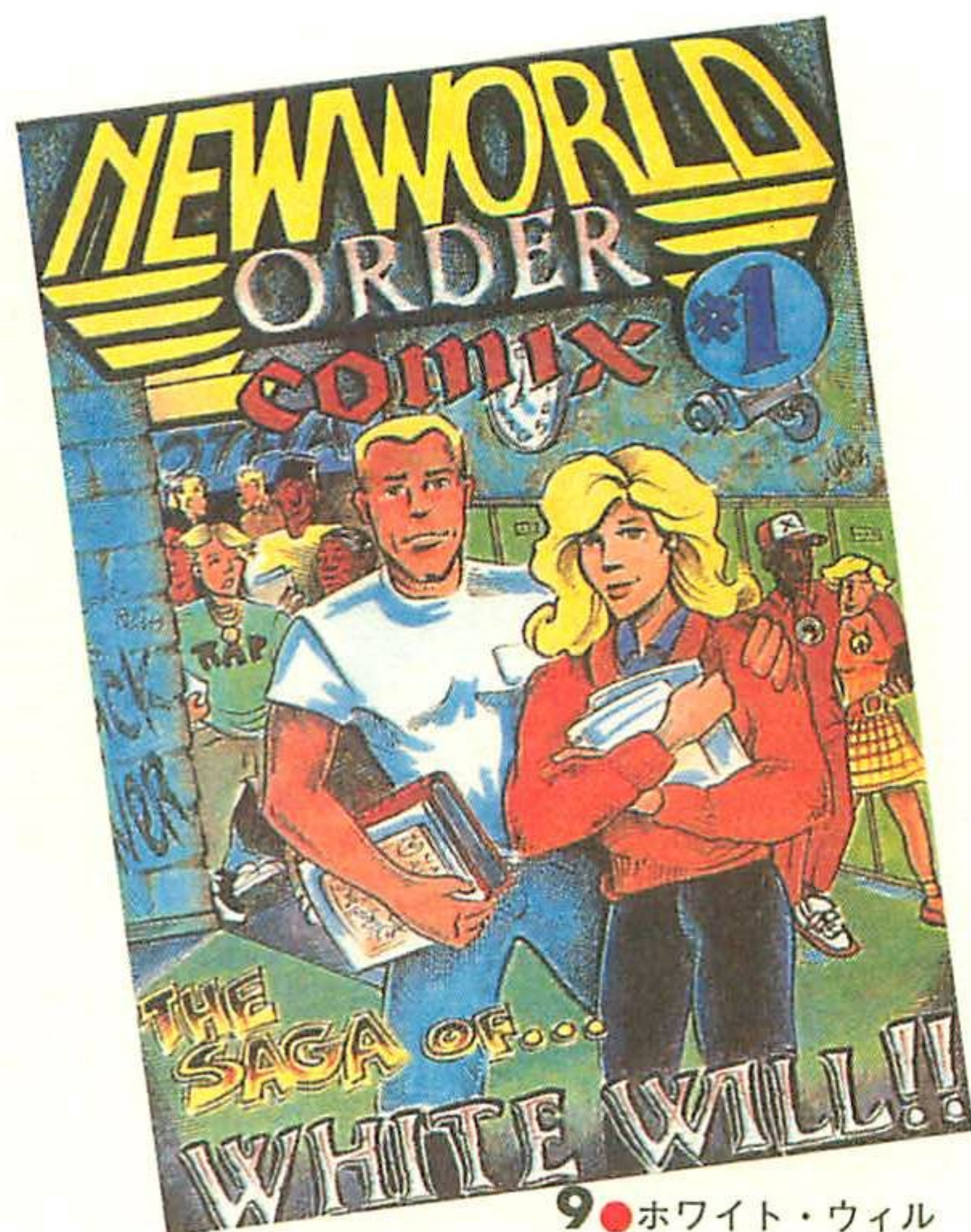
唐：映画に「ジャバの館」って出てくるじゃないですか。アレをジャバが手に入れる時のエピソードがあるんです。前の住人が、変な化け物に館を乗っ取られた、と言って、ジャバに助けを求めるんですね。ジャバは化け物を退治して取り返してやるんだけど、「この家は気に入った。ワシが住もう」って言って、その元の持ち主をペチャッて叩き潰しちゃって、乗っ取ってしまって、めでたし、めでたし（笑）。

岡：ヒドいなぁ。

唐：スターウォーズは、とにかくキャラクターの切り売りが盛んで、ボバ・フェットが主人公のシリーズもあれば、ウエッジが主役張ってるのまであるんですよ。

岡：ウェッジって、一作目の時にルーク・スカイウォーカーと一緒にデススターに突っ込んで、故障で途中で帰った奴（笑）。

眠：そんなマイナーなキャラクターのコミックまで出てるんですか！

唐：金稼ぐためにはアメリカ人、なんでもやるね（笑）。

9●ホワイト・ウィル

9●ホワイト・ウィル

唐：これは「ホワイト・ウィル」という、ネオナチの宣伝コミックです。いつも私が変な洋書を買っている、千葉の成金商会という本屋さんから教えてもらったもの。

眠：出版元は？

唐：もちろん、ネオナチ系の出版社です。「ホワイト・ウィルの主張に賛同する方はここに連絡してくれ」っていうメッセージもちゃんと載ってます。で、内容は黒人への差別意識バリバリ。「あいつらはどうせクロなんだ！」とか。

岡：バシバシ決めつけてますね。とんでもねえなぁ。この表紙の人、すごい看板持ってますね。「文明化されない者たちよ、去れ」「アフリカへ帰れ」だって。ヒドい。

唐：ストーリーは、アメリカはもう「黒人を差別しちゃいけない」っていう教育方針が、あまりに行き届きすぎて、高校で嘘ばっかり教えてると。たとえば、ハンニバルは黒人だったとか、クレオパトラは黒人だったとか、ベートーベンは黒人だったとか（笑）、このような誤った教育がなされてるって言うんですね。

岡：おお！　これは心優しい白人青年が、黒人の不良に蹴りを入れられてるところですね。

唐：しかも黒人達は、これまでの白人優位の社会がいかに間違っていたかを正す運動をしているんですが、それを裏で操ってるのがユダヤ人なんですよ。ほらここ、胸にダビデの星が…。なんてわかりやすいんだ（笑）。黒人がアメリカを支配するようになった時、ユダヤ人が横からそれをかっさらってしまおうという陰謀なワケです。で、この本では結局、黒人による黒人優位世界を築こうという演説会は、ネオナチの青年の反論によって妨害され、幕を閉じるんですが、まだまだこのユダヤの陰謀は続くから、白人はみんながんばろう！　って言って終わるんですね。

岡：す、すごすぎる。

唐：読んでると頭がクラクラしてきます。

眠：でも、こういうプロパガンダものっていうのは、第三者から見ると大バカで面白いですよね（笑）。

唐：笑えますね。オウム真理教の漫画もそうだったし（笑）。

眠：これ、中身も載せたいんだけど、マルC取るの面倒だし、こんな出版社に版権料払うのイヤだしなぁ。

岡：そんな事したら、ネオナチの資金になっちゃうよ！（笑）

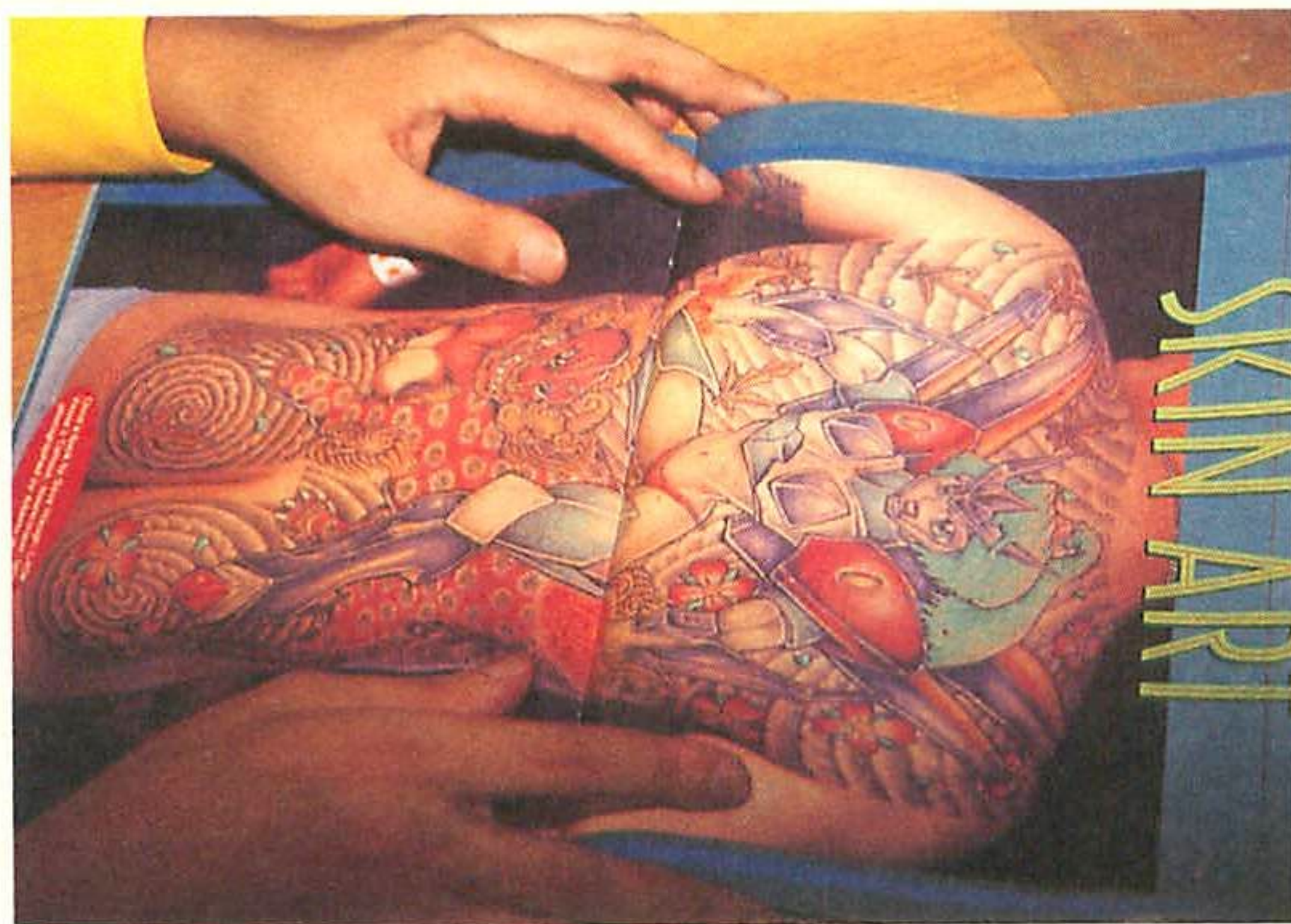
10・11●スキンアート

唐：これは「スキンアート」っていう

変なアメコミ

10●スキンアート

「入れ墨」「タトゥー」の専門雑誌です。で、この号はジャパニメーションの特集をやってて、つまり、身体に日本のアニメの絵を入れ墨しちゃった人を紹介してるんですよ（笑）。

11●スキンアート

眠：おお、それは勇気がある！

唐：そうそう。コイツなんか一生、この背中のアニメ絵を背負って生きていくワケですね（笑）。しかしこういう入れ墨、いつどのようなシチュエーションで人に見せるんだろうねぇ。

岡：オレが以前見たのは、背中にゴジラ入ってて、肩にはメカゴジラっていう人。しかも新メカゴジラ！

唐：わざわざ、平成ゴジラ版の方を、というのがイイ！　確か、「BRUTUS」の特集でしたね。

岡：あと、ドラゴンボールの入れ墨も人気ありますよね。強いキャラクターって事で。

眠：コレのスゴさは、一度彫っちゃうともう取り返しがつかないってトコですね。

岡：やっぱり目立つためには、このくらい人生捨ててかからないと（笑）。

唐：しかし彫り師の方も、よく日本のアニメキャラなんか間違えずに描けるよな。

岡：いや、やっぱし間違う事もあるんだよ。前にあるアメリカのアニメファンが、「MDガイスト」のキャラの入れ墨を彫ってもらったんだって。でも、キャラの顔が似てなかったんで、怒り狂ってその入れ墨師にショットガンぶっぱなしちゃったとか（笑）。

唐：とんでもない事するなぁ（笑）。

80年代バブルアニメ・チラシ大全集

AMIGOS ARCHIVES 07

1 ●テクノポリス21C

トンデモ度
アダプト度

1 ●テクノポリス21C

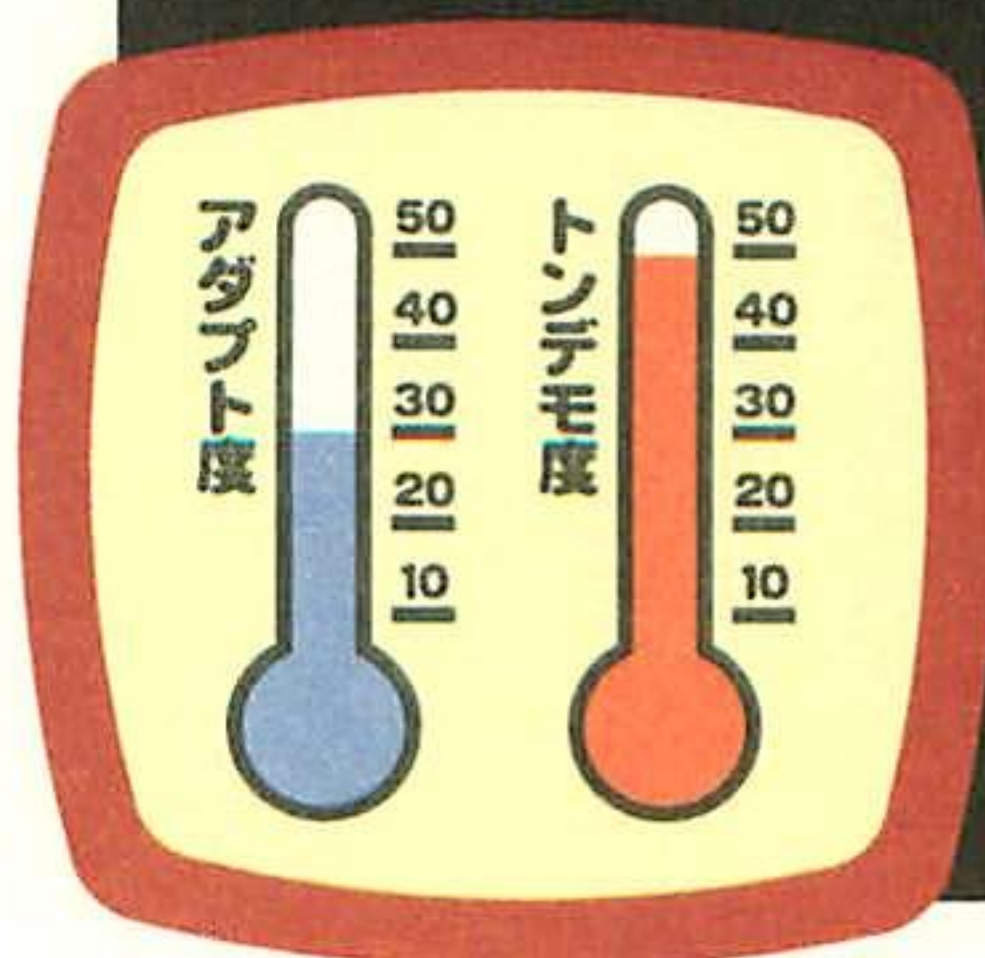
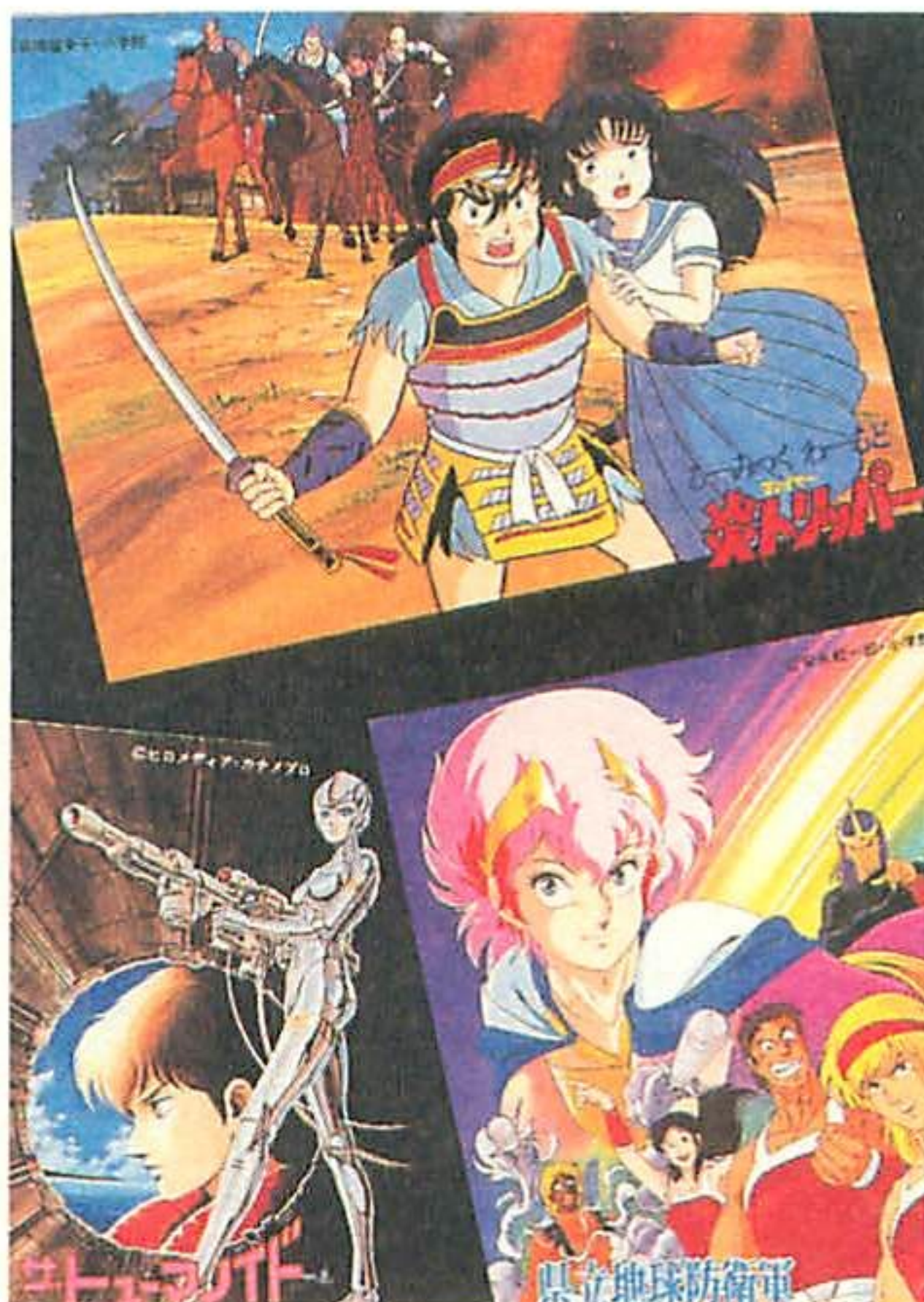
岡：これは期待したんだよな、オレ。あの「スタジオぬえ」がとうとう、本格的に参加したアニメーションだ！って「OUT」に載ってたもんだから。当時は「ぬえ」って言ったらブランド感あったもの。

眠：あったあった。で、期待して観に行ったら、かなりヘロヘロの映画でしたねー。なんか知らないけど、この戦車が走ってるシーンが延々と長かった。

岡：もともとパイロットフィルムなんですよ。「テクノポリス21C」っていうテレビシリーズ企画のパイロットフィルムを、いきなり劇場にかけちゃった（笑）。

眠：時代の流れを感じるのは、当時、このメカを動かすだけで大変だって言われてたんだけど、今はこれくらい普通に動かしてますもんね。

唐：案外、線があっさりしてるもんね。

岡：この「スキャニー」っていう女性型ロボットは、当時のメカマニアに人気があったんだよね。胸のところの点検パネルが開くんですよ。もう胸が開くっていう設定書だけでみんなムズムズしてた（笑）。

2●県立地球防衛軍、ザ・ヒューマノイド、炎トリッパー

3●11人いる、扉を開けて

4●アイ・シティ、ガルフォース

眠：アニメになる前の、事前情報の頃が一番楽しかったな。

2●炎トリッパー・他

眠：OVAをまとめて劇場にかけたんですよね。で、まぁ三本立てだからレンタル屋で借りるより安上がりだし(当時は今よりビデオレンタル料が高かった)、一本くらいは「当たり」があるだろうと期待して映画館行ったんだけど、見事全滅（笑）。

岡：でも、「県立地球防衛軍」のオープニングはイイじゃん。

眠：まぁ「県立」はこの三本立ての中ではまだ見れる方でしたけど、「ザ・ヒューマノイド」とかが辛くてねぇ。このメタリックボディのアンドロイドのおねーちゃんが「売り」のハズなのに、本編中ずっと服着てて、ほとんど脱がないでやんの（笑）。

3●11人いる！他

眠：こんな二本立てもありましたねー。

岡：「扉を開けて」の企画協力は竹宮恵子。こんな仕事もやってたんですね。

唐：「11人いる！」は、最初にNHKで実写ドラマになった時のショックが大きくて（笑）、みんななんとかアニメ化してくれって願ってたら、86年になってやっとこの映画が出来たワケですね。そしたらコレだった（笑）。泣くに泣けない。

岡：この二本立ては、どうでしたか?

眠：うーん、どっちもそんなに悪くはなかったけど…。今の「ご近所物語」とか「こどものおもちゃ」なんかにくらべると、まだ製作側も少女漫画をアニメ化するのに慣れてない時代だったから、ちょっとチグハグというか、こなれてない感じはしましたね。

4●ガルフォース・他

岡：この「ガルフォース」には面白いシーンがあってねぇ、クライマックスでこの主人公のねーちゃんが「もうダメだわ」って弱音吐いてね、洋式便所でパンツおろしてしゃがんで泣くんですよ（笑）。

唐：パンツおろして！

岡：オレ、便所で泣くヒロインって初めて見ましたよ。でね、涙が流れると

5●ガルフォース２、最終教師

6●ドリームハンター麗夢

ころで、その涙のセルが水色なんですよ。眼から水色の涙（笑）！　そりゃあ、水は水色かもしれないけどさ、もうちょっと考えて色指定やれよォ！

眠：「ガルフォース」って、最近リメイクされたんですよね。ビデオアニメもそれだけ歴史を重ねたワケだなぁ。

唐：ウチの弟（唐沢なをき）が持ち込み時代、これとそっくりな話を描いてたの。もちろんギャグだけど。『戦争の猫たち』っていう。あれ、発表してればパクリだといばれたのにな。

5●ガルフォース2・他

岡：「ガルフォース2」は、「1」とくらべると格段につまんなくなっちゃったね。

唐：本当にこの頃のOVAっていうのは、出るアニメ出るアニメ、くだらないのばっかりだったなぁ。

岡：ただこの時はねぇ、ソニーがお金かけてビデオアニメ作ろうとしてたんだよね。

眠：このSVIという会社ですね。

岡：そうそう、ソニー・ビデオ・インターナショナル。でもこの二本がコケちゃって、それでソニーはアニメから手を引いちゃった。

6●ドリームハンター麗夢

岡：「麗夢」は結構ファンが多いんだよね。

眠：発売元の「オレンジビデオハウス」って会社が、「麗夢」出した直後に潰れちゃって、この第一作のLDだけはすごく手に入りにくいんですよ。今、中古屋とかではかなりイイ値段が付いてるハズです。二作目以降はキングレコードからのリリースだから、入手しやすいんですけどね。

岡：オレはこの頃から、「このブラジャーみたいな鎧なに！？」って、白い目で見てたね。

眠：この一作目だけは評価してます。パート2以降はいまいちだったですけど。

岡：ホント？　オレ、こういう中途半端にイイっていうのが一番嫌いなんだよな。もっと出来の悪いのは好きなんだけど（笑）。

80年代バブルアニメ・チラシ大全集

7●ハレー伝説・ラブポジション

8●ルーツサーチ

7●ハレー伝説・ラブポジション

眠：これはですね、かの手塚治虫先生が、ビデオアニメブームに「乗り遅れちゃいかん！」とばかりに、巨匠自ら乗り出して作った作品ですね。

岡：えっ、これ、手塚さんなの？

眠：隠れた手塚アニメなんですよ。

岡：でも、キャラデザは「いんどり小屋（スタジオライブ）」だよ。

眠：それはですね、手塚先生が「ビデオアニメがブームだ！　オレもやりたい。でも、オレの絵じゃアニメファンにはウケないから、今風の絵にしよう」って言いだしましてですね。で、ライブの芦田豊雄さんはもともと虫プロ出身だから、手塚御大からの依頼を断わるワケにはいかないじゃないですか（笑）。そういう経緯で出来上がったのがこの作品なんですよ。あと、主題歌をまだメジャーになる前の長山洋子が歌ってますね。まぁいろんな意味で貴重なアニメだから、中古ビデオ屋で見つけたら即ゲットです。

岡：肝心の中身はどうなんですか？

眠：もちろん、すごくつまんないです（笑）。ただ、手塚先生の「流行りモノに弱い」という趣味がいかんなく発揮されてて、まず、ネタがこの頃地球に接近してた「ハレー彗星」ですし、当時ヒットした「ターミネーター」をパクったキャラクターもちゃんと出てきます（笑）。

8●ルーツサーチ

岡：当時、オレはアニメ業界に半分入ってた頃だから、あんましヨソの作品の悪口を言わないようにしてたんだけど、「特にコレはヒドい」っていう評判はよく聞きましたね（笑）。

眠：その通りです（笑）。内容はこのチラシ見ただけですぐわかるけど「エイリアン」のパクリ。

唐：エンディング・イラストレーションが加藤直之！

眠：これはコロムビアがビデオアニメに手を出して、見事に失敗した作品ですね。

岡：ああ、なるほど（笑）。

9●ファンドラ

80年代バブルアニメ・チラシ大全集

9●ファンドラ

10●ゴルゴ13

岡：パート3ファントス編！　第一巻がレムファイト編で、第二巻がデッドランダー編だったぞ、確か。
眠：よくそんなどうでもいい事覚えてますね（笑）。しかしこの頃って、ヒロメディアとカナメプロがやたらとビデオアニメ作ってましたね。
岡：そうそうそう。で、そういう一連のカナメプロ作品見て、マイケル・ジャクソンが、いのまたむつみのキャラクターデザインをやたら気に入っちゃったんだ。なんせ来日した時、わざわざいのまたむつみに会いに行ったくらいだもの。その時、アニメキャラ風にした自分の似顔絵を彼女に描かせたんだよ、こういうタッチで（笑）。でも、確かにこれは売れ線の「絵」だね。この、足の太い感じとか、今の「セーラームーン」に引き継がれてるし。

10●ゴルゴ13

唐：山本又一朗プロデューサーが「ベルサイユのばら」（実写版）とか「がんばれ!!タブチくん!!」とか「プロ野球を10倍楽しく見る方法」とかいろんな映画作ってた頃の一本ですね。「千五百万ファン待望」って書いてあるけど、「ゴルゴ13」のファンってそんなにいるのか？
眠：いや、実際それくらい売れてるんじゃないですか？　単行本を総計すれば（笑）。
岡：オレ、この映画には辛かった思い出しか無いなぁ。
唐：まあ、高倉健のゴルゴよか、ましかも知れん（笑）。当時、何かの仕事で小学館行ったとき、社員がこのポスター見て、「こりゃ、あかんよ」って言っていたのを聞いた覚えがあるぞ、オレ（笑）。それにしても、何でゴルゴでCG使わにゃならんか。
岡：そうそう。
眠：なんせまだCGが物珍しかった頃だから。
岡：大阪大学にある並列画像処理コンピュータで作ったんですけども、CGシーンになると急に絵がペッタンコになっちゃって。で、そのペッタンコのビルの上を、ヘナヘナのヒューイコブ

11●RUNNINGBOY／スターソルジャーの秘密

12●GREY

ラが飛んでてねぇ（苦笑）。

唐：どっちらけ。

岡：アニメシーンの方は、出崎演出全開で、これまた原作とは全然雰囲気違うし。

眠：敵キャラがみんなフリークス系なんですよ。蛇みたいにヌメーッとした殺し屋とか、仮面つけた怪物みたいな奴とか。

岡：美女が蛇男の生け贄になるシーンとかもあるし。

眠：どこを取っても、全然「ゴルゴ13」じゃない。怪作です（笑）。

11●RUNNINGBOY・他

眠：「RUNNINGBOY」自体は割とマトモなアニメだったんですよ。で、何が面白かったかっていうと、併映の「GAMEKING」、高橋名人VS毛利名人の「激突！大決戦」の方なんですよ。この二人が「スターソルジャー」っていうシューティングゲームでどっちが高得点を出すかを競う、感動的な記録映画！（笑）

岡：ああ、そうだったよねー。

眠：高橋名人に毛利名人。今の子供たちはもう知らないでしょうね。

唐：この頃の小学生はみんな、高橋名人みたいになりたいって言ってたよね。

岡：高橋名人は親指にバネを移植してるとかいう噂が流れたりして（笑）。

眠：映画の中にも、高橋名人が特訓するシーンがあるんですよ。高橋名人が指でスイカをダダダダーッと1秒16連射で叩くんですよ。そうすると、スイカがパカーッと二つに割れる。カッコいい！（笑）　でもね、この映画、実は子供に人気の高橋名人じゃなくて、毛利名人の方が勝つんですよ。その辺は割と公平に作ってある。

12●GREY

眠：このチラシによると、実は「GREY」って、「風の谷のナウシカ」「アリオン」「天空の城ラピュタ」に続く、徳間のSF大型アニメだったんですね！

岡：ええ、そうだったのぉ？

唐：それは知らなかったなぁ（笑）。

80年代バブルアニメ・チラシ大全集

14●デルパワーX

13●バブルガムクライシス

岡：でもコレ、全然たがみよしひさの絵じゃないよね。あの「たがみ鼻」してないもの。

眠：アニメ版は完全に顔が変わっちゃってます。

唐：あの原作の絵は動かせないでしょう。

13●バブルガムクライシス

眠：ホントにOVAバブルの時代でしたね（笑）。

岡：これ、第一話からいきなり「ストリート・オブ・ファイヤー」をパクってたなぁ。マイクの持ち方なんかそっくりだもん（笑）。当時「ストリート」のパクリが流行ってたんだよね。OVA版の「赤い光弾ジリオン」で、歌を唄うシーンなんかも、もろストリート・オブ・ファイヤー。画面効果の時にワイプがシャーっと流れる効果でしょ。あそこもソックリ。もう、そこまでソックリにしなくても（泣）と思ってたらね、後でガイナックスに、BOOWYの「マリオネット」って曲のビデオクリップを、アニメで作ってくれって話が来た時に、向こうの注文が「ワイプはストリート・オブ・ファイヤーみたいな感じでお願いします」って…。みんなやりたかったんだね（笑）。

14●デルパワーX

眠：これはキャラデザイナーだけやたら豪華です。アニメ自体の出来はどうしようもなかったけれど（笑）。

岡：しげの秀一、出渕裕、美樹本晴彦、永野護…。

眠：江古田のゆうきまさみ一派の人達が作ったアニメですね。

岡：そうそう。オレはコレが失敗した時に「ザマぁみろ」と思ったんだけどね。後の「パトレイバー」で大成功しちゃったからなぁ。

眠：今は亡き「ジ・アニメ」の近代映画社がプッシュしてた企画でした。

15●サーキットエンジェル

眠：出ました、「サーキットエンジェル」!!

岡：なんですか。これは?

眠：まぁ簡単に言うと、バイク乗りのおねぇちゃんの話です。

17●トウィンクルハート・銀河系までとどかない

16●朱鷺色怪魔

15●サーキットエンジェル

唐：絵コンテ・九十九十一。誰なんだいったい。九十九一なら知ってるけど。

眠：それももう誰も知らないよ（笑）。この辺はクズアニメの極北ですね。TDKもビデオアニメに手を出して、やっぱし失敗しました。そういう80年代ならではの、歴史的背景だけ楽しんで下さい（笑）。

16●朱鷺色怪魔

眠：これは「朱鷺色怪魔」という作品より、発売元の「ウオカーズカンパニー」という会社に注目して下さい。80年代末にいきなり業界に参入し、いしいひさいち原作の「地底人」のアニメとか、とにかくいろんなビデオアニメを短期間にバカバカ出して、アッという間に潰れちゃった会社です。

岡：制作・著作・製造・発売元、全部同じトコ!? こりゃあ珍しいよ。つまり自分の会社でアニメを制作して、著作権を持ってて、ビデオテープのダビング作業もして、販売まで全部やったと。普通こんなにしないよね。

眠：多分、ベンチャー企業だったと思うんですけどねぇ。

岡：普通は何社かでリスク分割するもんな。

17●トウィンクルハート

岡：ああ、コレかぁ！ 俺さぁ、わざわざビデオ借りて来てさぁ、みんなで上映会やったんだよ。だって、今までさんざんよそのアニメを馬鹿にしてきた「月刊OUT」が、ついに自分のところでアニメ作ったんだもの。さぞかしイイ出来だろうと思って…。

眠：岡田さん、それは「活劇少女探偵団」です（笑）。これは「トウィンクルハート」！

岡：ああっ、そうかぁっ！

眠：まぁ、どっちもアニメ史上に燦然と輝くサイテービデオの両巨頭ですから、間違えるのも無理ないですけど。

18●旅立ち―亜美・終章―

岡：「さようなら亜美」って、これ、お兄ちゃんトコ行くの?

眠：そうそう、結局この後ろにいる「女たらしの河野くん」と別れて、ロンドンのお兄ちゃんトコへ行っちゃう

80年代バブルアニメ・チラシ大全集

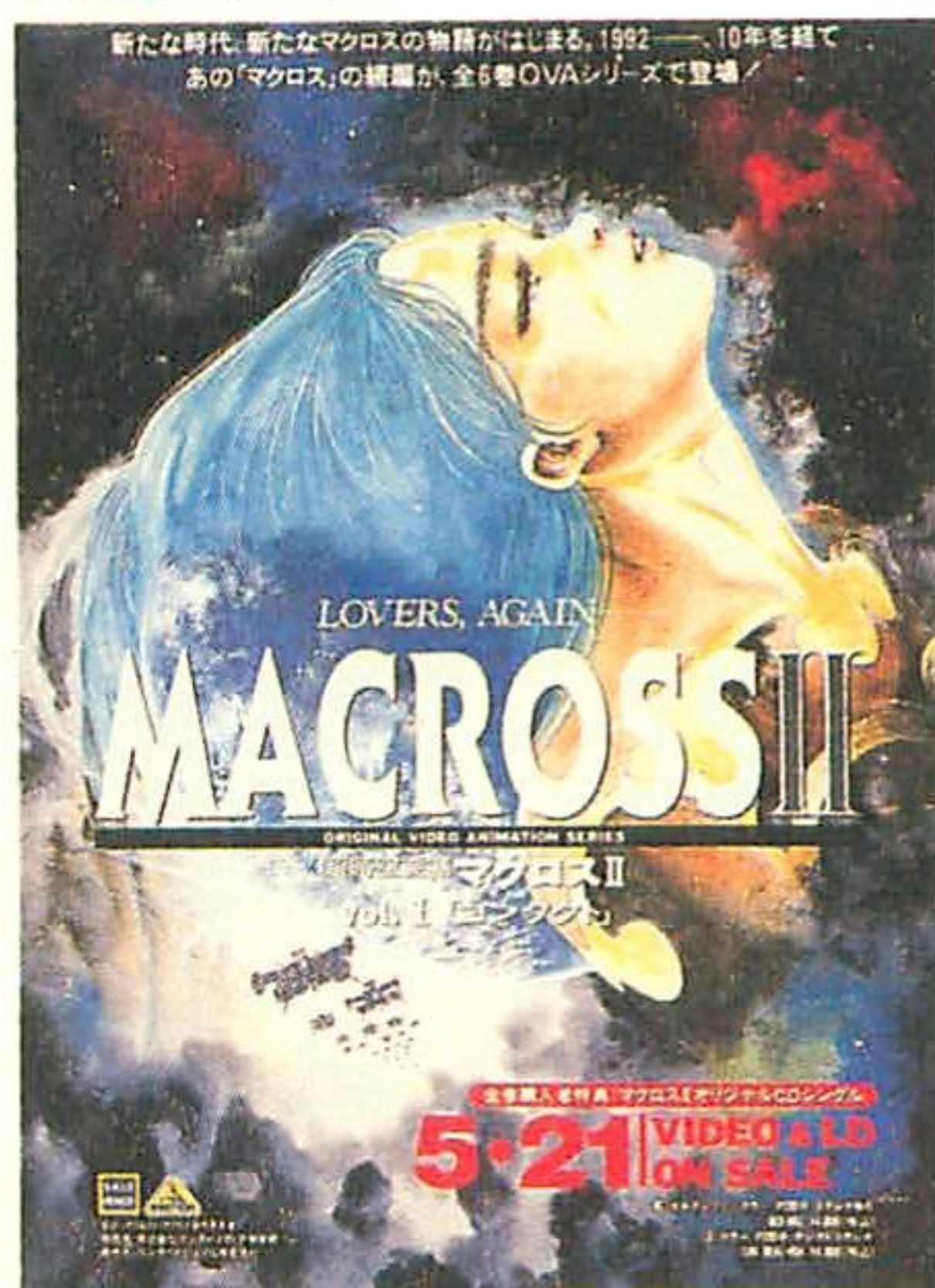
19●バルテュス

18●旅立ち一亜美・終章一

の。単にそれだけの話をね、これ劇場版だから、18禁シーンも無く延々とやられてね。
唐：「くりぃむレモン」なのにエロシーンが無い!? そりゃ辛いわ（笑）。
岡：「くりぃむレモン」この当時、ラジオ番組やってたんですよ。
眠：「今夜はそっとくりぃむレモン」ですね。
岡：そうそう、そんなの良く覚えてるなぁ。でね、ラジオでリスナーの葉書を読む時、全部最後に「お兄ちゃん」って付けてくれるんですよ。「唐沢お兄ちゃん、ありがとう」とかね（笑）。
眠：亜美ちゃん役の声優さんのトーク番組じゃなくて、あくまで「亜美ちゃん」の番組だったのが画期的でしたね。
岡：うんうん。亜美ちゃんが、お兄ちゃんと会えない寂しさを紛らすために、ラジオ出演してるっていう設定だったんですよ。でね、西島克彦君っていう「プロジェクトA子」とか「炎の転校生」の監督をしたアニメーターがいるんだけど、彼がコレににゲスト出演してね、「西島お兄ちゃん、ありがとう」って言ってもらって、浮かれて帰ったんだよね（笑）。
眠：もう現実と虚構ゴチャ混ぜ（笑）。

19●バルテュス

眠：本当の人間らしさとは何かを問いかける、愛と勇気のアドベンチャーロマン!? 嘘つけお前（笑）。実は18禁のHアニメ。
唐：このロボットはいったい何の為に出てきたんだか。ストーリーと全然結びつかなくて。
眠：まぁコレは宮崎アニメのパロディですから。
岡：どういう内容だっけ？
眠：「天空の城ラピュタ」のポルノ版です（笑）。
唐：これ、蒸気で動くロボットが出てくるっていうから、わざわざ買って観たんですよ。「蒸気王」の作者としては。
眠：どういうわけか意外と息の長い作品で、いまだにビデオCDになったり、CD-ROM化されたりしてるんです

20●マクロスⅡ

21●スクーパーズ

よ。

唐：宮崎アニメの世界で、なおかつエッチっていうのは、みんな見たいんだろうね。

眠：ただねぇ、宮崎さんに遠慮してるのか、いまいち思いきりが良くないんですよ。キャラクターも微妙に似せないようにしてるし。その辺がちょっと不満の残るトコですね。

20●マクロスⅡ

眠：これは90年代に入ってからのアニメなんだけど、歴史から抹消されてしまったかわいそうな「マクロス」なんで、せめてココで紹介して弔ってあげようと思いまして。

岡：マクロスシリーズって、一作目の「超時空要塞マクロス」があって、「マクロス7」があって、「マクロスプラス」があるんだけど、この「マクロスⅡ」だけ、マクロスのムック本とかに載ってないんですよ。無かった事にされてる。

唐：かわいそうだよねぇ。

岡：まぁ、みんな記憶から消したかったんだろうなぁ（笑）。

21●スクーパーズ

眠：「3D・立体ビデオディスク」なんて物があった事も、今のうちに書いておかないとアニメ史から消えてしまいそうなんで。

岡：あっ、モンキーパンチがキャラクターデザインやってたんだ。「デッドヒート」は知ってたんだけど、これは知らなかった。

眠：なんせVHDですからね。今見るとこのチラシ、貴重かもしれない。

岡：VHDって末期にはね、ディスク2枚買うと、オマケにデッキ本体を付けてくれたそうだよ（笑）。

眠：そういえば、酒井法子って「ミスVHD」でデビューしたんですよ。「エイリアンハンターP」なんていう、オリジナル特撮ドラマに出てた。残念ながらVHDなんで、今はもう絶対観れないけど。

唐：そりゃあそうだよな。オレもVHDのディスク、何枚か持ってたけど、みんなビデオテープに落としてから本

24●アルテア

22●アウトランダーズ

23●アーバンスクウェア

体は捨てた（笑）！

22●アウトランダーズ

眠：「これはハッキリ言って迷作です」って、正直に書いてありますね。ホントに迷作でした（笑）。

岡：でも、原作のマンガの方もけっこう迷作だったからねぇ。

眠：これ、ヒロインが緑色の髪の毛で、角が生えてて、その上、声優が平野文。まぁ完全にラムちゃんのパチもんになってますね。

唐：ああ、なるほど（笑）。

23●アーバンスクウェア

岡：「ラストは史上最大の銃撃戦だ！」って、そういうのは実写だから迫力あるの。アニメでやってどうするんだよー（笑）。

唐：初回生産分に限り「オネアミスの翼」の特報を収録って書いてあるよ。

岡：あぁ、そうなんだよ。コレ、バンダイで同時に進んでてね。「オネアミス」の予算を「アーバン」が食ったりしてねぇ（笑）。

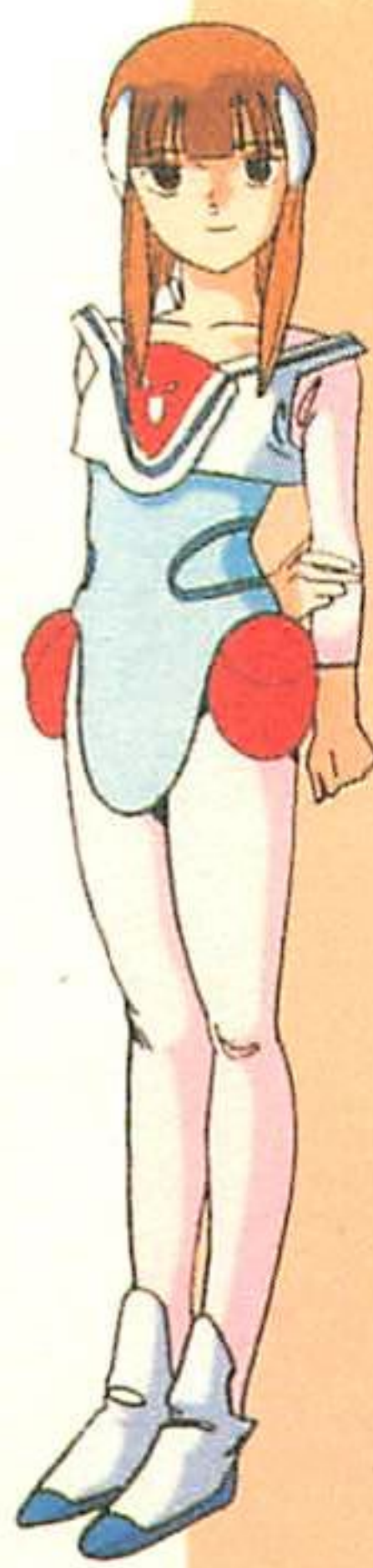
眠：でもこの監督の西森明良さんっ

北爪宏幸入魂の最新作、ここに登場‼今、旅立ちの時、アルテア。

リリック・アーマー

レガシアム

LEGACIAM

自転のない星リバティア。そこに植民した人類は平和な世界をつくり上げていた。一見、何の問題もないこの惑星に、重大な危機が迫っていた…。

25●レガシアム

て、DAICON系の人でしょ？

岡：そうだよ。彼は「マクロス」の時にアニメ界に入りそびれて、次の「オーガス」から入ったんだ。

24●アルテア

眠：これはまだ伊東岳彦さんがメジャーになる前のアニメですね。

岡：当時はBLACKPOINTっていうペンネームだったんだ。これのせいで伊東岳彦は、ビデオ発売元のバンダイに完全に見切りをつけ、「今後一切バンダイとは仕事をしない」という誓いを立てて、その後十年間いまだにそれを守っているんだ。もう「バンダイ」という名前を聞いた瞬間に「僕、その仕事降ります」って言うくらい徹底してる（笑）。

25●レガシアム

岡：これは、なかなか「濃い」設定のSFアニメだったんだけど、第一話だけで続きが出なかったもんだから、ストーリーがなんだかよくわからないまま終わっちゃった。このチラシ、実は「アルテア」「ダンガイオー」「レガシアム」の三枚セットになってて、裏面に「プリンセスメーカー」の赤井孝美君が漫画描いてる。

眠：「ダンガイオー」はそこそこ売れたんでしたっけ？　続編も出ましたしね。

岡：うん「ダンガイオー」が一番売れ行き良かったね。「レガシアム」は、わざわざこの作品の為にスタジオ作ったのに、経理のおばさんがお金を持ち逃げしちゃって…（笑）。

眠：ああ、「アトリエ戯画」！

岡：そうそう。でもあの経理のおばさん、その後アニメ界に帰ってきて、また仕事してんだもん。なんでもありの世界だよな。

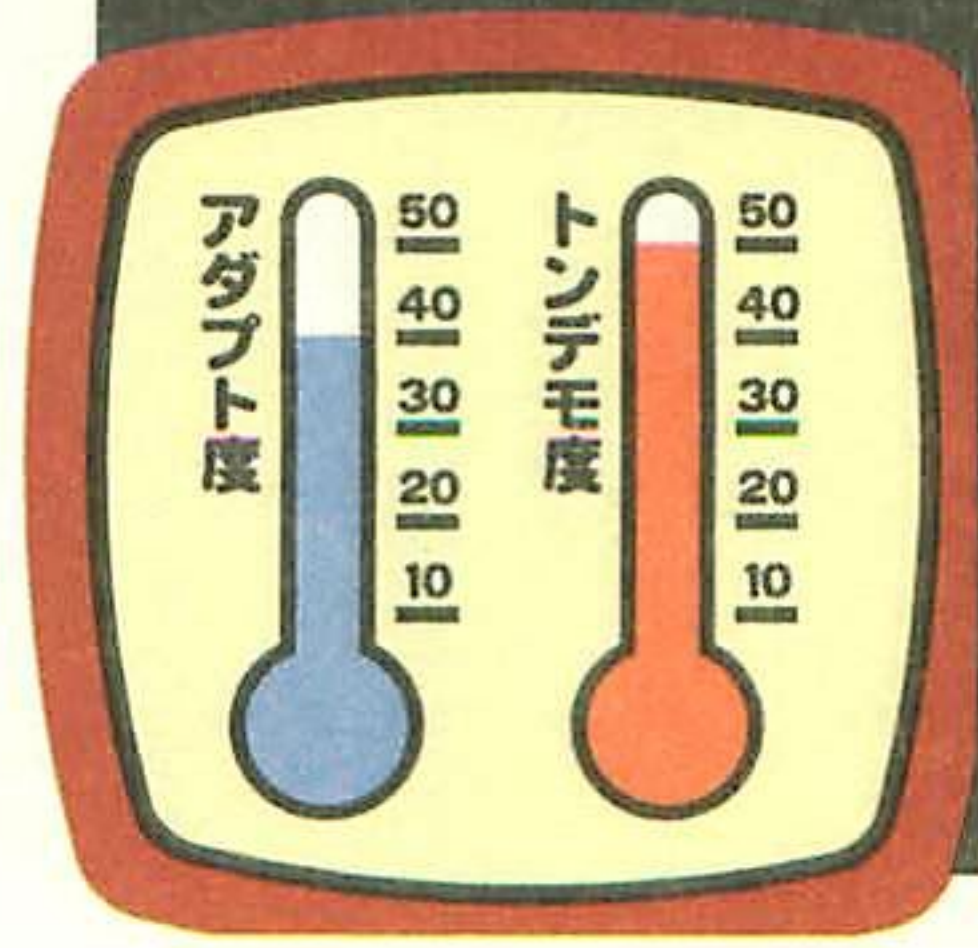
唐：映像業界ではそういうの許すトコありますね。もちろん悪い事ではあるんだけど、二度と仕事させてもらえない程じゃない。

眠：しかし、オレもよくこんなチラシを捨てずにとっといたよなぁ。

唐：いやあ、オタクの鑑！

AMIGOS ARCHIVES 08

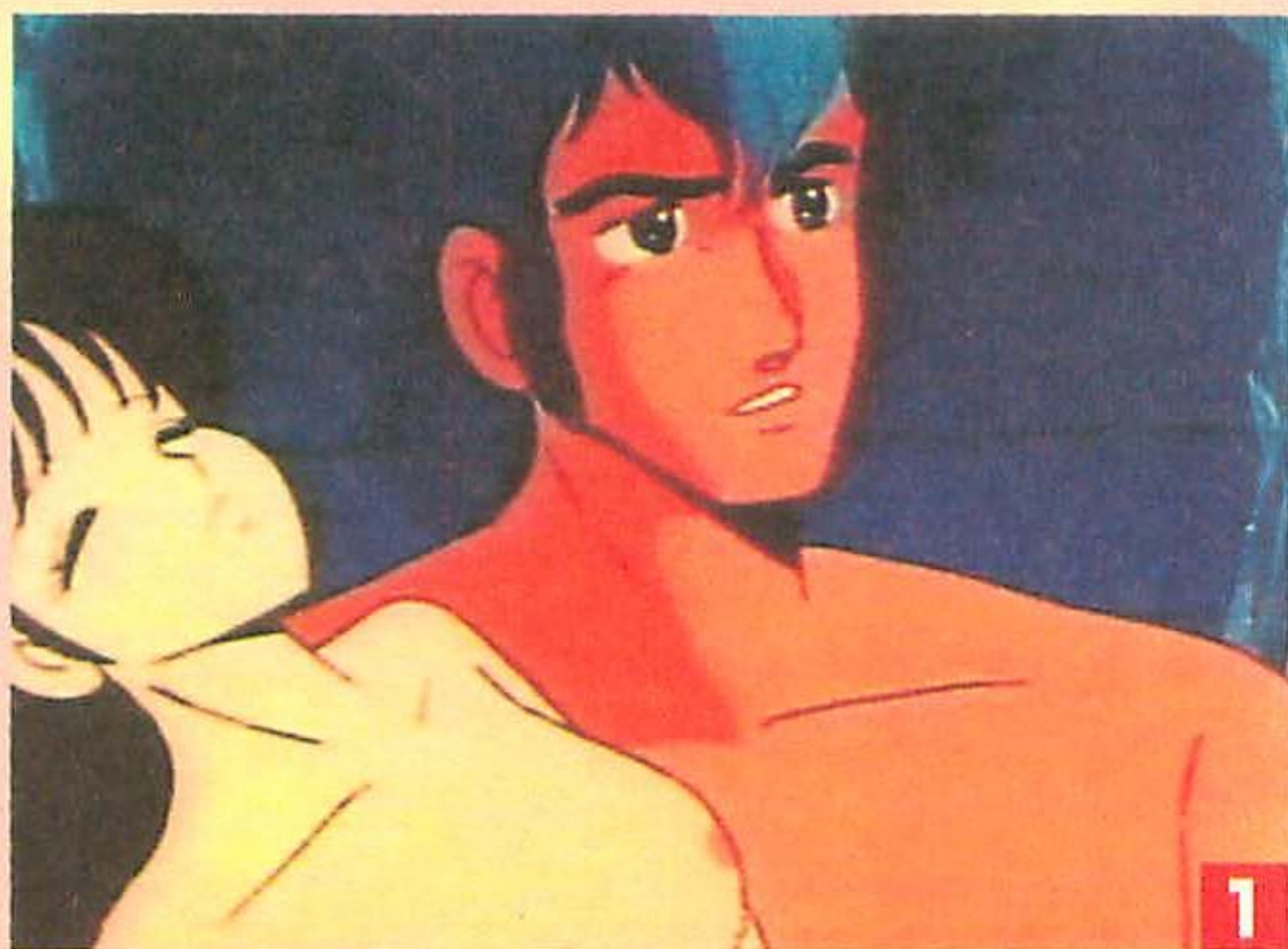
美少女SFアニメ・創世記

トンデモ度 50 40 30 20 10
アダプト度 50 40 30 20 10

ストーリーは人工冬眠状態の女の子が乗った宇宙船が、ある惑星に不時着するんですが、そこが「エデンの園」そとか、どうしようもない18禁アニメが粗製乱造された時期がありまして、その中でも極めつけにヒドい一本です。

眠：(1)これは80年代に「くりぃむレモン」が流行った頃に、「OMEー1」とか「スケ番商会キューティレモン」

1

2

3

っくりな世界だったワケですね。
唐：アダムみたいな兄ちゃんも、ちゃんとそこに前からいて。
岡：これは洋物のポルノなんかでよくあるパターンですね。何も知らない女の子が未開の星に流れついて、最初は「セックスって何？」とかなんとか言ってるけど、現地の人達の営みを見ちゃって、性に目覚めてやりまくるっていう話。「スターバージン」とかでオレ観たぞ（笑）。
眠：(2)コレ、実は「SDガンダム」の佐藤元先生が作監やってるらしい。顔のアップになると、ちょっとだけ佐藤先生らしき修正が入ってる（笑）。(3)こっちはなぜか空中に葡萄が浮いてる、謎のシーン（笑）。
唐：これは単なるミスですね。
岡：背景の間違い。多分、撮出しの時のミスだと思うけど、普通ラッシュで気がつくはずだし、初号試写の時にもわかるハズ。なんで直さなかったんだろう。
眠：直す金と暇が無かったんでしょう。

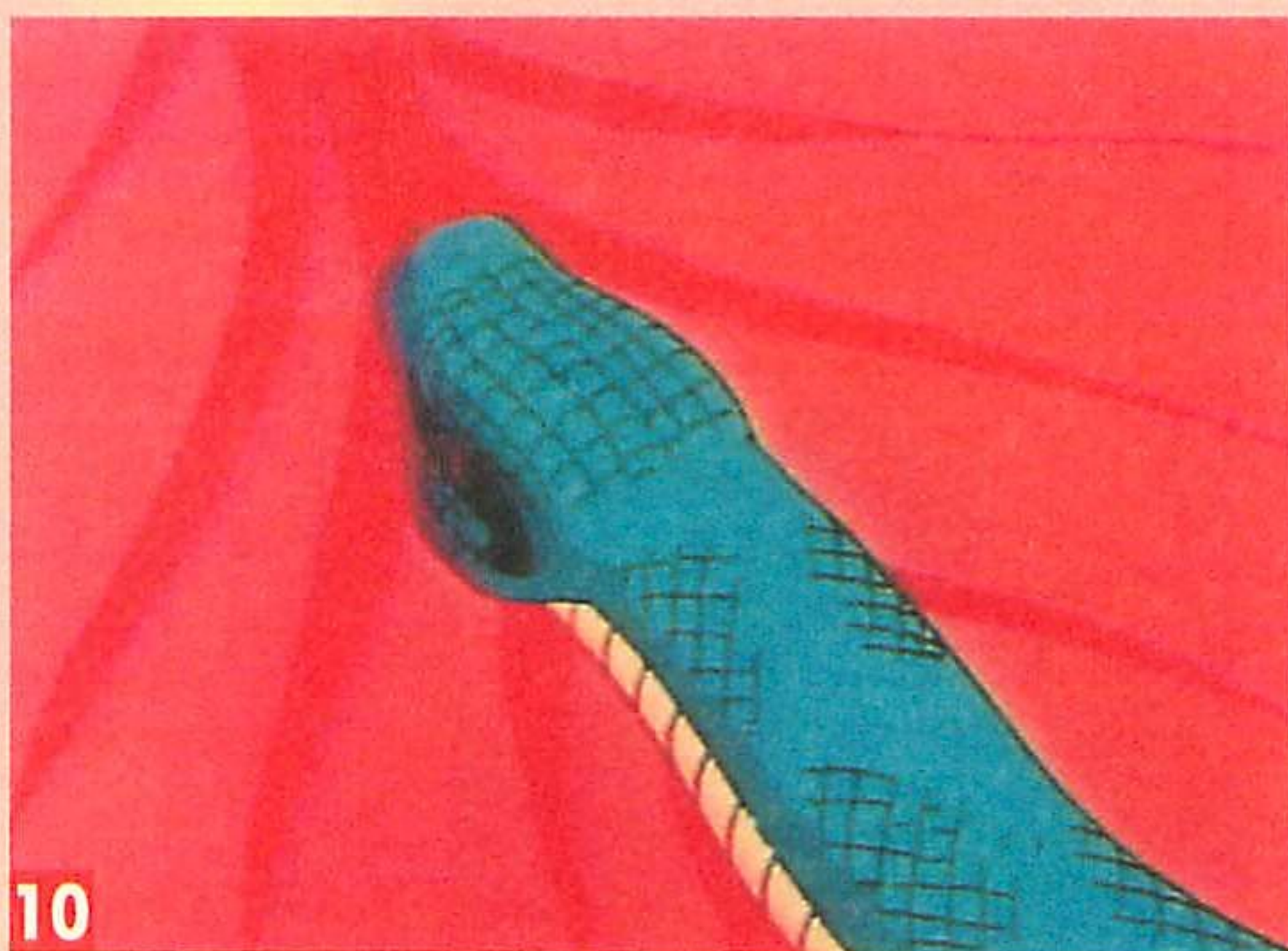
それとも単にいい加減なだけなのかも。
唐：「まぁいいだろうこんな物は。別にセックスシーンじゃないし」ってトコでしょう（笑）。
眠：(4)～(8)で、この女の子、お約束通りセックスに目覚めていくワケですが、そのキッカケというのが…。
岡：羊の交尾シーン（笑）。
眠：しかも、この交尾シーンがすごく丹念に描かれていて…。
岡：日本のアニメ史上、もっとも長い羊の交尾シーン。クライマックスに達したメス羊が、ちゃんとよだれと涙を流しながら、イクんですよ（笑）。
眠：羊の性器の挿入シーンには、わざわざボカシ入ってる。でもコレで欲情する奴、いるかぁ？（笑）
唐：いや、世の中には動物趣味のヤツもいるでしょうから。そういや、未開拓分野ですね、これ以降（笑）。
眠：(9)(10)で、羊の交尾を見て発情しちゃったこの女の子は、一人オナニーにふけるワケなんですが、そこを悪い蛇に犯されてしまいます。コレがニ

7

8

9

美少女SFアニメ・創世記

ヨロニョロと蛇が膣の中に入っていくシーン。なんかミもフタも無い絵ですが（笑）。

岡：首の先だけ90度に曲がって入っていっちゃう。もうレッドスネイクカモンカモンの世界（笑）。

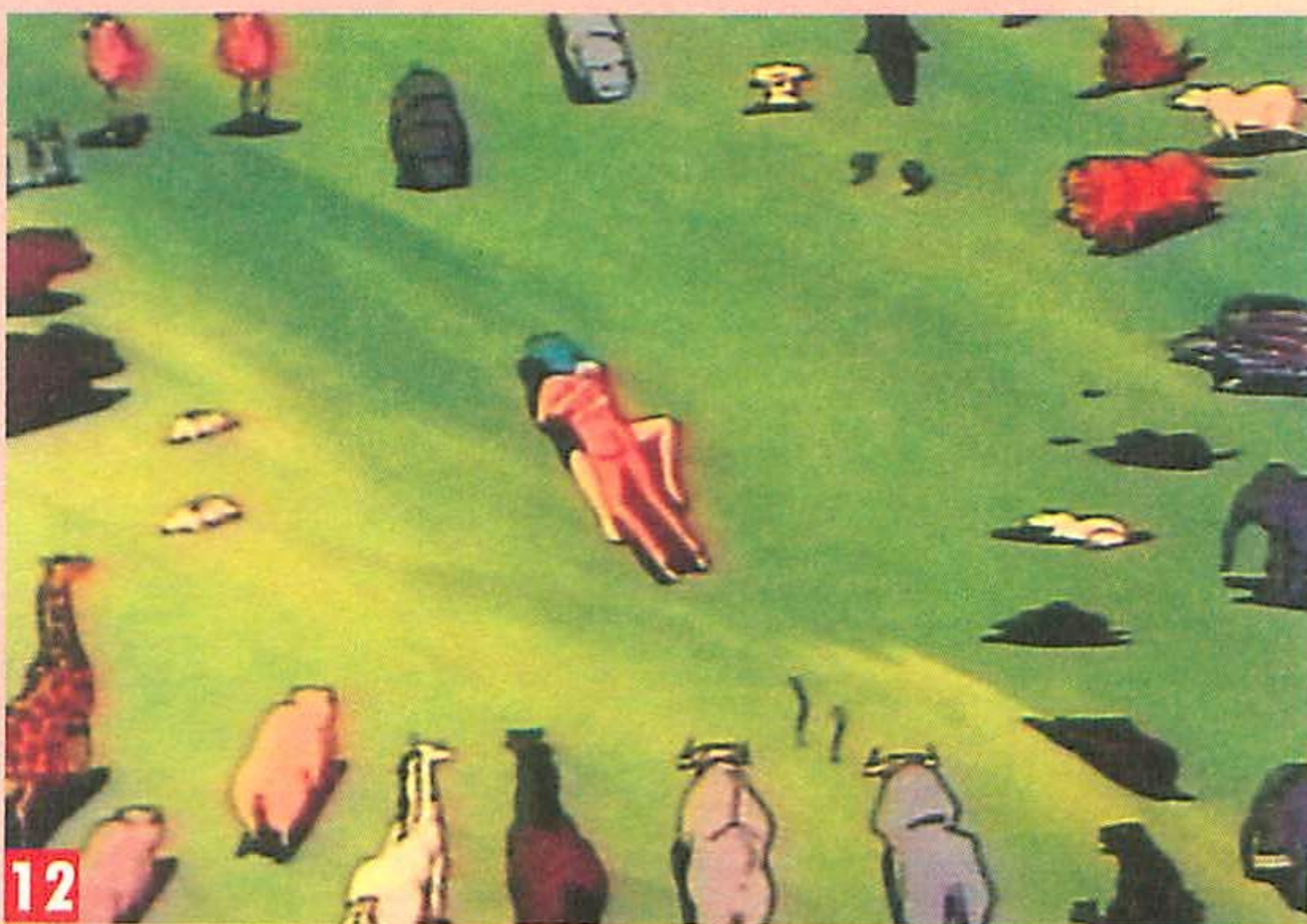
眠：(11)ストーリーの方も、この後紆余曲折いろいろあるんですが、さして面白くないんでもう解説は省略（笑）。最後は無事にこの男の子と結ばれてめでたしめでたし。

岡：でも、もう散々蛇にやられちゃった後なんでしょ。

眠：いいじゃないですか。ほら可愛い動物達が二人のズッコンバッコンを暖かく見守っています（笑）。なかなか感動的なラストシーンですね(12)。

岡：どこが！（笑）

10

11

12

ビバ! OTAKU AMIGOS!

と学会会長
山本　弘

僕と眠田さんは共通の趣味が多いです。たとえばー

サイバトロン戦士アターック!

そもそもと学会結成前眠田さんから最初に来た手紙ってのが

あなたが昔作ったTFの同人誌持ってます

ひえーっあれって200部しか刷ってないのに

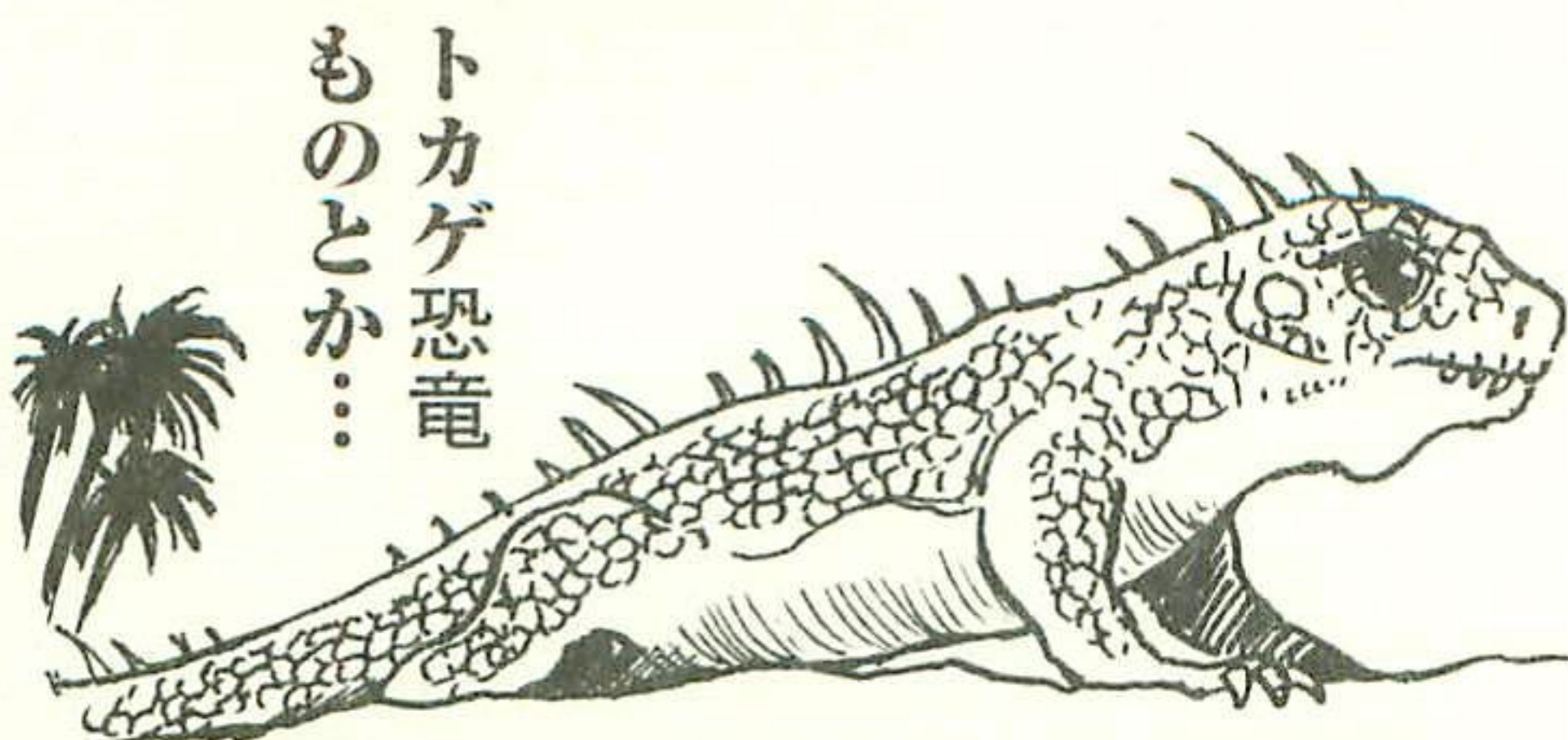
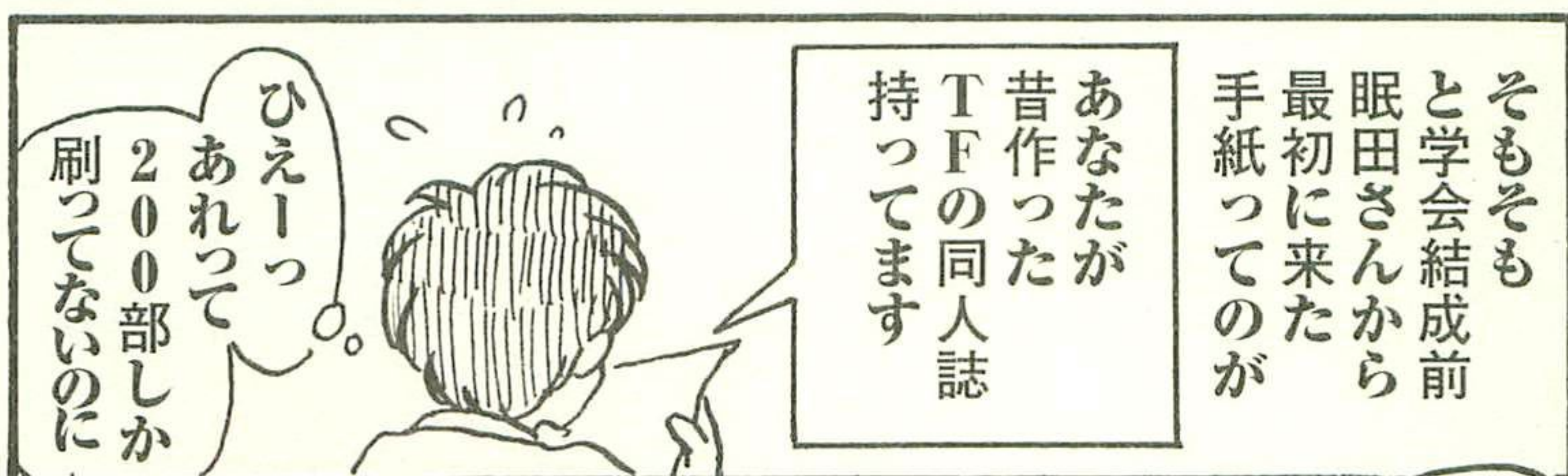
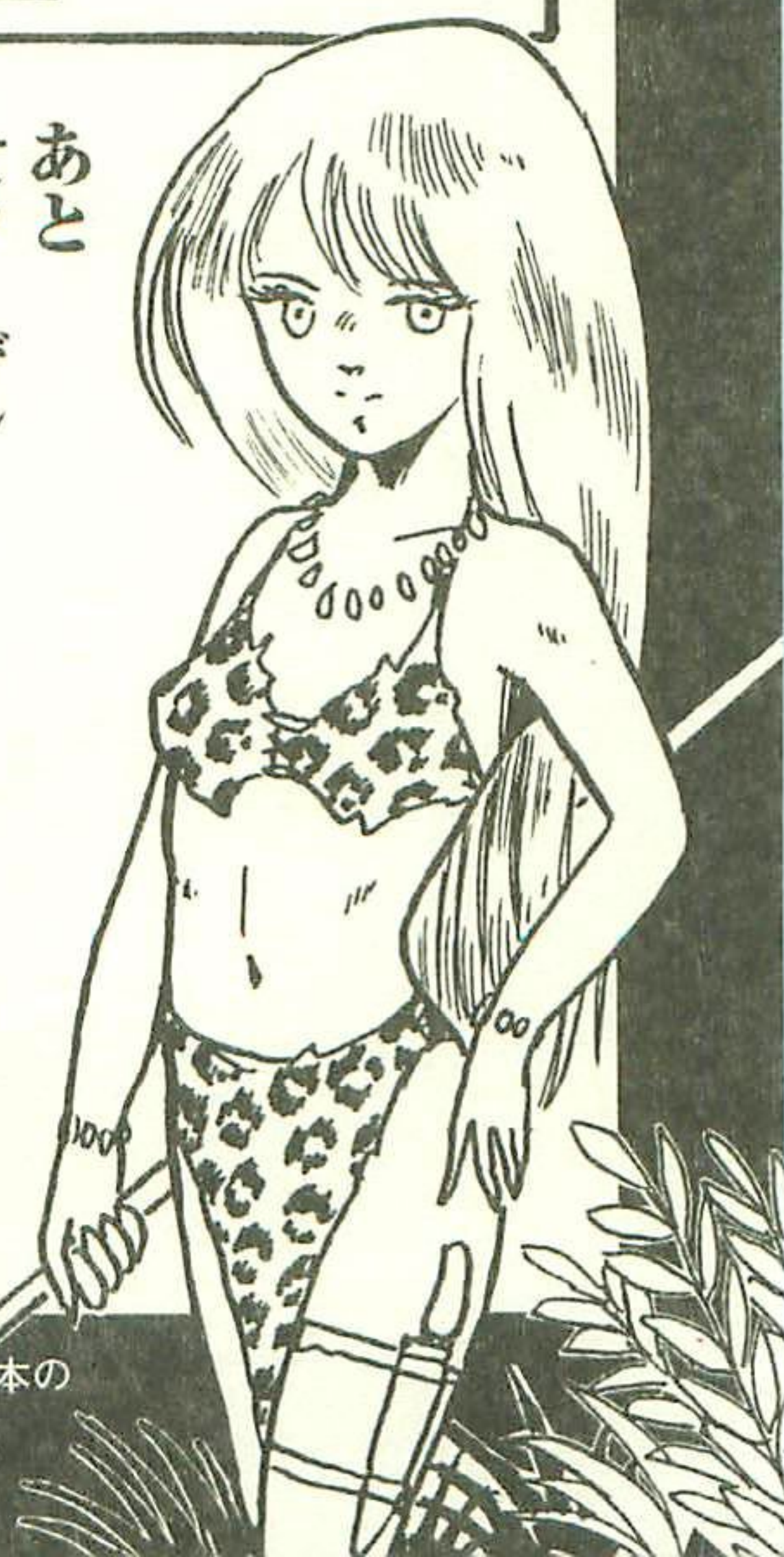
あと女ターザンものとか・・・

トカゲ恐竜ものとか…

……やっぱり

どマイナーなジャンルばっかりだな

うーむ…

ナイト」『ギャラクシー・トリッパー美葉』(角川スニーカー文庫)など。『トンデモ本の
ーザン研究家」の肩書も(笑)。昨年の8月に生まれた長女の夜泣きに手を焼く毎日。

考えてみりゃ
誰も知らないような
どマイナーな作品を
発掘したり
メジャー作品の中に
意外な面白さを
発見するのが
オタク道というもの
ではないでしょうか

ゴゴーッと
巨大化する
星飛雄馬

ビビる
花形

『ペンギンズメモリー』

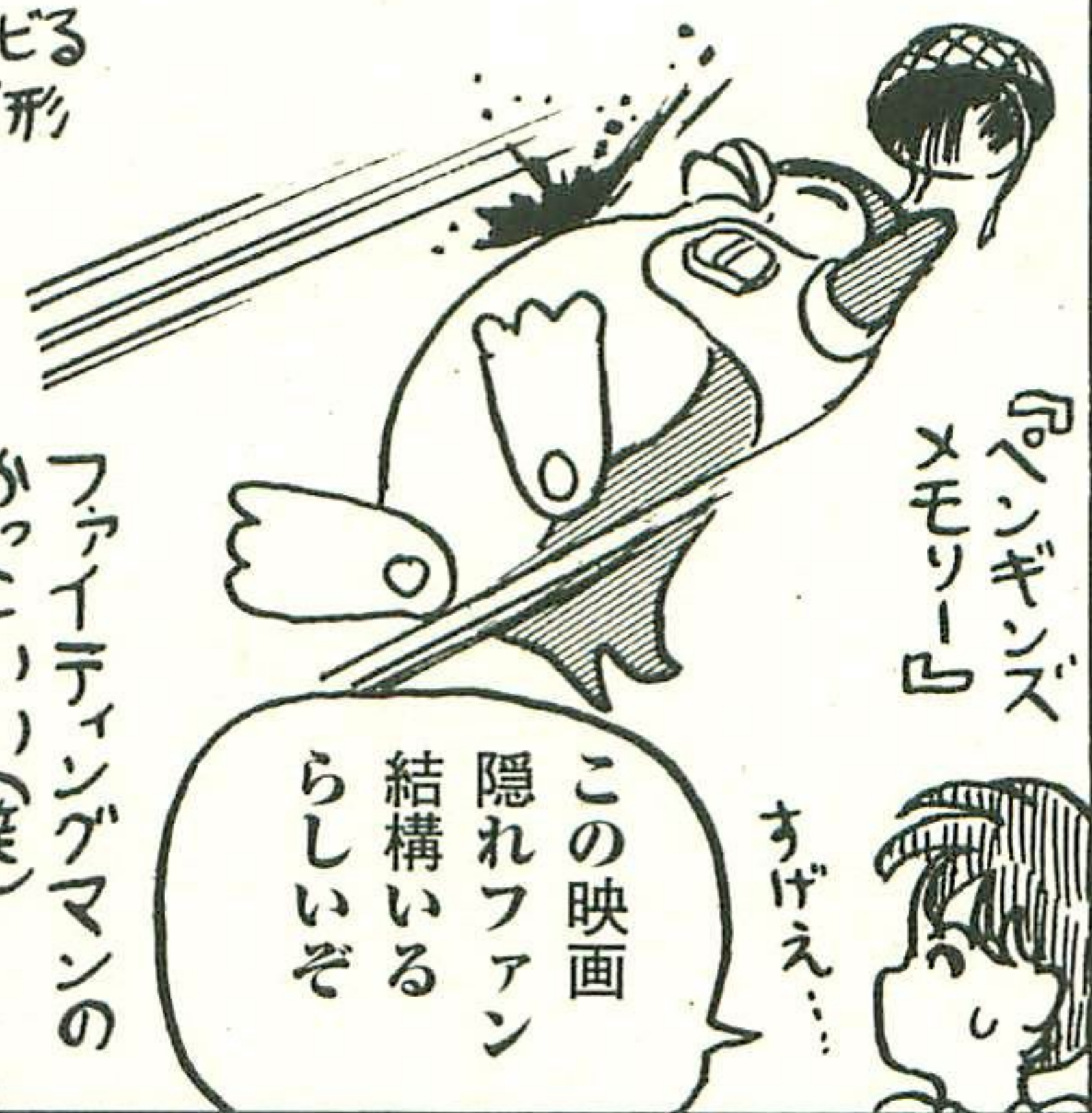
すげえ…

この映画
隠れファン
結構いる
らしいぞ

ファイティングマンの
かっこいい(笑)
変身シーン

僕が最近見つけた
のはコレ!
TV時代劇
『快刀・夢一座七変化』
8時40分頃になると
宇津井健を先頭に
キラキラの衣装で
夜の街を行進
悪人退治に向かう

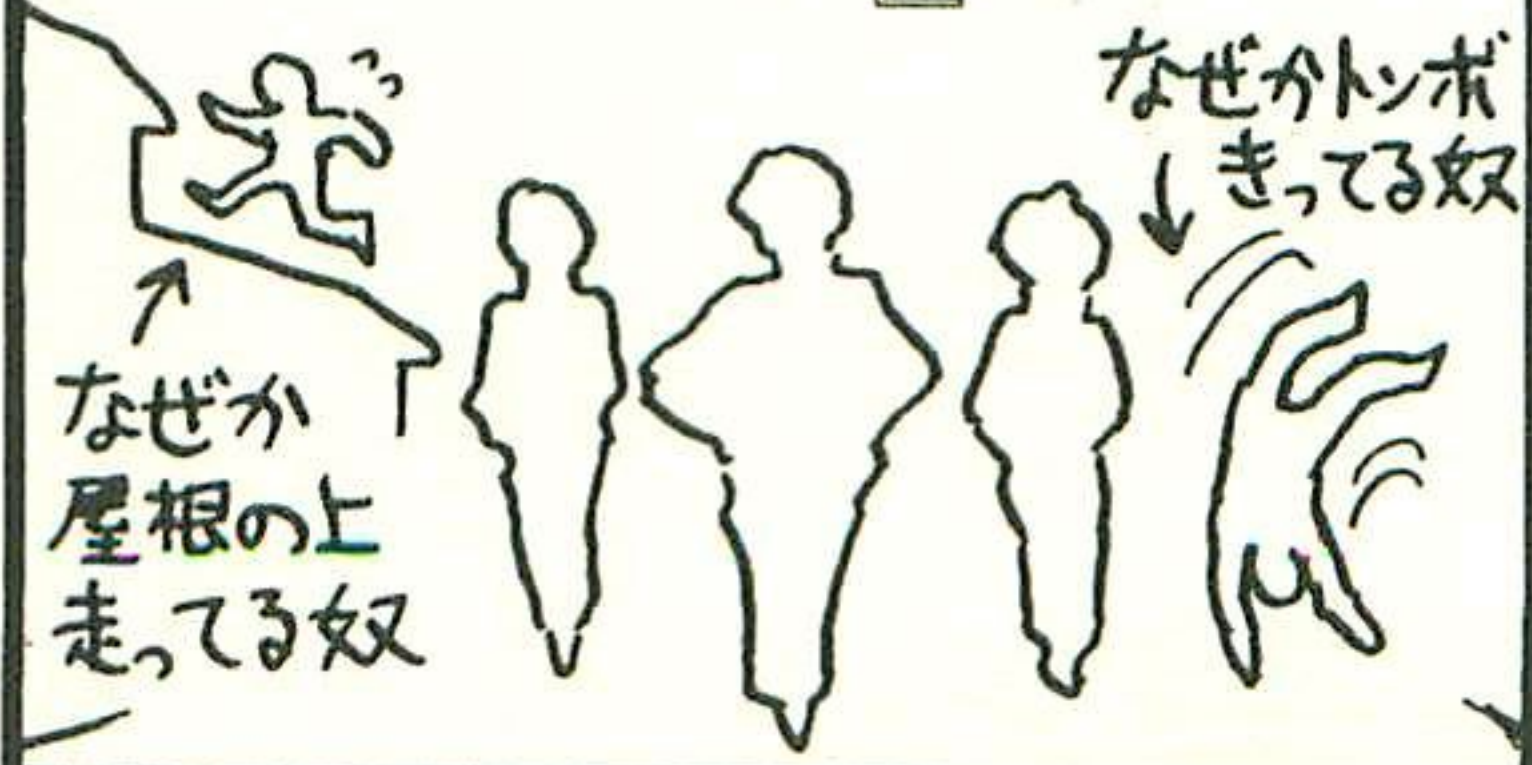
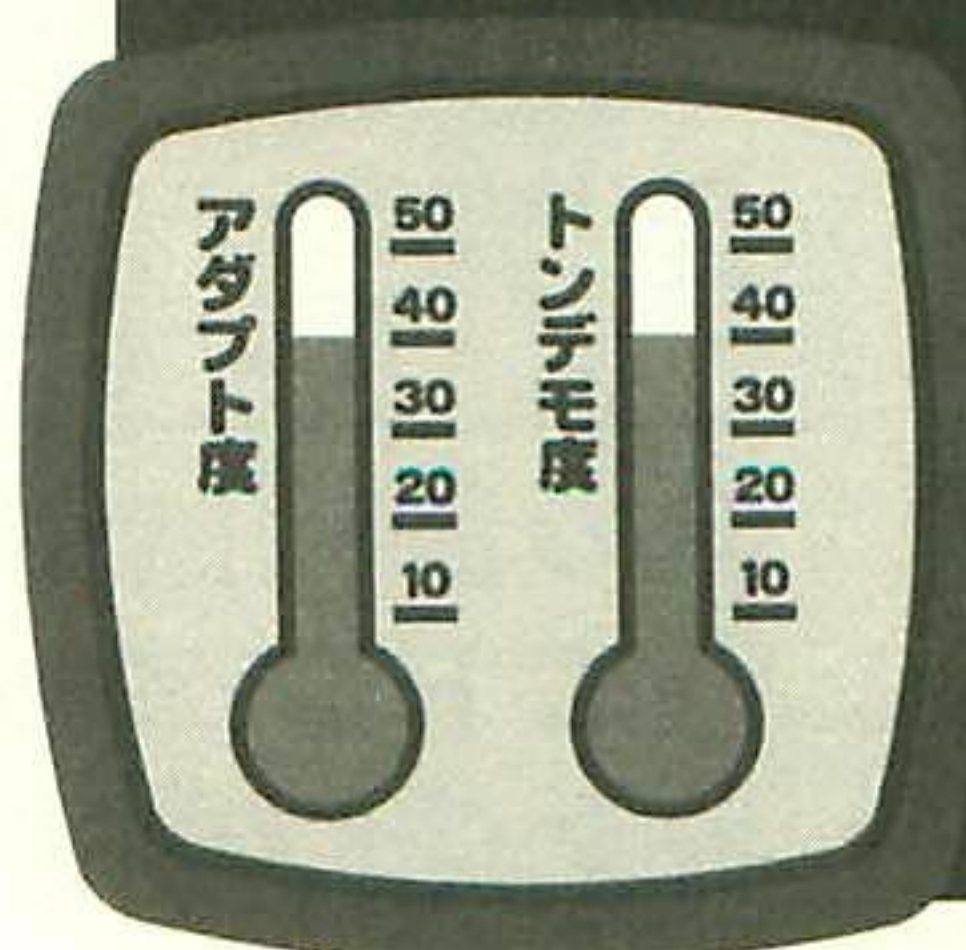
なぜかトンボ
きってる奴

なぜか
屋根の上
走ってる奴

ところが
悪人の屋敷に
乗り込むのは
翌日の昼
しかも
普段の着物に
戻ってる…

だったら
さっきの行進は
何だったんだ!?

浜の真砂はつきるとも 世にトンデモの ネタはつきまじ

山本 弘プロフィール 1956年生まれ。SF作家・ゲームデザイナー。代表作は『サイバー世界」(洋泉社)で有名になった「と学会」の会長でもある。最近では「日本で唯一の女タ

AMIGOS ARCHIVES 09

怪獣映画の話

眠：これ、人から聞いた話なんだけど、「新ガメラ」の樋口真嗣特技監督がゴジラ観に行ったんだって。それもあの大爆笑映画「ゴジラVSスペースゴジラ」。もちろん樋口監督は面白いシーンになると、ワハハハハと大笑いしてたんだけど、その後、休憩時間にトイレ入ったら、後ろから熱狂的ゴジラファンの人がツカツカとやってきて「お前の気持ちはわかる。わかるけどな、笑うなぁぁっ!」って、絶叫したとか（笑）。

唐：ゴジラファンって真面目な人が多いからね。オールナイトで東宝特撮特集を観に行った時、「空の大怪獣ラドン」で、ラドンの写真と図鑑の翼竜の絵がピッタリ合っちゃう有名なシーンがあるんだけど、やっぱりそこで笑っちゃうじゃないですか。でも後ろから「笑うとこではありません!」とか注意する奴がいるんだよ（笑）。ココが笑いどころだと思うんだがなあ、俺は。

眠：もともと怪獣映画なんて、そんなに真面目に観るもんじゃなかったですよね。ゴジラなんて「怪獣大戦争」じゃ「シェー」してたし、「ゴジラ対ガイガン」じゃ口から吹きだし出して喋ってたし、「オール怪獣大進撃」じゃ子供の夢の産物だし、そんなに大層な奴じゃないのに。

岡：「木枯し紋次郎」の物真似してた事もあったよね。

眠：あれは「ゴジラ対メガロ」。そんな奴なんだもん。それを「水爆に対する人類の警鐘です」とか「神の獣」とか大げさな事言っちゃいけないよね。

唐：「神を放った男」と言う本まで出たくらいで、関係者たちも次第に神がかってきている。

岡：神の獣が口から火ィ吹いて、飛んだりしないってば（笑）。

唐：だからといって、昔の石上三登志とか森卓也とかそういう評論家が、今だに「人形アニメの怪獣の方が良い」とか言ってるのは、あれはあれで大人げないと思うんだ。小学館の「日本大百科」で「ゴジラ」って引くと、森卓也が「ぬいぐるみで撮影している幼稚な物なのだが、しかし最近はこれを幼児体験で見て、トラウマになっている若い連中が神格化して祭り上げている」

とかいうような悪口書いてるんだよ。

岡：ひでえなあ。

眠：怪獣映画ってのはそういう、駄菓子的なところがイイのにね。

唐：昔の大伴昌司とか、そういう人達ってのは、ハリーハウゼンとか、向こうの特撮はすごいけど、日本のはチャチなんだって延々言ってて、ゴジラを誉めなくちゃいけない原稿でも「円谷さんも、本当は人形アニメが作りたかったに違いない。だからこの後のゴジラも円谷さんが生きていたら、きっとダイナメーションで作っただろう」とか書いてんの。作んないって！（笑）

岡：ゴジラといえば、「ゴジラVSビオランテ」の時に、ガイナックスに「スーパーX2」のメカデザインしてくれっていう話が来たの。で、オレが受けて、宮武一貴さんとか、河森正治君とか、あと横山宏とか、いろんな人に頼んだんだ。河森君はとにかくもう、変形するスーパーX2をいろいろ考えてくれて、潜水艦が変形するのと、戦車が変形するのと、ロボットが変形するやつ。「変形させろ」なんて一言も言ってないのに（笑）。そんなの「ゴジラ」じゃ使えないってば。全部ボツ（笑）。ちゃんと色まで塗ってきてくれたのにね。宮武さんのデザインは、あの対ゴジラ攻撃用の「電位差発生装置」、踏んだらバリバリって足から電流が流れるやつで使ってる。それで、宮武さんと横山宏が描いたスーパーX2の、両方からいい所を取って採用。その時、横山宏が「ちょっと田中友幸さんと話をさせて下さい。ゴジラファンとしていろいろ言いたい事があるんです」って言うんで、東宝の社長の田中友幸さんに会わせたんですよ。東宝っていうのは、不動産もたくさん持ってるし、銀座にビルなんかもある大会社なワケだ。だから田中社長も、読売グループのナベツネさんみたいな、政界の大物とも取引があるような感じの人なんですよ。それで待ち合わせをして、指定された「レインボーラウンジ」ってい

アメリカで発売された「大怪獣ヨンガリ」の英語吹き替え版ビデオ。輸入ビデオショップ等で入手可能。LD版の方はなんと「宇宙大怪獣ギララ」の海外版とカップリングになってお買得！

怪獣映画の話

う帝国ホテル47階のスカイラウンジへ行ったんだよね。そしたら、他に客がいないの。夕方五時なのに、すいてるなぁと思ったら、なんと貸し切り！　帝国ホテルの1フロアーのラウンジ貸し切りですよ！　で、ド真ん中に田中社長が座ってて、僕と一緒にいた東宝の宣伝部の人なんかもう、ベルトの線から上に頭が上がらないくらい平身低頭してるの。

眠：なんかそれ、東宝のサラリーマン映画そのまんまだなぁ（笑）。

岡：そう。で、「今日はいろいろ話してくれるそうだねえ」って向こうから言ってくれたから、横山宏さんが率直に「今のゴジラはダメですよ」って（笑）、もうそこから横山さんつるべうち。「スタッフ全取り替え！」「シナリオ、今見せて下さい」とか、バシバシ言ってたら、社長の顔がポーッって赤くなってきてねぇ、ペースメーカーのダイヤルをおもむろに調整してから、「なんだ、君はー!!」って怒鳴るの。あんまり怒って、本当は鼓動が早くならなくちゃいけないのに、もう体が言う事聞かないんで、自分で血圧調整してたんですよ。

眠：おお、なんかサイボーグみたいでカッコイイぞ（笑）。

岡：ところで、東宝特撮のファンって、「よし」って声掛けるんでしたっけ？

唐：ああ、あれは東宝特撮ファンの中でも、池袋文芸座のオールナイトに集まるマニア連中ね。なぜか新宿ではかからない（笑）。タイトルクレジットの時に「平田（昭彦）、よしっ！」とか、「伊福部っ！」とかね（笑）。歌舞伎の「音羽屋！」というような感覚なんだろうな。

岡：前にどっかの上映会で見た時は、「特技監督・中野昭慶」ってテロップ出たら、「よし！」じゃなくて「いやいやいや…」って声が上がって（笑）。

眠：中野昭慶さんって特撮ファンには評判悪いみたいですね。

唐：うん、中野さんで拍手湧いた事、無いね。何でかね。

眠：ガイナックス系の人間とか、オレとかは、みんな中野特撮好きなんだけどなぁ。

岡：いやぁ、アレ、特徴的すぎるからだよ。「ゴジラ」の84年版で、フナムシが巨大化して人に飛びかかるシーンがあるんだ。コレを中野監督が撮ってるんだけど、「まさか!?」と思ったら、シューッと下がってまたシューッと上がって「おお、中野ハング！」（笑）。

唐：中野特撮独特の、重さに耐えかねたような吊りが…。

眠：でも中野監督の演出って「華」があるんですよね、画面に。

唐：そうそう。やっぱりねえ、中野爆発のシーンなんか、バカにしてるとこあるけど、「俺たちやっぱりコレ見て育ってきたんだもんな」って感じする

ものね。

眠：逆に川北紘一監督の特撮は、手堅いけどその分地味なんですよね。

岡：川北さんはね、誰も一緒に酒を飲みに行きたがらない…。行ったらね、ものすごくからまられるよ。もう、からむからむからむからむ（笑）。

唐：特撮ファンクラブの飲み会を、毎年中華料理屋でやるんだけど、中野稔さん、中野昭慶さん、田中文雄さん、このお三方は毎回、律儀に来るね。

岡：主流派じゃない人ばっかりだね。

唐：そうそう。あと福田純監督（笑）。

眠：そういえば、中野昭慶監督が北朝鮮で作った幻の怪獣映画がありましたよね。「大怪獣プルガサリ」。さすがに僕もまだ観た事無い。唐沢さんは観たんでしょ？

唐：文藝春秋の人に観せてもらったよ。ウチの会社にサンプルビデオがいくらでも転がってますから、持ってってって下さいって言われて。一時、文藝春秋社からビデオが出るっていう話があったんだよね。以前、文春が出した金賢姫の「私と北朝鮮」というビデオがベストセラーになったんですよ。それで「おたく、北朝鮮モノに強いでしょ？」って事で「プルガサリ」の話を持ち込まれて、文春もその気になってたの。で、字幕も入れて、パッケージやポスターも刷り上がってたんだけど、土壇場で発売中止に…。

眠：もったいないなぁ。怪獣ファンはみんな買っただろうにねぇ。

岡：中野フラッシュのシーン、あるかな？

眠：きっとありますよ（笑）。

唐：基本的には「大魔神」みたいな話なんだよね。プルガサリっていうのも、漢字で書くと「不可殺」で、向こうの方の妖怪の名前なんですよ。

眠：確か民話かなんかを題材にしてるんですよね。

唐：そうそう。仏教弾圧の時に僧侶が、餅からチュガサリという怪獣を作って、そいつが鉄を喰ったりするワケ。でも火に弱いっていう弱点があって、結局やられちゃう。そこでその坊さんが「今度は火にも負けない怪獣を作るぞ」って言って出来たのがプルガサリ。

眠：プルガサリには小さい子供もいて、その着ぐるみには、ミニラ役で有名な「小人のマーちゃん」が入ってるんじゃなかったでしたっけ？

唐：ああ、そうかもしれない。日本の東宝特撮関係の人間が、みんな向こうに呼ばれて撮った映画だから。

眠：その辺の事情は薩摩剣八郎のエッセイに書かれてましたね。全然遊ぶ所が無かったとか。

岡：「ゴジラが見た北朝鮮」！すごい組み合わせだよね。

唐：南北統一の際には、是非記念に「プルガサリ対ヨンガリ」を作って欲しいよね。

眠：「ヨンガリ」って韓国製の怪獣映画なんですが、これも日本じゃあんまり知られてないですよね。惜しいよなぁ。どっかで字幕入れてビデオリリースしてくれないかな。怪獣映画ファンは必ず買うんだから。

アニメ・紀子さま物語

眠：90年の6月の秋篠宮殿下ご成婚の時に、フジテレビが「平成のシンデレラ・紀子さま物語」というスペシャルアニメを作ったんですよ。まあこういうのは絶対再放送されませんから、ここらで語っておかないと幻のアニメになってしまうので。

唐：声優もプロじゃなくて、アナウンサーとかがやったんだっけ?

眠：礼宮役がフジのアナウンサーで、紀子さま役が石川ひとみだったと思う。

唐：石川ひとみ！　すごいキャスティングですね。後に脱いじゃう人が紀子さまとは。

眠：それはマズイですよねぇ（笑）。あと、この手のアニメでは86年にスペシャルで放映された「虹のかなたへ／少女ダイアナ物語」っていうのもあります。これも再放送されなくてねぇ。今見たら絶対に笑えると思うんだけど。

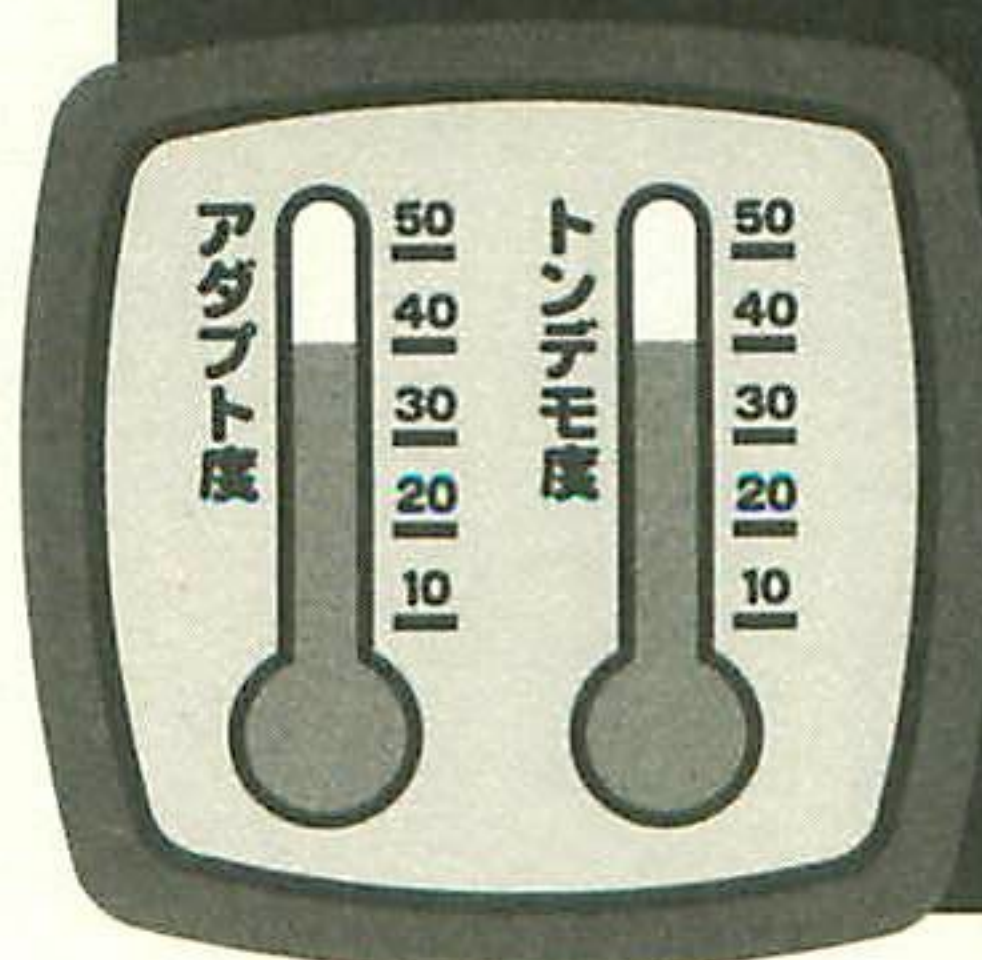
岡：電話で愛人とエッチな会話をするシーンなんかもあるのかなあ（笑）。

眠：少女時代の話なんで、さすがにそういう場面は無かったですね。雅子さまの時にも期待したのになぁ。でもどこもアニメ作らなくてガッカリ。

岡：貴ノ花の時もアニメ作らなかったよね。ああいう、全国民が祝うような立派な人（笑）の結婚式の時には、必ずスペシャルアニメを作ってほしい。

眠：でもさ、人の恋路を勝手にアニメ化するっていうのもひどい話だよね（笑）。で、「紀子さま物語」ですけど、この本に収録する為に図版使用を申し込んだんだけど、あえなくフジテレビに断られてしまったんですよね。なんでも、「すべての二次使用は不可」という条件で作られたアニメなんだそうです。

岡：なるほど。二次使用ＯＫだと、丸美屋の「アニメ紀子さま物語ふりかけ」とか、ニッスイの「アニメ紀子さま物語ソーセージ」とか不遜な商品がいろいろ作れちゃうもんな。

トンデモ度　50 40 30 20 10
アダプト度　50 40 30 20 10

眠：一番不遜な商品って、何でしょうね？
岡：そりゃ「アニメ紀子さま物語」のガチャポンでしょう（笑）。ガキがガチャガチャやって、「あっ、また××だ。いらねえや」とか言って、その辺に捨てたりしたらヤバいじゃない（笑）。
唐：それは確かに言える。

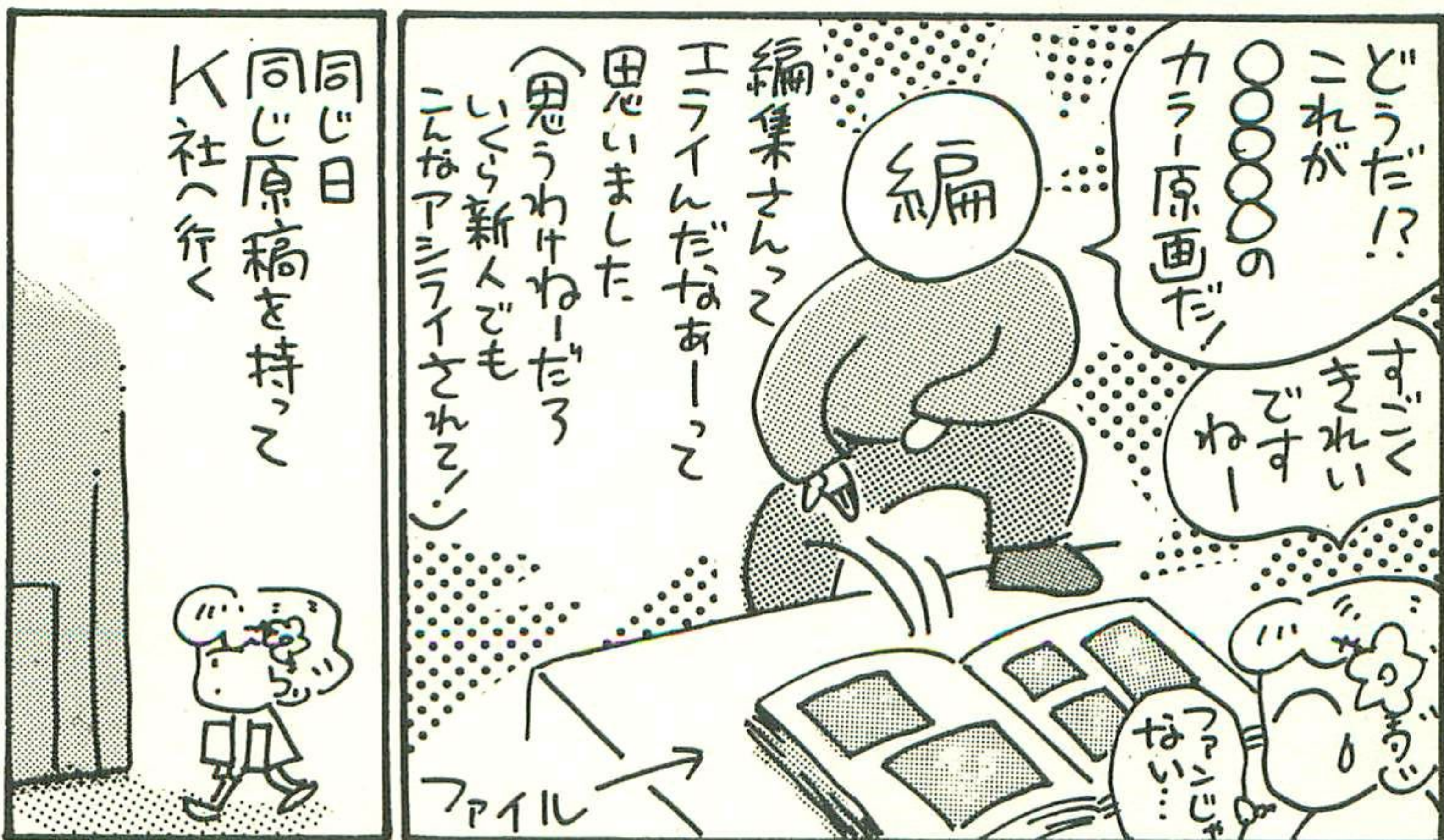
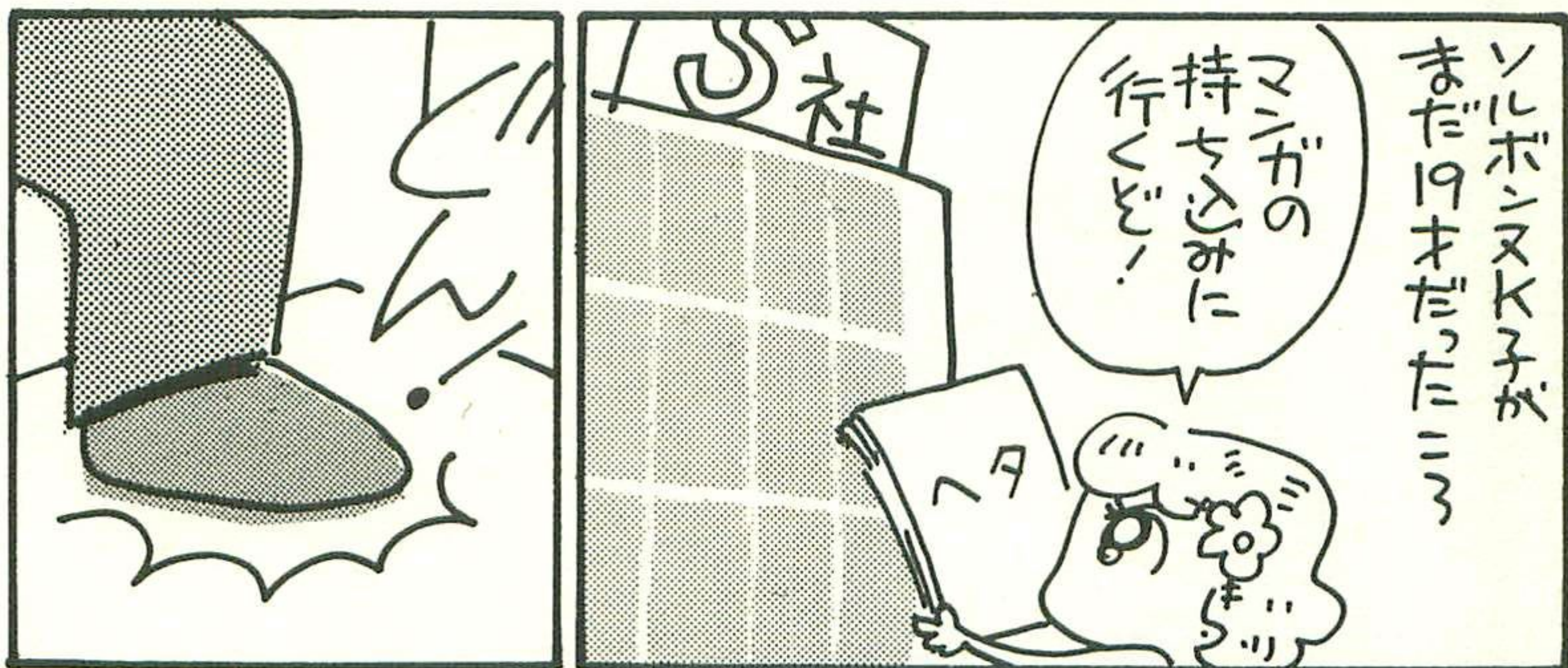
岡：クビチョンパとかもだめだよ（笑）。ところで、○宮様は、この間久しぶりに見たけれど、いい味出してましたね。
唐：いい味ときたか。
岡：コミケに行くとよくいるタイプでしょう。
唐：だって○宮様本人は、本物のオタクだそうだし。サムライトルーパーの同人誌なんか、表紙に「畏クモ台覧ノ栄ニ浴ス」とか書かなくちゃいけないところだ、戦前なら（笑）。
岡：嫁入り道具には、絶対「銀英伝」持ってくよ（笑）。
眠：オタクの団体の名誉会長とかになって欲しいなぁ。そうすれば世間的にもハクがつくのに（笑）。
岡：○宮様、俺と結婚してくれないかな（笑）。○宮様と結婚したら外戚扱いになってね、財団法人とか持てるんだ。それでアニメとかコミックの大図書館を作る！
眠：そしたら、オタキングじゃなくてオタエンペラーになれますよ（笑）。

ソルボンヌK子として、原作・唐沢俊一で「大猟奇」を著するも、雑誌がつぶれる。1997年は突如映画監督になり、デブ専ホモ映画「不思議の国のゲイたち」を撮る。日本全国上映中！　観てね

ソルボンヌK子の
編集アミーゴス

ソルボンヌK子がまだ19才だったころ
マンガの持ち込みに行くど！
社
ヘタ
どん

どうだ!? これが○○○○○のカラー原画だ！
編
編集さんってエライんだなあーって思いました
（思うわけねーだろ いくら新人でもこんなアシライされて！）
すごくきれいですねー
ファンじゃない…
ファイル

同じ日同じ原稿を持ってK社へ行く

ソルボンヌK子プロフィール　18歳で上京、少女マンガ家のアシスタントをしながらデビューするも、パッとせず現在に至る。

はい たしかに よませて いただきました 当編集部で あずからせて いただいて 月刊の 新人まんが賞で 選考させて いただきます

はあ… どうも…

おもしろいとか おもしろくないとか 自分の意見は 言えないのかよ〜

まんがは 落ちた…

男は学歴じゃ ないなあって 思うように なりました

その後も ソルボンヌK子の 不幸は 続く…

え〜 たった 12ページ?

あなた ねえ

12ページでも あるだけ しあわせなん じゃありません?

女

大陸書房

だが…… ソルボンヌK子より 不幸な少年(29才)がいた

ネーム直し 14回目です

うーん まいっか じゃ描いていいよ

描きました!

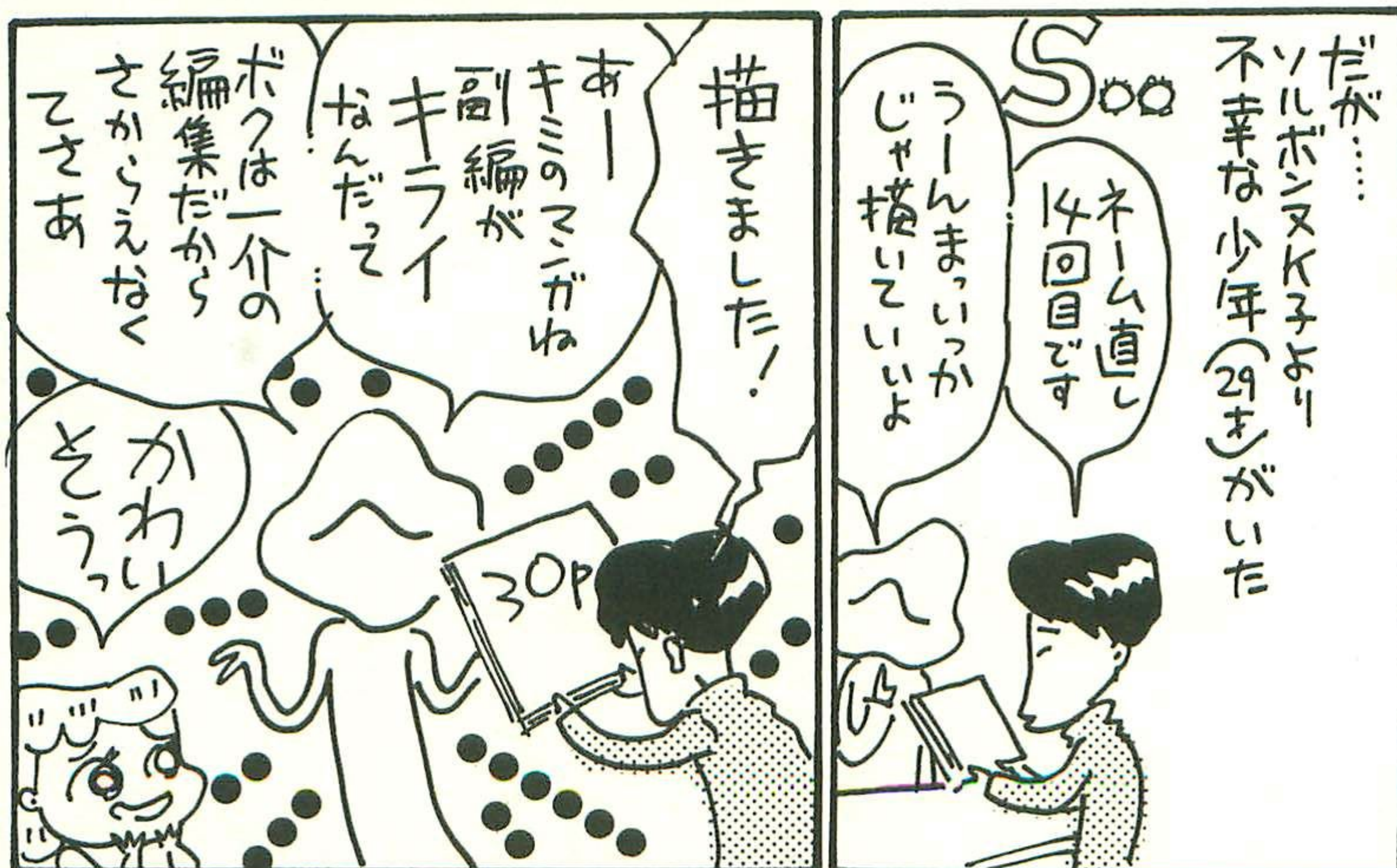
あー キミのマンガね 副編が キライ なんだって…

ボクは一介の 編集だから さからえなく てさあ

30p

かわいそうっ

幽遊白書ファンのAV

AMIGOS ARCHIVES 11

眠：コレはなかなかレアなネタ。「幽遊白書」のやおい同人誌にハマっている28歳処女のおねーちゃんが、主演したアダルトビデオというのがあるんですよ。

岡：そうそう、これは最初に漫画家の青木光恵が発見して、業界内に広めたんだよね。

眠：制作元のアテナ映像は、最初は普通の「素人実録物」のAVを撮るつもりだったらしいんだけど、途中からだんだんおかしくなっていく。

唐：AVに応募してきた処女の娘を、プロの男優が女にしてあげるというシリーズの一本なんだけど…。

眠：撮影現場に行ったら、どうもそのおねーちゃんの様子がおかしい（笑）。

唐：雰囲気も顔つきも。

岡：何かをギュッと握りしめて、時々祈るような顔をしている。

眠：何を握りしめているかと言うと、「幽遊白書」の飛影のマスコット。

岡：で、撮影が始まって、男優さんが処女を奪う段になったら、このおねーちゃんが「ひえい、ひえい…」ってつぶやき出したのね。あまりに変なんで急遽撮影中断。現場でスタッフ会議が始まっちゃって。

眠：ここでこのおねーちゃんが、「幽遊白書」のやおい同人誌にのめり込みすぎて、ちょっとアッチの世界に行っちゃってるヒトだったという衝撃の事実が判明する。

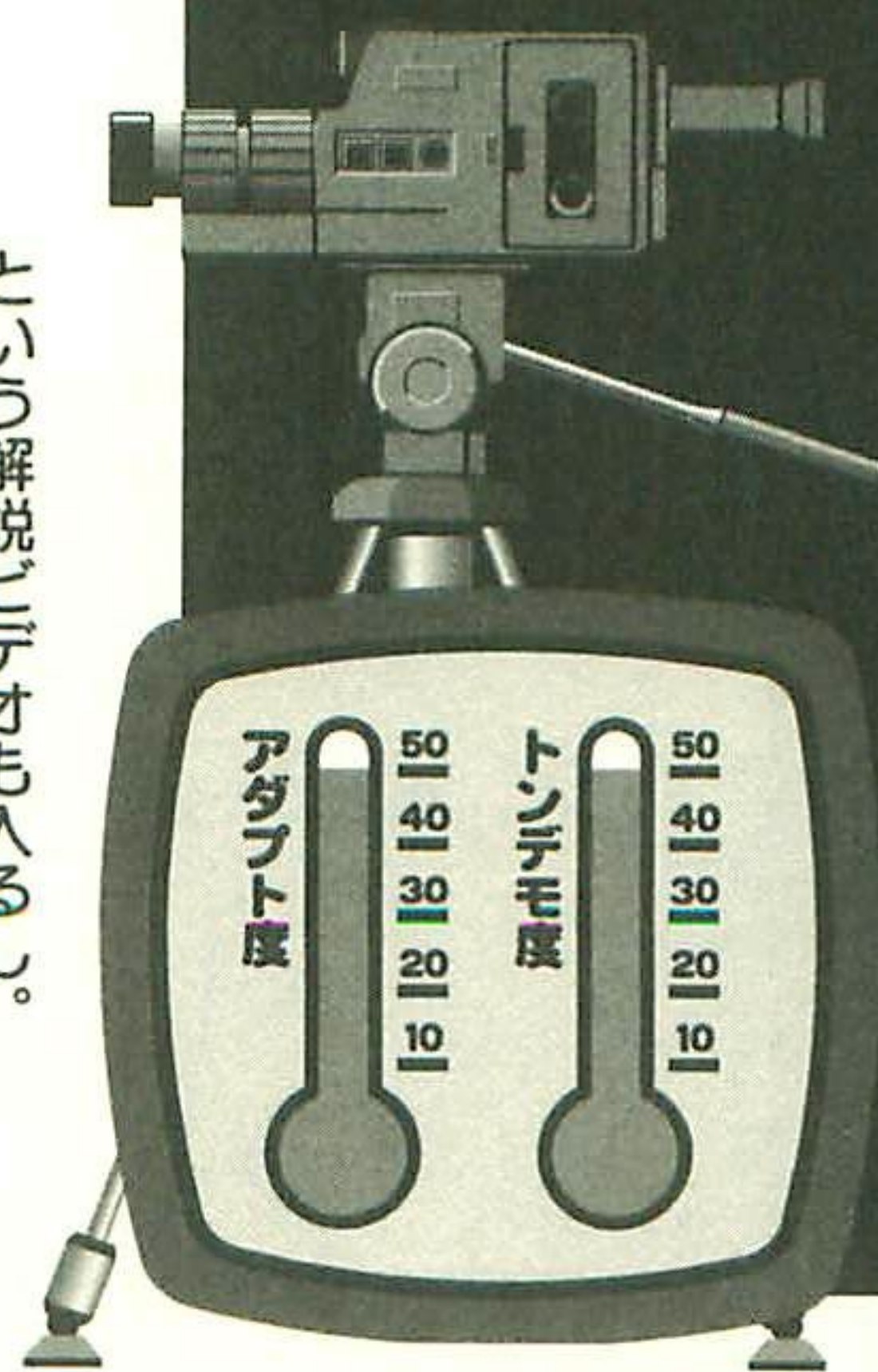
岡：いきなり「幽遊白書とは何か?」という解説ビデオも入るし。

唐：同じ「やおい」でも「矢追純一」のUFO番組調になるのね。「この時、我々取材班は驚くべき事実に遭遇した！」とかナレーションも悪ノリするし。

眠：撮影スタッフはなんとか彼女を理解しようと「幽遊白書」の単行本読み出しちゃう。もう最初の「処女を破る」というテーマはどっか行っちゃってる。

唐：まぁAVの撮影ってのは、時間と予算が無いから、途中で何かトラブルが起きても、とにかく撮り続けなくちゃいけない。で、そのトラブルごとメタレベルまで視線を引いて、ドキュメンタリーにしちゃうという方法はよく使うんだ。

眠：そんなワケで撮影は続行されるん

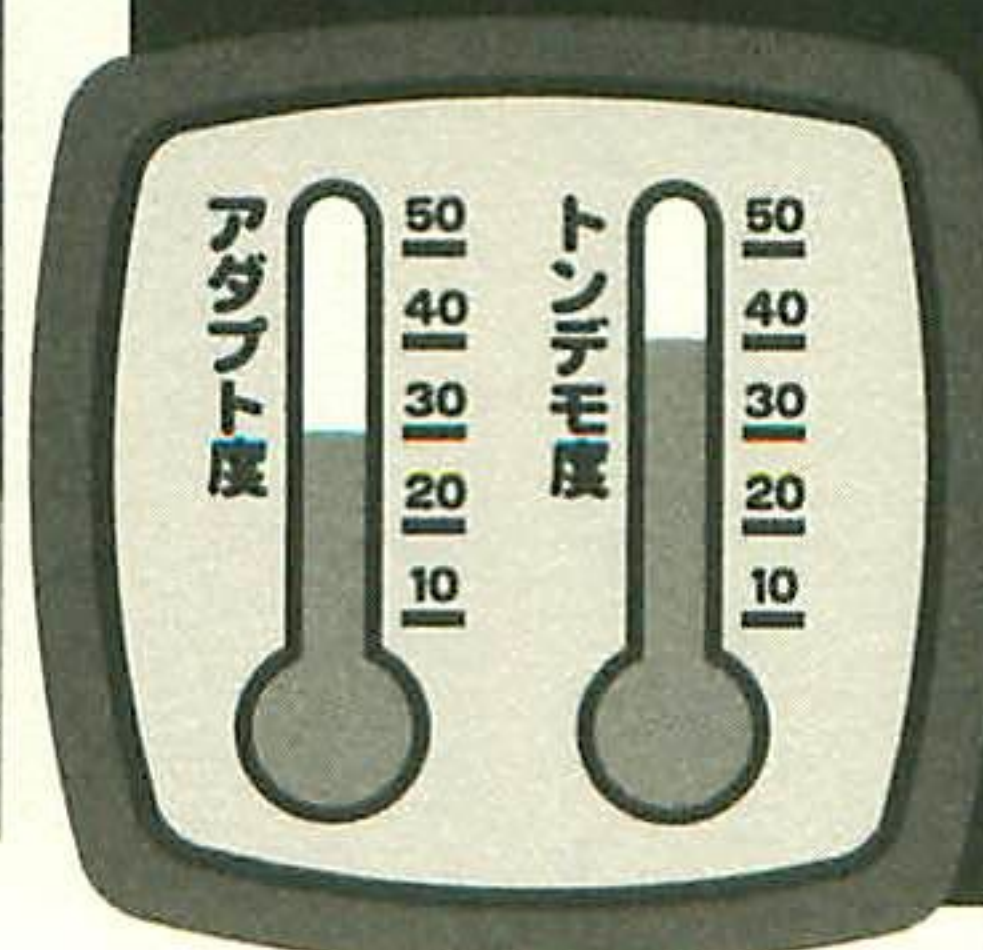
トンデモ度
50 40 30 20 10
アダプト度
50 40 30 20 10

だけど、男優の方が嫌がって逃げ出しちゃう（笑）。
唐：あの男優さん、ビデオの中では、このおねーちゃんを「何やお前、それでええと思てんのか」とか、パンパン平手打ちしてるんだけど、普段はとても温厚で、女性に対して口汚い言葉なんて絶対使わない人なんだって。何か得体の知れない怖さを感じて、つい殴っちゃったらしい（笑）。
眠：最後は、仕方無く勇気あるスタッフの一人が「じゃあ、俺が代わりにハメ撮りするよ」って言い出して、やっと撮影再開。それも、おねーちゃんの方が蔵馬、自分は飛影という設定の、やおいイメージプレイ。
岡：その最中もね、「飛影はそんな事言わない」っておねーちゃんの方から細かいチェックが入る。「幽助が見てるぞ」「違う違う。幽助は見ない」とか（笑）。それでなんとか処女貫通して、撮影は終わるんだけど、おねーちゃんの方が空想の世界から帰って来れなくなっちゃうの。「もう俺たちは別れない。一心同体だ」とか言い出すもんだから、スタッフの兄ちゃん焦っちゃって、「ダメだ。霊界の門はもう閉じようとしている」「お前と同じ世界にはいられないんだ」とか、適当にごまかしてハイおしまい（笑）。
唐：正しい意味でのロールプレイングゲームだよな。それぞれの役を持って演技して。
眠：でもこのAV、観てて全然興奮しない（笑）。
唐：アダルトビデオとしての、本来の機能はまったく果たしていないね、コレは。
岡：で、この話にはオチがあって、前に都内某所のマンガ専門店に行ったら、このビデオのおねーちゃんがバイトしてたんだ（笑）。今はもういないけど。
唐：わたしの方の最新情報では、そのコスプレバイト中に、飛影の役を演ずるレズの女の子が見つかって、今、同棲してるって話。めでたし、めでたし、・・・なのか？

●国防挺身隊は今日も日本の国防のために、激しい訓練を続けていた。

国防挺身隊

●その時である！　道でうめいている一般市民を発見。「いてててててて」「おいどうした、しっかりせんか」「道に空き缶が落ちていて、転んでしまったのです」

●「隊長、これはまさしく外国製！」

アダプト度
トンデモ度
50 40 30 20 10

●国の敵はいずこ？　挺身隊は調査を開始した。挺身隊の調査は厳しい！

●「うむ、これはまさしく悪い外国人によるゲリラ活動に違いないッ！　我々は一致団結してこの敵を粉砕する」

●「さすが挺身隊、よくぞ我々の計画を見破った。私は日本を狙う悪い外国人だ。あの船にはこれと同じ物が何万個も積んである。これでお前達の国もおしまいだ。わーっはっはっは」「なんて恐ろしい陰謀なんだ！」

●そして、横浜港で彼らが見たものは!?
「おっ、怪しい奴め！」「何者だ貴様？」

眠：8ミリの自主制作映画なんですが、ネタもテンポも最高ですね。
唐：一話一話が短いのがイイよね。
眠：編集で上手くまとめてる。ナレーションも軍隊調で「第二話に続く－！」とかやたら元気いいし。で、今回紹介したのは第一話なんだけど、第四話まで続きがあります。いずれ機会があればまた紹介したいと思いますけど、三話目あたりになると、挺身隊の装備もだんだん良くなってきて、この三人が専用の車に乗ってやってくるの。でも国防挺身隊の車だから、右にしか曲がれない（笑）。
岡：やっぱり、「思想」というか、ちゃんと「ポリシー」があった方が絵になりますね。
唐：それも何故か、右翼っぽい方が絶対面白いよね（笑）。左翼的なテーマだとこうはいかない。
岡：確かに。だって「自然を大切に」とか「平和に生きよう」とかいうテーマじゃ、こんなに痛快な映画にならないもんなぁ。

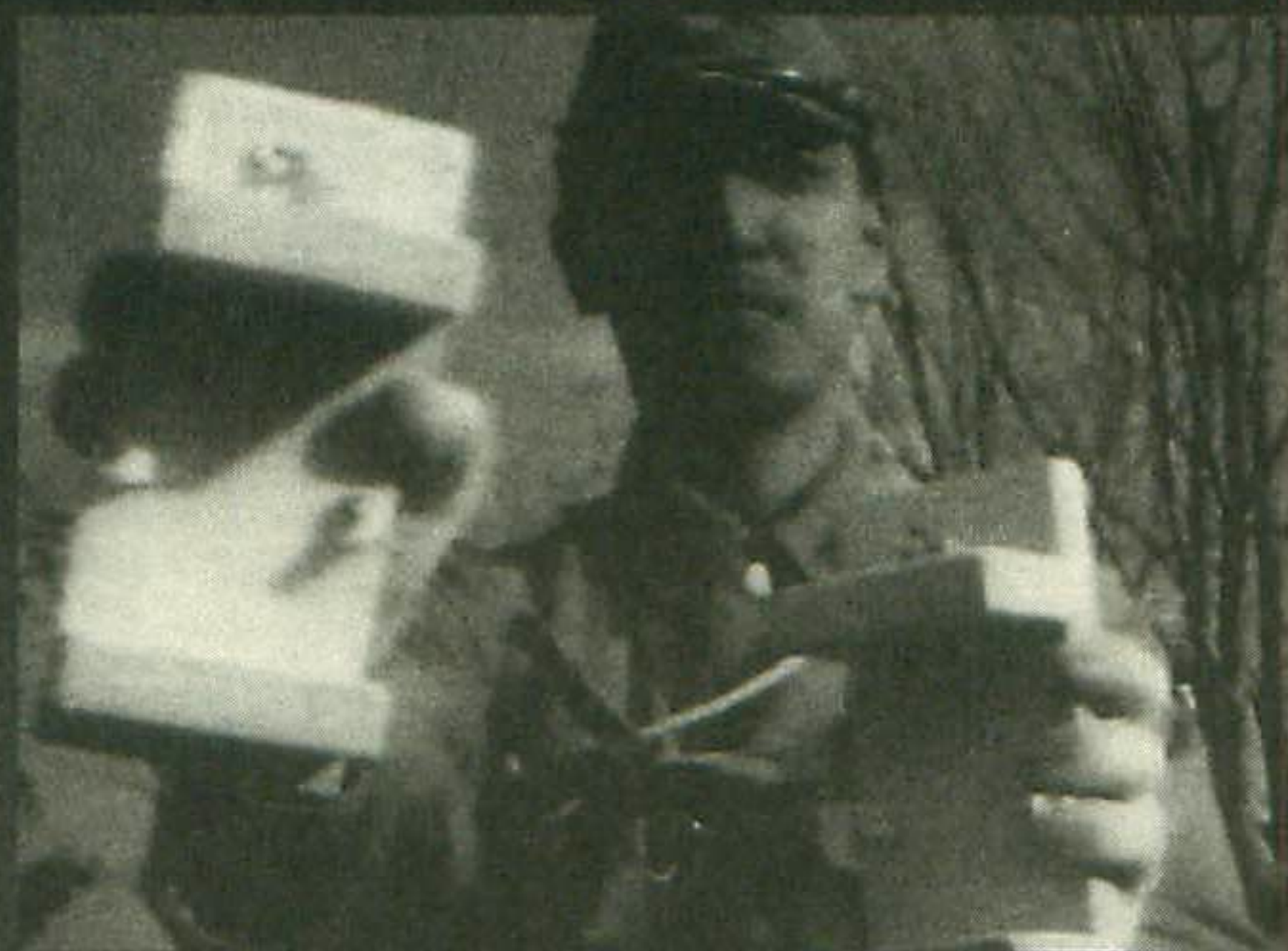
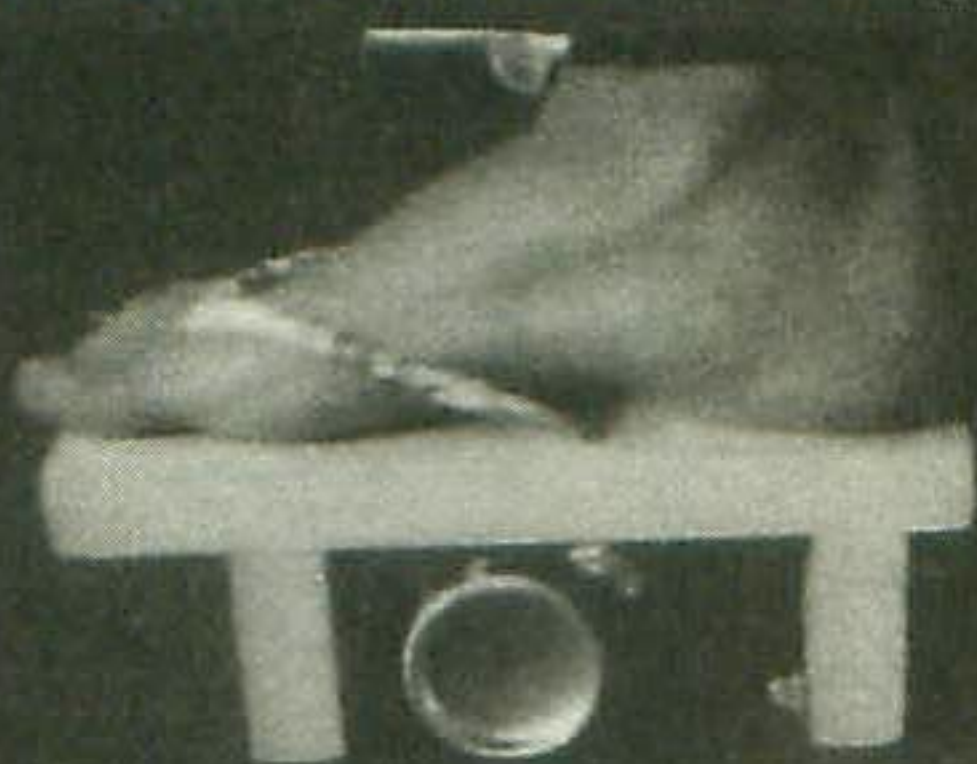
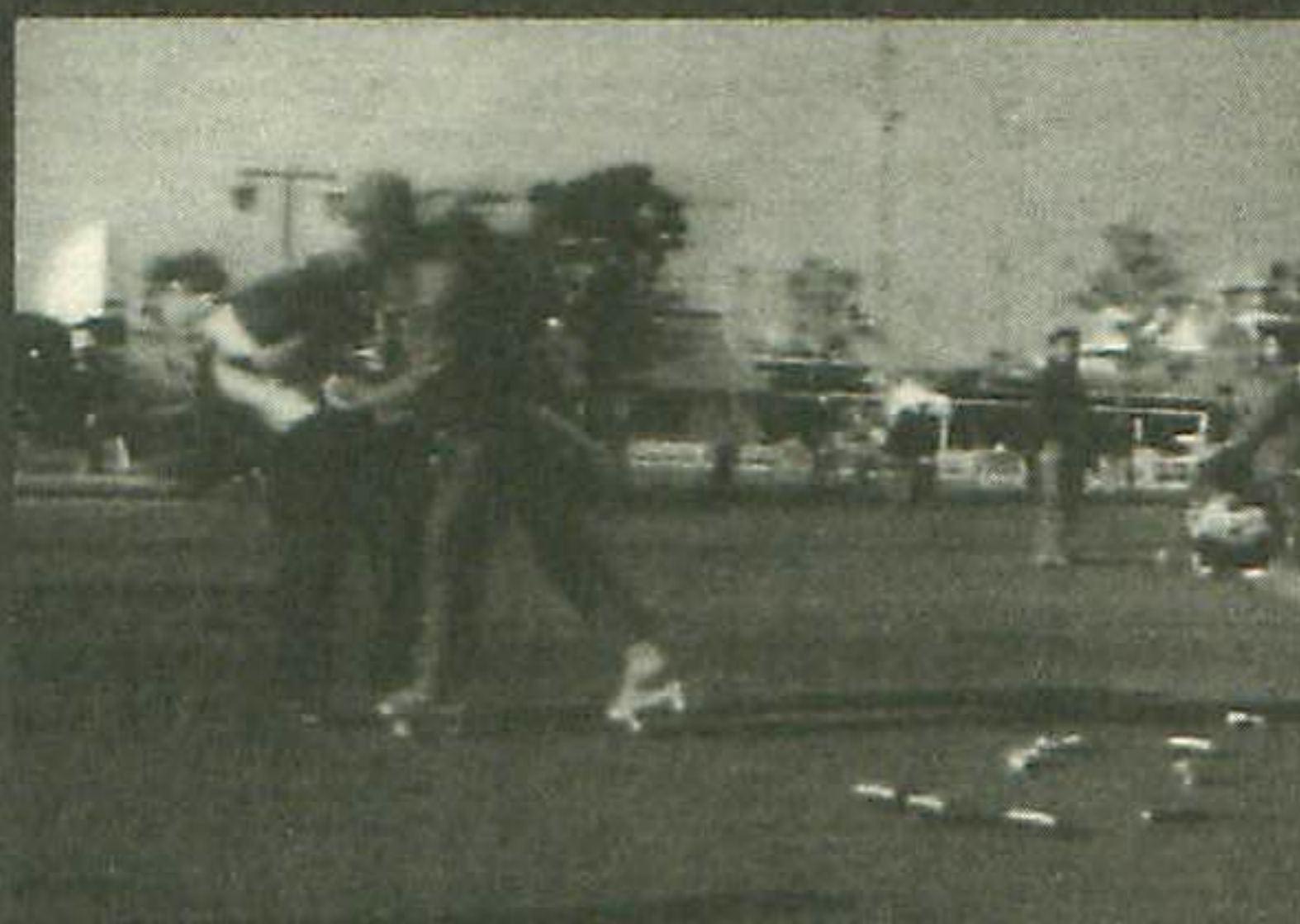
国防挺身隊

●「そんな事は絶対にさせん！」「はっはっは、お前達はすでに私の罠にはまっている。足元をよーく見ろ！」「おおっ、これは！」「お前達はここで動けぬまま死ぬのだ」

●「なんだとぉ！」怒りに燃えた原口隊員は悪い外国人めがけ突撃する。だが空き缶に足を取られ転倒！「うわーーーっ！」

●「おい、しっかりしろ！」ガクッとこと切れる原口。「…ひどい事をしやがる」

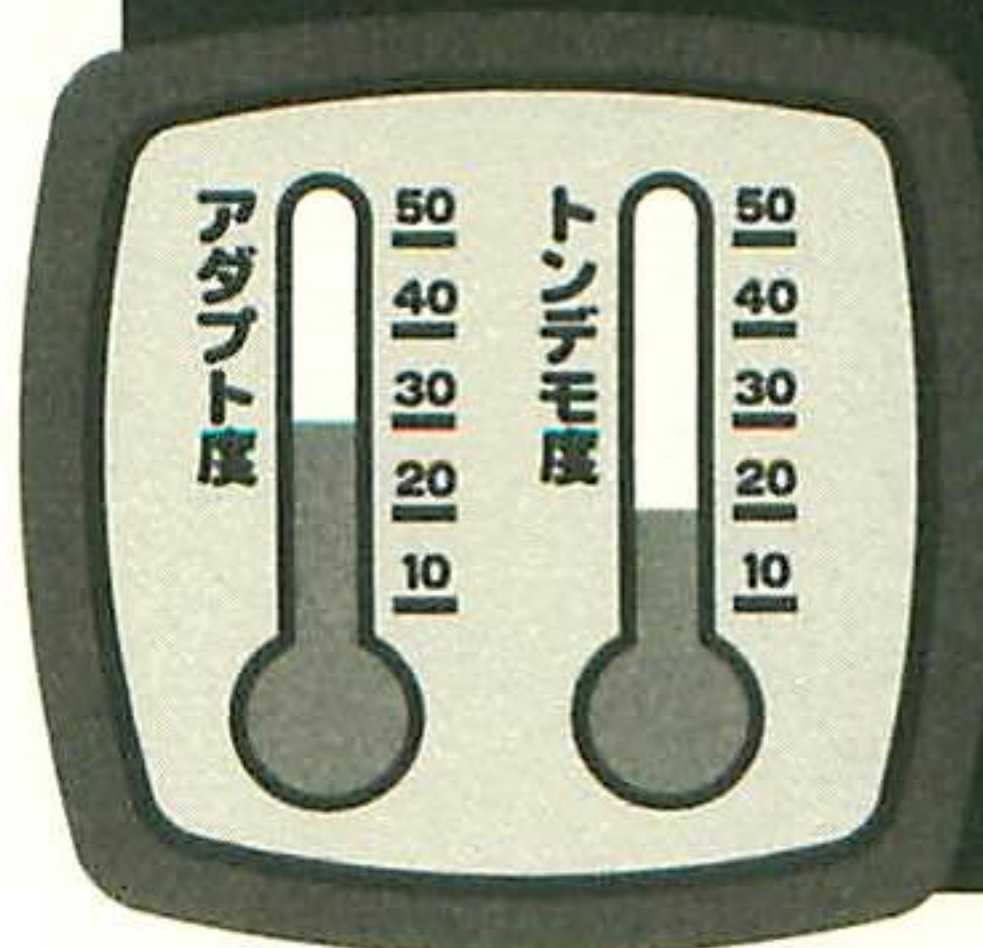
唐：これみたいに「お前みたいな悪い奴は、死んでしまえ！」っていう方が、娯楽作品としてはスカッとするからね。
岡：とにかくオレは、この格好でロケした度胸を買うよ。周りの人、あまりの事にみんな凍っちゃってる（笑）。
眠：この服を着て街中をウロウロできる事自体がスゴい。
唐：そうそう。だからこの程度の映画って、軍服マニアなら簡単に作れそうなんだけど、実はそうそう誰にでも撮れるもんじゃない（笑）。この監督さんはマジで右翼の人らしいんですが、でも自分達のそういう思想を、客観的に笑える余裕がイイですよね。
岡：これ「エビ天」（昔あった、アマチュア映画を紹介する深夜番組）にも出たんですって？
眠：そうそう。よくもまぁこんなのがテレビ放映されたよなぁ（笑）。
岡：この上等兵役の人、顔に味があってイイですよね。やっぱり日本映画は役者の顔がポイント。個性的な顔立ちの奴を揃えられるかどうか。

●「うるさい、行くぞ！」隊長の機転。下駄を履けば空き缶など苦にならない。「オー、ナンテコトダ、ナゼコロバナーイ？」

●「上等兵、あれを！」「はっ」「日本の文化をなめるな」「オー、ジャパニーズ・ゲタ？　ニッポンジンノヤルコトワカラナーイ」

●「天誅ーーっ！」隊長の怒りの一撃が悪い外国人に炸裂！

●「バンザーイ、バンザーイ！」こうして日本の危機は救われたのであった。ありがとう挺身隊。これからも外国の魔の手から日本を守れ！

唐：監督は「国防挺身隊」の新作を撮りたいらしいんだけど、この上等兵役の人が結婚しちゃって、さすがにもう出るのは嫌だと言ってるそうで、作れないんだとか（笑）。

新世紀エヴァンゲリオン

トンデモ度 50 40 30 20 10
アダプト度 50 40 30 20 10

眠：96年の9月に、福島県いわき市で「東アジアMANGAサミット」というイベントがあって、我々、オタクアミーゴスもゲストで呼ばれたんですよ。

唐：で、向こうのスタッフから「ぜひ今話題のエヴァンゲリオンの話もして下さい」って言われたんで、「あれ？　福島でエヴァンゲリオンなんて放映してましたっけ？」って疑問に思って聞いてみたんだよ。そしたら、いわき山の山頂にある気象観測所にあるテレビでなら、唯一、福島県内でテレビ東京の電波を受信できるんだって。だから、毎週水曜日の夜になると、いわき明星大アニメ研の連中はゾロゾロと山頂まで登って「エヴァ」観てた（笑）。

岡：いわき山の山頂っていうと、もう「ハイキング」じゃなくて「登山」の距離でしょ？

唐：「登山」の距離です（笑）。

眠：それを毎週歩いて登ってたワケ？

唐：多分、途中までは車だと思うけど、そこから先は歩き。なんせ毎週そういう苦労をしながら観てるワケだから、東京のファンとは思い入れの度合が違う。それで「いよいよ最終回だーっ！」って盛り上がってまた山頂まで登って、気象観測所のテレビ見てたら、あの「問題の最終回」だったワケで（笑）、その日は全員下山する元気も無くなっちゃって、みんなそこで寝袋に入って、語り合いながら夜明かししたそうな（笑）。

眠：心温まるお話ですねぇ（笑）。

唐：あと「エヴァンゲリオン」と言えば、鬼畜本とかで有名な村崎百郎という人がいるんですが、この人はゴミ捨て場を漁ったりするのが趣味なワケですね。そんなある日、ゴミの中からビデオがゴソッと出てきたそうなんです。で、村崎さんが「何だろうな？」と思って見てみたら、これが「エヴァンゲリオン」のビデオだったそうです。一緒に捨ててあった他のゴミから判断して、そのビデオの持ち主は女性らしいんだけど、毎週毎週きちんとテレビ放映をビデオに録ってた。でも最終回観て、怒ってビデオ捨てたらしい（笑）。

岡：オレもその話聞きましたよ。「エヴァ」のフィルムブックも入ってたって。で、まずフィルムブックから見て、

1995年10月より放映が始まり、アニメ界のサード・インパクトといわれるほどの盛り上がりを見せ、メディアミックス各方面で驚異的な売り上げを記録した。ハイクオリティな作画と魅惑的なＳＦ設定が、往年のアニメファンの関心までも呼び起こしたが、未完ともいえる衝撃的な結末の後、ファンの興味は本年春～秋公開予定の劇場版へと移行している。

村崎百郎も、何か心にグーッとくるのがあって…。元々、狙っていた女性の持ち物だったそうだし。

唐：それでビデオも観て、すっかり「エヴァンゲリオン」にハマっちゃたのね。だから最近、村崎百郎はトークするたんびに「エヴァ」の話。客はみんな、「鬼畜系」の話を聞きに集まってんのに、「シンジ君の救済が…」とか、そればっかし（笑）。そんな話、誰も期待してないって。

岡：オレも「ハマっているわけじゃなくて、女の子のを拾ったから話題にしてるだけ。でも岡田さん、あの最終回でいいと思いますかね？」って、新宿で言われて。

眠：エラい所に影響及ぼしてますね。

唐：だからね、本当にエヴァンゲリオンは業が深いですよ。

眠：深いですね。

岡：三鷹にコラルっていう駅ビルがあるんです。そこの三階に本屋があって、エヴァンゲリオンのフィルムブックを立ち読みしてたらですね、最終回が終わった頃に、いきなり肩を掴まれて、グッと回されそうになったんで、振り返ってみたら「あなたもエヴァのファンですね。ところで、あの最終回あれでいいと思いますか？」って、変な奴に捕まっちゃって（笑）。で、帰してもらえなくて、五階が三鷹市の美術館になってるんですけど、そこのコーヒーコーナーで延々グチを聞かされて。いや、なんかのネタになるかなと思って、つい付き合っちゃったんだけど、コレが詰つまんなくて。

眠：相手は岡田さんと知ってて、声掛けて来たんですか？

岡：いや、気付いてなかったみたい。

眠：うわぁ。じゃ、単にエヴァのファンというだけで論争吹っかけられるワケか。

岡：あと、三鷹にはガイナックスもあるんだけど、なんかそこら中にネルフのジャンパーを着た奴がウロウロしてるんですよ。で、ガイナの会社に近づくにつれてネルフジャンパーの頻度が高くなって、すぐ近所の信号の四つ角に集まって、時々ボソボソって話しては離れていくんです。で、何かなぁと思ったら、ガイナの入り口を見張っているんですよね。庵野監督が出てくるのを待って問い詰める気だったんですよ。

唐：怖い話だなあ（笑）。

岡：ガイナックスってマッキントッシュの出力サービスもやってるんですよ。それで、別の会社の人が大きな紙袋持ってガイナから出てきたら、例のネルフジャンパー着た一団に取り囲まれて、「ちょっと待ってください。それはエヴァですか？」ってからまれて、版下ボロボロになっちゃって。

唐：紅衛兵か、お前らは！（笑）

眠：なんかエヴァ関連で、もうちょっとイイ話は無いの？（笑）

岡：それなら、池袋のイメクラでこの間、メニューに「アヤナミ始めました」って貼ってあったんだって。

唐：冷し中華じゃあるまいし（笑）。

眠：あの制服を着て、包帯巻いたおねーちゃんが、相手してくれるワケね。

竹熊健太郎

正しいヲタクとなるために

人はただ漫然とヲタクになるのではない。

ヲタクがヲタクであるためには、たゆまぬ努力が必要である。それは虎の穴の特訓よりも辛く統●教会の壺売りよりも厳しい茨の道、と覚悟せねばならぬ。

正しいヲタクになるための条件とは何か。第一にそれは「子供の欲望」を持ち続けることだ。子供は漫画が好き、アニメが好き、ガンプラが好きである。どれほどエエ歳になろうが、どれほど婚期を逸しようが、死ぬまでこれらが「好き」であり続けねばならぬ。

第二には「好き」になるものが、社会一般で言うところの「生産」に寄与するものであってはならないということ。「子供」は決して生産しないからである。「お金儲けが好き」とか「会社（仕事）が好き」というのは、正しいヲタクとは言えない。

第三に、あえて「手段」と「目的」を取り違えなければならぬ。例えば漫画好きが昂じて漫画家になるのは結構だが、これがヲタク的に正しい行為か否かは議論の別れるところだ。

ヲタクの先達たる荒俣宏氏はもともと少女漫画家を志していたそうだが、執筆用の資料をあさるうちに漫画を描く暇がなくなってしまい、遂には「資料（古本）を集めること」が人生最大の目的となってしまったという偉人である。

また、私の知っているある鉄道ヲタクに「世界中の列車時刻表を集める男」というのがいた。彼のアパートは天井まで時刻表が積み重なり、とうとう蒲団を敷く場所がなくなって駐車場の自分の車の中で寝る破目に陥ってしまったという。

「手段」に殉ずる「男の美学」。ここにこそヲタクの矜持があり喜びがあるのだ。

以上をまとめると、【チャイルディッシュ】【非生産】【目的と手段の転倒】。これがヲタクになるための必要

竹熊健太郎プロフィール
昭和35年東京に生まれる。幼少時にデルフォイの神託を受け、漫画家を志すもなぜか思想家に。以後、小学館などで、エディター兼ライターとして漫画雑誌の中のマンガでない原稿を書き続ける『心の漫画家』。代表作は、相原コージ氏と共著の『サルでも描けるまんが教室』。最近はすっかりエヴァの権威となる。

条件ということになる。

が、これだけでは十分ではない。自分が考えるに、次に掲げる「悪魔の三つの誘惑」を断ち切って、初めて人は真のヲタクとなり得るのではないか。それは、

●インテリの誘惑
●オシャレの誘惑
●異性の誘惑

である。これは、ある意味でヲタクになる上での最大の障壁と呼べるかも知れない。

ヲタクは勉強（知識）好きである。好きなアニメを極めるためには万巻の書を読破してでも、その背景となる世界観を調べずにはおられぬ性癖を持つ（エヴァが流行ると、書店に走って『死海文書の謎』を買ったりするのがその好例である）。

ある意味ヲタクは全員がインテリだとも言えるが、一歩間違えて『現代思想』や『ユリイカ』を読むようになってはオシマイである。いや読むのはいいのだが、それを自慢したり吹聴するようになってしまうと、世間的にはインテリでも（ヲタク的には）バカ呼ばわりされる危険があるのだ。

ヲタク的なインテリとはあくまで戦隊シリーズの全タイトルと主要メカを最初から最後まで間違いなく暗唱できるとか、そういうものでなければならぬ。

ヲタクは偽善を嫌う。世間的に立派なものは、ヲタク的には何の価値もないのである。

同様に「オシャレ」「異性」もヲタク的には鬼門である。最新の渋谷系ファッション（どういうものかは知らんが）でキメたオシャレ野郎が「俺ってヲタクでさあ」などと言うのを聞いたら、まずそいつが本物かどうか疑う必要がある。

正しいヲタクは服を買う金があれば漫画かLDを買う。他人よりもよりレアなアイテムを入手するためには、それなりの金と時間を投入しなければならぬ。服や女にうつつを抜かしている余裕はないのだ（コスプレはこの際除外する）。

ちなみに筆者は服は吉祥寺の西友でしか買わない。そんなもの、寒さをしのげればいいのだし、西友は「何をお探しですか」と寄ってくるうるさい店員がいないので気が楽だからだ。

「異性」もまたヲタク的には厄介物でしかない。性欲処理などオナニーで十分。ソープに行く金があったらビデオを買え。

と、まあつらつら書いてきたが、これらをすべてクリアーするためには、親や世間や会社の目をものともしない鋼鉄の意思が必要なことはもちろんである。しかし、本書を手にした君なら、きっとできるはずだ。

本書で若葉マークをマスターしたら、「かっこいいことはなんてかっこ悪いんだろう！（早川義夫）」と一〇〇万回唱和してクンダリーニを上昇し、しかるのちに「オタクアミーゴス」のイベントに参加すること。ヲタク三鉄人の薫陶を受け、君は真のヲタク（ニュータイプ）へと進化するのだ。

REX・恐竜物語

岡：実はオレ、この映画観てないんだよ。

眠：ああ、やっぱり（笑）。唐沢さんは観ましたか？

唐：うん、一応ビデオで。宣伝では「もうじきREXに会える」って言ってたけど、例の事件のせいで、映画館ではすぐに「会えなく」なっちゃって…（笑）。

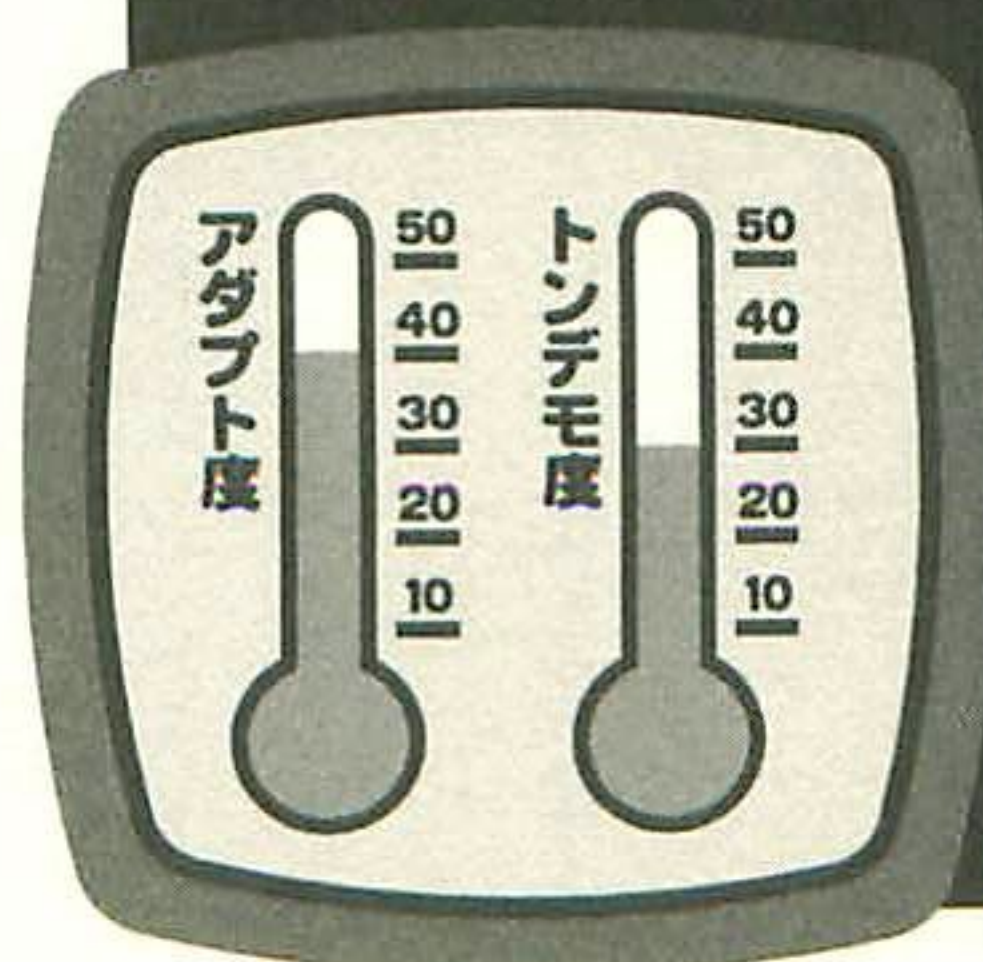
その年のSF大会で、元気いいぞうという放送禁止芸人を連れていってライブをやらせたんだけど、その時のネタが、春樹氏にかわって息子の太郎氏が監督した映画の話で、タイトルが『巨根物語・アナルREX』（笑）。

ひどい話で、最後は監督がフィストファックされちゃって、「ああッ、グー（拳）が大きい！」って叫ぶってやつ（笑）。

だいぶSF大会の品を落とした（笑）。

岡：聞いた話だと、カルロ・ランバルディがちゃんと逆関節も曲がるメカニカルREXっていうのを作ってて、オペレーターも周辺装置も全部揃えたのに、ランバルディのスケジュール内にクランクインができなかったらしくて、結局、撮影開始の前の日に、ランバルディの特撮チームは帰っちゃったんだって。そこで、角川春樹社長はですね「そのトカゲの皮を剥げ！」とか言って、メカニカルREXの外皮だけ使って、着ぐるみにしちゃったわけ。で春樹監督、ダンス・シーンで後ろで歌ってる少年合唱団の一番小柄な男の子に目を付けた。いきなりツカツカと近づいて、「次の作品では君が主役だ！」（笑）と決めつけて、その場でその子にREXの皮を被せちゃったんだって。ちゃんとその約束は守られて、「遠い

トンデモ度 50 40 30 20 10

アダプト度 50 40 30 20 10

1993年に角川書店により製作されたＳＦファンタジー映画。安達祐実・渡瀬恒彦・大竹しのぶなど、錚々たるメンバーが出演した。可愛らしいＲＥＸの人形が話題を呼び、日本版ＥＴの趣で、ほのぼのとした子供と恐竜の心温まる物語の様相を呈していながら、ストーリーは意外な展開を見せる・・・らしい。是非ご鑑賞あれ！！

海から来たＣｏｏ」では本当に主役に抜擢されたんだけど、それは声優だったんですよ。その子、また顔を出してもらえなかった…。一回目はＲＥＸの中身で、二回目は声優（笑）。

眠：僕がなんでＲＥＸの話をしたいかって言うと、この映画、観ないで批判している人が多いんですよ。実際にちゃんと観てから悪口を言ってほしいです。まぁタイトルと宣伝から予想すると、いかにもよくある動物と子供の友情物語で、最後にお別れっていう「お涙頂戴」的なストーリーを思い浮かべるじゃないですか。でもコレ、そんなありきたりの動物映画じゃ無かったんですよ。

岡：オレが聴いた噂ではねえ、角川春樹が持ってる「母に対する怨念」みたいなものがドロドロと出てるって…。大怨念映画だって話は本当？

眠：ああ、大竹しのぶ演じる母親役の描写の仕方とかに、そういう部分がちょっとありましたね。でも一番の見どころは「トンデモ系のネタが多い」トコです。冒頭、いきなり謎の古代文字（ペトログラフ）の解読シーンから始まって、安達祐実とそのお父さんの科学者（渡瀬恒彦）が、北海道の山奥にある縄文遺跡の探検に行くんですけど、そこはなんと奥で古代ムー帝国の地底神殿につながってるんですよ。これがまた東映の戦隊モノみたいなセットで、

いい味出してるんですけど。で、超古代文明の残した透明アクリル製の小型ピラミッドの中に、恐竜の卵が安置されてるって設定からしてちょっとキテます。案内役のアイヌの古老も、これ「まんが日本昔ばなし」で有名な常田富士男さんが演じてるんですけど、何の脈絡もなくいきなり念力で空中浮遊するシーンなんかがあったりしてもう最初っから「変」。ここらで「あ、こりゃ単なるファミリー向け動物映画じゃないや」って気付いたワケですね。

岡：それが「ファミリー向け動物映画」だったら、「怪獣王子」はノンフィクションだよな（笑）。

唐：なんせ、監督がUFO見るたんびに撮影が中断されたんだってさ。「今、UFO見えたろ！」とか言って。まわりのスタッフはポカンとしてたそうだけど（笑）。

眠：逆に僕は、そういうトンデモ要素多いし、こりゃカルトムービーだよなあと思って、評価してたら、後で実はトリップムービーだったたって言うオチがついてガックリ（笑）。

唐：どうも主演の安達祐実がこまっしゃくれてて子供に見えなくてね、実は大人じゃないのか？　成長止めるホルモン剤打ってるんじゃねぇか？　監督はシャブ打ちながら撮ってたし（笑）。

眠：まぁストーリーははっきり言っていきあたりばったりで無茶苦茶ですね。だラリってたせいだと思いますけど。だいたいREXってティラノサウルスのくせに草食なんですよ。ピーマン食ってるし。あと、恐竜だから最初は「寒さに弱い」って設定で、ブルブル震えてたりしたクセに、映画の中盤ぐらいから平気で雪の中走り回ってるし…。

唐：ああ、誰かが「ジュラシックパーク」と比べて誉めてた。ストーリーはこちらの方がはるかに面白いって。その時はまだ見てなかったから、へー、あいつと思ってたけど、ビデオ見て、あいつどこ見て誉めたんだろうなって…？

眠：でも「ジュラシックパーク」なら先の展開読めるけど、REXは全然先が読めませんからね。なんせ「黒服の

REX・恐竜物語

男」に追われて安達祐実とREXが逃げてるシーンの最中に、いきなり二人でダンスしたりしますから。そこ、一応この映画の見せ場。

唐：わははは、それは誉め言葉ではない！（笑）

眠：とにかくREXのいいところは、こんな気の狂った映画なのにちゃんとお金をかけてる事。渡瀬恒彦とか伊武雅刀とか、いい役者ばっかり使ってるし、撮影や美術や音楽も一級品。それが一本の映画にまとまった時に、全部不協和音を奏でてるという破天荒さ。まさに道楽の極み。

唐：まったく惜しい監督がいなくなってしまいましたねぇ…。「天と地と」はやたらお金はかかってるけど、くそつまらない映画だったから、あれから見ればREXははるかに上等な映画ですよ。でも「天と地と」も試写会で観た時には笑ったよな。全員赤い兜か、白い兜をかぶってるんだもん。なんかものすごくわかりやすくてよかった。

岡：あれ、真ん中突っ切って向こうへ行くだけでしょ？

唐：要するに「天と地と」って、負けたから敵陣突破して逃げるってだけの話なんだけど、なんか映画の中では、謙信の方が勝ったように思えるんだよなあ。渡辺謙は最初あの映画に出られなくて残念がってたんだけど、出来たの見て、「ああ出なくて良かった」って言ったらしい。

眠：REXに話を戻しますけど、ラスト怖いんですよ。最後、REXは過去の世界に帰らなくちゃいけないっていう事になって、最初の縄文遺跡の神殿に行くんだけど、そこになぜか、モアイさんがズラーッと並んでて、向こうの方がボーッと光ってるの。それが時の果てにつながってる通路なワケ。

岡：過去の世界に戻っちゃうの？

眠：うん。そういうオチ。

岡：過去の世界って、どんな「絵」だったの？

眠：その辺は写らない。光の中に消えてっちゃうだけ。

岡：ちぇー。

眠：なんかあのラストは、ちょっと宗教がかってる「絵」でしたね。「黄泉の国」みたいで…。でも、この映画の本当に怖いトコロは、実はエンディングクレジットの後なんですよね。

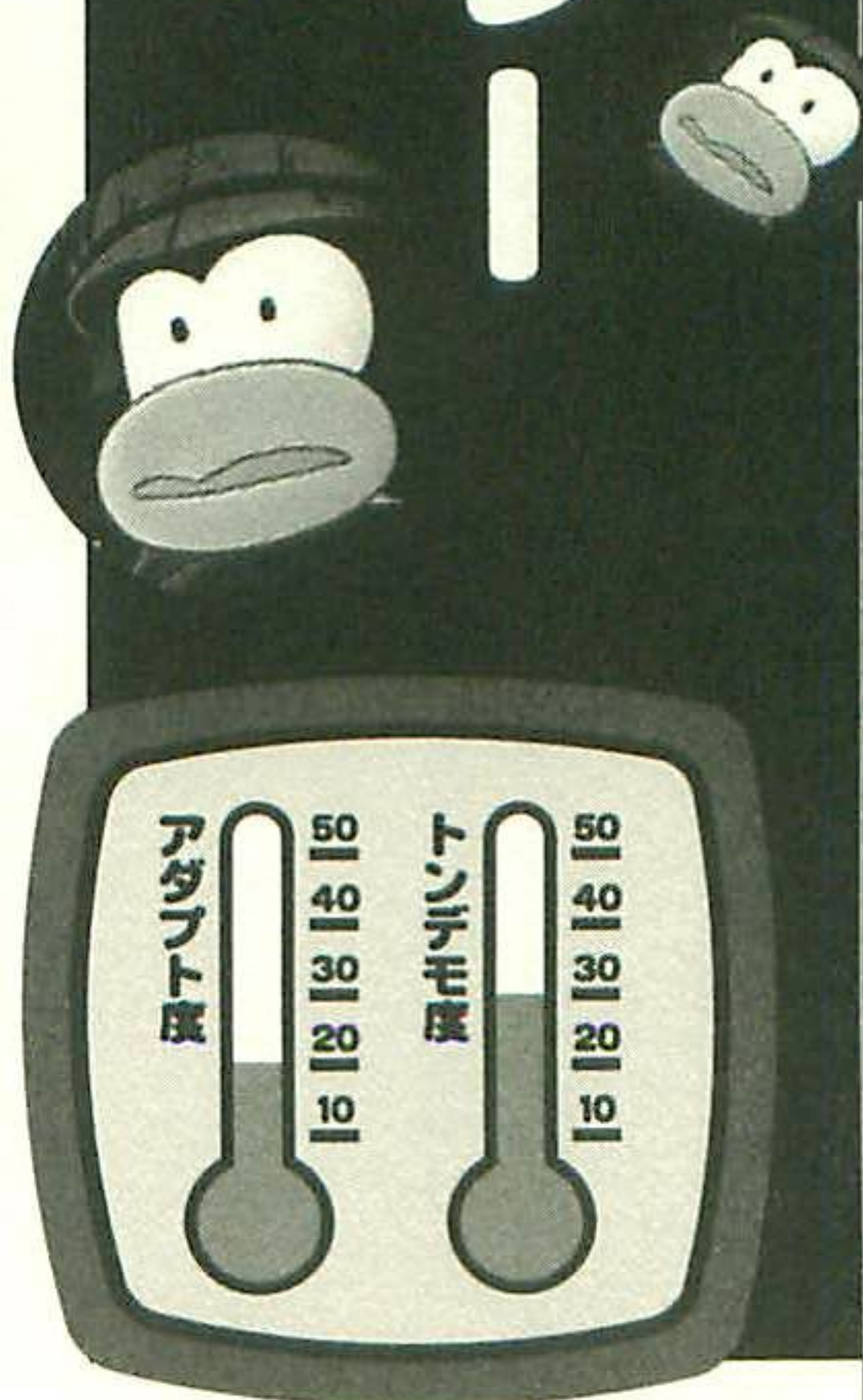
唐：そんなのあったっけ？　俺、見てないや。

眠：真のエンディングはこうです。まず「具が大きい」とかいうギャグが入るんですよ。ほら、主演・安達祐実だから例のカレーのCMの「寒い」パロディが。その後、大竹しのぶのお母さんが帰ってきて「これからはみんなで牧場をやっていこう」と一応ハッピーエンドになって、みんなで外に出て空を見上げるんですよ。そうするとCGでモクモクモクっと雲がREXの形になってジ・エンド。思わず椅子からズリ落ちましたよ。

唐：そっかー、ビデオだったからその辺まで見ずに止めちゃった。

眠：あれはある意味で、「キャリー」のラストよりショッキングでしたねぇ（笑）。

AMIGOS ARCHIVES 15

ペンギンズ・メモリー 幸福物語

眠：85年公開の劇場用長編アニメ。
岡：元はサントリーが初めて缶ビールを発売した時の、キャンペーンキャラクター。
唐：ああ、松田聖子が「スウィートメモリーズ」歌ってたCMね。
眠：で、このCMのペンギンが人気あったんで、映画になったワケです。
岡：キャラクターデザインは「カールおじさん」のひこねのりお。
眠：こういう可愛い絵柄のキャラクターだから、てっきり心温まるほのぼのしたペンギンの物語だと思って、映画館に行ったんですよ。でも、そうしたらいきなりベトナムの凄惨な戦争シーンで話が始まるの。
唐：戦争映画じゃないんだけどね。
岡：戦争で心が傷ついた、ベトナム帰還兵の物語。
唐：つまりアニメで、70年代のアメリカのニューシネマをやっちゃったというワケですなぁ。
眠：それも全部ペンギンで（笑）。
岡：普通のニューシネマだったら、故郷の町に帰って来た所からやるんだけれども、そこはそれ、ついついアニメの悲しさで…（笑）。
唐：なまじ金使わずに、戦闘シーンとか出来るもんだから。
岡：そういう事で、しょっぱなからいきなり「ハンバーガーヒル」みたいなシーンの連続。
眠：まずベトナム人の避難民たちが、ジャングルの中を歩いて逃げてるんだけど、そこに上からヘリが来て、バリバリと撃ちまくっちゃうんですよ。主人公は米軍側なんですが、あまりの非道さに「やめろー!」とか叫んで出て行って、逆にゲリラに撃たれちゃう。
唐：ベトナム人はダチョウとか別の鳥

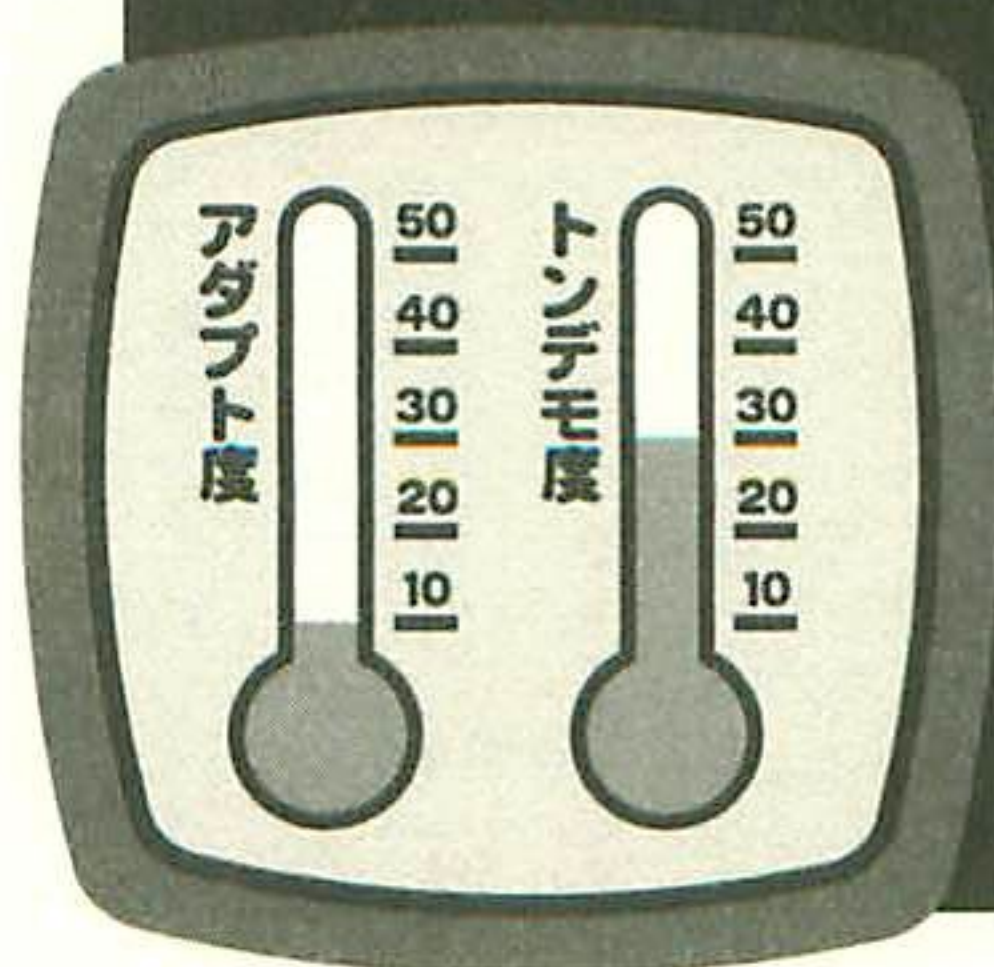
トンデモ度 50 40 30 20 10
アダプト度 50 40 30 20 10

にするんじゃなくて、全部ペンギンなワケね。見分けがつかねぇ（笑）。
眠：一応、「ベトナム」とか「アメリカ」とか、はっきりと場所を特定するようなセリフは一切無いんですけどね。

岡：でも、明らかにベトナム人の笠みたいなのをかぶったペンギンが出てたよ（笑）。
眠：…で、ゲリラに撃たれた主人公は、友人の兵隊に助けられ、味方のヘリにつかまってなんとか戦場から脱出できるんです。「ああよかった」とホッとする間も無く、下から対空ミサイルが飛んできて、ボーンと隣のヘリコプターが大爆発！
唐：その爆風にあおられて…。
眠：自分を助けてくれた友達は、ヘリから「ウワァー」と叫びながらスローモーションで落ちていく。無惨。
岡：戦友はみんな死んじゃったのに、自分だけが助かってしまって故郷に帰ってくる。で、そこで「スウィートメモリーズ」を唄う歌手志望の女の子のペンギンに出会うんだけど…。
眠：なんせ主人公はベトナム帰還兵で、心が病んでるもんだから、なかなか女の子ペンギンに恋心を打ち明けられない。それでこの後、一時間半位、延々とタルいラブストーリーが続く（笑）。

唐：俺、誰と観に行ったんだったかなぁ？　「可愛いペンギンのアニメ」だと思ったから、ついつい女の子と劇場へ行っちゃったんだよ。
岡：でも中身は、ロバート・デニーロの「ディア・ハンター」の前に「プラトーン」を付けたみたいな映画（笑）。
眠：キツいよねぇ。
岡：実はコレ「王立宇宙軍」の撮影監督をやってくれた八巻磐さんがプロデュースした映画で、「是非見てください」と言われてビデオで観たんだけど、それは「撮影技術を見てくれ」という意味だったんだ。俺はついつい話の方を見て「ヒドいですね」って言っちゃったんだけど（笑）。撮影技術的にはイイですよね、コレ。
眠：作画とかも含めて、アニメ的にはスゴく出来がイイ。みなさんもぜひレンタルビデオ店で借りてみて、このギャップにショックを受けてほしい。ほのぼのとしたペンギンさんたちが、最高のアニメ技術で暗～い話をやってますから。

トランスフォーマー

AMIGOS ARCHIVES 16

眠：唐沢さんは「変なニッポン」の出てくる洋画を観るのが趣味だそうですので、まずはコレをお見せしましょう。トランスフォーマー第38話「パニック・ザ・クレムジーク」！　電気生物クレムジークを追って、サイバトロン（正義側のロボット）達が日本へ行く話なんですが、この回の描写がモロに「アメリカ人から見た歪んだ日本」でイイ味出してるんですよ。ほらほら、新幹線の作画はいいかげんだし、看板の文字とかはメチャクチャだし、日本人の技師はすぐペコペコお辞儀するし…。あ、岡田さん、呆れてますね（笑）。

岡：いや、俺もオタク生活長いけどさ…。なんだよ、コレ？

眠：うーーん。だから「トランスフォーマー」にハマる人って「濃い人間」に限られるんですよね。ＳＦ作家の山本弘さんとか、漫画家のきむらひでふみさんとか、ガイナックスの佐藤てんちょとか、オレとか（笑）。

唐：そうそう、この面白さに気がつくのは「濃い人」じゃないとなぁ。気が付かない人にとってはただのつまらないアニメだと思う。

岡：それにしても、何か乗り越えなきゃいけない「つまらなさ」があって嫌だなあ（笑）。なんだか、わざわざ峠の茶店まで登ってコーヒー飲むみたいな…。

唐：うん、だから、みんなが到達できない所で「どうだ楽しんでるんだぞ！」って自慢するしかないな。

岡：これ見てる時って、こんなの見て喜んでるのは日本中でオレだけだ…、とか思ってるワケ？

眠：いや、低年齢層には人気あったんですよ。オモチャは売れてたし。放映当時、小学生だった世代には「トランスフォーマー」はかなり浸透してます。で、「トランスフォーマー」のファンって、「アニメ系」と「オモチャ系」ファンと二種類おりまして、「オモチャ系」の人たちの方が濃度高くって、今だに後続シリーズの「トランスフォーマーG2」とか「ビーストウォーズ」にハマってますね。

唐：以前チベットに行った時に、そこの部落の子供が「トランスフォーマー」の帽子かぶってて、「変形金剛！」（トランスフォーマーの中国版タイト

トンデモ度　50 40 30 20 10
アダプト度　50 40 30 20 10

ル）とか叫んでてさあ、その時は「かっこいいなあ」と思ったね（笑）。

眠：そうそう。「トランスフォーマー」は世界的にヒットしましたから。

唐：まあチベットの奥地では、アニメは放映してなくて商品だけ行ったんだと思うけど。で、「面白い面白い」ってはしゃいでたら、ガイドの人が「なんで子供の帽子をそんなに面白がるんだ？」って聞くわけ。それで「じゃあ説明しよう」と思ったら、やたら手間がかかったんだよね。

子供には人気のあったトランスフォーマー

岡：ガイドのおじさんは「トランスフォーマー」を知らなかったんですか？

唐：ええ、さすがに知らなかったですね。

岡：大人にとっての見どころって、どの辺？

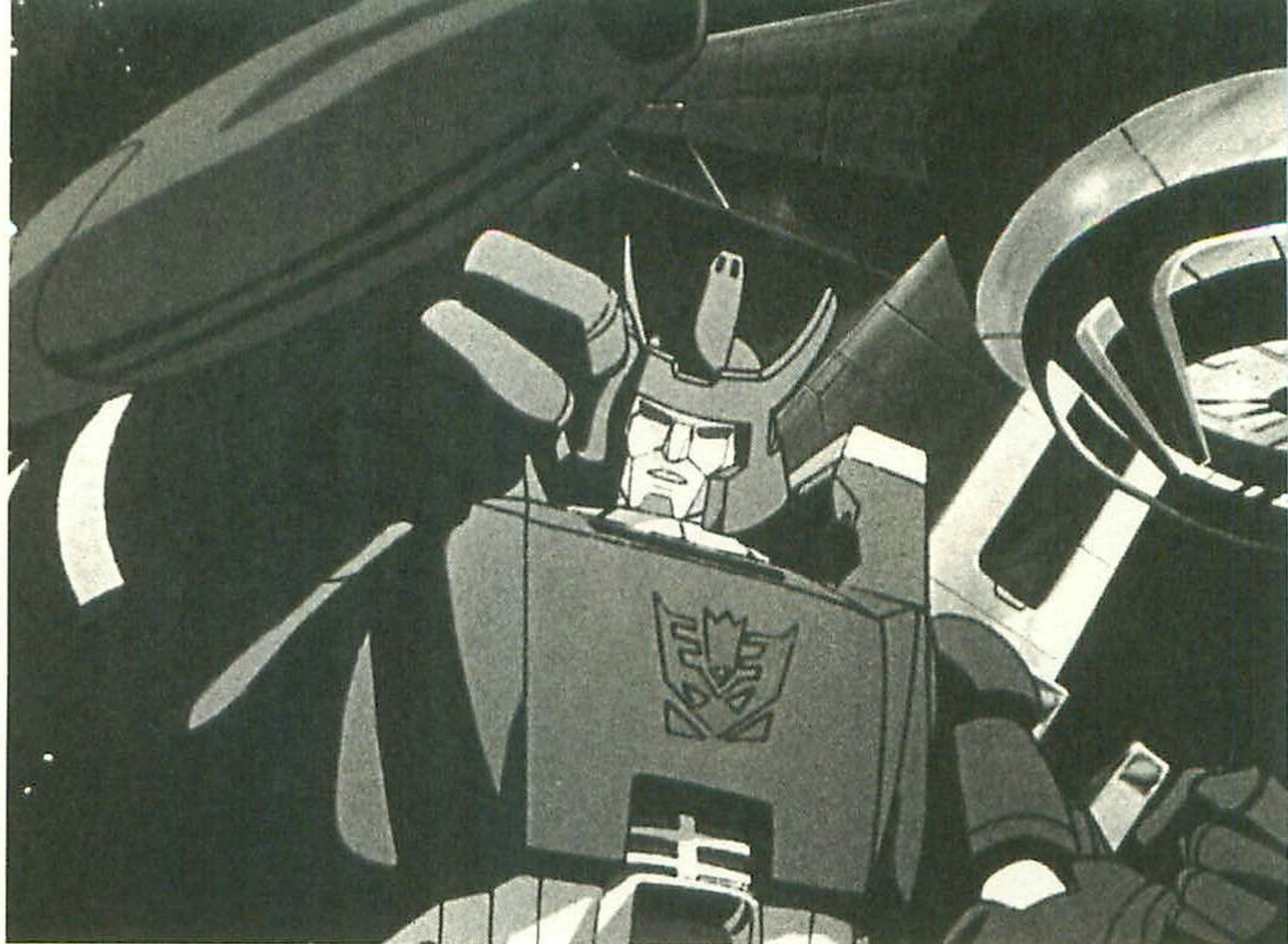
眠：うーん、そうですね。「トランスフォーマー」と同時期に放映してたのが「機動戦士Zガンダム」だったんですよね。つまり「バイファム」とか「ボトムズ」とか「エルガイム」とか、当時、ロボットアニメがみんなリアル志向に行ってたんですよ。そういう状況の中で、こういう単純明快で、なおかつ大バカ（誉め言葉）なアニメがアメリカからやってきたんで、ガーンとショックを受けたわけです。なんと言ってもストーリー展開がやたらとスピーディーで気持ちイイ。「Zガンダム」ならチンタラチンタラと5話分はかかるお話が、「トランスフォーマー」だと15分で済んじゃう。このテンポの良さは魅力ですね。

岡：うーん。

眠：やっぱりねえ、日本人の発想じゃないんですよ。アニメ見慣れてる人間から見ても、意外な展開が多い多い。コンボイ司令官（サイバトロン側のリーダー）が、ニューヨークの下水道で敵に捕まって、ワニ型ロボに改造される話とか。

岡：ははははは！

眠：つまり、アメリカ人の脚本家じゃないと絶対に思いつかない話が時々あって、第2シリーズ「トランスフォーマー２０１０」の敵の首領（ガルバトロン）って、ちょっとキレちゃってるキャラクターなんですけど、それを心配した副官（サイクロナス）が、精神治療惑星っていうのを見つけて、無理矢理カウンセリング受けさせる話ってのがあるんですよ。（第17話「クモの巣惑星」）

精神治療を受けさせられたガルバトロン

岡：精神治療惑星…！（笑）まあ確かに、日本人のシナリオライターじゃ百年かかっても出てこない発想だよねぇ。

唐：向こうの脚本だと、SFとか、ロボット物の中にもきちんと日常の話がでてくるんだよね。日本の怪獣物とかだと、完全にその世界の中の「ただの逃げまわる人」みたいになっちゃうんだけど、それが「スーパーマン」とかの場合、悪役が登場するまでの間、保安官が、今日の昼飯は肉がいいか魚がいいかって延々と話してたりとか。そういう描写が向こうの連中ってすごく好きなのね。

眠：あと、ボクが気に入ってるストーリーに、ロボットアニメ版「アルジャーノンに花束を」みたいなエピソードがあるんですよ。「トランスフォーマー2010」第25話「グリムロックの新しい頭脳」って回。グリムロックっていう、あんまり頭の良くないトランスフォーマーがサイバトロン側にいるんですけど、それがある時、偶然電気ショックを受けて、突如として頭が良くなるんですよ。…で、一夜にしてバカロボットから天才ロボットになったグリムロックなんですけど、敵の合体兵士を倒す為に、自分の知力を新たに生まれたロボット達に分け与えてしまい、自分はまた元のバカに戻ってしまうんですね。この話、泣けるっす。

岡：ああ、グリムロックってティラノサウルス型の奴ね。「グリムロック、悪いの嫌い」とか言いながら、変形すると恐竜なんですよ（笑）。

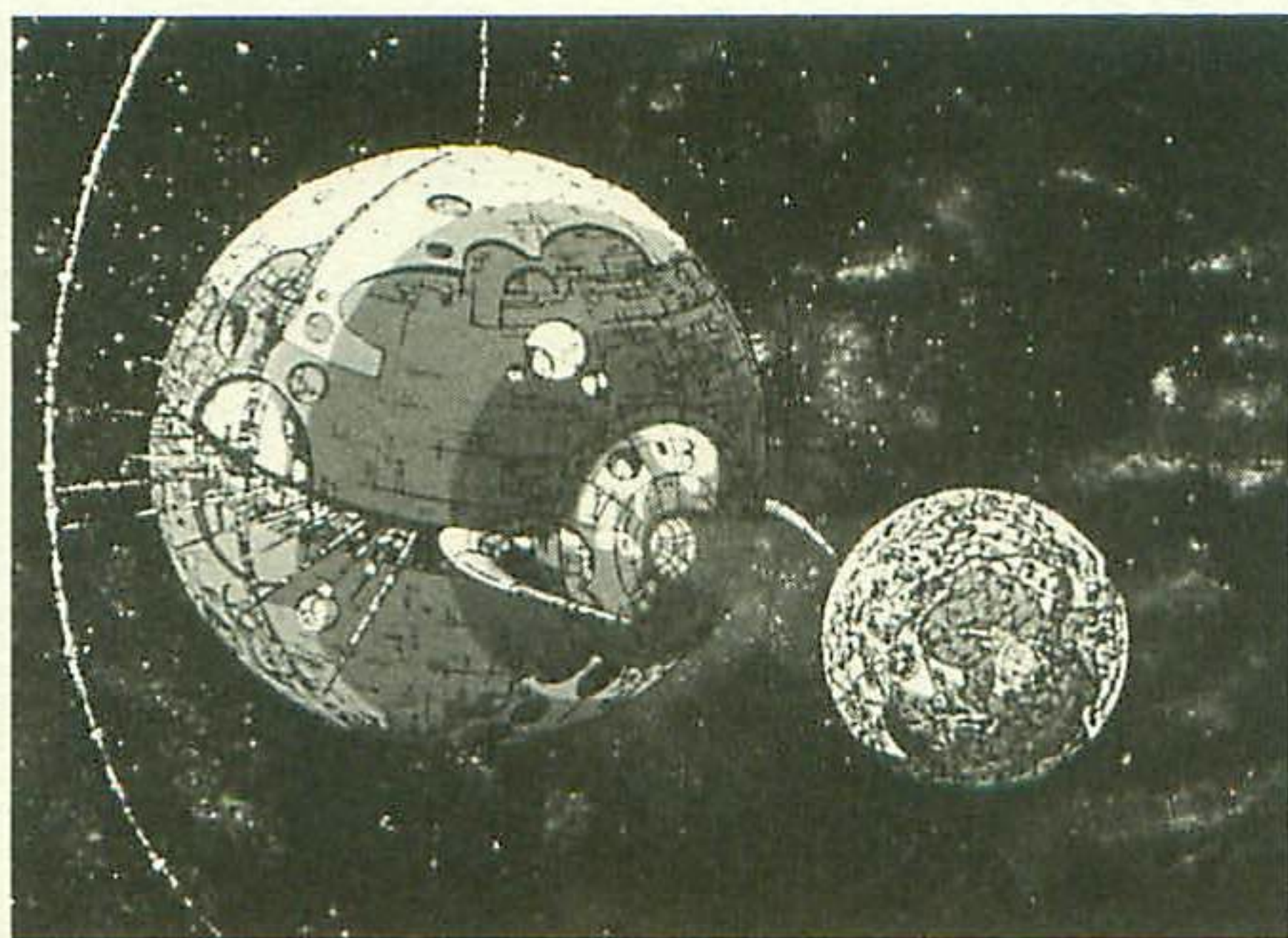
眠：あれねー、英語版でもちゃんと「ミー、グリムロック！」って言ってるんですよ。いわゆる「インディアン喋り」。

唐：いいのかね、それは。人種差別にはならないのかね？

眠：いやぁ、そこはトランスフォーマーだから。あと、こいつは明らかに中国人だなってロボット（レックガー）とかも出てくるし。ちゃんとこう、ドジョウ髭生えてて。

岡：それ、いいなあ（笑）。オレが見た「トランスフォーマー」の一番スゴい話は、映画版の方に出てきた、惑星全体が変形するユニクロンっていう超巨大ロボ。なんと声優はオーソン・ウエルズ！ しかもそれがオーソン・ウエルズの遺作なんですよ（笑）。

トランスフォーマー

唐：遺作が情けないっていうスターは、結構多いけどね。
眠：えーと、ロボットアニメ史上でも、惑星から変形するユニクロンが「もっとも巨大なロボット」の記録保持者のハズです。
岡：それだけ大きいと、特に破壊しようとしなくても、近くに寄ってったらさぁ、「ロシュの限界」で相手の星はグズグズになって崩れていくんだろ？
眠：トランスフォーマーの世界に「重力」なんて概念は無いです！　ユニクロンはですね、こう、でっかい角をガッチーンと相手の星にブッ刺して、惑星ごとガップンガップン食うんですよ。男らしい！（笑）
唐：丸い惑星がどうやってロボットに変形するの？
眠：んー、これはねえ、実際に映像見せないと説明しにくいんですが、結構、カッコよく変形するんですよ。オモチャは発売されなかったけど、試作品までは出来てたそうだから。
岡：えっ、オモチャ出てないの?!
眠：ええ、あれは発売されなかったんですよ。オモチャもちゃんと惑星からロボットに変形するような設計になってたのに。その上、オーソン・ウェルズの声で「余はユニクロンである！」とか喋るはずだったんですよ（笑）。
岡：スイッチ押したら、オーソン・ウェルズの声！　うーん、それは残念だなー。
唐：残念ですね。…それでいくらギャラもらったのかな、なんて。
眠：「トランスフォーマー」の劇場版ってかなり予算かかってる大作なんですよね。そのうちのかなりの分が、声の出演者のギャラじゃないかとニランでる。ロバート・スタックも出てるし、レナード・ニモイも出てるし、エリック・アイドルも出てる。
唐：むこうの俳優って、そういうのを楽しんじゃうところがあるんだよね。日本みたいにいかにも「落ちぶれた」って感じじゃなくて。ハリーハウゼンの特撮映画「タイタンの戦い」でも、ローレンス・オリビエがゼウスの役で出てて「あー、情けねー」と思ったらさ、本人は一番気に入ってる映画らしいよ（笑）。
岡：ローレンス・オリビエはそうかもしれないけど、オーソン・ウェルズは絶対貧乏で仕事受けたんだよ（笑）。

史上最大の巨大ロボ・ユニクロン

街頭武闘伝・編集王

AMIGOS ARCHIVES 17

●「俺は『なかよし』の編集部員だ。今日はこれから武内先生の原稿を取りに行くところだ」

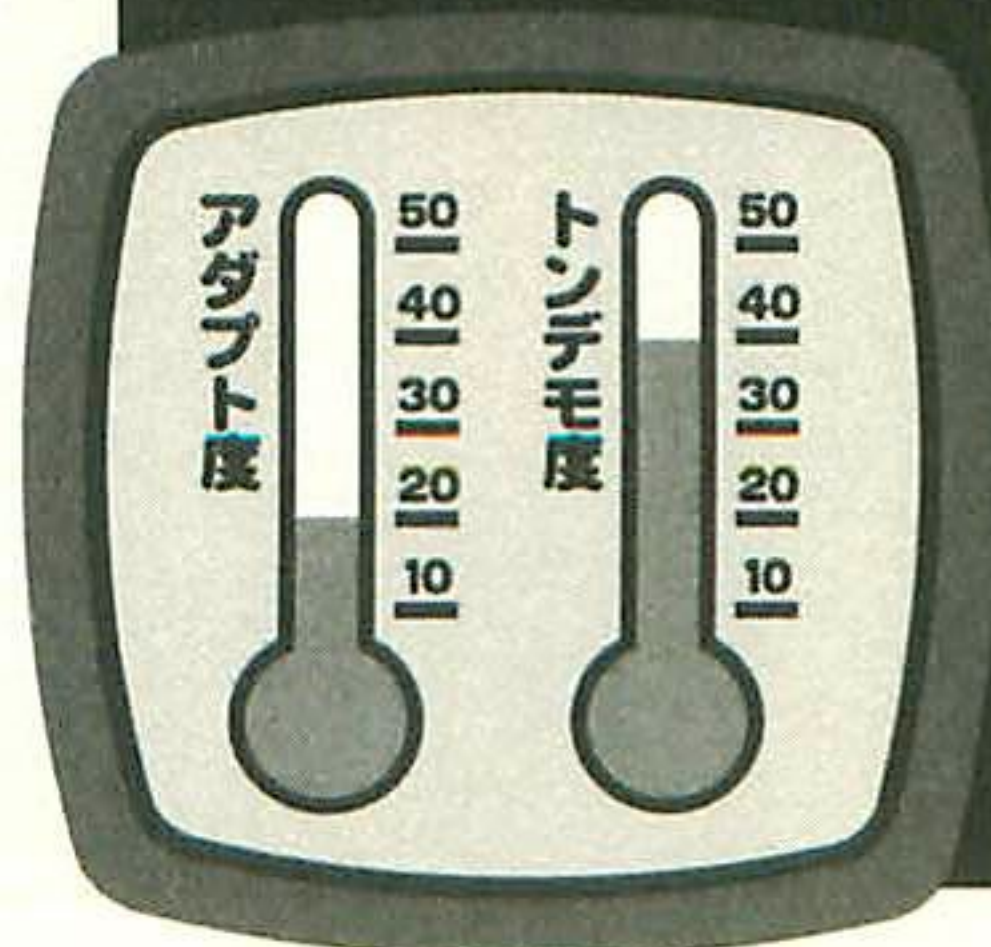
●「待てぃ！　ワハハハハハハハ」

●「ややっ、貴様は『りぼん』の編集部員！」

トンデモ度　50 40 30 20 10

アダプト度　50 40 30 20 10

眠：これは私の知り合いの作った自主制作映画なんですが、出版界の裏ではこんな激しい争いが繰り広げられているという、過酷な世界を描いた傑作ですね（笑）。

唐：好きだなあ、こういう業界状況が非常によくわかるネタ（笑）。オレ、知ったかぶりで「実はその裏ではこういう内情が・・・」って自慢げに話すオタク、大嫌い。こういうおちゃらかしの方

●「いかにも！　先月は発行部数で遅れをとったが、今月は豪華付録で勝負だ。行くぞ、りぼん付録胡蝶の舞！」

●「なんの、付録ならコレだ！　なかよし八大付録ブーメラン！」

●編集者どうしの激しい戦いが続く！「こどものおもちゃクラーシュ！」「テレビでも大人気、魔法騎士レイアース飛燕脚！」「そんな低視聴率番組など効かぬわ。行くぞ！　みんな知ってるちびまる子ちゃん無影拳！」「さらにママレードボーイ鬼竜拳！」「うわーーっ！」

が、百倍シャレてる。
岡：なんで「ちゃお」は「なかよし」を助けたんでしょうね（笑）？
眠：「りぼん」の集英社って、もともと「ちゃお」の小学館から分かれて出来た出版社でしょ。でも漫画部門じゃ集英社の方が優位に立ってる。だからあえてライバルの講談社の「なかよし」に肩入れしたという、深い裏設定が…。
唐：無い無い（笑）。
岡：これを作った人って、学生さん？

●「どうだ、まいったか！」勝ち誇るりぼん編集者。

あきらめるな！

●「あきらめるな！」「お、お前は『ちゃお』の覆面編集!?」「なかよしの、そんなテレビ大阪のローカル番組など誰も知らんぞ。立ち上がれ！」

●「俺の担当のふくやま先生の漫画を！」「とどめだ。テレビやコミケで大人気、赤ずきんチャチャクライシス！」「もうダメだ…」その時である！

眠：いえ、もう社会人になってます。
岡：たまの休みにこんなの撮ってるワケか。バカだねぇ（笑）。
唐：でも、空き地で殴り合うだけという単純さがイイですね。学生で時間があると、変に特撮に凝ったりするから。
岡：これなら、空き地に行って三時間で撮れますもんね。
唐：そうそう（笑）。
岡：自主映画のポイントってやっぱ気力とスピードなんだよね。こういう笑える一発ネタっていうのは、思いついたらその日のうちに撮らないと、ヤル気がなくなっちゃう。ヘンに撮影とかに凝ろうとして一晩準備したりすると、もうそれだけで気が済んでしまうもん。だから「空き地で三時間で撮れる」って大事なんだ。
眠：多分、日曜日の朝に思いついて、適当なお面を押入れから引っ張り出して…。

街頭武闘伝・編集王

●「むん！」その一言で復活したなかよし編集者。「そんなバカな!?」「黙れ！　邪悪な貴様の雑誌など、読者がついてくると思うか。食らえ、超人気セーラームーン百烈拳！」

●「うわあああああああ！　や、やられた…」

●「手ごわい敵を倒したな。よくやったぞ、なかよしの」「待ってくれ。あんたは『ちゃお』の編集なのに、なぜ俺を助けた？」「いずれわかる。さらばだ、来月を楽しみにしておるぞ。はっはっはっはっは…」

●こうして「なかよし」は「りぼん」の追撃を振り切った。しかし、来月も読者は待っている。負けるななかよし、頑張れ編集王！

唐：空き地に行く途中のコンビニで、雑誌買って…。

岡：それでサッと撮って、編集してその日の夕方には酒飲みながら見れる。

唐：うん。そういう方がみんなで笑って見るのに丁度良い。変に自主制作の大作を見せられると困っちゃうから。これぐらいの力の抜き方が社会人にはあらまほしきものです。

岡：あらまほしきもの（笑）。

眠：いい趣味ですよね。大人のオタクというのはかくあるべきですよ（笑）。

アクメくん

AMIGOS ARCHIVES 18

唐：（1）～（4）中野貴雄さんという超オタクなAV監督の作品です。この人も初期の頃は普通のアダルトビデオを作っていたんだけど、だんだん「特撮モノのパロディ」とか本来の趣味の方に走っちゃった。それもちゃんとAVの予算の中でやってるから偉い。この人のブルーバック合成っていうのはスゴいよ。そこら辺にある青いカーテンをパッとかけて、その前でざっと流

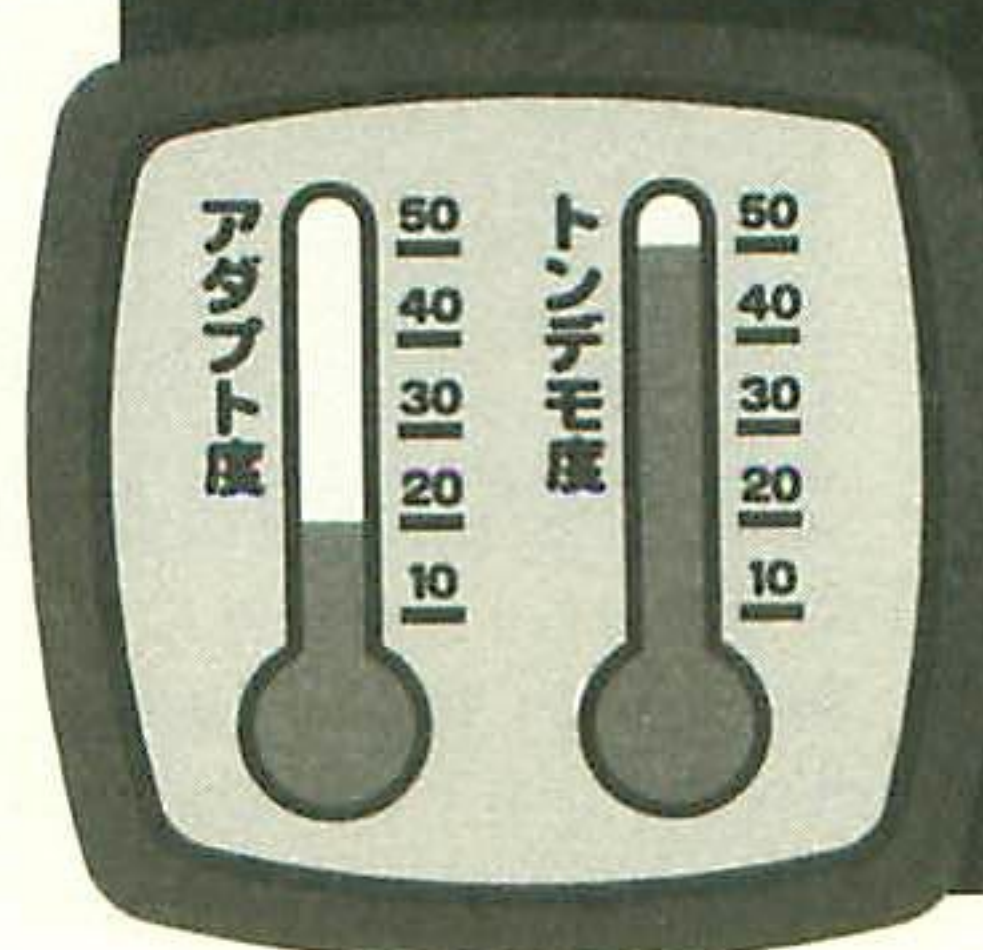
トンデモ度 50 40 30 20 10

アダプト度 50 40 30 20 10

1

2

3

4

し撮りして、それをバックの映像にハメ込んでる。二、三万円の予算で合成やっちゃうんだから（笑）。
眠：それは、技術がスゴいんじゃなくて、思い切りがイイんですね（笑）。
唐：そういう手法で「海底轟姦」とか、「うらつき童子」とか、変なAVばっかり作ってる。その次の「あかすり湯助」ってのは、珍しく大和武士主演のマトモなビデオドラマ、と思ったら、ラストでいきなりサソリロボットなんてもんが登場するの。それも「ZOID」をそのまま使ったミニチュアでさ（笑）。
岡：期待を裏切らなかったワケですね。
唐：そうそう、最後にやっぱりやってくれた。しかもエンディング曲は「仮面の忍者赤影」の主題歌のパロディでね（笑）。
眠：さて、この「アクメくん」は18歳未満の良い子の皆さんも観る事ができます。今、安売りビデオ店で五百円くらいで売ってますから（笑）。
（注：一般向けとアダルトバージョンの二種類あり）
これは昔、東映が作った実写版の「悪魔くん」のパロディなんですよね。このオープニングなんか嬉しくなっちゃう。
唐：音楽からカット割りまで全部ソックリなんですよ。
眠：「監督・水子たたる」なんて変名まで使ってますもんね。
岡：みみず合唱団が「みみず合唱団」になってるし、朝日ソノラマは…。
唐：「朝日ソノマラ」（笑）。
岡：クダラないなぁ（笑）。
眠：(5)(6)延々とそういうベタなネタが続きます。まず、妖怪ガンマーのもじりで「妖怪ミャン

7

8

9

マー」。そしてこれが、ファウスト博士の弟で「セカンド」博士。

唐：ファーストの次だからセカンド。わかりやすい（笑）。

眠：（7）〜（9）「魔法陣」じゃなくて「魔法瓶」が開いて、中から悪魔インフェルノが出てくる。

唐：元は「悪魔メフィスト」。

眠：この悪魔を「ソロモンの笛」ならぬ、「フェロモンの笛」の音色で操るワケです。

唐：そのネーミングは上手い。あと、この監督がどこまで凝り性かというと、話の半ばでいきなり、監督の水子たたるを囲んでの百物語大会というのがはじまるんだけど、ここで水木しげるとクリソツのメイクをしている。しかも、よく見ると、ちゃんと右腕がない（笑）。いや、ここまでやれば立派です。

アクメくん

岡：(10)～(15)後はもう何のパロディだかわかんないや。この「古代ギリシャの妖怪・ヒゴモッコス」とか。
唐：その辺はもう、ただ出てくるだけのキャラだし。多分、中野監督が昔、趣味で作ってた怪物のお面とか、そういうのをそのまま流用してるんですよ。
岡：「なまはめ」ってのは「なまはげ」のシャレなんだろうな。
唐：この「ミャンマー」やってる女優も、「インフェルノ」役の辻斬かりんも、中野貴雄作品の常連のB級AV女優さん。中野作品って、AVなのに特撮とかパロディに金をかけすぎるから、ギャラのいい女優さんを使えない。しかも本番手当て出せないから、実演も一切なし。健全なAV（笑）。
岡：主演男優は漫画家の加藤礼次郎先

10
古代ギリシャの妖怪
ヒゴモッコス

11
ニッポンの妖怪
なまはめ

12
東南アジアの妖怪
ミャンマー

13
バビロニアの妖怪
ママレモン

14
メソポタミヤの妖怪
ホッタラカス

15
エジプトの妖怪
アブハチトラズ

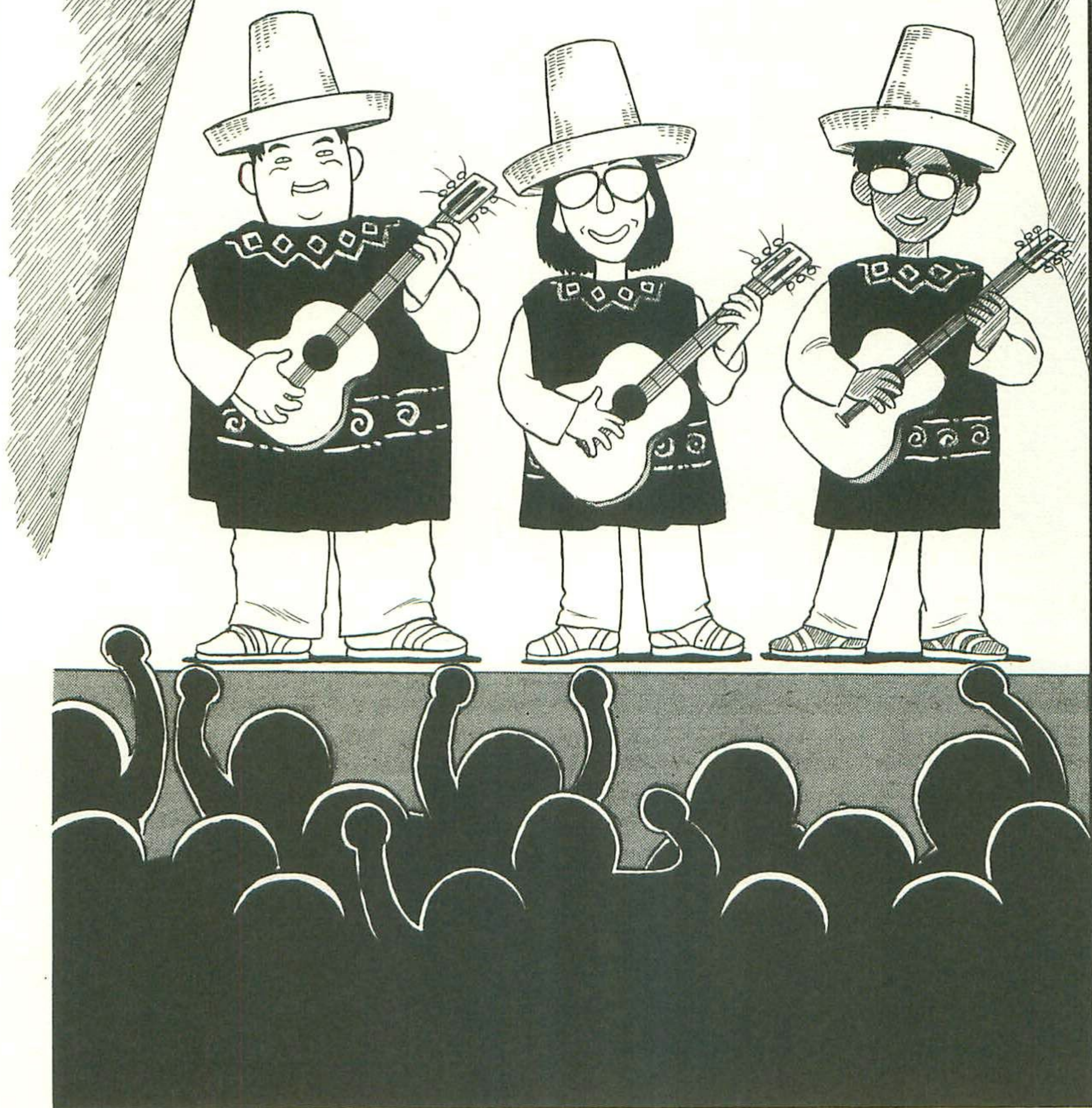
生だし（笑）。
唐：加藤礼次郎、これに出た時、確か五日以上拘束されて、貰ったギャラが一万円（笑）。
岡：それじゃ高校生のバイト代だよ（笑）。
眠：しかし加藤先生、ハマリ役ですよねコレ。
岡：日本で一番半ズボン姿の似合う漫画家と言われてますから（笑）。

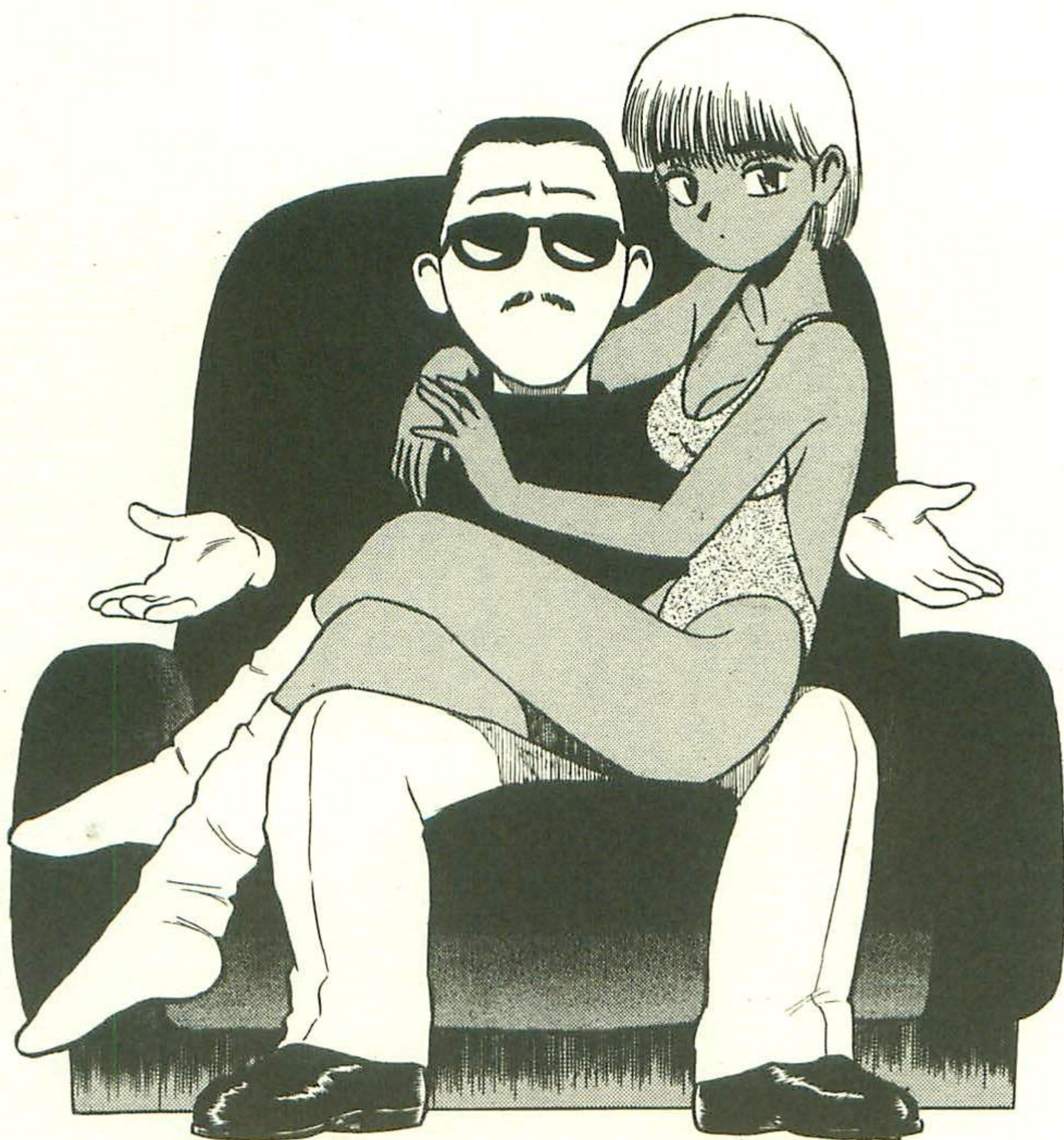
眠：⑯〜⑲クライマックスの戦闘シーン。女同士が組んずほぐれつするシーン。中野監督はコレが「女闘美（めとみ）」シーン。どの作品にも必ずキャットファイトが入ってるんですよね。あ、なんか写真で見ると淫靡な感じですが、実際の画面ではそれ程Hじゃありません。そういう趣味の無い人にとっては。
唐：中野貴雄はとにかく、闘うおねーちゃんが好きなんですよ。で、それが高じて以前「女闘美」の実演ライブをやったとき、客がたったの四人だった。しかも、そのうちの一人がいしかわじゅんだった（笑）。その敵討ちか、彼、いま「女相撲」をフランスに持っていって、「これぞ日本の伝統」とか勘違いされて、ものすごい評判。
岡：「珍しい蛮族の風習」扱いなワケですね（笑）。
唐：この間、フランスの映画雑誌をパラパラと見ていたら、真ん中にドーンと中野貴雄の特集ページがあって仰天した（笑）。フランスで今一番有名な日本の監督なんじゃないですかね。
岡：大島渚より有名（笑）。
唐：…で、「女相撲とはスポーツと

アクメくん

言うより、日本の伝統的な神事なのである」とか吹いててね。こいつ、ますます日本への誤解を増長させてる（笑）。

眠：ところで、中野監督は次に何撮るんですか？
唐：「河童の3P」（笑）。
眠：本当にファンの期待を裏切らない人だなぁ。
唐：でも、なかなか撮らせてくれる会社がなくって、アルバイトでうちの女房が監督したエヴァのパロディホモ映画に主演したり、セーラー服もの撮ったりして、制作費稼いでるみたいですよ。このオタアミ本の読者で、是非見たいという人がいたら、カンパしてあげて欲しいな。

OTAKU AMIGOS 想像図
(マジ)

“アミーゴズ”ってきいたらそらテッキリこーいったもンだと思いますがな。

世の中何が起るやわからしまへんな。

伊藤伸平プロフィール
1960年6月17日生まれ。大野幹代と同じ日だ。永井美奈子と一日違いだっけな。そりゃ、トシは違うよ。少年キャプテンて雑誌にマンガ描いてたけど、廃刊になっちゃってな。「ハイパードール」ってマンガなんだけど、どちらか続き描かせてくれたら、ええ仕事しまっせ。いやマジマジ。

ホンジュラスでアニメ制作

AMIGOS ARCHIVES 19

眠：岡田さんはホンジュラスの政府から、「アニメ作らないか?」って誘われた事があるそうですね。

岡：あれはねぇ、87年に、アメリカのSF大会に行った時に、夜、パーティーの会場で、ちょっとメキシカンっぽい人に呼び止められて、「アナタ、ガイナックスの岡田サンですか?」って聞くから、「はいはい」って言ったら、別室のスゴいスイートルームに呼ばれてね。その人、ホンジュラスから来た大使館員だったんだけど、「我が国へ来てアニメ作る気ありませんか?」と聞かれたワケです。それで「一人だけ呼ばれても作れません。アニメーションは共同作業だから、スタッフと一緒でないと」と答えたんですよ。そしたら、「もちろん、岡田さんのスタッフ全員ホンジュラスに来ていただいて構いません」と。なんでも、ホンジュラスの大統領の三男が、すごいアニメファンだったらしいんですよ。「トップをねらえ!」とかも大好きなんだそうで。だから「ぜひ我が国でアニメを作って下さい」「一切の制限はありません」「予算もたくさんあります」って。その上「住むところもこちらで用意します」「プールもつけます」「召使いもつきます」、話がどんどん大きくなるなぁと思ってたら、「それで、岡田さんの邸宅の回りには電流の通った柵を作ります」「マシンガンを持った衛兵も六人つけます」。やだよ、そんなのー（笑）。

眠：そのくらいの護衛が必要なお国柄なワケですね。

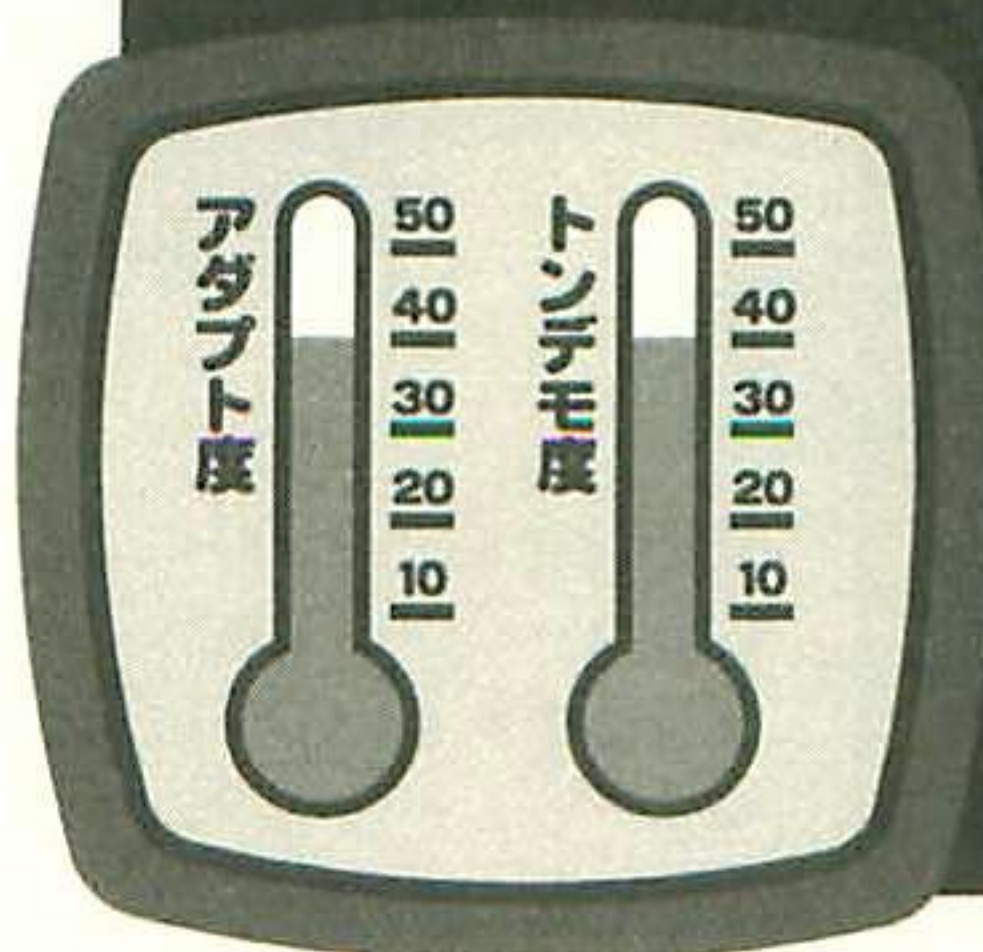
岡：そうそう、あと「アニメファンとかの活動はあるんですか?」って聞いたら、「我が国では、集会の自由はありません」って。三人以上集まっちゃダメなんだって（笑）。

唐：三人以上集まると革命が起きちゃうんだな。

岡：で、心配になって「おまえのところの政府は安定してるのか?」って聞いたら、「大丈夫、CIAから金が出てる」って（笑）。そんな事バラしちゃダメだろ、オレにー（笑）。

眠：この話、本当に載せていいものやら（笑）。

トンデモ度
50 40 30 20 10

アダプト度
50 40 30 20 10

岡：「護衛が六人」って話が出るまでは、結構その気になってたんですけどねぇ。だって世界のどこで作ろうが、環境はそんなに変わらないわけじゃない？　練馬の中村橋のアニメスタジオで作ろうと、ホンジュラスで作ろうと。スタッフ全員五十人とか百人とか連れていってもいいって言うから、行ってみようかなぁと思ったんですよ。スタジオも作ってくれるって言ってたんだもん。あと、放送局は一つしかないから、全国民が観ますって（笑）。国民はみんな酒場へいってテレビ見る。

唐：家にテレビは無いのかー（笑）？

岡：そのテレビ局の代表がその三男なんですよ。あの大使館員の話は結構マジだったからねぇ。いろんなところに同時にアプローチしてたらしい。

唐：でも、実際にホンジュラスでアニメ作るとなったら、セルから何から、アニメ関連の物を全部他の国から輸入しなくちゃならないでしょう？

岡：いや、セルは重化学工業プラント作ってくれれば（笑）。

眠：そっから始めるんですか？

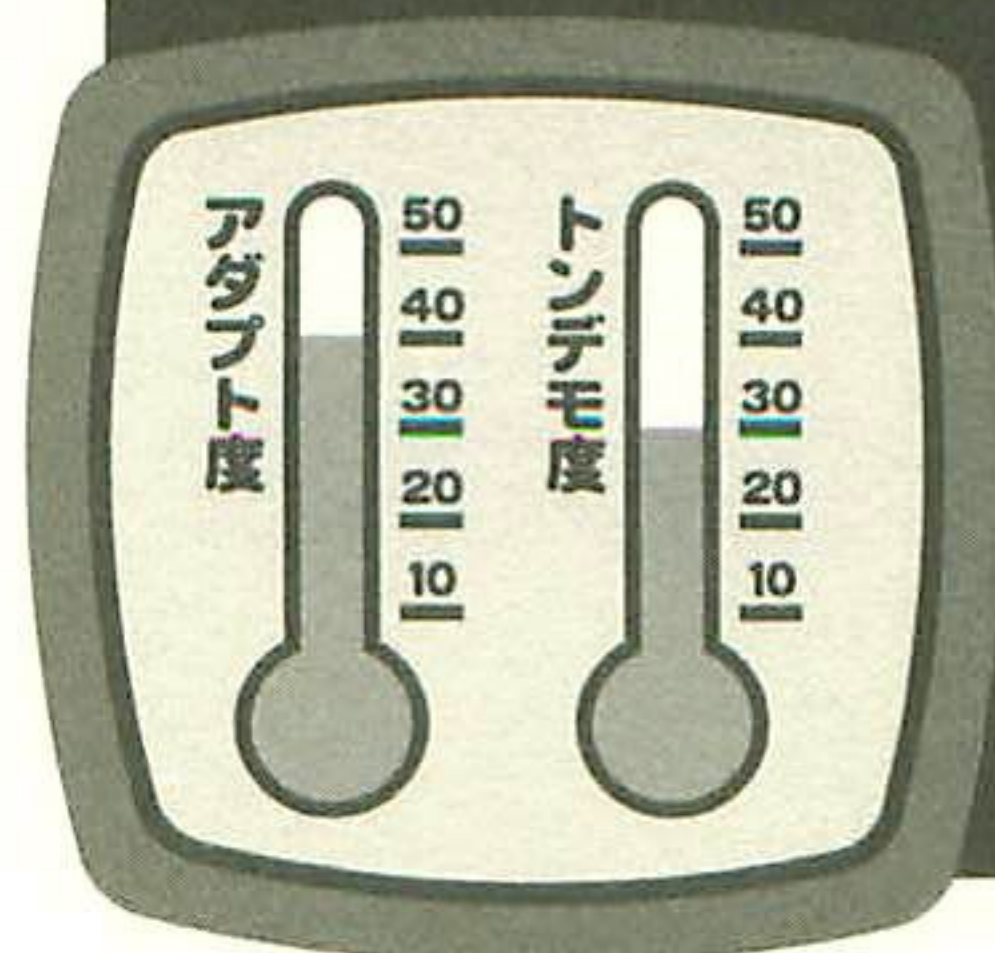
岡：プラントから作ってくれたほうが、いい品質のセルが…。例えば、アニメのセル用のカラーなんてね、BLの5番とかYLの8番とかって言って、「この黄色はこの色」って決まってるハズなんですけど、あれってフィックスされてないんですよ。二、三年ごとに絵の具屋さんが適当に、この色無くなったからまた作らなきゃって事になって、前の色を見ながら思い出して作るんですよ。だから、微妙に色合いが違う。五年経ったらアニメの色なんて全部変わっちゃう。…て事は、よその国に行っても、カラーチャート見ながらセルに乗るペイントかなんか作れば一緒なんですよ。そういう意味では、社会主義体制の国の方が、人海戦術で色塗ってくれるからアニメ作り易いですね。ただ、ホンジュラスは社会主義国家じゃないですけど。なにしろ、共産主義に対する防波堤でしたから。幸せはアニメと麻薬から。メンタルドラッグとフィジカルドラッグ（笑）。

キューバ
ホンジュラス
グアテマラ
エルサルバドル
ニカラグア
コスタリカ

AMIGOS ARCHIVES 20

セーラームーンと漫画家成金話

トンデモ度
アダプト度

唐：「セーラームーン」の武内直子センセイは石マニアだから、最初の敵方キャラのネーミングは全部鉱物の名前からとってるんですよね。
眠：そうそう。ネフライト、ゾイサイト、ジェダイト、それにクンツァイト。
岡：よくすらすら言えるなぁ（笑）。オレ、第二シリーズの「セーラームーンR」からしか観てないから、その辺知らないや。
唐：これはウチのアシスタントの伊藤君っていう、石マニアの奴から聞いた話。そういう「鉱物マニア」が集まる「ミネラルフェア」ってイベントがあるんだけど、そこでは毎年、武内センセイがまるで女王様みたいに、20人ぐらいのアシスタントをお取り巻きにしてぞろぞろ連れてやってくる。そこでもうガンガン高い石を買っていって…。
眠：「セーラームーン」は漫画の単行本だけじゃなくて、関連商品の売上も女児玩具としては記録的だったから、原作者には莫大な版権収入が入ってるもんなぁ。うらやましい。
唐：でも、ちゃんとマニアックにいい物を選んでいったって。モノを見る目は確かにあるらしいんだよね。
眠：あと、ミネラルフェアでは、さっきのゾイサイトとか、セーラームーンの敵キャラの名前に使われた石が、急に人気が出て品薄になったそうですね。
唐：そうそう、値段もいきなりハネ上がっちゃって。でもなんでこんなに売れるのか、「石」業界の人達には理由がわからなくて（笑）。
眠：あれ、本来はどの位の値打ちの石なんですか？　ジェダイトとかネフライトとかって。
唐：一応宝石の中には入るんだけど、地味な石らしいですよ。色も赤黒かったりとか。
岡：宝石みたいな形してるんですか？
唐：いや、結晶っていうか原石のまま売ってますね。それ以前に「セーラームーン」って、掲載誌は女の子向けの「なかよし」でしょ。アレも男のセーラームーンファンが買い始めたもんだから、突然部数が伸びちゃって、もちろんそういう連中ってアンケートとか出さないし、編集部ではなんで売れてるのか最初はわからなかったらしい。ま

して石なんか地味に売ってる人達には、最もその辺の事情が理解できなかったみたい。本当に「セーラームーン」が「強いな」と感じたのは、送り手側の「仕掛け」で売れたんじゃないってところだね。そういう、ファン達が下から押し上げた人気だから、あれだけ長続きしたんでしょうね。後期、仕掛けを送り手がはじめたとたん、人気が急降下していった。ファンは正直ですよ。

眠：あと、「セーラームーン」に出てくる「火川神社」のお守りを本当に作った人がいるそうですよ。それも本物の神主さんが、同好の士の為だけにほんの少しだけ。

岡：神社の「お守り」とかを作っている専門の業者ってのがあって、そこに本当に発注して作ったらしいですよ。一度、見せてもらった事あるけど、さすがに見事な出来でしたよ。

眠：「火川神社」自体、麻布十番にモデルとなった神社があるそうですけど、そこも急に「変な参拝客」が増えたとか（笑）。

唐：アレは志水一夫、おっと、恋野武人（こいのたきしーど）さんが（笑）「セーラームーンの秘密」（データハウス刊）という本に書いちゃったからですよ。罪つくりな（笑）。あと、マドンナ社から「セーラー服下半身解剖」ってポルノ小説が出てるんだけど、これが「セーラームーン」の露骨なパロディ。「宇佐美月子」とか、友達の「火埜麗子」とかいう、どこかで聞いたような名前のキャラクターが、タキシードに仮面付けた兄ちゃんにヤられちゃう話です（笑）。

眠：アダルトビデオで、「汁娘戦士シールームーン」というのもありますね。

岡：あれ、撮影の日がちょうど主人公の女の子の誕生日なんだけど、いきなりバースディケーキの上にウンコしちゃうっていう、すさまじい内容（笑）。

唐：スカトロ物の逸品。意外と人気あるんですよ。

眠：安売りビデオ店でも、アレだけなかなか値段が下がらない。

唐：7巻まで続いてますからね。大ヒット作ですよ。本当にいろんなメディアに浸透してますよね、「セーラームーン」って。で、武内センセの成金話に戻りますけど、ある時、お母様と一緒にデパートへ買い物に行ったんだって。で、鉱物マニアだからやっぱり宝石コーナーに行くワケですね。その時たまたま、どこだかで発見された珍しい宝石っていうのが置いてあって、その値段を見た武内センセ、「あらお母様、この私にも買えない物がありましたわ」って言ったとか。この話はアシスタントから聞いたんだけど、ああ、俺も一度でいいからそういうセリフを吐いてみたい、と思った（笑）。

岡：武内センセが驚くような高い宝石って、どんなサイズなんですか？

唐：サイズもあるけど、やっぱり「傷が無い」とか「名人のやったカッティングである」とか「前の所有者が有名人だった」「どこそこの王宮にあった」とか、そういう由来で値打ちが決まりますね。

岡：しかし漫画家は一発当てると大富豪になれるからイイですよね。以前、

吉祥寺の南口の方で水島新司が家を新築してたんですけど、これがまたデカい家でね。で、まだコンクリートの基礎しか打ってない頃に、工事の人に「コレが水島新司の家。構わないから入って」って言われたもんで、これ幸いとばかりに見学してきた。「ここがデッサンルームだ」って言われたのが、八角形の大きな部屋で、回りが全部鏡張りなんです。そうか、ここで太った奴にバット構えさせて、ドカベンのデッサン取るのか（笑）。

唐：ガマの油みてえな部屋だな（笑）。

岡：それで、なんか見てるだけじゃ悔しいなあと思って、すでに出来上がってたトイレでウンコして帰ってきたんですけどね（笑）。

唐：「ファイヤー」の水野英子の邸宅ってのもスゴいんだよ。西洋風の豪邸なんだけど、デザインがラブホテル。一日に二組くらいは「ご休憩はいくらですか」って聞いてくる奴がいるんだ（笑）。その後、お城みたいな家を建てる漫画家はさすがにいなくなったんだけど、この間、某漫画家に聞いた話だと、喜国雅彦の家の応接間には、虎の皮の敷物が敷いてあるらしい（笑）。映画セットだね、まるで。

眠：喜国雅彦って、そんなに儲けてるんですか？

唐：一応、単行本が売れたから、節税の意味もあってローンで家を建てたらしい。

岡：家のローンって、25年間位、同じ額の収入があるっていう前提で組むワケでしょ。ギャグマンガ家には無茶ですよ。

唐：まぁ、その時は売っ払えばいいから。とにかく、下積みが長い漫画家ほど、金を儲けるとそれを誇示したくて仕方がない。だから、来客用の部屋には、海ガメの置物とか、虎のハクセイとか、山ほど置く。でも、仕事場はグチャグチャ（笑）。この辺がイイ。あと、「サーキットの狼」の池沢さとしの家も豪邸だって聞くね。

岡：一階が全部コンクリート敷きの駐車場になってて、二階が家なんです。だから、よくファミレスと間違えて、一般の車が入ってきちゃう（笑）。もちろん、一階には趣味で集めたスーパーカーばかり置いてあるワケです。

唐：池沢さとしって「サーキットの狼」以降、「週刊プレイボーイ」くらいでしか連載してないですよね。それなのに何であんなに車が買える金があるのかって疑問に思ったんだけど、こないだいしかわじゅんに聞いたら、原稿料が一ページ六万円なんだって。一週24ページとして一四〇万、一月で五六〇万、年間通すと…、そりゃあ買えるよなスーパーカー。

岡：でね、プレイボーイで人気が二位に落ちた事が無かったんです。ああいうマンガってプレイボーイの読者にはアピールするもの。「俺は二位になったら辞める」って豪語してましたから。今、連載してないのは多分アンケートの順位が下がっちゃったんでしょうね。

唐：今のプレイボーイ、段々ナンパ路線の方に変わっちゃったから。昔はとにかくマッチョ、車、それからオシャ

セーラームーンと漫画家成金話

レという雑誌だったけど、今はインターネットの話とか始まっちゃっているから、苦しいだろうなぁ。

岡：オレが「ビートショット」のアニメ化の話で池沢邸に行った頃には、もうあんまりスーパーカーは無かったんです。…で、「車のコレクションはどうなったんですか?」って聞いたら、よく見ると壁にゴルフ会員券とかいっぱい貼ってあるんですよ。「会員券ですか?」「うん。でも半分紙屑」（笑）。

唐：豪快だよなぁ（笑）。集英社って、第一次黄金時代の本宮ひろしとか池沢さとしとかの頃の漫画家は男らしかったね。マッチョだった。

岡：でね、ガイナックスで「ビートショット」をビデオアニメ化するって言ったら、すごく池沢先生喜んでくれて。「いやぁ『サーキットの狼』の頃にもアニメ化の話があったんだけど、『まだ早い、まだ早い』って言っている内にブーム終わっちゃってねぇ」、正直なんだなぁ（笑）。で、オレがなぜ「ビートショット」をビデオアニメ化しようと思ったかっていうと、ビデオレンタル屋のバイトの兄ちゃん達が雑誌突っ込んでる棚を見たら、たいてい「プレイボーイ」が置いてある。その時「これはイケるな」と思ったんですよ。もうレンタル屋の兄ちゃんが新作カタログ見た瞬間に、速攻で注文入れてくれるに決まってる。「ああ、これでトップの赤字、回収できるな」ってそればっかり考えてた。

眠：池沢先生、出来上がったアニメ見て怒らなかったんですか?

岡：いや、激怒しちゃってね。「キャラの顔が違う!」って言って、オレと発売元のバンダイのプロデューサーの鵜之沢君が池沢邸に呼び出し食らってね。鵜之沢君はもう「どうしよう、どうしよう」って青くなってたんですけど、オレはそこで「いやぁ、先生の絵は上手すぎて、とてもアニメーターには真似できなかったんですよ」って必死でイイワケして（笑）。そしたら池沢先生、ニコニコ顔になって、「まぁ飲めよ」って（笑）。

眠：ホント悪人だなぁ、このオヤジは。

岡：で、オレは「あ、僕は酒飲めないですから、鵜之沢さんがお相手します」って言って、そのまま帰ってきちゃった（笑）。

唐：ヒドすぎる。

岡：おかげで「ビートショット」のパート2と、「モデナの剣」も無事アニメ化できた。能篠純一先生の「哭きの竜」をアニメ化する時にも似たような事やってましたね。「先生の絵をアニメで動かすには、まず似たような体形の役者を揃えて、いったん全カット実写で撮らなくては。それをロトスコーピング（実写フィルムを一コマづつトレースする手法）して、迫力を出します!」とか懸命に説いたら、能篠先生も「それはいい!」って賛成してくれて。もちろんそんな手間のかかる事できなかったけど。当時、漫画家とかアニメーターをノセる事にかけては世界一のプロデューサーでしたね（笑）。

開田裕治
オタクアミーゴスと私

　オタクアミーゴスの三氏とは、トリオを結成される以前から、それぞれ面識がありました。
　眠田直氏とはイベントなどでお顔をお見かけした時にご挨拶する程度でしたが、マンガは愛読させてもらってました。「MINDY ZONE」などは何度も読み返して笑い転げてましたね。おそらくいずれかのSF大会あたりでお見かけしたのが最初の出会いだったのではないでしょうか。
　岡田斗司夫氏とも、たぶんSF大会で知り合ったのだと思いますが、知り合って間もなく氏が開店されたゼネプロに伺い、近くの喫茶店で色々マニアなお話にふけった時の印象が強烈でした。東京に出て来られてからは、アニメは作る本は出す東大の講師にはなるアイドルの飲みかけたジュースは横取りすると八面六臂の御活躍で、すっかりビッグになられましたが、あの時の印象が凄かったのでそれぐらいはやって当然の人だろうと思ってます。もし将来岡田氏が政界に進出して国会議員になったとしてもあまり驚かないでしょう。でも首相にまでなったら真剣に国外脱出を考えます。
　唐澤俊一氏とはつい四、五年前に知り合ったようにも思うのですが、ふと気付いたら知り合いだったという印象ですね。あんな強烈なキャラなのに初対面の記憶が残って無いなんておかしいんですが。知り合ってからは、地方コンであるとかミネラルフェアであるとか落語会であるとかお花見であるとか、到る所でお会いするようになり、もっぱら不謹慎な話や馬鹿話に興じてます。あげくにはお宅にまで何度かお邪魔してますが、なにしろ博覧強記が帽子被って歩いてるような人ですから、お話の面白い事面白い事。無尽蔵の「語り」のパワーに何時も圧倒されています。
　オタクアミーゴスの公演は、それはもう行ける限り見させてもらってます。ニフティの会議室もはしょったり

開田裕治プロフィール
昭和28年生まれ。小学校３年の時に観た『モスラ』で人生を踏み外す。京都芸大を卒業後上京。プラモデルやＬＤジャケット、雑誌などで怪獣やロボットなどのキャラクターイラストを数多く手掛ける。現在作品がリトグラフとなって発売中。問合わせ先03-5350-4450。

せずに読んでます。で、最近つくづく思うのです。私は「オタク」なのではなく「オタクウォッチャー」なのではないかと。

眠田氏のようにあらゆるクズアニメを見倒してその中から傑作を探し出す根性など私の中にはかけらも無いし、岡田氏の著作を読んでもオタクの道は厳しそう。三つの眼なんか持ち合わせてないぞ。

ましてや唐澤氏の如き超人的な知識欲など、望んでも手に入るものではないし、世に流布するあらゆるオタクの定義に私は当てはまらない。（身体的特長に関するもの以外ね。）

物欲の希薄な私は人に誇れる秩序だったコレクションというものを持ってないし、怪獣映画が好きでも、ゴジラやガメラなどの個々の怪獣キャラクターにはほとんど思い入れを持って無い。知識に関してもどんどん消えて行くばかり。怪獣オタクとしての私の最盛期は20年前でしたね。

第一、私のスキルはイラストなんですが、どなたも「君もオタクならば、熱い想いをイラストにぶつけてみないか！」とは言わないですよね。

私は自身がオタクとなってアニメや特撮物を楽しむより、優秀なオタク達の産み出す「芸」を観賞する方が楽しいんです。（とすると私が『ガメラ』が好きなのも、このパターンなのか？）

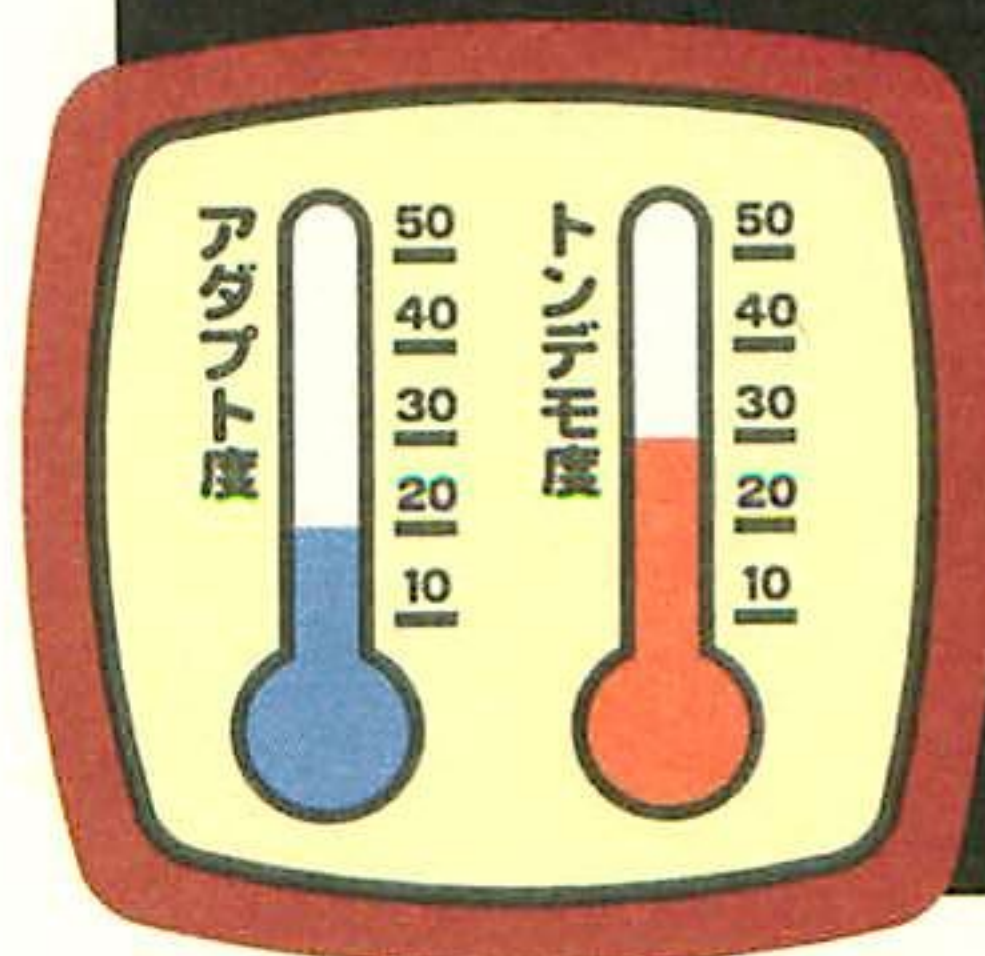
オタクの芸を理解するための最低限の知識と、業界で20年間生き永らえて来たコネクションを駆使して上質のオタク芸を残さず観賞する。こんな楽しい事はありませんよ。

オタクアミーゴスが、自らのパフォーマンスを「芸」と位置付けておられるのは、さすがと言う他ありません。どうか末永く活動を続けて下さい。

そして最前線の生活に疲れ果てた暁には「オタクウォッチャーアミーゴス」となって、後輩達の芸を鑑賞しましょう。その時、鑑賞に値するオタク達がいればの話しですが。

海外オタク事情

AMIGOS ARCHIVES 21

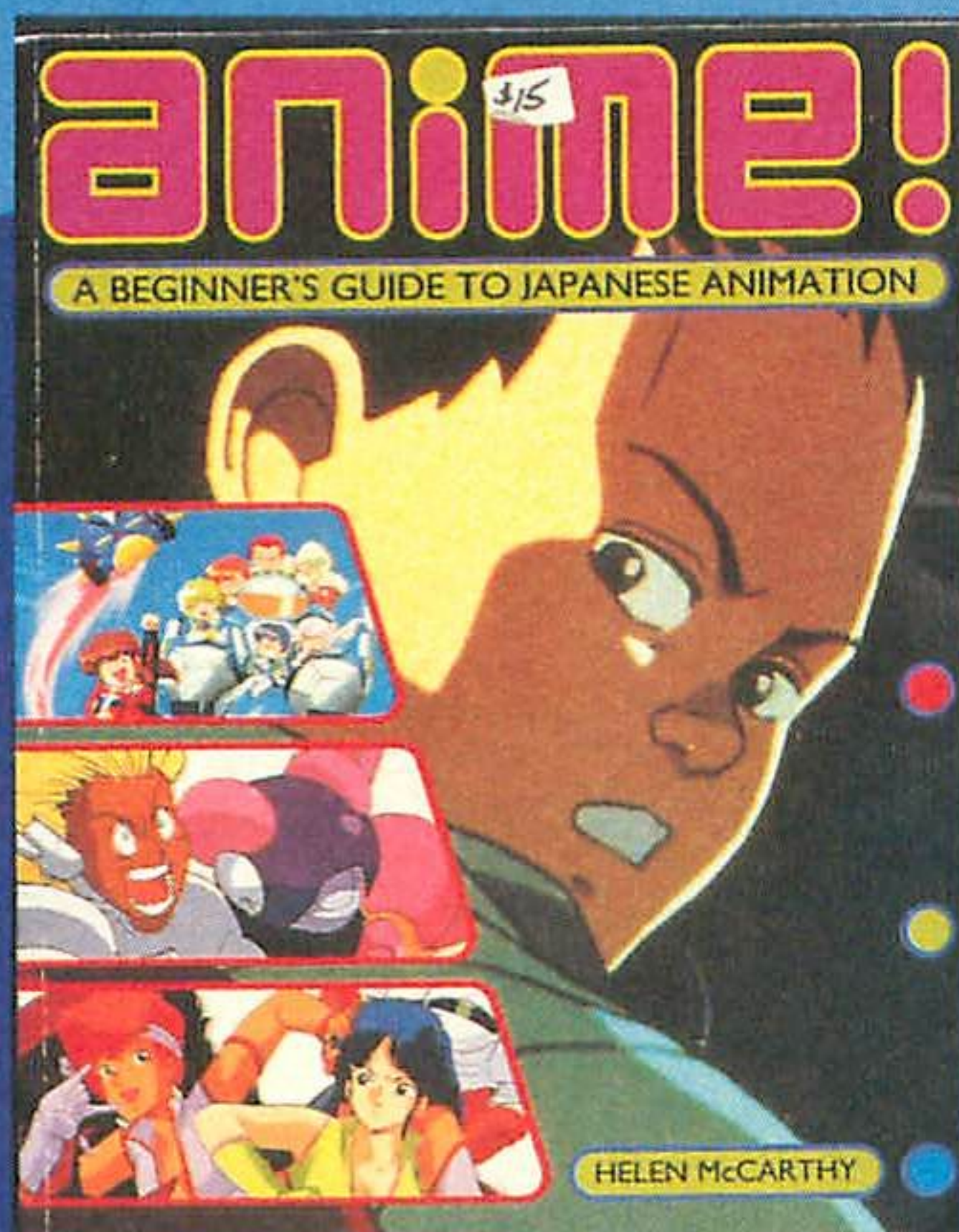
トンデモ度
アダプト度

1●

岡：英語版の「攻殻機動隊」ですね。これは今までで一番描き文字の直しが大変だったそうです。日本の漫画を英訳する時は、洋書とは開き方が逆だから、まず画稿を左右反転して、それから「ドカーン！」とかの描き文字を直す作業がいるワケです。

唐：どういう風にして直してるの、それ？

岡：描き文字の部分に上から紙をあてて、まるまる描き直しているんですよ。

唐：なるほど、よく見ると紙を繋げた跡があるな。

岡：ああと、アメコミの世界じゃ基本的に擬音っていうのは、作者ごとのオリジナルなんです。マーベルなんかはまだ

「SPAAAN!」とか「BACOON!」で済むんですけど、アーティスト系やマニアックな作家っていうのは、全部新しい擬音を使ってるんです。だから日本の「ちゅどーん!」とかを、どう翻訳するかも考えなきゃいけない。

唐：確かに、本当に聞いた事も無いような擬音ばっかりだね。

眠：この「FDD!」なんて擬音、どう読むんだ? 「フロッピーディスクドラーーイブ!」じゃないだろうしなあ(笑)。

2●

岡：これはうたたねひろゆき先生のH漫画の英訳版ですね。向こうのはもう○○○に×××が入っていくところまでバッチシ描いてある。

唐：日本だとトーンやベタで修正される所がそのまんま。

岡：そうなんですよ。これは日本の英訳版をたくさん作ってるスタジオプロテウスから出てるんですけど、この手の物がいい収入源になってるんです。

眠：これはアメリカ向けに描き下ろし

たんですか？

岡：いや、そうじゃなくて最初からこの状態で絵は描いてあるんです。日本で出版される時は編集者が上から紙を貼ったりして修正しちゃうけど。

眠：なるほど「日本のＨ漫画はアメリカで買え！」というワケですね。

3●

岡：今ね、海外ではこういう本が一番必要とされてるんですよ。初心者向けの日本アニメのガイドブック。古書店価格で15ドルくらいします。元々もっと安かったんですけど。ただ単にタイトルと内容が書いてあるっていうだけの本ですが、そういった基礎資料が意外と無いんですよ。

眠：日本でもこないだ別冊宝島やアスキーが出すまで、そういうガイドブック的な本って無かったですしね。

4●

岡：これは向こうの人が作った同人誌。これを見るとアマチュアの絵のレベルというのがどれくらいなのかよくわかる。表紙はまだ上手いんですけど、

海外オタク事情

6●

中を見ると…。

眠：あぁ、ホントに素人レベル。しかも「忍たま乱太郎」の模写だぁ。

岡：キャラのセレクトは渋いんですけどね（笑）。

5●

岡：これは「ツナミ」っていうファンジン。でもマガジンスタンドで売ってるアニメ雑誌よりレベル高い。

眠：ん？　でも、なんだか表紙の色合いが変ですね。カラーコピーみたい。

岡：そうそう。マーカーで描いてもらった原画を、カラーコピーしてるんですよ。

6●

岡：講談社が「コミックモーニング」のスペイン語版を出そうとして作った本です。向こうでは「アキラ」が人気あったから、一応表紙も「アキラ」調の絵にしてる。で、中身なんですが、描き文字の修正とかがあんまり上手くないんですよ。でも日本の出版社はあまりその辺気にしてない。

唐：講談社が海外に進出したのは、要

するに漫画部の人間が余っちゃってしょうがないから、ちょっと外国にも売ってみるか、っていう程度の考えでしかないから。

岡：そうなんですか。

唐：当然です。邪推ですけど（笑）。

7●

岡：「東京バビロン」の英訳版。コレはさすがに、まったく売れなかったらしいですね。こういう、少女漫画的な作品っていうのはまだ受け入れられないみたい。

唐：そうですね。SFとかいう、共通項がないと、やはりキツいな。特殊すぎて。

岡：少女漫画はコマ運びとか独特で、慣れてないと読むのが難しいし。

8・9●

岡：これは日本の同人誌をそのまま英訳した物ですね。

唐：「DOJINSHI」って書いてあるぞ（笑）。

眠：もう外人にも通じるからなぁ。「ドージンシ」とか「コミケ」って言葉。

海外オタク事情

10●

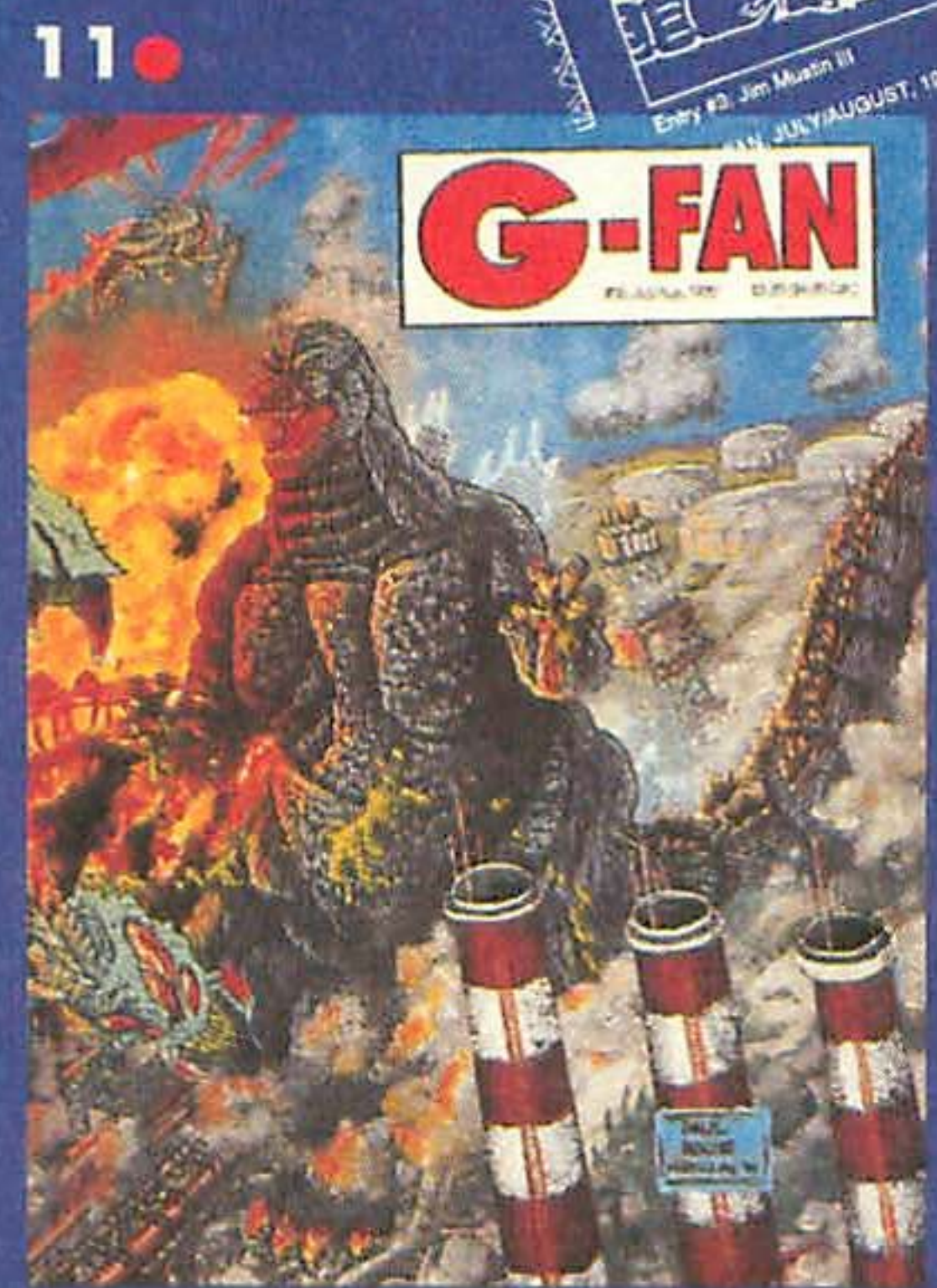
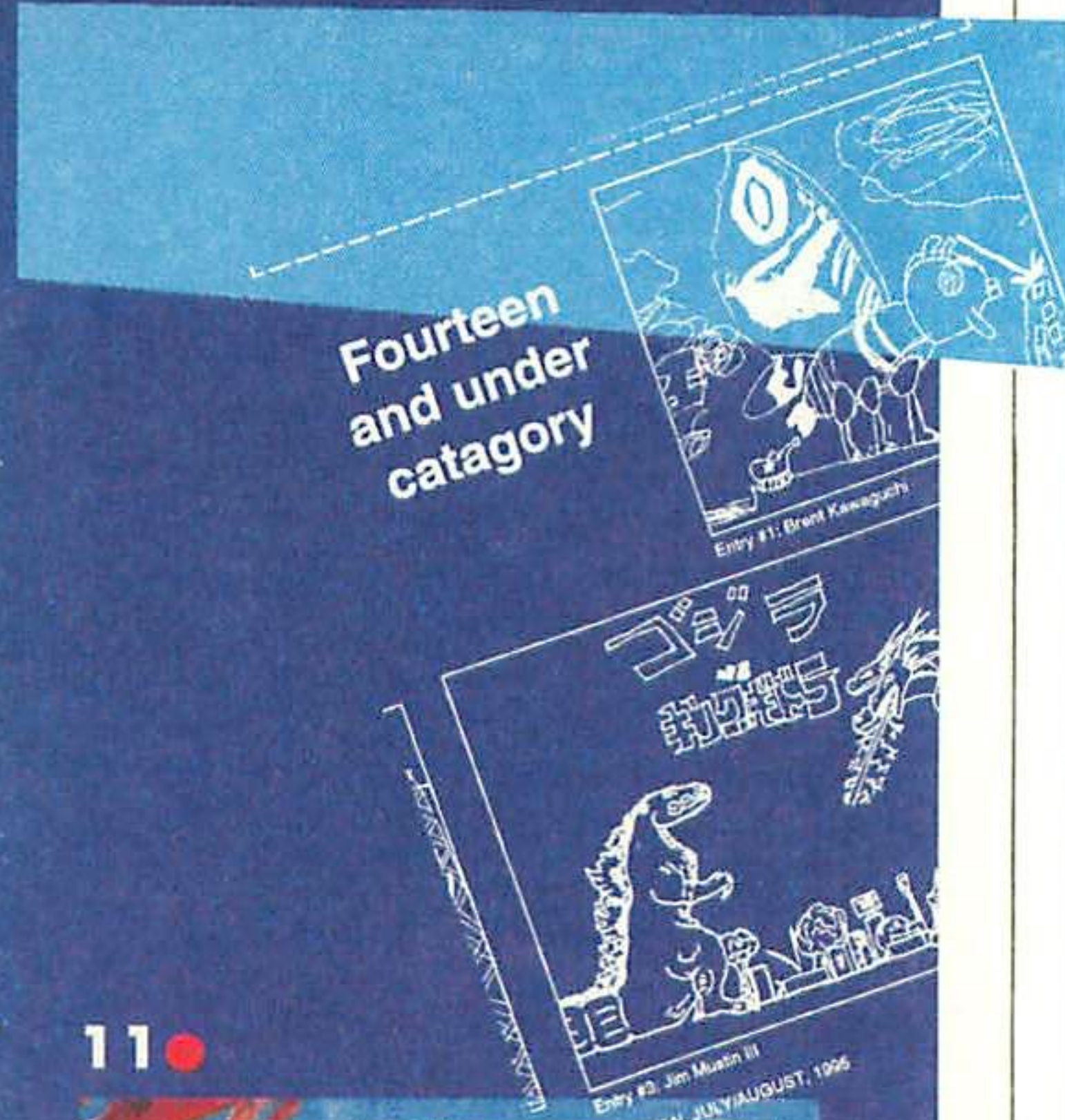
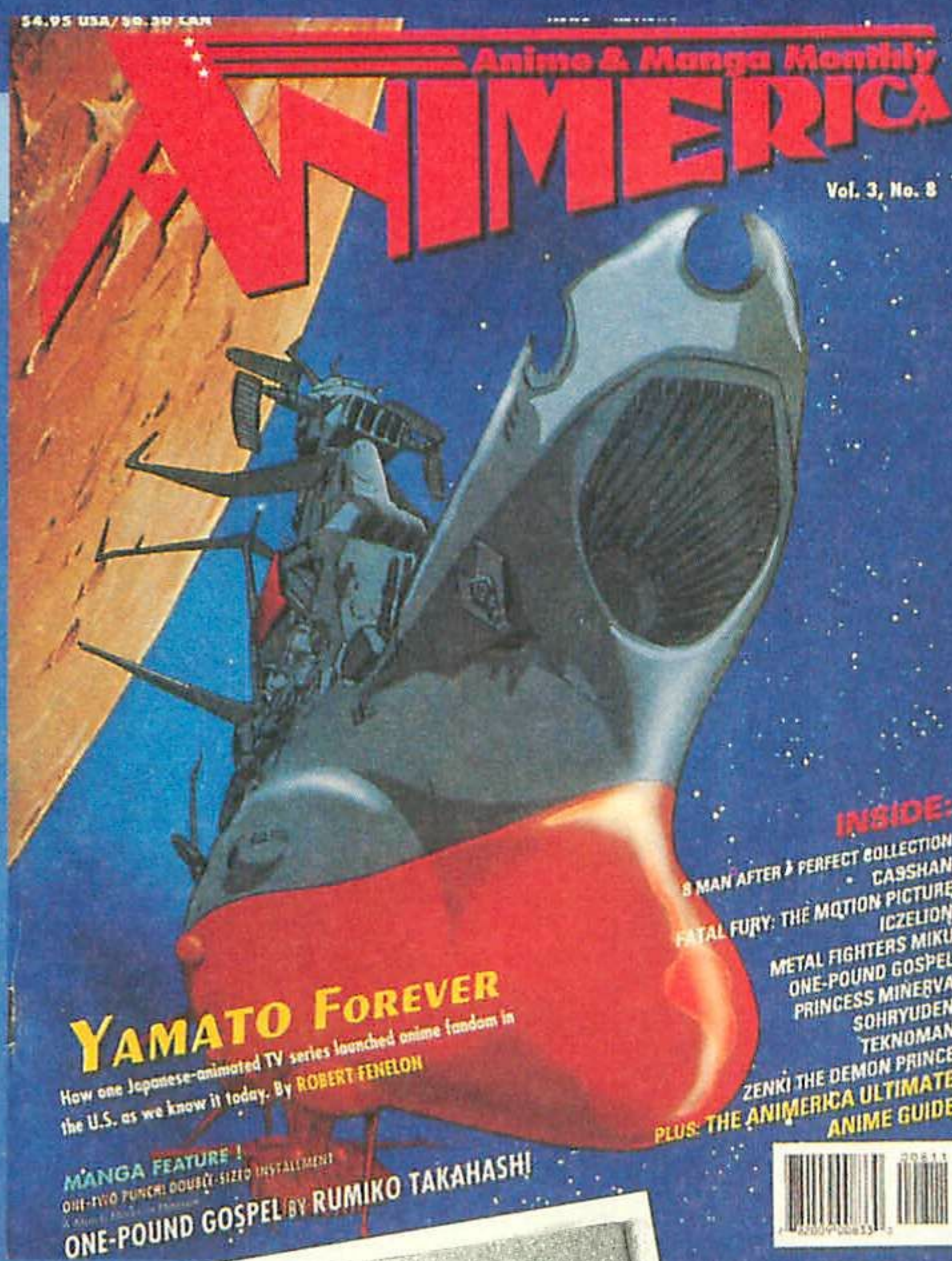
岡：発行元はテキサスのアンターティックプレスっていう、発行部数一、二万部の本ばっかしたくさん出してるんで有名なトコ。

眠：しかもコレ、トランスフォーマーの同人誌じゃないですか（笑）！　だいたいトランスフォーマーって、もともとタカラが作ってた変形ロボのオモチャを、アメリカで売る際にマーベルが作ったアニメ。それが日本に逆輸入されてファンがついて同人誌を作り、今、またこうして英語版が出てる。なんか、太平洋をはさんでグルグル巡る因果応報って感じですね。

唐：オタクの輪が閉じてる（笑）。

10●

岡：これは割と有名な、アメリカ版の「ダーティペア」のコミック。あっちじゃ今、なにかにつけ漢字を使うのが流行っているから、コマの中にやたら漢字が描かれてる。俺の名前もあるんだ。何の脈略も無く「岡田斗司！」って…。

唐：「岡田斗司！」に「麻原」！（笑）

眠：よっ、麻原彰晃と並んだ男！（笑）

11● 岡：カナダで出てるゴジラのファンジン。アメリカ人のゴジラファンが描いた怪獣の絵とかがいっぱい載ってる。みんなカタカナの文字を一生懸命書いてるの。「ガイガン」とか（笑）。「フォーティーンアンダーカテゴリー」なんてコーナーまである。つまり14歳以下のファンが描いたゴジラね。絵は稚拙なんだけど、やっぱりちゃんとカタカナ書いてる（笑）。

12● 岡：これは「アニメリカ」という、アメリカのアニメ雑誌の去年の号なんですけど、「あなたの知らない宇宙戦艦ヤマト」という濃い特集をやってますね。「宇宙戦艦ヤマト」って海外版の「スターブレイザー」になった時に、かなり改変されちゃったんですよ。で、「オリジナルはこうだった」というのがたっぷり載ってます。もちろん戦艦大和のエピソードは全部カットされてるし、このガミラス兵士をぶん殴るシ

海外オタク事情

13●

ーンとかもないし、森雪のヌードも全部カット。あとビーメラ星の話とかもまるまる切られてますが、まぁさすがにコレはいらないかな（笑）

唐：日本人だって知らないよ、もう。

13●

岡：これもアニメリカ。なんと表紙に「火垂るの墓」を使ってる！　コレをアメリカで売るっていう事は、なかなか冒険ですよね。

唐：日本で南京大虐殺のアニメを売るみたいなもんだな。

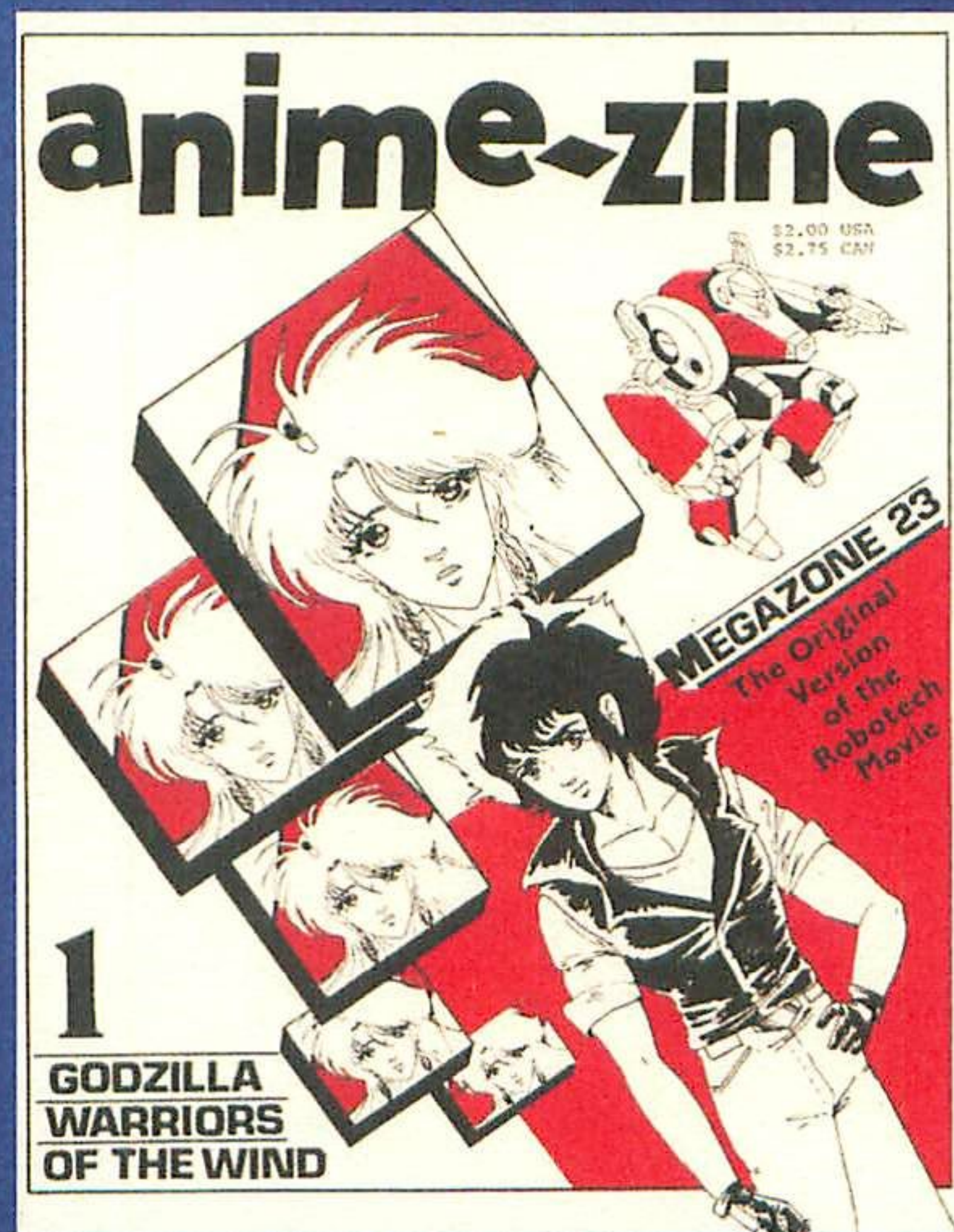
岡：B29の空襲で焼け出された少年少女の絵を…。

唐：もう、日本のアニメだったら何でもいいんだなぁ。

岡：でも、結構真面目に扱ってますね。

眠：まぁ、いずれ中国とか韓国のアニメ業界が成熟した折には「戦争中、日本がどんなヒドい事をしたか」っていう作品が作られて、我々もこのような思いをする事になるんでしょうね。

14～16●

岡：これはもう潰れちゃった「アニメ

ジン」というアニメ雑誌ですね。
眠：何かこう、表紙からしてあかぬけない感じ。
岡：結局、アニメリカに負けちゃったんです。まぁ表紙見たら勝負明らかでしょ。
唐：オレはこっちの方が好きだなぁ。ファン活動ってのはこの程度でいいんだよ。
岡：アメリカのアニメファンも、もう少し「アニメジン」応援してやれよ。頑張ってやっと表紙がカラーになったんだから（笑）。

17●
岡：これはタイ版の少年ジャンプで、95年の8月に創刊されたんですけどね、その時の記者会見にタイの通産大臣が出てきて「これから我が国は、漫画文化への貢献に勤しみます。どうぞよろしく」と挨拶したんです。どういう事かと言うと、タイとか東南アジアの諸国っていうのは、著作権無視の国であるというイメージが強くて、海外の投資家から危険だと思われている。

海外オタク事情

17

そこで「大丈夫です。これからは著作権を守ります」という宣言をしたワケですね。これが創刊される以前は、タイって日本での発売の三日前に、少年ジャンプ最新号の海賊版が店頭に並んでたんですよ。どうしてそんな事が可能だったかと言うと、印刷所の制作進行にちゃんとスパイがいましてですね、版下段階の物を一週間前にタイに送っていた（笑）。

唐：そういう生き馬の目を抜くようなバイタリティ、いい悪いは別にして、割と好きな話なんですよ。オレはタイのちゃんとした書店じゃなくて、露店で売っているような漫画を集めてるんだけど、それがまた、日本の漫画には無い、ヤミクモなデタラメさに溢れていてすごく好きなんですよ。でも日本の漫画が正規輸入されるようになると、そういう味も消えてタイの漫画も堕落しちゃうんだろうな。

眠：…堕落、ですか？（笑）

ファイティングマン

AMIGOS ARCHIVES 22

●ここは悪の組織のアジト。三流ギャング風の悪者たちが「ファイティングマン」の秘密を狙って行動を開始したぞ。

●秘密研究所。博士は人間の力をパワーアップする「ファイティングマン」スーツの研究をしているのだ。

●後ろでボーッとしているウスラバカが本編の主人公。博士の息子だ。博士は、ついに完成した「変身アイテム」を息子に渡す。

アダプト度
トンデモ度
50 40 30 20 10

唐：韓国製のヒーロー物です。何も前置きはしません。とにかくこの「全編に溢れる安っぽさ」を楽しんでいただきたい。

眠：(2)この博士の研究所、どう見てもただのビデオ編集スタジオですよね。

岡：でもこれ、デジタルエフェクターはあるし、オフライン編集としても結構いいビデオスタジオだよ。一時間一万七千円は取られるね（笑）。

眠：だけど冷房入ってないですよ。後に扇風機置いてあるもの。

唐：そこが韓国らしいところだな。

岡：(4)(5)やっぱり信じられんのは、仮にもヒーロー物だっていうのにコイツが主人公だという事だよな。

唐：向こうではかなり有名なコメディアンらしいんですけどね。とにかく徹底してバカ演技してます。

岡：真面目な顔が想像つかないもんね。演技じゃなくてホンモノなんじゃないかって思うくらい。

眠：「韓国のジミー大西」みたいな人

●「某アメリカ映画で見たようなロボット」を連れ、研究所を襲う悪者一味。
「その変身アイテムを渡してもらおうか！」

●博士とウスラバカは悪者たちの隙をつき、必死で地下駐車場まで逃げるが、悪者たちの銃撃にあう。「おとーーさん」と泣き叫ぶ主人公（ウスラバカ）は、すんでの所で駆けつけた、博士の友人の富豪に助けられ、車で逃走する。

●「ここまで来れば大丈夫だろう」と、山の中で車を止め、休憩する富豪とウスラバカ。のんきに休んでいたら、追ってきた「悪者カー」に追いつかれてしまう。戦闘員に襲われ、逃げるウスラバカ。

7 8 9 10 11 12

ファイティングマン

なんでしょう。
唐：(6)(7)このロボット、おそらく本物の「ロボコップ」の宣伝イベントの為に作られた着ぐるみを、そのまま流用したんでしょうね。
岡：日本にも宣伝用の着ぐるみ来てましたけど、ああいうのは肩の窪みとか、メカっぽいそういうディテールを普通省略しちゃうんですよ。でもコレはちゃんと付いてますからね。膝裏や股あたりの黒い部分も、安っぽいニセモノだとただのジャージなんだけど、これは全部軟質ゴム製で、割といい出来の着ぐるみ使ってます。
眠：でもまさかアメリカで「ロボコップ」作ったスタッフも、海の向こうでこんな事になっていようとは、夢にも思わないでしょうね（笑）。
岡：(9)この泣き叫んでるシーンの表情も、なんとも言えん味があるなぁ（笑）。
唐：(11)この赤と青のスプレーペンキが素晴らしいですね。これで街の真ん中を走るシーンもあるんだよ（笑）。

13

14

15

●ウスラバカ大ピンチ！　しかしすんでのところで、偶然出会ったテコンドー姉弟に助けられる。

16

17

18

●ソウルに出てきたウスラバカ。「うわーー、さすが都会だ。すごいなぁ」とか感心してボーーッとしていたので、飲んでいたメッコールを二人組の不良に引っかけてしまう。怒った不良たちは、ウスラバカに因縁をつけ、主人公の大切なお金をカツアゲする。
（日本円で170円くらいの金額）

岡：一応、オープンカーなんだけど、屋根の開き方がどう見てもデコボコしてる。スタッフが電動ノコかなんかで適当に屋根を切りとったんだろうなぁ。
唐：元の車は何なんだろう？
眠：何でもいいと思いますけど（笑）
岡：きっと「現代（ヒュンダイ）」かどこかの車だろうけど。うーーん、わからん。
眠：(13)～(15)この主人公を助けるカンフー少年と少女ですけど、やたら強いんですよね、この子。
唐：そう、この子の方がファイティングマンよりずっと強い。でも後でロボコップにやられて、殺されちゃうんだよね。
眠：ヒドい話ですよね。あんなウスラバカを助けたばっかりに（笑）。
唐：(19)～(24)親父が殺された時には変身しなかったクセに、百七十円盗られたら、いきなり怒りに駆られて変身しちゃう。なんて奴だ（笑）。
眠：この変身シーンはスゴいですよね。
唐：うん。もう、この変身シーンは特撮史上に残るよ。

●170円を盗られたウスラバカは、怒りのパワーが上昇し、ついにファイティングマンに変身するのだった！

ファイティングマン

岡：しかも長いんですよね。延々三分くらいかかって変身する。

眠：一応見せ場なんでしょう、きっと。

唐：もう「変身ダンス」って呼んでるけどね（笑）。変身の間中ずっと変なポーズとって叫んでるの。

岡：(25)この変身後のコスチューム、まったくコンセプトのわからないデザインだよなぁ。

眠：そう、胸に「A」って書いてあるんですよね。なんでファイティングマンなのに「F」じゃなくて「A」なんだろう。もしかすると、コレも他の作品の着ぐるみを流用しているのかもしれない。

岡：このカラーリングって、あらかじめデザインされてたんじゃなくって、着ぐるみに後から色を塗ってる感じでしょ？ 最初は青で塗っていって、そうだ赤の部分も入れよう、黄色も入れようって…。そしたらこんな配色になっちゃったっていう（笑）、典型的な「子供が初めて絵の具を使った時」の塗り方ですよ。

25 26 27 28 29 30

●「私の名はファイティングマン！ さぁ、その170円を返せ！」。今、ファイティングマンと不良二人組の壮絶な闘いが始まる！

●その闘いを見守る、マスクにコート姿の謎の男、はたしてその正体は!? やったぞ！ 必殺花火キックを使って見事不良を倒したぞ。

眠：(27)〜(30)最初に戦う相手が、ただの不良ってのが情けない。
唐：この不良との戦闘シーンがやたら長いんだ。
岡：しかもこの戦いで必殺技みんな使っちゃうでしょ？　電気ビリビリとか花火キックとか。一般人相手に使ってるんだもん（笑）。

眠：どう見ても正義の味方のする事じゃないですよね。
唐：(29)そして謎の男登場。すでに正体モロバレって感じですが（笑）。
眠：(34)(35)このチンピラ達がサイボーグっていうのは、絶対気がつかないですよね。
唐：あと、爆発用のダミーに、デパートに立ってるようなマネキンをそのまま使ってるし。
眠：(36)この銃、市販のオモチャの流用ですよね。
岡：でも爆発シーンはスゴい！
唐：多分、日本じゃ許可されない位の量の火薬を使ってますね。
岡：(37)普通、爆発シーンを撮る時に、

●再び悪の組織アジト。彼らはまだあきらめたわけではない。今度はさっきの富豪の娘を誘拐し、彼を脅迫しようと企む。それを助けだそうとしたファイティングマン、逆に罠にかかって敵に囲まれてしまう。襲いかかる悪のチンピラ軍団。

●ただのチンピラのようだが、なんと実はサイボーグだったのだ！　これでも一応、ＳＦだぞ！

31 32 33 34 35 36

ファイティングマン

●なんとか敵のチンピラサイボーグ軍団を壊滅させたファイティングマン。悪ボス・コブラはついに最終兵器「すごい銃」で攻撃してくる。「すごい銃」の威力に怖くなり、走って逃げるファイティングマン。それを走って追いかけるコブラ。

空き缶半分位の火薬を作って、その上にガソリンの入ったポリ袋載せて、それを地面に埋めて爆発させるんですよ。でもガソリン使うと、火球の周辺部がもっと黒くなるハズ。だからこんなに真っ赤な爆発って事は、全部火薬！

唐：見ていて、「こりゃ危険！」って感じがするもんね。

岡：安全な爆発の火薬量っていうのが五十グラムくらいなんですよ。でもこれ、二キロくらい使ってるんじゃないかなぁ。二キロって言ったらねぇ、米軍が東京に落とした爆弾とそう変わらないですから（笑）。

眠：とにかく、香港とか韓国の映画は危険おかまいなしですよね。

唐：(39)この戦闘員のお面も、パーティー用の市販のお面だぞ。昔、ビートたけしがよくかぶってたジジイのお面だ。

眠：(42)橋の上の対決シーンっていうのは、日本のヒーロー物でもおなじみの場面なんですけれども、ただちょっと違うのが、なんか吊り橋が低いんで

すよ（笑）。
唐：こんな浅い所に落っこちていくの、逆に怖いよ。
岡：(44)この車の塗り分け、コレ危険ですよ。窓まで塗ってある（笑）。
眠：悪者カー、スピード遅いんですよね。トロトロトロトロ走るから、このシーンも実はあんまり迫力が無い。

唐：だってほら、窓塗っちゃって前が見えないから。もうトロトロ真っ直ぐ走るしかない。
岡：危険だよなぁ。
唐：(46)脈略も無くロボコップと合体しちゃうんですよね。多分、敵を一人づつ倒していくのが面倒になったんだろうけど。

眠：おそらく脚本無しで、現場で適当に考えてカメラ回してるんでしょうね。
岡：(47)ロボコップの胸って、本来二重構造になってて、もう一枚アルミ板が付いてるんですけどね。どうもそれがはずれちゃったらしく、銀テープ貼って、ベンチレーター風に加工してる。
眠：これも現場の知恵ですね。

●吊り橋の上、戦闘員との激しい闘い。「すごい銃」を撃ちまくる悪ボス。自ら川に飛び込み、またまた走って逃げるファイティングマン。

●「悪者カー」に乗ってファイティングマンを執拗に追うコブラ。

●造成地での最後の戦い。なぜか合体して、パワーアップするコブラと某映画そっくりロボ！

唐：(48)～(49)このロボコップの中に入ってる奴、多分さっき出てきたハゲの不良なんじゃないかと推察してるんだけど（笑）、とにかくファイティングマンが殴っても蹴っても微動だにしない。その反動が全部返ってきてる。よっぽど体重差がないと出来ないですよ、コレは。

岡：こいつの強さはよく出てた。

眠：(50)でも結局ビーム一発で倒しちゃって、それなら早く使えよって感じでしたね（笑）。

唐：まぁ、元はあのアホなんだから仕方が無い。

眠：最後の決めポーズは、明らかに日本の宇宙刑事モノのパクリ。

岡：ああ、振り返りざまに敵が爆発するところね。ただ違うのは、またこの爆発がスゴい！　役者を危険にさらすのも厭わないって感じ。

眠：こんなクダラない内容なのに、出演者はみんな身体張ってますね。

岡：(58)謎の男の正体は、やっぱりお父さんでしたね。わかってたけど（笑）。

ファイティングマン

●某映画そっくりロボは強敵だ。ボロボロになりながらも必殺ファイティングビームで逆転勝利するファイティングマン。

眠：コレって、劇場用映画なんですか？

唐：そうじゃなくて、テレビのスペシャル番組。本当は全部で二時間半もあるの。今回紹介したのは、ホンのさわりの部分だけ。他にも、ウスラバカがデブの少年と知り合って友達になったり、ソウルの食堂でアルバイトして、そこのウェイトレスのおねーさんに一目惚れしたり、そういうどうでもいいようなエピソードが延々と続く（笑）。僕はこれ、アジアの特撮もののコレクションをやっている銀行員のK亀さんという人に貰ったんだけど、お返しができないでいるんですよ。僕のコレクションの何あげても、これにはかなわない。

岡：子供向けのヒーロー物だから、おそらく日曜日か祝日に放映したと思うんですよ。で、次の日学校へ行くと、韓国中の子供達がみんな「ファイティングマンごっこ」を…。

眠：してないしてない（笑）。

55 56 57 58 59 60

●ラストシーン。悪の脅威にさらされていた子供たちも、平和になって良かった良かった。おもむろに変身を解いて、元のウスラバカに戻るファイティングマン。富豪と娘の感激の対面シーン。それを見て、「ああ、僕もおとうさんに会いたいなぁ」と涙ぐむウスラバカ。

●そこへ登場するマスクとコートの謎の男。その正体は、死んだとばかり思われていた博士だったのだ。「おとーさーーん！」「息子よ、よくやった！」めでたしめでたし。

唐沢ビデオコレクション

1●女切り裂き狂団
チェーンソークイーン

眠：すごい数ですねぇ。しかもロクでもない映画ばっかし（笑）。うわー、オレ、「アリゲーター」の「1」と「2」をちゃんと両方ビデオソフトで揃えてる人なんて初めて見た！

岡：コレ、定価で買ってるんですか？

唐：まさか。中古ビデオ屋の五百円均一のワゴンセールとかで買ったやつばかりです。こういうサイテー映画のビデオって、オレが買っとかないと、この世から消えて無くなっちゃいそうな気がするし（笑）。

眠：ミミビデオとか大陸書房とか、発売元自体がもう無くなっちゃってるのも多いもんなぁ。

1●チェーンソークイーン

岡：ハリウッドのチェーンソー売春婦!?

眠：コレ、バカ映画の世界では結構有名ですよね。

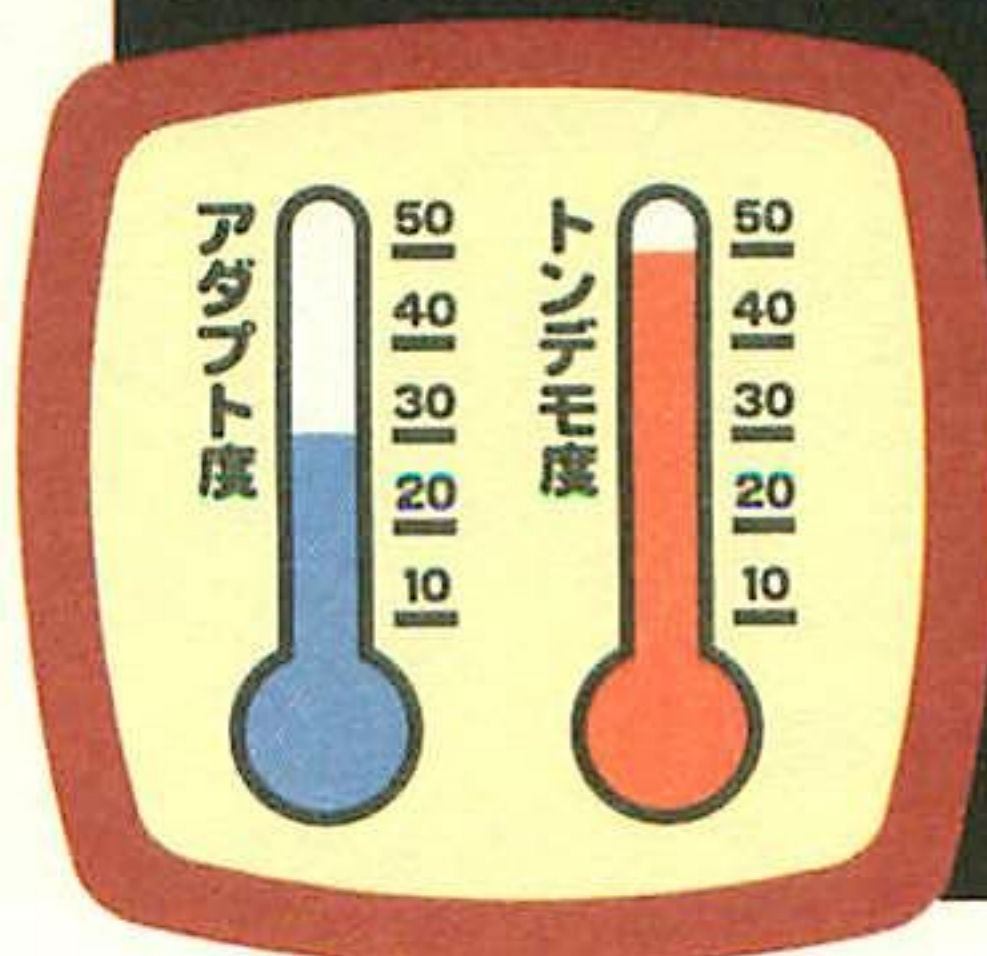
唐：基本ですね。内容は下着のおねえちゃんが巨大なチェーンソー振り回してるだけですけれど。

岡：裏にストーリーが書いてありますね。なになに「私立探偵のジャック・チャンドラーは、行方不明の女・サマンサを見つけだすが、彼女は今やストリッパーで、しかも電動ノコギリを崇拝する異教集団の一員となっていた…」

唐：電動ノコギリを崇拝する異教集団！ よくそんな話を考えつくよな。

2●ボーンヤード

唐：いわゆる「ゾンビもの」の映画なんですけど、「ゾンビ史上最大の巨大ゾンビプードルが、唸る噛みつく喰い

トンデモ度　50 40 30 20 10
アダプト度　50 40 30 20 10

2●ボーンヤード

3●男子禁制・女体秘密倶楽部

4●怪談壁抜け男

ちぎる」って言われてもねぇ（笑）。この可愛いプードルが、凶悪な顔になって襲って来る。しかも、頭にリボンをつけたままで。ゾンビ映画ファンにも、犬好きにも楽しめるというアイデアです（笑）。

岡：「ベンジーの愛」に出演したエル・ネルソンが、ゾンビプードルに襲われるというニクい配慮もなされている…、だってさ。

唐：何が「ニクい配慮」だ！（笑）

3●男子禁制・女性秘密倶楽部

唐：見どころはラス・タンブリンとロン・チャニーJrが共演してる。ただそれだけの映画です。このタイトル聞いただけで、映画の内容で売ろうとしてないな、っていうビデオ屋の意図がわかりますね。

岡：しかし、安っぽいイラストですねぇ。安っぽい役者に安っぽいイラスト。えーと、ストーリーは「アメリカとメキシコの国境近くに、女性だけの秘密倶楽部があった。グレース率いるこの秘密倶楽部には、二つの掟があった。一つはグレースには絶対服従。二つめは男子禁制」。そうか、コレ「女囚リンチもの」ですね。

唐：その手の「リンチもの」の映画は、ウチには十本程あります（笑）。

4●怪談壁抜け男

唐：これは「4Dマン」という、SF映画の中では「古典」の部類に入る作品なんですが、今更「4Dマン」って言っても売れないだろうという事で、ビデオの発売元が、「SFXかホラーかお笑いか、怪談壁抜け男！」という、滅茶苦茶なタイトルをつけて出してしまったんですね。「わースゴシネマシリーズ」というレーベルで。「わースゴ」はもちろん、「ワースト」の駄洒落。とほほほ。

岡：ああ「ダサイナサウルス（最後の海底巨獣）」とかもそうですね。

唐：我々のような古典SFファンにとっては、非常に噴飯モノなんですけれども。

眠：でも、ビデオ化されたのはやっぱり嬉しい。

8●ナチス女収容所 悪魔の生体実験

7●どろどろアンドロイド娘

6●帰ってきたET

5●地獄のニンジャ軍団クノイチ部隊

唐沢ビデオコレクション

唐：そうそう、見られるってだけでもありがたい！（笑）

5●地獄のニンジャ軍団クノイチ部隊

唐：よく見るとパッケージイラストの中に、一人太っちょが混じってますね（笑）。「科学と文明の発達した現代の香港に、今の忍びの精神を守り続けているニつの忍者集団があった」？　ねぇよ、そんなもん！（笑）「スピーディな迫力あるアクション、香港映画特有の荒唐無稽な面白さ」、要するに話はメチャクチャだけど怒るなって事ですね（笑）。

岡：「どこをとってもアメリカン忍者とは一味違うスーパー大作」って言われてもなぁ（笑）。

唐：あー、やっぱ、倉田保昭さん出てる（笑）！

岡：こういう映画には必ず出演してますねぇ。

6●帰ってきたET

眠：コレねぇ、どうしようもないC級ＳＦ映画のクセに「この映画は実際に起こった事件に基づいています」なんてテロップが出るの。

唐：最初にテレビ放映で観て、あまりのつまらなさに仰天してしまい、中古ビデオ屋に出たらぜひ買おうと思ってたんですよ。見つけたときはすごく嬉しかったですね。でも、見返す気にならない（笑）。

眠：ET人気に便乗して、割とどこのレンタルビデオ屋にも置いてありましたね。タイトルに騙されて、借りちゃった人も多いんじゃないかな？

7●どろどろアンドロイド娘

唐：「ナイトメア・ウィークエンド」っていう原題の、どこをどうすれば「どろどろアンドロイド娘」なんてタイトルになるんだ！（笑）

眠：コレはもう邦題つけた人の勝ちですね。

岡：「アンドロイドに改造したら、髪が抜け、顔が溶け、凶悪なアンドロイドになる」？

唐：まぁ、アンドロイドになるための手術に失敗して、顔が溶けていくっていう話なんですが、この安っぽさがも

12●女子大生聖子ちゃん

11●オフィスレディ明菜ちゃん

10●アラブ女収容所悪魔のハーレム

9●シベリア女収容所、悪魔のリンチ集団

う、飾っときたいくらいじゃないですか！

岡：はいはい（笑）。

8●ナチス女収容所・悪魔の生体実験

9●シベリア女収容所・悪魔のリンチ集団

10●アラブ女収容所・悪魔のハーレム

唐：女囚リンチもの三本立てです。

眠：スゴい！　ちゃんとアメリカの敵が歴代で登場してる（笑）。

唐：この中では「悪魔のハーレム」が一番面白かったですね。みんな同じ話ですけど。

眠：でもシリーズ化されたって事は、人気あったんでしょうね。なんせ「女収容所モノ」って、低予算でたくさん見せ場が作れるからなぁ。

唐：とにかく、このテの〝外国人バカにし映画〟作らせたら、アメリカにかなう国はないですね。

眠：しかも「反戦映画」であるという、建て前が言えますからね。一応「反ファシズム」だし。

唐：そうかなぁ？（笑）

岡：「アラビアーの石油成金アキノ殿下のハーレムに、各国の美女たちが送り込まれた。アキノの忠実な親衛隊長・冷酷非情で淫乱なイルザの手により、彼のSEX奴隷となるべく、性技痴技の特訓を受ける。やがてアメリカの情報局員スコットが乗り込み、イルザを誘惑するつもりが、逆に骨抜きにされる」。いやぁ、どうしようコレ（笑）。

眠：このシリーズ、最初が第二次大戦で、最後は現代になるんだけど、同一人物が延々とやってるんですね。

唐：イルザってのはもう、時空を超越したキャラクターですから（笑）。

11●オフィスレディ明菜ちゃん

12●女子大生聖子ちゃん

岡：ああ、これは一時期いろんなレンタルビデオ屋で見かけましたね。

眠：今でも安売りビデオ店で買えますよ。

岡：眠田先生、コレ観た事あるの？

眠：もちろん観てますよ（笑）。これは「くりぃむレモン」が流行した時にドッと出たポルノアニメの中でも、特

13●エッジ・オブ・ヘル／地獄のヘビメタ

14●戦慄２Ａの女

15●ザンゴリラ

にヒドい二本です。
唐：特にヒドい？
眠：もう、作画ボロボロだから。画面消して音だけ聞いてた方がいいですよ（笑）。

13●エッジ・オブ・ヘル／地獄のヘビメタ

唐：これは主演のジョン・ソアというロックスターがですね、露出狂で、しかもホラー映画マニアという事で作られた映画ですね。
岡：なんか、ブリキで作ったようなパンツはいてますねえ。
唐：そりゃヘビメタだから。
岡：ああ、なるほど。
唐：なんせ裸でヘビメタってわからせるには、こういうパンツはくしかないでしょう（笑）。バンドのメンバーはみんな殺されちゃうんですが、リーダーだけは悪魔を助けて生き残るという、ヒドい映画です。海援隊の武田鉄矢みたいな奴だ（笑）。

14●戦慄2Aの女

岡：なんですか、この「2Aの女」って？
唐：これも「女囚モノ」なんですが、単に2Aという独房に入ってる女の話なんです。それだけ。
眠：それだけ（笑）？
岡：その赤覆面みたいな奴はなんなんですか？
唐：こいつが、囚人を一人一人殺していくんですよ。
岡：なんで？
唐：秘密結社の儀式。
岡：とほほほほ。

15●ザンゴリラ

唐：残酷なゴリラだから、「ザンゴリラ」（笑）。でもこれゴリラじゃなくて、ヒヒだぞー！
岡：特殊効果は「ET」のカルロ・ランバルディ。「ザンゴリラ」といい「REX」といい、ロクでもない映画ばっかしやってるな。

16●ストレンジャー・ザン・バンパイア

唐：タイトルだけの価値。「ホラー映画の雰囲気もたっぷりに、おしゃれな

18●コングキングの逆襲

17●セックス発電

16●ストレンジャー・ザン・バンパイア

19●パノラマン

笑いを散りばめた」って、全然散りばめられてない！（笑）

岡：どんな話？　えーと、「眠りから目覚めた美女アンジェリークを、魔界から吸血鬼が襲った。恋の勝利者、吸血鬼は現代の意思か？」だんだんどうでもよくなってきたな。

17●セックス発電

唐：イタリア映画はホントにバカです。

セックスのピストン運動で発電しようという話。「時は近未来、一九八〇年代に地球上すべてのエネルギーを消費しつくした人類に明日はなかった。近代的な機械は放置され、飛行機は滑走路に止まったたま。科学者たちは新たなエネルギーを生むべく、日夜研究に励むのだが、今一つ芳しい結果は期待できない。ここに一人、少し変わった博士がいた。彼のアイデアは、セックスをエネルギーにするというもの。絶頂時の女のエクスタシーが発電力に変わるという珍説を打ち立てた」（笑）。

眠：死ぬほどクダラなそうですね。

唐：死んだ方がいいですね、制作者。

18●コングキングの逆襲

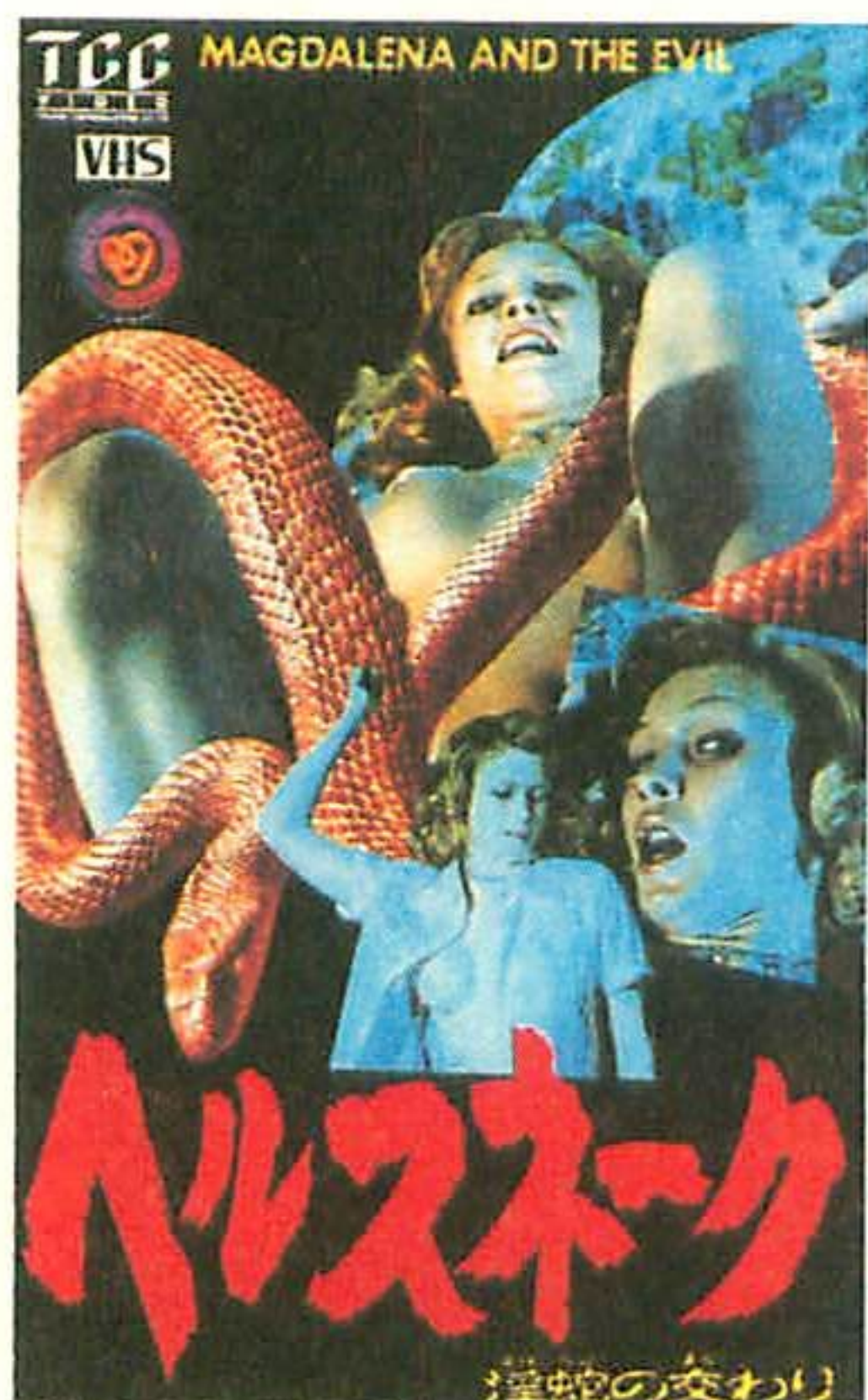
唐：解説するのももはや大儀ですが、「キングコング」にカンフーものをミックスさせたふざけた映画です。

岡：「アメリカはカンサス州、ウィチタで、売れないテレビレポーター、コウは、カンフーを使うゴリラを発見した。そのゴリラこそまぎれもなく、中国から追放されたカンフーの達人なのだ！」、くっ、くだらねー（笑）！

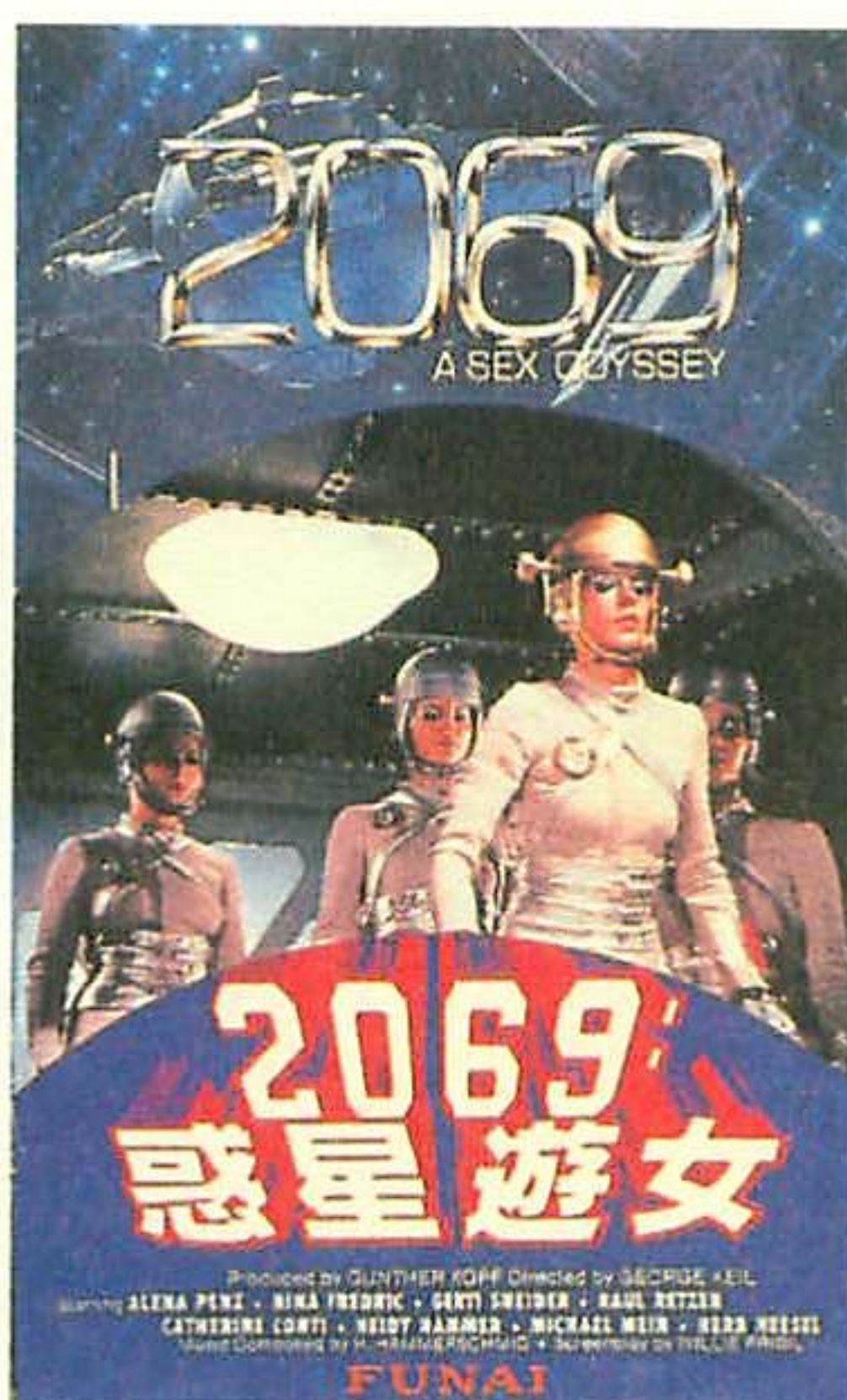
19●パノラマン

唐：パッケージが日本で描いたセル画なもんで、アニメだと思って買ったら、アメリカのHな実写ドラマでした。

岡：いかにも日本のアニメっぽい絵で

唐沢ビデオコレクション

20●スペースプリンセス・銀河ボディコン伝説

21●２０６９惑星遊女

22●ヘルスネーク

すねえ。
唐：プロデューサーはかのロジャー・コーマン。
岡：あの人はなんでもするなぁ。しかしこのパッケージはスゴいですね。
眠：なんか、自主制作の映画みたい。

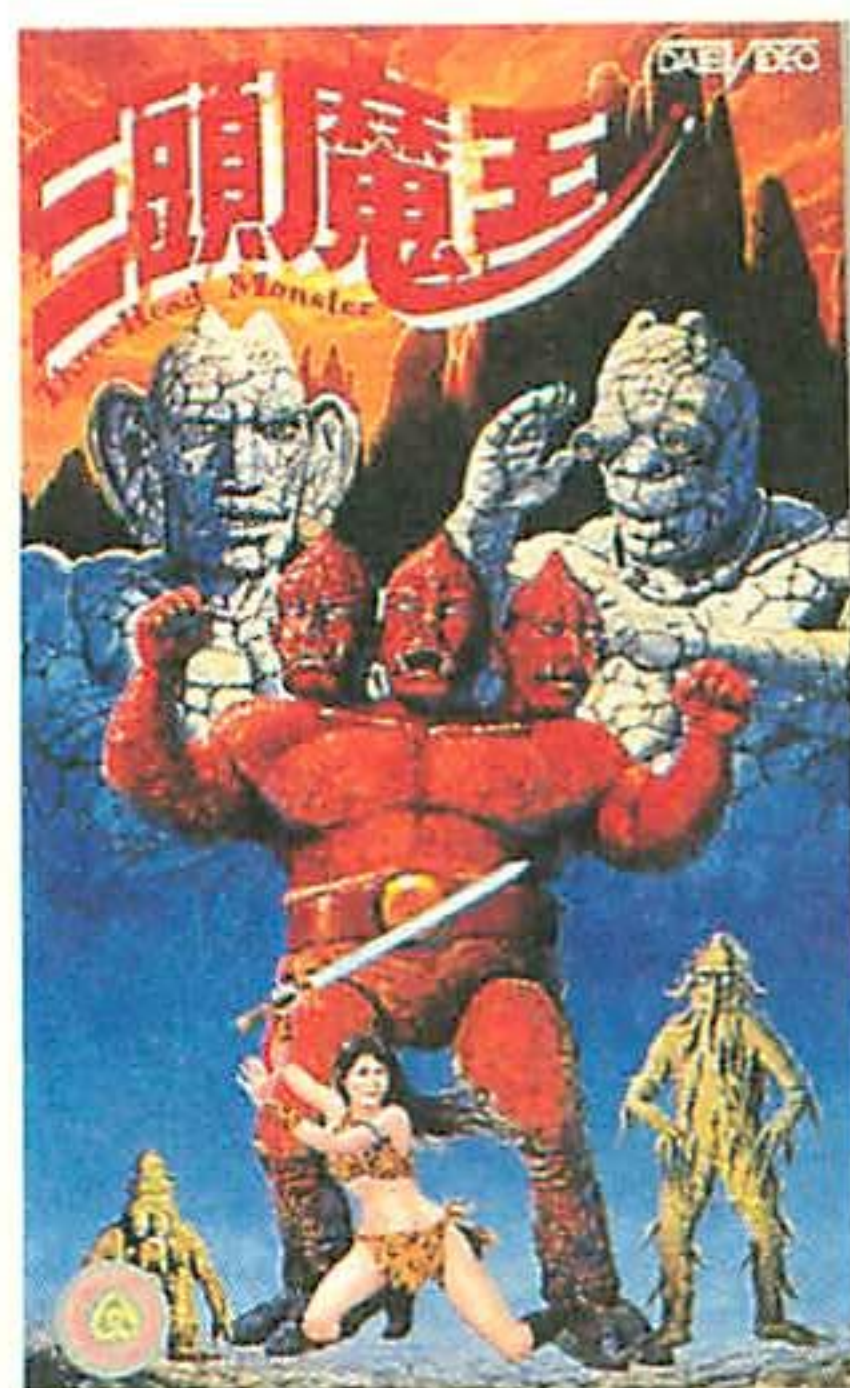
20●スペースプリンセス・銀河ボディコン伝説

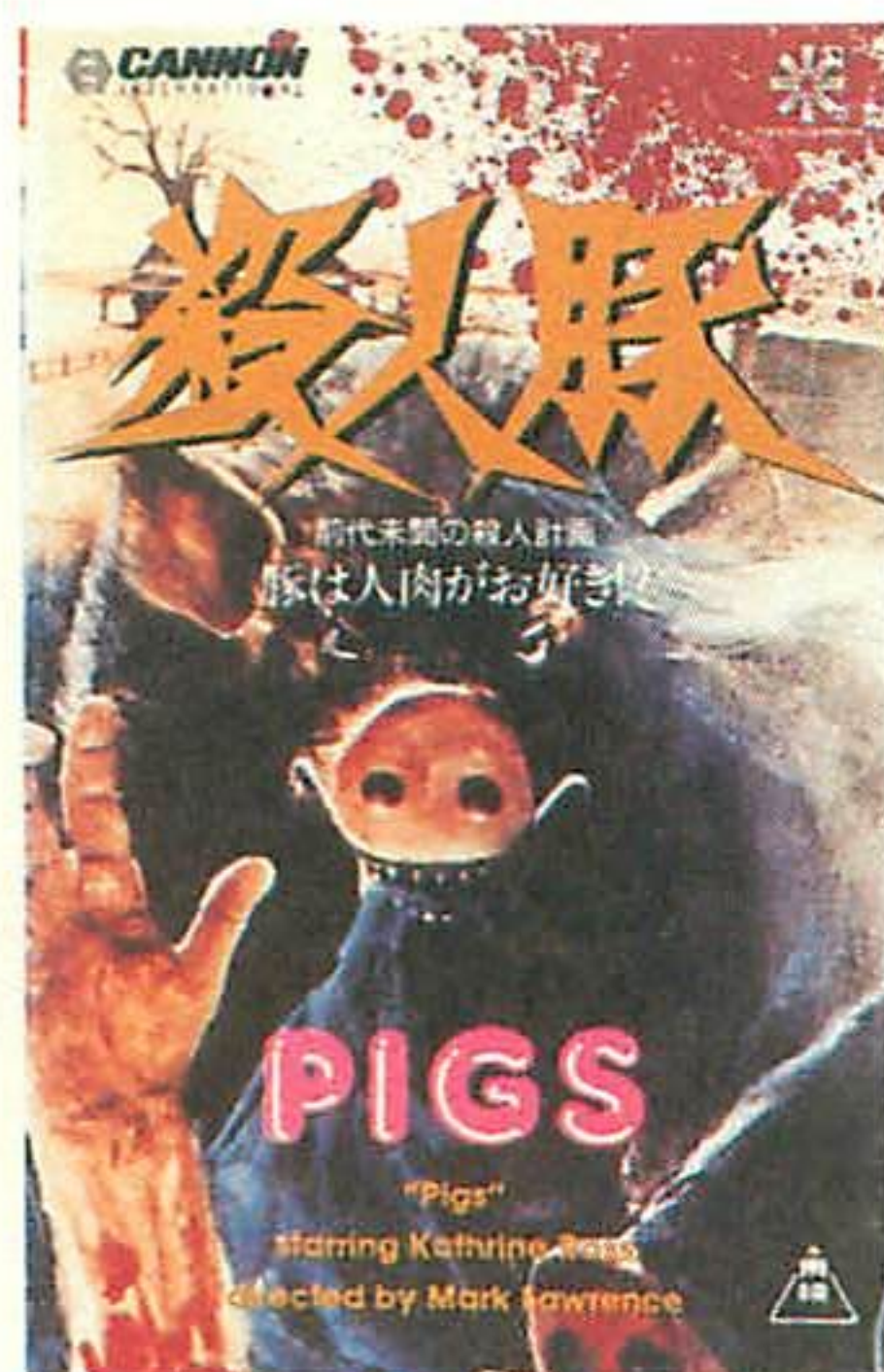
唐：「宇宙からのマドンナ旋風・お嬢様は宇宙戦士」…。話もコピーも、少しは頭使って考えてくれよー（笑）。
岡：オレはこの「銀河ボディコン伝説」というタイトル聞いた瞬間に「これはもう観なくてはいかん！」と思いましたね。
唐：まぁ、確かに観なくてはいけませんね。こういうモノは（笑）。
岡：だって、はるか彼方の女系惑星ポルテガから来てくれたんですよ。なんせ「彼女たちがたどりついたのは、アメリカ西海岸。今、異郷の地を舞台にナイスなギャルたちの濡れたTシャツがはじけ、ハイレグも食い込む激しい追跡戦が始まった！」んですから。おまけに「最新のデジタルSFX技術を駆使して描く、快感のSF悩殺エクスタシーアクション！」ときたもんだ。
眠：人生投げてるなぁ、もう。

21●２０６９惑星遊女

唐：これはタイトルだけで中身、わかりますね（笑）。特撮がとにかくとにかく、安っぽい。
岡：宇宙人、銀色の目張り入れてますね（笑）。
唐：セットとかはきちんと作ってるんですけど、とにかく特撮がお粗末でね。

22●ヘルスネーク

唐：「あなたは蛇だ。エロチックホラーなどという言葉では生温い！ 75年公開と共に一大センセーションを巻き起こした史上最悪のエログロ残酷映画がやってきた！」んだそうです。
眠：75年に一大センセーション？ 覚えてないなぁ（笑）。
唐：「これほど残酷な映画がこれまでにあっただろうか？」って、そんなの百本はあるよ（笑）。「なお、この映画は実際に起きた事件をもとにしていま

25●三頭魔王

24●Mr 6 頭身

23●殺人豚

26●大蛇大戦

す」。

岡：ウソつけー（笑）！

唐：なお、このサブタイトルの「淫蛇の交わり」は「エロヘビのまぐわり」と読みます（笑）。

23●殺人豚

唐：…「豚は人肉がお好き」（笑）。

岡：うーん。人相悪いですね、この豚。

唐：「豚を飼い慣らして人を食わせれば、完全犯罪が成立する！　前代未聞のアイデアが全米にセンセーションを巻き起こした大ヒット作！」だって。主演は「明日に向かって撃て」のキャサリン・ロス。

岡：ええーっ!!

唐：でも最初のシーンにしか出てきません。あとは全部無名の俳優。

眠：ああ、大スターを一日だけ拘束してギャラ安上がりという、低予算映画がよく使う手ですね。

岡：ああ、なるほどなるほど。

24●Mr．6頭身

唐：これはまともなスパイもののイタリア映画なんですけど、主人公の役者の顔が異常に大きい。で、試写室でコレを見たビデオ会社の人が、そこしか「売り」を見つけられなかったんでしょうね。「主人公が6頭身だから、そのタイトルで売ろう！」という、単純かつムチャクチャなネーミングです。

岡：ホントだ！　頭でかいわ（笑）。

25●三頭魔王

唐：香港製のSFXファンタジーで、中国版ネバーエンディングストーリー。「朝鮮人参の精」っていうのが出てきて、人参のぬいぐるみがチョコチョコ歩いてたりする。まぁ、見どころはそれだけですね。ただ、いろんな妖怪が出てくるんで、子供と一緒に見れば楽しめるかもしれない…。

27●死霊の盆踊り

28●悪魔の入浴・死霊の行水

29●タフミネーター

眠：ホントですかー？（笑）

唐：お薦めはしませんが。

26●大蛇大戦

唐：可憐な美少女がひろって育てた、巨大な蛇をあやつるお話。要するに、雪ん子とウー。

岡：いいじゃないですか。

唐：ところが、香港映画ってストーリィ進行が無茶苦茶タルい。これも蛇と女の子が一緒に遊ぶシーンが延々と続いて、やたら長い。

眠：でもこのスチールを見ると、特撮はちょっと良さそうだなぁ。

唐：我々はこういう特撮で育った世代ですから、なにかこう懐かしいものがありますよね。

27●死霊の盆踊り

唐：「死霊の盆踊り」は、この手のクズ映画の基本ですね。

眠：基礎教養（笑）。

岡：裸の女が出てくるのが、一応「売り」になってるんですよね。

眠：でもコレ観て興奮する奴、いるか（笑）？　…で「盆踊り」の次は「死霊の行水」かよぉ。

28●悪魔の入浴・死霊の行水

岡：「ヨーロッパの暗黒時代、ハンガリーで次々と処女が誘拐され、血を抜かれるという事件があった」って、割と良さそうじゃん。

唐：これは「ベルばら外伝」のネタにもなった実話を元にした、安っぽいだけでマトモなホラーなんだけど。

29●タフミネーター

唐：「ターミネーター」のポルノ版ですね。「二年連続ベストファック賞に輝く、共演したい俳優ベスト1、ウディ・ロング主演」だそうだ（笑）。

岡：「目を疑う強烈ファックシーン」だって！

眠：でも日本版は、どうせモザイクかかっちゃうんだから、目を疑いようが無いぞ（笑）。

唐：この系統だと「ロボコップ」のパロディで、「ロボコック」っていうのもあるらしいんだけど、まだ手に入らない。

眠：「インディ・ジョーンズ」のポル

34●暴獣のいけにえ

31●レディジェイソン

30●14日の土曜日

33●ジェイソン・地獄の綱渡り

32●ジャクソン・ロンドンへ

ノ版で、「インディアナ・ジョアン」なんてのもありましたね。

30●14日の土曜日
31●レディ・ジェイソン
32●ジャクソン倫敦へ
33●ジェイソン・地獄の綱渡り

唐：「13日の金曜日」シリーズがヒットしたんでまがい物も山ほど作られたんですよ。「新・14日の土曜日」とか「レディ・ジェイソン」とか「ジャクソン・ロンドンへ」とか。「ジェイソン・ニューヨークへ」じゃなくて、「ジャクソン・ロンドンへ」だからね（笑）。

眠：レンタル屋で間違えて借りちゃいそうだ。

唐：で、「地獄の綱渡り」の方は、全然「13日の金曜日」と関係無い普通のアクション映画なんだけど、たまたま主人公の名前がジェイソンだったんで、「ジェイソン・地獄の綱渡り」なんてタイトル付けちゃった。

眠：もう、間違えて借りさせる事だけが目的だな（笑）。

34●暴獣のいけにえ

唐：まぁ蛇に襲われたりミミズに襲われたり、B級ホラーにはいろいろありますが、なんと言ってもコレが一番コワい。ただのガタイのでかいバカが襲ってくる！

眠：ああ、それってなんか本当にありそうな話で怖い！

唐：リアルですよー（笑）。

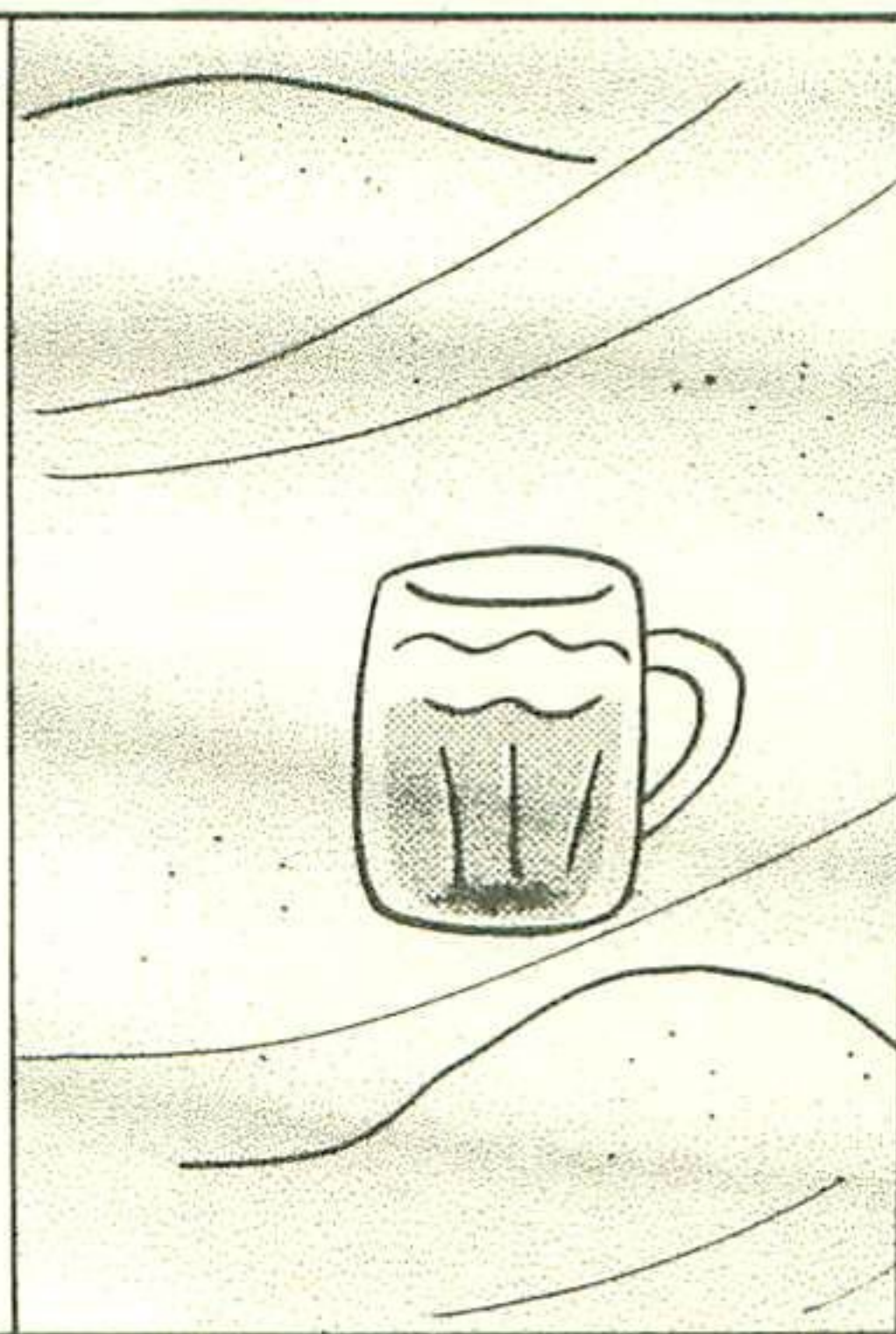
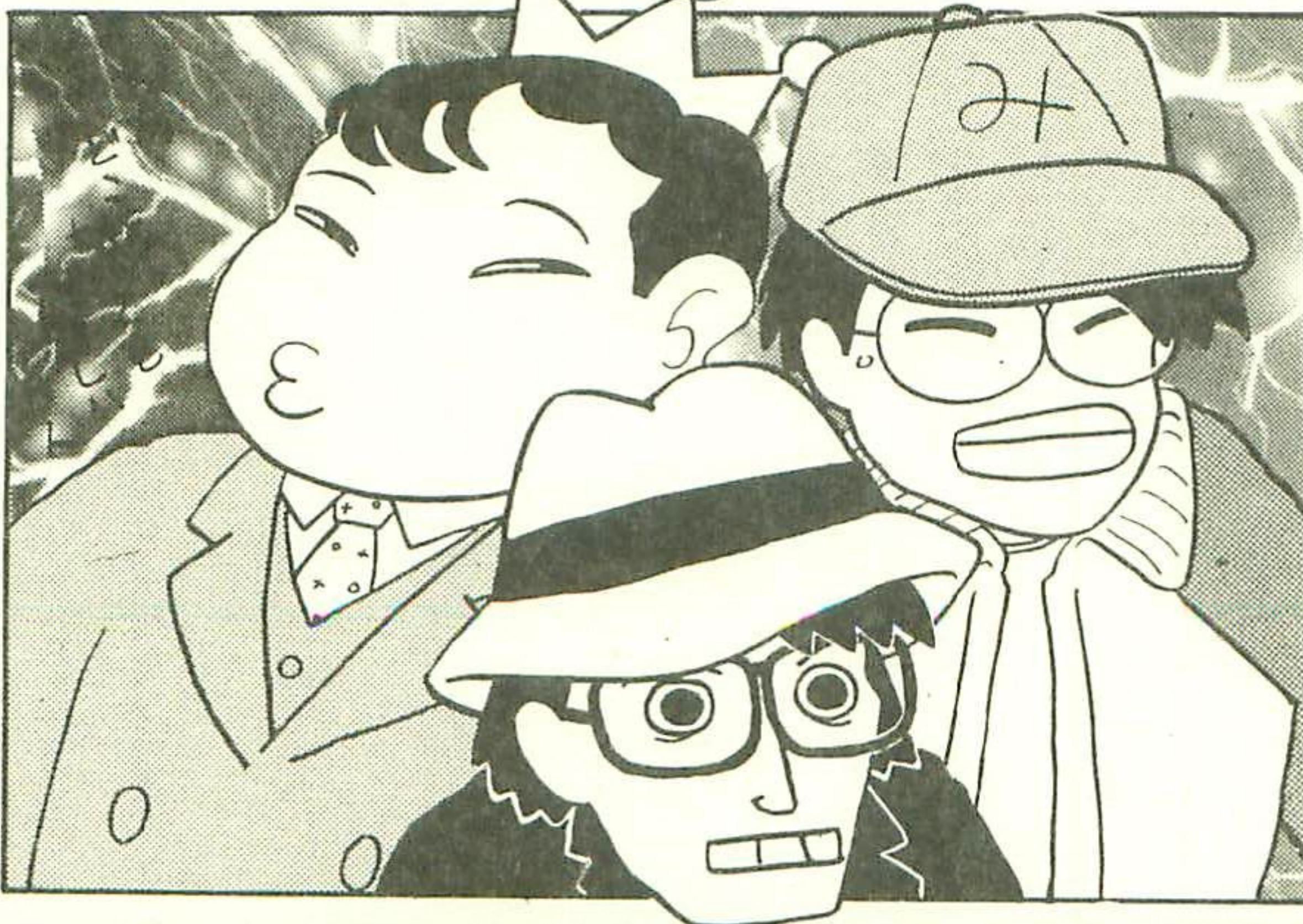
岡：「飛沫をあげて、不死身の殺人マニアがやってきた」か。こりゃ怖いわ。

新宿アミーゴスのよる

寺島令子

なんか
あやしい
とこやな

わーもう
いっぱい
ならんで
るよ

新宿ロフトプラスワンに『おたくアミーゴス』の芸を見に行こうと誘ってくれはったのは、友人の漫画家ひぐちきみこさんである。会場は演者の熱と、予想をはるかに上回る観客数のため、ノドが乾いて兄ちゃん生ビールおかわりやって何べん言うたら通るねんどないなっとんねん注文は頼むでホンマにであった。

アミーゴスは怪しいブツを次々繰り出し、同じ文化を享受する、おたく観客とおたく演者の濃くて速いコミュニケーションは終わりなく続くのであった。楽しいし人は多いしトイレにも立てない。終演はいつも予定よりずっと遅い。しかもそのあと眠田直さんと平気で朝までアニカラするし、しつこいよなおたくは。その節は楽しかったス

私らザコおたくは遠巻きに見守ってますので岡田はん、唐沢兄さん、眠田さんこれからも頑張って下さい。日本の、いや人類の将来はこれでエエんか、おばちゃん心配やけどな。

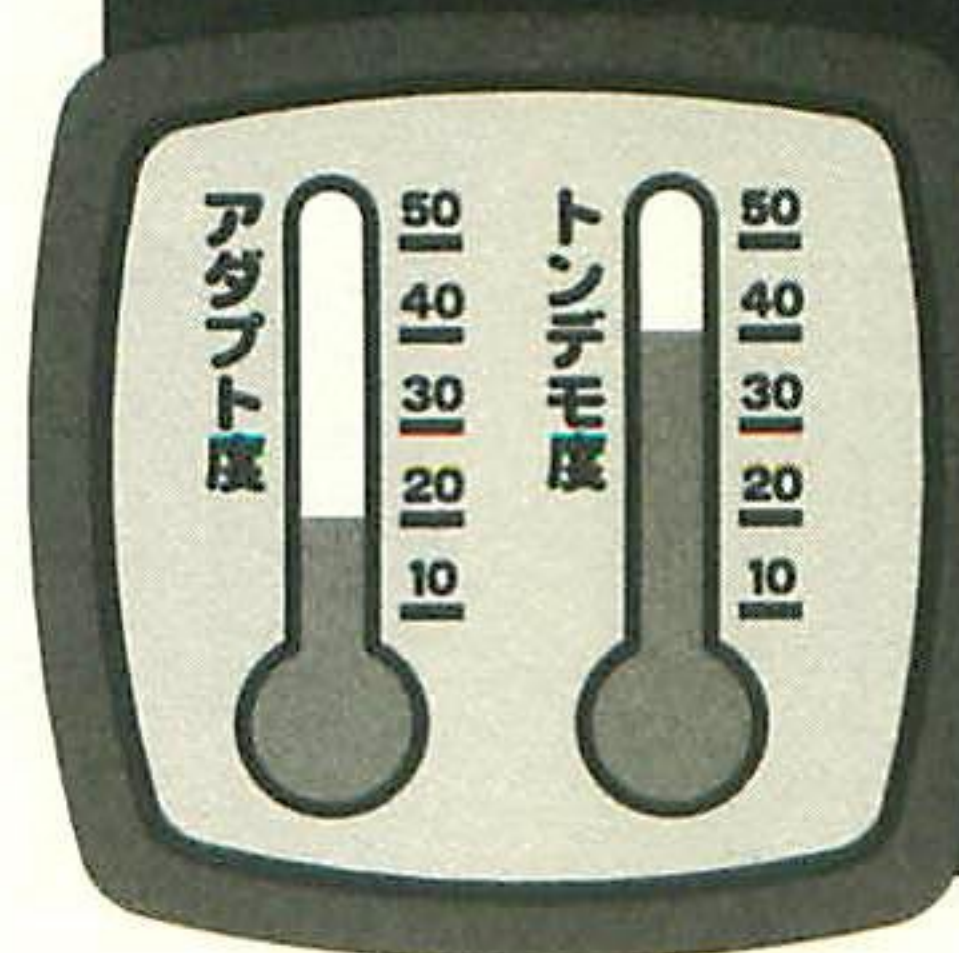
はっはっはっは ↑岡田・唐沢笑いのまね。

それにしてもなんだか団塊っぽい店長さんはアミーゴスと共闘も敵対もできなくて、心の底から困っていたのではなかろうか。というあたりもライブで結構おもしろかったのに、ロフトプラスワンでのアミーゴス公演は終わっちゃったそうで残念です。うちから近くて便利やったのになあ。

【寺島自己紹介】

関西出身ザコオタク。アミーゴスより実はほんのわずかに年長。漫画家。夫はオタクプログラマー。最近は夫婦ともにマジック・ザ・ギャザリングにハマり、闘う楽しさを知る。でもザコだけにいつもこの次は絶対勝つぞ、Xスペルはやさしくしてねっとか言うとります。今年は単行本『墜落日誌3』が出るのでよろしくお願いします。鼻づまりの家系のせいか、唐沢さんの声を聞くと心が安らぎます。

力道山の鉄腕巨人

AMIGOS ARCHIVES 24

眠：昭和29年、最初の「ゴジラ」と同じ年に作られた幻の特撮映画があるんですよ。新東宝制作の「力道山の鉄腕巨人」！　あらすじを説明しますと、力道山の役はなんとジャングルに住むターザン風の山男。相棒の太郎少年と共に、ワニにバナナをやったりして、平和に暮らしておりました。そこへ突如現われたスパイ団が、密林の中の秘密研究所で、老博士が研究していた「殺人光線銃」を奪って逃走するという事件が起こり、老博士に光線銃を奪い返すよう頼まれた二人は、スパイ団を追って一路東京へ。ところが水爆マグロと一緒に築地の魚市場に上陸したので、力道山はガイガーカウンターにバリバリ反応してしまう「放射能怪人」になってしまったからさぁ大変。警官隊に追われながらも、悪いスパイ団と戦う力道山！　まさしく血湧き肉踊る冒険活劇巨編です（笑）。

唐：「ゴジラ」と並ぶ、この年の二大放射能映画。この殺人光線銃の描写もムゴいですね。光線浴びると骸骨になって、最後は「人の影」しか残らない。

眠：この辺は、実際の「ヒロシマ・ナガサキ」の原爆の記憶が、まだ鮮明だった頃ならではの描写じゃないかな…。

唐：第五福竜丸の事件なんかもネタになってるし。

岡：マグロにガイガーカウンターあてててるシーンとかもありましたね。

眠：ええ、その辺のストーリーのつながりが結構いい加減でして、悪人達の計略にハマって、力道山は海に突き落とされちゃうんですけど、次のシーンでは、なぜか水爆マグロと一緒に築地に水揚げされてる（笑）。

岡：プロレスラーが映画に出るっていうのは、メキシコのサント映画（ミル・マスカラスとかの人気覆面レスラーが実名で活躍する活劇映画）的なコンセプトなんだろうけど、力道山もそういう理由で出たわけですか？

眠：多分そうだと思いますよ。

唐：劇中に必ずプロレスシーンがありますから。映画に出る事によって、大衆にもっとプロレスを広めようという目的があって…。

岡：スパイ団のボスも、当時来日していた悪役レスラーでしょ？

トンデモ度　50 40 30 20 10
アダプト度　50 40 30 20 10

唐：そうそう。だから最後は敵味方入り乱れての乱闘プロレスになっちゃうんですよ。まぁ、麻雀劇画がどんな場合でも、必ず最後は麻雀で決着つけるのと一緒ですね（笑）。

眠：昭和29年っていうと、まだ力道山が「国民的英雄」になる前だったから、ターザンみたいな役でも受けたんでしょうね。事実、これ以降の「怒涛の男」とか「男の魂」といった力道山映画では、もっとちゃんとした役になってる。

唐：でも当時、ズバリ「力道のターザン」っていう漫画があってね、力道山が南海の孤島へ行って猛獣相手に大暴れする話。だから案外力道山は、こういうのに出るのが好きだったんじゃないかなぁ？（笑）

眠：映画の内容の方に話を戻しますが、クライマックスで、悪人の一人がテレビ塔に逃げ込むんですが、この後のシーンがスゴい。

唐：そのテレビ塔って「ゴジラ」にも出てくる有名な場所。アナウンサーが「みなさん、さようなら!」って絶叫するシーンで。

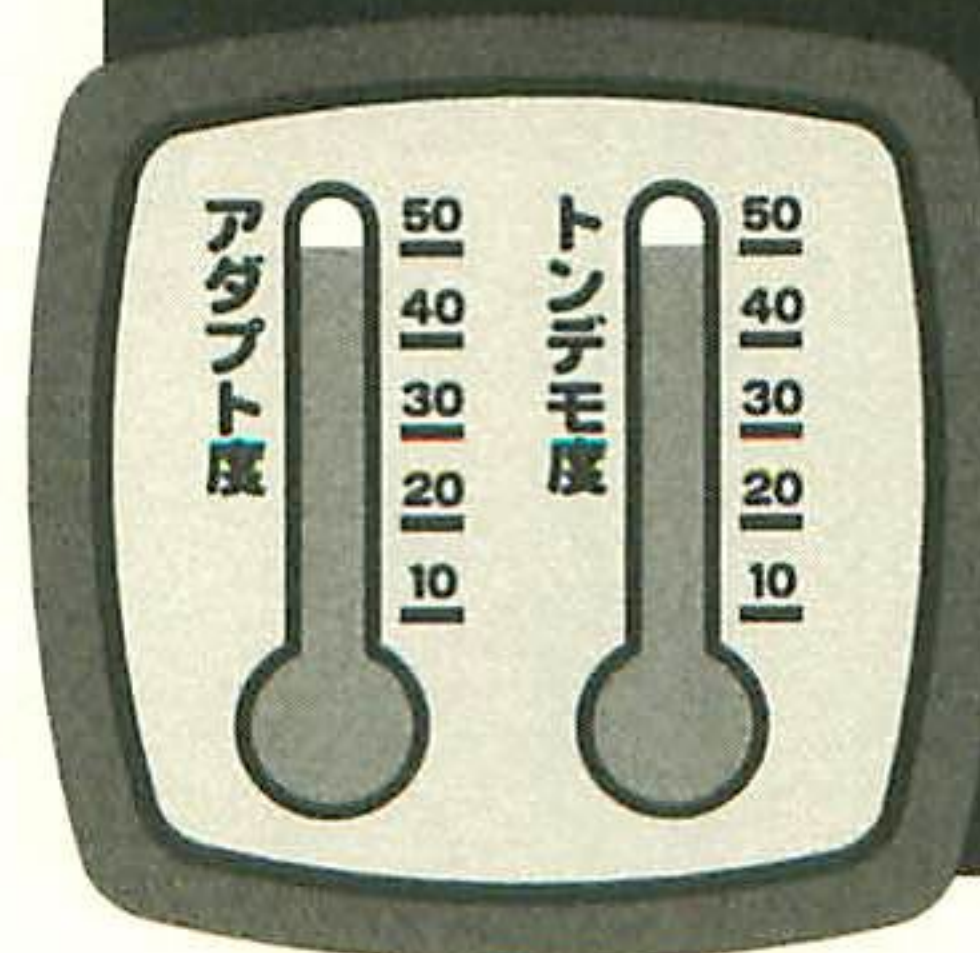
眠：で、力道山はどうするかと言うと、なんと怪力でテレビ塔揺さぶっちゃうんですよ！　このシーンは「揺れるテレビ塔」を実景に合成してたりして、特撮にも力入ってます。悪人はたまらずテレビ塔から墜落死！　いやー、イイ映画っすよ。皆さんにもぜひ観てほしいんだけど、ビデオ化されたのが10年以上前で、今は絶版だから、ちょっと入手が難しいかもしれない。LD化してくれないかなぁ。あのパイオニアの「特撮映画秘蔵シリーズ」あたりで。

唐：無理じゃない？　だってあのシリーズ売れなかったんだよ、見事に。俺、見ながら「副音声にオタクアミーゴスのツッコミを入れさせろーっ」って叫んでましたよ。

岡：これからはやっぱりDVDでしょう。ソフトバンクさんに、こういう秘蔵映画のDVDシリーズを書店流通で出してもらって、それに我々が解説本付けるってのはどう？

眠：その企画イイなぁ。「クリスタル・トライアングル（P38参照）」とか「ファイティングマン（P140参照）」とかも、DVDの高画質でみんなに見せたいし（笑）。

ウルトラ6兄弟VS怪獣軍団

トンデモ度 50 40 30 20 10
アダプト度 50 40 30 20 10

眠：日本・タイ合作で74年に作られた珍しいウルトラマンの劇場用映画があるんですよ。今回、ぜひこの本で紹介したかったのに、円谷プロから図版使用を断られてしまった。どうやら、ウルトラマンの歴史からこの映画の存在を抹消したいみたいですね。まぁ、その気持ちもわからなくもないですが。

唐：冒頭のロケット発射基地のシーンからして、博士が「よし、これでロケット発射の準備は完璧だ」と言うと、助手の女が「でも、ひとつ忘れているものがありますわ。仏様の加護です！」とか言いきっちゃうもんな。ここで俺はもう、映画館の椅子からずり落ちそうになったよ（笑）。

岡：科学だけではだめだ、というのがタイの国民的コンセンサス（笑）。

眠：あとは三枚目役で「ロケット基地の係員二人組」というのが登場するんだけど、こいつらの「バカ演技」が実に素晴らしい。ご丁寧に日本から使い回しで持って行ったZATの隊員服まで着てるし。

唐：とにかくタイに限らず、アジア系の映画には「道化役」というのが必ず必要なんですよね。「ファイティングマン」なんか、主人公が道化役（笑）。

眠：で、お話は仏像泥棒を止めようとしたコチャンという少年が、悪人に撃たれて殺されちゃって、それを不憫に思ったウルトラの母が、「伝説の英雄ハヌマーン」に転生させる。

岡：空中から巨大なウルトラの母の手がニューッと伸びてきて、コチャンの死体を持ってっちゃうシーンもスゴいよね（笑）。

眠：この辺、なんかウルトラマンというより、仏教の神様みたいなイメージ。

岡：ハヌマーンって、今見るといいアジ出してるなぁ。

唐：いや、これってデザインは、タイの神様の姿そのままなんだよ。

眠：その上ハヌマーンって、「猿」の神様なんだよね。だからやたら脇の下掻いたりするし、タイの民謡踊るし、卍型のポーズで空飛ぶし（笑）、コイツとウルトラマンの共演って、日本人から見るとかなり違和感ありますね。

岡：ハヌマーンって、やっぱり孫悟空なんですか？

唐：孫悟空のモデルになった神様ですね。インドにラーマーヤナっていう神話があって、ラーマ王子というのが悪魔にさらわれたお姫さまを助けに行くんですけれども、それを助ける猿族の英雄がハヌマーン。

眠：で、ハヌマーンに変身したコチャン少年が最初に何をするかというと、自分を殺した仏像泥棒に復讐する。

唐：それも泥棒はもう泣いて謝ってるのに、「仏様を大切にしない奴は、死んでしまった方がいい！」とか言って、巨大な手でバキバキと握り潰しちゃう（笑）。多分タイでは、仏像泥棒ってものすごく悪い事なんだろうね。

岡：それもタイの国民的コンセンサス（笑）。

眠：この辺は日本とタイの感覚の違いがよく出てますよね。とにかく悪者に対しては容赦が無い。この後、ゴモラ率いる怪獣軍団と、ハヌマーン・ウルトラ6兄弟の戦いになるワケですが、怪獣の倒し方がとにかく残酷。首を切る、胴体まっぷたつ程度はあたり前。

唐：最後には体の肉を全部剥いじゃって、怪獣を骨だけにしちゃうし。

眠：まぁ日本の「ウルトラマンタロウ」とかでも、胴体まっぷたつ位はやってたけど。

岡：でも、さすがに「骨だけ」にはしてない（笑）。

眠：しかし円谷プロも、オーストラリアで撮った「ウルトラマンG」とか、アメリカで撮った「ウルトラマンパワード」は大々的にアピールしてるクセに、コレを隠すというのは良くないですよね。

岡：そうそう。あと、「G」や「パワード」はもっとお国柄を出してほしかったなぁ。オーストラリアのウルトラマンはワニと戦うとか。アメリカのハヤタ隊員はCIAに勤めてるとか（笑）。

眠：だいたい、オーストラリアなんてあれだけ国土が広いんだから、怪獣が出て街を壊して、それから次の街にたどり着くまでに、最初の街を再建できちゃいますよ（笑）。

唐：その点、これはちゃんとタイの文化を活かして作った唯一の作品ですからね。あと、確か円谷プロにはもう一作、タイだかシンガポールだかと合作した『ジャンボーグA VS ジャイアント』っていう作品もあった筈。やっぱり仏像ヒーローなんだけど。これも見たいぞー！

中野貴雄

純粋と腐敗のはざまで

デパートメントHの「キャットファイトショー」

どうも、国際秘宝監督の中野貴雄と申します。もともと特撮AV「海底轟姦」とか「アクメくん」とかを撮って、オタクAV監督などと呼ばれていました。AV業界の金鎖チャラチャラ茶髪人種にはどうしてもなじめなかったのですが、同時にSFコンベンション関係、オタク人種の集まりも何か居心地悪い人間です。ちょっと自意識過剰なのかあ・・・。

でも、ロフトプラスワンの「オタクアミーゴス」は面白かった。何となくあの場所は、学級会みたいな感じがしてキライなのですが、唐沢さん・岡田さん・眠田さんのコラボレーションつーの、そういうのが芸として確立してたから。4時間くらいのトークショーを一気に見せられる才能は、やっぱり「芸」というべきでしょう。

中野貴雄プロフィール
　国際秘宝映画監督、大阪出身の34歳。代表作は「海底轟姦」「ザ・ブレイガールズ」「花のおんな相撲」（TMC）。96年5月、映画「女体渦巻地帯」で仏リール国際トラッシュ映画祭グランプリ受賞。
最近作は54ヌードハニーズのプロモーション「愛のブルーガー」。

人様に何かお見せするというスタンスを忘れちゃ、我々の商売はオシマイです。私、女の子が大股ひろげて他人を蹴っ飛ばすとか、キャットファイト系（女同士の格闘）が既知外のように好きでして、そういう映画ビデオばかり撮っているんですが、そうするとよくこんなこと言われます。「やってて女の子が本気になっちゃうことってあります？」「真剣勝負の女闘美（めとみ）が見たいと思いませんか？」

そういう『本気主義』『フルコンタクト至上主義』みたいなのが、一番ダメなんだと思います。プロよりもシロートのナマの迫力を・・・みたいなこ

54ヌードハニーズのプロモ「愛のブルーガー」

とを言い出すと、結局そのジャンルの首を絞めることになるんですよ。ＡＶしかり。また過激シロート主義（スキャンダル主義といってもいいかもしれない）なことを言う人に限って、見る眼がないんですよね。そんなもん、ヤラセに決まってるやんけー、みたいなのが見抜けない。

最近のアニメとかでも、まーだサイバーパンクとかやってんのか？　みたいのばっかりで、そんなんじゃアニメ研究会出身のＳＭ嬢くらいしかダマせねーだろ、とか思います。近頃の主人公っていうのは、「自分はどこから来てどこへ行くのか」とか、「自分の存在意義は…」みたいな奴ばっかりで、人の為に何かしてやろうとか、俺だってたまには世の中の役に立つことだってあるんだぜえ、とかいう意識は皆無です。これじゃあ大人は動かないっスよ。

人様に何かをお見せする。そしてお金（アシ）を頂戴する。このスタンスがなくなったらオワリでしょ。自主映画自費出版でやりたい放題やるんじゃあ、つっても自家中毒起こすだけだし。それは純粋なんじゃなくて、腐敗してるんだって。

てなわけで、オタクアミーゴス御一同様、その話芸をもってして、迷えるこの業界を王道に導いてくださいませ。

リール国際トラッシュ映画祭にて

ヤマトの思い出

AMIGOS ARCHIVES 26

眠：さて、この本もいよいよラストとなりました。ここはやはり我々の世代としては「宇宙戦艦ヤマト」の話題でシメたいと思います（笑）。唐沢さんは予備校時代に「ヤマト」のファン活動やってたんですって？

唐：認めたくない若さゆえのあやまちなんだけど（笑）。でも、あのころ自分たちで思った以上に、中央では注目されてたのね。西崎プロデューサーが札幌に市場調査にきたとき、わざわざわれわれをホテルに呼んでくれて。まあ、わたしはみんなの尻についていっただけなんだけど。

岡：「ヤマト」のファンで、西崎さんを呼んだのは唐沢さんトコが初めてだったんでしょう。それって、最初の映画化の時の話ですか？

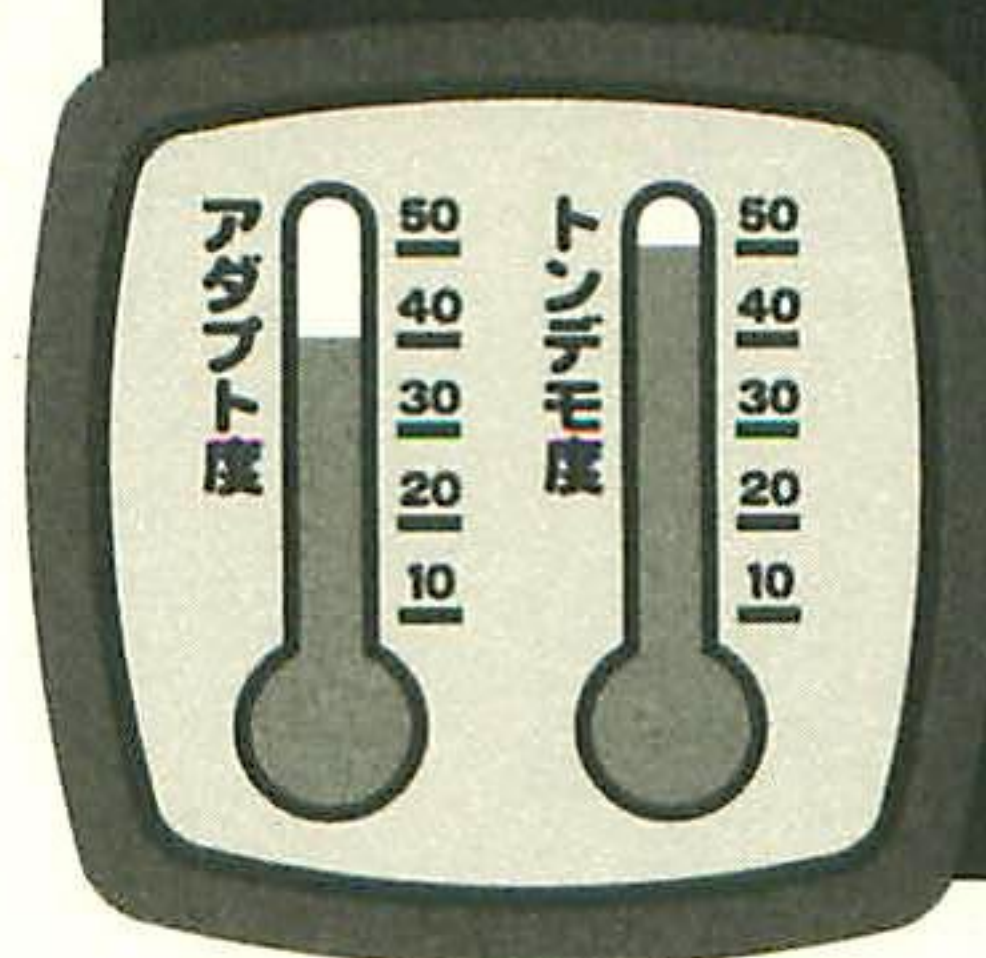
唐：いや、映画よりかなり前。テレビシリーズが終わって、札幌のテレビ局に再放送嘆願書が山と集まったんですよ。東京とか大阪だと、ある程度そういうのがたまらないと再放送できないじゃないですか。その点、地方局の方が反応が早い。

岡：ヤマトのエンディング曲「真っ赤なスカーフ」のリクエストをラジオ局に出そうっていう運動もありましたね。

唐：当時札幌のラジオ局の深夜放送で「アタックヤング」というのがあって、そこに「なつまん」というコーナーがあった。「懐かしのマンガ・アニメ」。我々のグループが古いソノシートとかレコード、どんどん貸して流させていたんですよ。俺の一オシは「ハカイダーのうた」だったんだけど（笑）、やはり一番人気は「真っ赤なスカーフ」で、なぜかというと、再放送ワクでは副主題歌がかからない。CMでカットされちゃう。これであれを聞きたい、という欲求不満が一気に爆発した。今にいたるヤマトムーブメントは、あのかからなかった「真っ赤な…」が大もとなのね（笑）。それで、レコード会社とかにも、とにかく札幌で何かが起こっているらしいって事がわかって、西崎さんが来る事になった。「ヤマトファンの皆さんの熱い声を聞きたい！」とか言って。そこで「ヤマトでスタートレックみたいな話をやりたい」と言ったら、ファンが一斉に「おお！」って反応したんで、西崎さん、「嬉しいなぁ。銀行の奴らとかにこういう事話してもわかってくれないんだよ」って感激しちゃって。で、オレが「サインして下さい」って頼んだら、ちょうど、その時に配ってた英語版のパンフレットがあって…。

岡：はいはい。アメリカ向けのプロモーション用に作られたパンフレットで

トンデモ度
50 40 30 20 10

アダプト度
50 40 30 20 10

すね。

唐：そうそう。それに「俺、サインなんて、今まで小切手にしかした事ないよ」とか照れながらサイン入れてくれた（笑）。

岡：その頃はまだ西崎さんも純真だったんですね。

唐：でも、一年後に東京のイベントで会ったときは、例の傲岸不遜にもうなっちゃってて。あの一年になにか、今の西崎さんが完成した感じ。

岡：GAINAX時代に、オレと庵野が西崎プロデューサーの会社に呼ばれて行った頃になるともう…。まず、小林誠が作った模型がドーンと置いてあって、「どうだい、シードミードのデザインしたヤマトは？　僕はヤマトをちゃんとしたサイファイ作品にしたいんだ」（笑）。シド・ミードを「しぃーどみぃーど」と発音するのが西崎さんの特徴（笑）。

眠：それはもう、「ヤマト完結編」も終わって、新しいシリーズを作ろうって頃ですね。

岡：ちょうど六年位前の話。で、「サイファイ」って何だろうと頭を捻って、「あっ、そういえば昔、豊田有恒がSFの事をそう呼ぼうなんて言ってたっけ」とやっと気付いた。それで、西崎義展先生だけは今だに「サイファイ」なんて呼んでるワケです（笑）。「全く新しいサイファイ映像を作りたいんだ。内容は君達の好きにしてくれて構わない。もう前みたいにうるさい事は言わないから。それよりも俺は銀行とかそういう方面で忙しいんだ。ただ人物の基本設定は僕が作る。それからヤマトのイメージを崩さない為に守ってほしいポイントはまず第一に…」って、注意事項が延々と続く。

眠：それじゃ結局、前のヤマトと変わらないってば（笑）。

岡：でね、新作ヤマトのアイディアってのは、やたらといろんな人に発注してて、なんと江川達也の描いたキャラデザインなんてのもあった。メカの方も、もうほとんど日本のメカデザイナー全員の描いたヤマトがあって…。

眠：いざとなったら、ヤマト秘密設定集で食えますね。

岡：西崎さんの会社のロッカーにね、腰の高さまで会議録の山が入ってるんです。ヤマトのアイディア出しのブレーンストーミングをテープ起こしした文章を、ちゃんと全部ワープロで清書したのがあって。

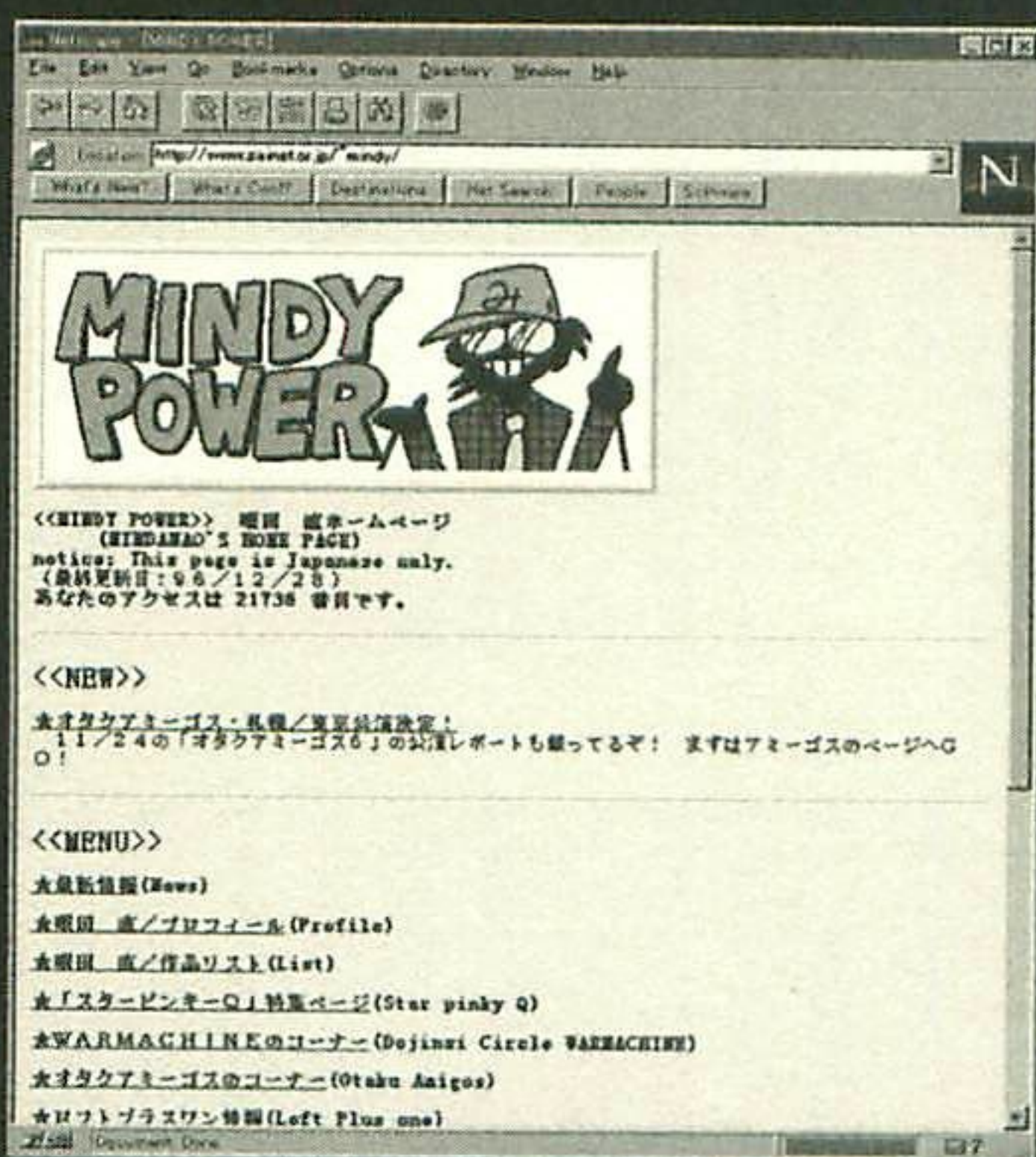
眠：ああっ、それ読みたい。インターネットとかで公開してくれないかなぁ。

岡：それをパラパラと見ていったらね、「ナイヤガラの滝のように落ちるブラックホール」っていう案があって「何だこれ？どうやって絵にするんだ」って思ったんだけど、その後「スタートレック」の映画「ジェネレーションズ」でちゃんと映像化してた。カスケードブラックホール。あれがそうだったのか。案外正確。こんなアイディア、誰が出したのかなと思ったら。「SFアニメを天文する」という本を書いた大阪教育大学の天体物理学教授・福江純さんなんですよ。こんな人とまでブレストやってたんだ。山本弘会長のアイディアもあったし（笑）。とにかく、あの会議録はもうアイディアの宝庫。毎日のようにありとあらゆる人材とブレストした記録が、腰の高さまであるんだから（笑）。

もう今後出てくるSFのアイディアは、絶対この書類の山の中に先に書かれてるね。アカシックレコードならぬ、「ヤマシックレコード」（笑）。

http://www.NetCity.OR.JP/OTAKU/okada/

「岡田斗司夫ホームページ」

オタキング・岡田斗司夫のホームページだ。
「図書館」には「ぼくたちの洗脳社会」などの著作や、またＴＶ Ｂｒｏｓや毎日新聞の連載記事が全文アップされていて読みごたえ充分。
「日記」コーナーでは岡田斗司夫の日常が覗けるぞ！

http://www.sainet.or.jp/~mindy/

「MINDY POWER」

眠田直の個人ホームページ。漫画、アニメからゲームまで、多方面に渡る活躍を収録したオールカラー作品リストはインターネットならでは。
「とにかく軽く早く」という眠田のポリシーから、画像は軽めのサクサク読めるページに仕上がっているので、ダイヤルアップ接続のユーザーも気軽にアクセスしてくれ！

あとがきに代えて

アミーゴス関連ネット

「Nifty・オタクアミーゴス会議室」

パソコン通信「ＮＩＦＴＹ－Ｓｅｒｖｅ」に加入している諸君は、電子ネット上でオタクアミーゴスのトークライブが楽しめるぞ！

えっ？　もうすでにＮＩＦＴＹに入っていて、アニメフォーラムにも漫画フォーラムにもＳＦフォーラムにも参加登録しているのに、「アミーゴス会議室」が見つからないって？

ちっちっちっ、忘れてもらっちゃ困るなぁ。オタクアミーゴスは新時代の「お笑い芸人」なんだよ。だから当然、会議室もコメディフォーラムにあるんだ。

コマンドはトップメニューから“GO　FCOMEDY”だ！

すでにコメディフォーラムならではの、「シャレのわかる」参加者たちによって、楽しく、なおかつディープなオタク話が繰り広げられているぞ。

今、参加しているネットやフォーラムが「なんか物足りないよなぁ」「どうしてこんなしょーもない議論ばっかりしてるんだろう…」と感じている貴方。さぁアミーゴス会議室にGOコマンドだ！

もちろん、岡田・唐沢・眠田の三人が毎日アクセスしているので、面白い発言をすると、直接アミーゴスから君に熱いレスが返って来る！この本の感想の書き込みも大歓迎だぞ。

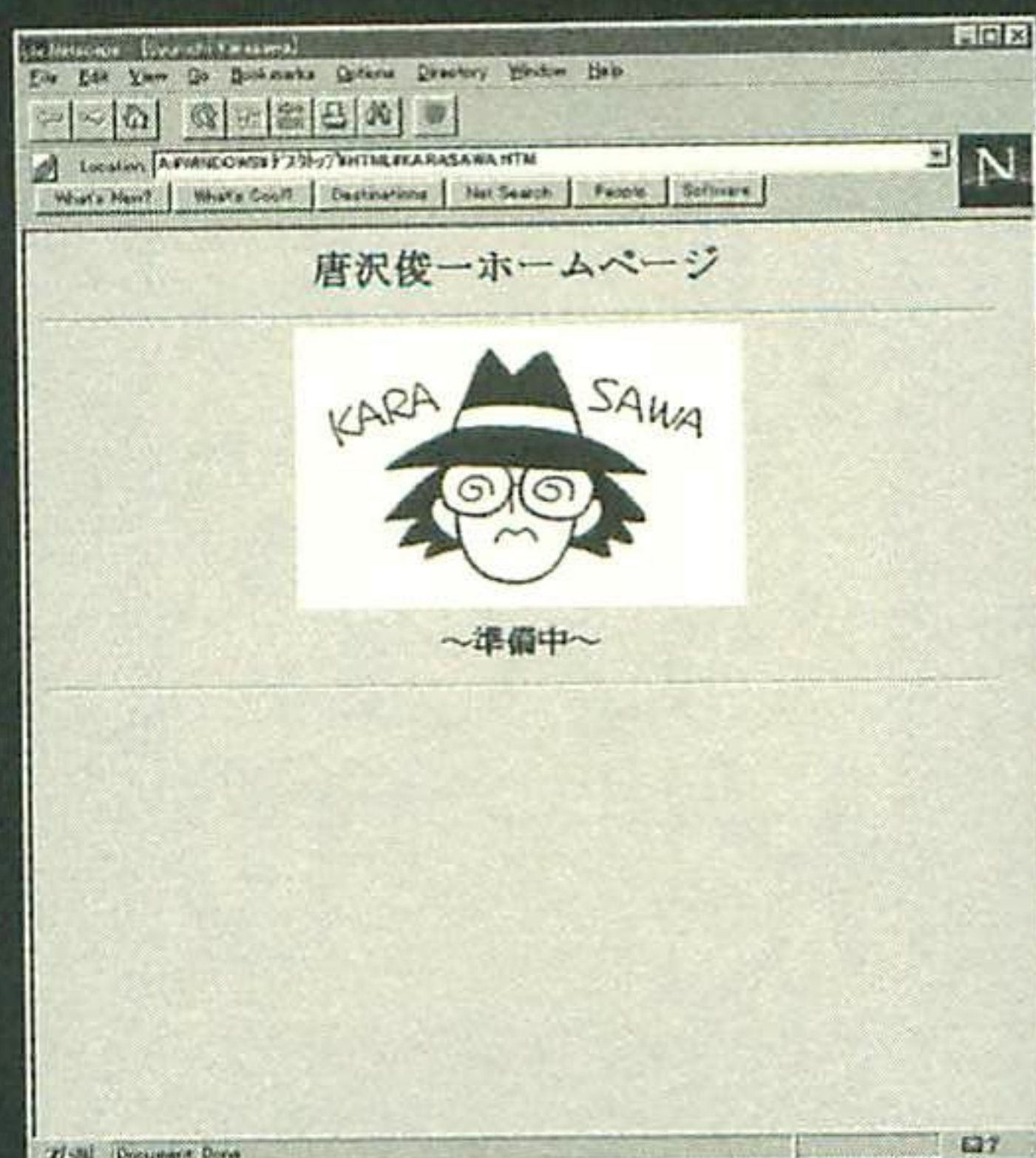
毎週金曜日には定例ＲＴ（チャット）もある。アミーゴス公演の最新情報もここで読める。パソ通やっててアミーゴス会議室に行かないのは、人生の損。

「オタク」の君の求める物が、ココにある！

http://www.NetCity.OR.JP/OTAKU/univ/index.html

「国際おたく大学」

日本が世界に誇る「オタク文化」を全世界に広めようという壮大な目的のもとに設立された、電子上のバーチャル大学。もちろん、受講は自由。英語を始め各国語にも柔軟に対応。

岡田斗司夫の東大ゼミでの講義記録はここで読めるぞ。

http://www.******* （未定） ******

「唐沢俊一ホームページ」（仮）

現在、開設に向け準備中です。

http://www.netcity.or.jp/otakuweekly/Title.html

「おたくウィークリー」

岡田斗司夫責任編集によるオンラインマガジン。アニメからゲーム、オカルトにいたるまでオタク分野の各雑誌から、興味ある記事をクリッピングして、独自の解説をプラス。

http://www.sainet.or.jp/~mindy/oa-menu.html

「オタクアミーゴス」

さて、三人揃ったオタクアミーゴスのページは、前述の「ＭＩＮＤＹ ＰＯＷＥＲ」の中にある。独立ページでないからと言ってあなどってはいけない。

過去のオタクアミーゴスのライブ公演記録が、写真付きですべて収録されているし、今後の公演情報もここで告知されるので、何はともあれ必見のページだ。

OTAKUブックガイド

★この本を読まれて、さらに深い「オタク」の世界に触れてみたくなった方々に、次のような本を参考図書としてお薦めします。

『オタク学入門』
岡田斗司夫・著
太田出版・刊　一四〇〇円

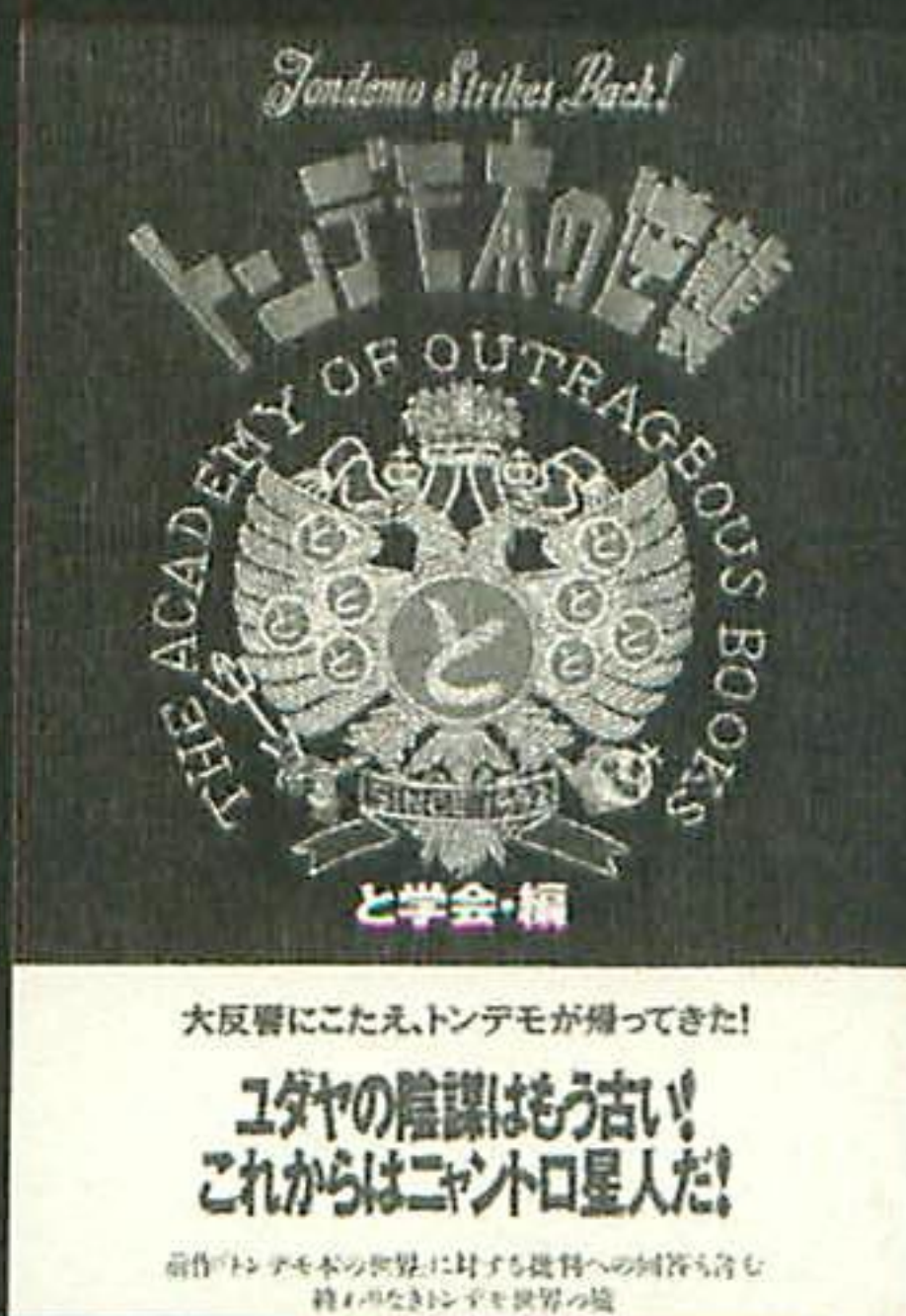
岡田斗司夫が豊富な実例と図版を駆使して、フツーの人にもわかりやすくオタクの世界を解説する、絶好の入門書。

『古本マニア雑学ノート』
唐沢俊一・著
ダイヤモンド社・刊　一五〇〇円

唐沢俊一が新たな視点による、古書コレクションの方法を伝授。「モノの価値」は自ら作り出してこそオタク！　文中イラストを眠田直が担当。

『カルトホラー漫画秘宝館・かえるの巻』
唐沢俊一・著
ネスコ・刊　一二〇〇円

今では入手不可能な衝撃の貸本怪奇漫画を一挙復刻！　P50の「唐沢コレクション・漫画秘宝館」に興味を持った人はぜひこの本を手に取ってほしい。続刊「みみずの巻」もあり。

『トンデモ本の世界』
と学会・編
洋泉社・刊　一六〇〇円

『トンデモ本の逆襲』
と学会・編
洋泉社・刊　一四〇〇円

UFO、超科学、超古代史から受験参考書まで、巷に溢れるありとあらゆるトンデモない本をかたっぱしから笑い飛ばす全国民必読の書。続編「逆襲」には、岡田原作・眠田作画による「と学会内幕漫画」も載ってるぞ！

『ＳＦアニメがおもしろい』

アスペクト・刊　一二〇〇円

ＳＦアニメの歴史がコレ一冊でわかる入門書。岡田・唐沢・眠田の三人もコラムで参加。元祖アニパロ漫画家・成井紀郎の新作漫画が読めるのもポイント高し！

『映画秘宝／エド・ウッドとサイテー映画の世界』

洋泉社・刊　一七〇〇円

『映画秘宝／底抜け超大作』

洋泉社・刊　一三〇〇円

「エド・ウッドと～」は世界中の低予算カラクタ映画を網羅した労作。Ｐ150の「唐沢ビデオコレクション」的な世界にもっと深入りしたい人にオススメ。「底抜け～」は逆に、膨大な製作費とオールスター出演にも関わらず、失敗作と成り下がった不出来な映画ばかり特集した本。映画秘宝からはこの他にも「悪趣味邦画劇場」「ブルース・リーと101匹ドラゴン大行進！」「男泣きＴＶランド」「夕焼けＴＶ番長」「怪獣（秘）大百科」と、どれをとっても一筋縄では行かない「濃い本」ばかり出ているので、とりあえず全部買え（笑）！

『私とハルマゲドン』

竹熊健太郎・著
太田出版・刊　一三〇〇円

「オウム真理教事件」をテーマに、漫画原作者・竹熊健太郎氏が、自らの「おたく」としての青春を熱く語った一冊。オタクのメンタリティを知りたいならコレ。

『70年代カルトＴＶ図鑑』

岩佐陽一・著
ネスコ／文藝春秋・刊　一五〇〇円

世にゴジラやウルトラマンの研究書は数あれど、レインボーマンやバトルホークやダイヤモンドアイからデンセンマンといったマイナーヒーローについて真面目に考察してるのはこの本位だ。読め！

『日本イカイカ雑誌』

竹書房・刊　一三〇〇円

「養豚界」「うさファン通信」「こけし手帖」「奇術界報」などなど、一般には知られていない専門雑誌ばかりを集めたカタログ本。日本中にはまだまだあらゆる趣味、様々なギョーカイの世界がある事がわかって勉強になるぞ。

OTAKU AMIGOS Copyright 一覧

本書に図版として使用させていただいた作品の著作権者の中で、
一部、御連絡先が不明の方がいらっしゃいます。鋭意調査中で
すが、お心当たりの方は御一報下さい。

笑えるオタクネタ大募集！

やぁやぁ、「オタクアミーゴス」の本、存分に楽しんでもらえたかな？

まだまだ今回紹介しきれなかったネタもいっぱいあるので、この本の評判が良ければ、続けて第2弾、第3弾の刊行も考えているぞ。

ただ、なにせ広い広いオタク世界の事。さすがのアミーゴス三人にも不得手な分野はあるので、我々だけでネタを集めていると、どうしても片寄りが出てしまう。

そこで、トンデモ本・自主映画・怪文書・サイテービデオ・変な同人誌・怪しいホームページ、ヘンなオモチャ、海外で見たオタクネタなどなど、ジャンルはどんな物でも構わない。君の知っている「笑えるオタクネタ」を、ぜひオタクアミーゴスまで送ってくれ！

「面白いモノ」を一人でこっそり笑ってるだけじゃもったいない。是非、大々的に世に知らしめて、みんなで楽しもうではないか!!

宛先はこちら。

〒103 東京都中央区日本橋箱崎町24-1
ソフトバンク株式会社　出版事業部7階
アミューズメント書籍編集部
「オタクアミーゴス」係

なお、送付された物の返却には原則として応じられませんので、貴重なアイテムの場合は、コピーか写真の方を送るようにして下さい。この本の感想やアミーゴスへのファンレターも上記宛にね。

OTAKU AMIGOS

1997年3月12日　初版発行
1997年4月15日　第二刷

●編・著者
岡田斗司夫
唐沢俊一
眠田　直

●カバー・本文デザイン
渡辺　緑・湯川安芸子

●カバー・本文イラスト・構成
眠田　直

●編集協力
柳瀬直裕・濱田英亮・吉本美雅子

●撮影
鬼頭栄次・大屋哲男

●発行人
橋本五郎

●編集人
和田　裕

●編集長
山田真司

●編集
アミューズメント書籍編集部（瀧澤尊子）

●発行所
ソフトバンク株式会社
〒103 東京都中央区日本橋箱崎町24-1
販売：03（5642）8101
編集：03（5642）8187

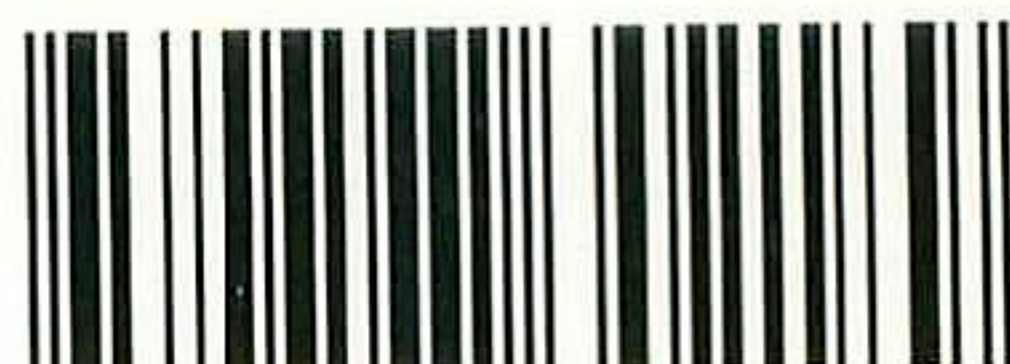
●印刷・製本
共立印刷株式会社

ISBN4-7973-0218-6

WELCOME GUEST

伊藤伸平（漫画家）
開田裕治（イラストレーター）
ソルボンヌK子（漫画家）
竹熊健太郎（漫画評論家）
立川談之助（落語家）
寺島令子（漫画家）
中野貴雄（映画監督）
山本弘（SF作家）
（五十音順）

ISBN4-7973-0218-6

C0076 ¥1300E

9784797302189

定価 本体1,300円 ＋税

1920076013003

SOFT BANK ソフトバンク

OTAKU AMIGOS